ROAD EXPLORER SD 1.0

取扱説明書

クラリオン株式会社

本社事務所
〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7-2
Clarion ホームページ　http://www.clarion.com

お問い合わせはお客様相談室へ
フリーダイヤル：**0120 -112 -140**

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

＊お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。

280-8914-00

QY-7021T
Printed in Japan　2010/5

取扱説明書

ROAD EXPLORER SD 1.0

ワイド7型　VGA 2DIN 地上デジタルTV/
DVD/SD　AV-Naviシステム

チズルとススム β ver.
Chizu-Route-Susumu

ドライブをもっとわくわくさせる地図コミュニティサイト
「チズルとススム」
http://chizu-route-susumu.jp/

このたびはお買い求めいただき ありがとうございます

ご使用の前に本書をよくお読みいただき、安全で快適なカーライフにお役だてください。
・お車をゆずられるときには、次のオーナー様のために、本書を車につけておいてください。また、暗証番号も解除し、目的地などの個人情報も削除してください。
・仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ナビゲーションシステムについて

ハイブリッドナビゲーションシステムは、衛星からの電波を受信して現在地を測位するGPS（Global Positioning System：全地球測位システム）、ジャイロセンサーと車速センサーを使って車の移動量を検出する自律航法などによって、現在地を地図の上に表示しながら目的地までの道案内（ルート誘導）をするものです。
本機は、あらかじめ目的地を指定すれば、目的地までの誘導ルートを自動的に探し出し（国道、主要地方道、都道府県道、主要一般道、高速道、有料道路で自動計算）、画面表示と音声で目的地までの道案内を行います。
ルート誘導時でも、走行中は実際の交通規制が優先されます。必ず道路標識など実際の交通規制に従い、安全を確かめて走行してください。
なお、一方通行・右折禁止などの地図データは鋭意正確性を心がけておりますが、日本全国で数万件以上の膨大なデータベースのため（変更の場合を含めて）、遺憾ながらまれに実際の道路標識と異なる場合があり得ます。
その際は、恐れ入りますが実際の道路標識などにしたがっていただきますようにお願い申し上げます。

各取扱説明書の使いかた

本機には、次の説明書が添付されています。必要に応じてお読みください。

●基本操作ガイド
・ナビゲーションおよびオーディオ／ビジュアルの基本的な操作について説明しています。本機をお使いになる前にこの基本操作ガイドをよくお読みいただき、本機の基本操作を理解してください。

●取扱説明書：本書
・ナビゲーションおよびオーディオ／ビジュアルの操作と機能の詳細をご理解いただくため、項目別に説明しています。
※本機に接続される機器（ユニット）ごとに取付・取扱説明書が添付されていますので、あわせてお読みください。

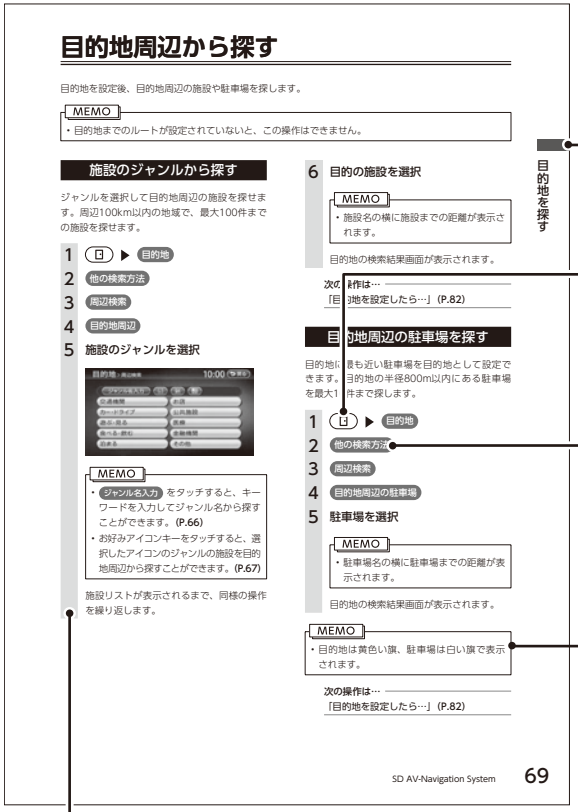
本書の構成

操作の前に
地図画面の見かた
目的地を探す
地点・ルートを登録する
ルートの設定
ルートの案内
情報を利用する
通信（Bluetooth）を利用する
エコロジー機能を利用する
オーディオ・ビジュアルを使うには
ラジオを聴く
テレビを観る
DVDを観る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
ミュージックキャッチャーを使う
SDカード／ USBメモリーの音楽を聴く
iPod®を聴く／ iPod®ビデオを観る
Bluetoothオーディオを聴く
各種設定
便利な機能（アクセサリー）を使う
困ったときに…
付録

この「取扱説明書」は、本機をさらに使いこなすためのものです。仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。

本書の見かた

本書は、以下のサンプルページのスタイルを基本に作られています。



インデックス
章のタイトルを表示しています。

ハードボタン
本体に付いているボタンです。

タッチキー
画面上をタッチして操作できるキーです。

操作の流れ
操作の流れを表しています。
左側に色の付いている範囲が操作手順です。

MEMO
操作の前に知っておいていただきたいことや、操作に関する補足説明をしています。

マークの意味

MEMO 、 お願い

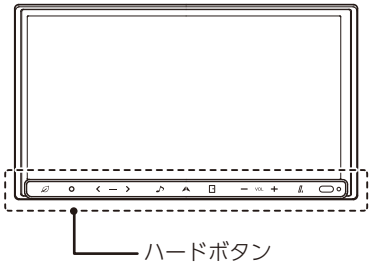
- よく使う用語や分かりにくい用語の意味を説明しています。
- 操作の前に注意していただきたいことや、知っておいていただきたいことを説明しています。
- 本機を使いこなすための補足事項を説明しています。

警告・注意
安全のために必ず守っていただきたいことや、お車や本体のために気を付けていただきたいことを説明しています。

ハードボタンについて

本体に付いているハードボタンを操作するときは、本書では以下のように表記しています。

例：



タッチキーについて

本機は、画面を指先で触れるだけで操作ができるタッチパネル形式を採用しています。
画面上のキーをタッチして操作をするときは、本書では以下のように表記しています。

例：電話



安全にお使いいただくために

必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みいただきたい注意事項などを説明しています。

絵表示について

本取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、さまざまな絵表示をしています。その表示と意味は次のとおりです。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この絵表示の記載事項を守らないと、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。
注意	この絵表示の記載事項を守らないと、人が障害を負ったり、物的損害が発生するおそれがあります。

■絵表示の例

絵表示の記号には、それぞれ意味があります。絵表示の意味をご理解いただき、安全に正しくお使いください。

	この記号は、注意（警告を含む）をしなければならない内容です。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。
	この記号は、禁止（やってはいけないこと）する内容です。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	この記号は、必ず行っていただきたい内容です。

安全上のご注意

- 安全のため、ご使用の前に下記のご注意を含めて本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本取扱説明書をお読みになったあとは、いつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

■使用上のご注意

警告

運転時の警告

走行中は運転者による操作をしない



運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。ナビゲーション機器は、安全のため、パーキングブレーキを引いた状態で停車させないと、一部の操作ができないようになっています。

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させる



本機は、安全のため、パーキングブレーキを引いた状態で停車させないと、一部の操作ができないようになっています。

走行中、運転者はナビゲーションの地図を見ない



走行中は音声案内を参考として、実際の交通規則に従ってください。

ナビゲーションによるルート誘導・音声案内時は、実際の交通規則に従って走行する



ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規則に反する場合があり、交通事故の原因となります。

走行中、運転者は本機の画像を注視しない



前方不注意となり、交通事故の原因となります。

本機の扱い上の警告

本機の分解、改造をしない

本機の機構は精密なため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解、回転部分への注油は、やめてください。
事故や火災、感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する

規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店に相談してください。

万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変なにおいがするなど異常が起こったら、ただちに使用を中止する

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。
必ずお買い求めの販売店に相談してください。

⚠ 注意

本機の取り付け・取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店に依頼する

専門技術と経験が必要です。

本機を車載用として以外は使用しない

けがや感電の原因となることがあります。

モニターの立ち上げ収納が、シフトレバー操作などの妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させて行う。

可動部などに手や指を挟まれないよう注意する

液晶パネル開閉時に手や指を入れると、けがの原因になることがありますので、差し込まないでください。

ディスク挿入口に異物を入れない

火災や感電の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

電源を切るときは、音量を最小にする

電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

お使いになる前に

ナビゲーションについて

お願い

- バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、車のエンジンをかけた状態で行ってください。
- 本機は高速CPUを搭載していますので、ケースが熱くなることがあります。使用中やエンジンを切った直後の取り扱いは、十分に注意してください。
- 接続コードの取り付け、取り外しをする場合は、エンジンを切ってください。エンジンをかけた状態で作業すると、故障や誤作動の原因となります。
- タッチパネルに保護シートなどを貼らないでください。反応が遅くなったり、誤作動の原因となることがあります。

お知らせ

- 購入後、はじめてお使いになるときや長時間お使いにならなかったときは、現在地を測位するまで5分～ 15分ぐらいかかることがあります。また、通常お使いになっている場合でも、測位状況により測位するまで2分～ 3分程度かかることがあります。
- GPS情報は、受信状態や時間帯、米国国防総省による故意の衛星精度の低下により測位誤差が大きくなることがあります。その他にもGPSアンテナの近くで携帯電話などの無線機器を使った場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなることがあります。
- 検索機能から表示される施設の位置は、あくまでもその施設の位置を表したものです。そのまま目的地を設定した場合、まれに施設の裏側や、高速道路上など、不適切な場所に誘導してしまう場合があります。予めご了承の上、目的地付近の経路をお確かめになるよう、お願いいたします。
- 提供されるVICS情報は、最新のものではない場合もあります。提供されるVICS情報は、あくまで参考情報としてご利用ください。
- ルート（経路）計算ができないときは、目的地を近くの主要な道路に移して計算してください。また、目的地までの距離などの条件によっても、計算できない場合があります。
- キーレスエントリーシステムが装着されている車では、キーをナビゲーション本体に近づけると、ナビゲーション本体が動作しなくなる場合がありますので、十分に注意してください。
- キーレスエントリーシステムが装着されている車では、キーをナビゲーション本体やBluetoothオーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合があります。キーから離してご使用ください。
- 本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。

オーディオ・ビジュアルについて

本機で使えるオーディオ・ビジュアルメディア

本機でお使いいただけるオーディオ・ビジュアルメディアは以下のとおりです。
本機へのセット方法は各メディア説明の参照先をご覧ください。

● DVDビデオ
市販されているDVDです。
本機へのセット方法は、**「ディスクやSDカードの出し入れ」（P.172）**をご覧ください。
本機でDVDビデオをお楽しみいただくには、**「DVDを観る」（P.203）**をご覧ください。

● DVD-VR
ご家庭で録画した映像を保存したDVDです。
本機へのセット方法は、**「ディスクやSDカードの出し入れ」（P.172）**をご覧ください。本機でDVD-VRをお楽しみいただくには、**「DVDを観る」（P.203）**をご覧ください。

● CD
市販されているCDです。
本機へのセット方法は、**「ディスクやSDカードの出し入れ」（P.172）**をご覧ください。
本機でCDをお楽しみいただくには、
「CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く」（P.217）をご覧ください。

● MP3/WMAディスク
MP3/WMA形式の音楽データをCD-R/RWやDVD-R/RWに保存したものです。
本機へのセット方法は、**「ディスクやSDカードの出し入れ」（P.172）**をご覧ください。本機でMP3/WMAディスクをお楽しみいただくには、**「CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く」（P.217）**をご覧ください。

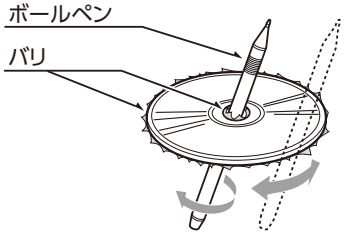
● SDカード
ミュージックキャッチャー機能を使って、本機からSDカードに音楽を録音できます。
また、パソコンからSDカードにMP3/WMA形式の音楽データを保存して本機で音楽を聴けます。
本機へのセット方法は、**「ディスクやSDカードの出し入れ」（P.172）**をご覧ください。
本機でSDカード内の音楽をお楽しみいただくには、
「ミュージックキャッチャーを使う」（P.225）、**「SDカード／USBメモリーの音楽を聴く」（P.237）**をご覧ください。

● USBメモリー

USBメモリーにMP3/WMA形式の音楽データを保存して音楽を聴けます。
本機でUSBメモリー内の音楽をお楽しみいただくには、**「SDカード／ USBメモリーの音楽を聴く」(P.237)**をご覧ください。

DVD/CD取り扱い上のご注意

- ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどで文字を記入しないでください。
- ディスクは、表面に傷や指紋をつけないように扱ってください。
- セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるディスクは使用しないでください。そのまま本機に挿入すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- 新しいディスクには、周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクを使用すると、動作しなかったり、音飛びの原因となります。バリのあるディスクは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



Memo

目次

25 操作の前に
26 各部の名称とはたらき
26 操作パネル
28 本体
30 操作パネルの使いかた
30 電源を入れる
30 操作パネルを開閉する
30 操作パネルの角度を調整する
31 画面の表示を消す
31 時計の表示を設定する
32 文字パネルの操作
32 文字の種類を切り替える
32 文字を入力する
33 文字を変換する
33 範囲を変えて変換する
33 文字を消去する
34 文字を挿入する
34 予測候補を表示する
35 リストの操作
35 リストをスクロールする
35 インデックスを使って選ぶ
36 リストの選択／解除をする
36 全選択をする
36 項目を絞り込む
39 関連する地図を表示する
39 数値を増減する
39 リストを並べ替える
40 自宅を登録しましょう
40 自宅情報を編集する
41 自宅の位置を修正する
41 自宅を消去する

43 地図画面の見かた
44 現在地の地図画面を表示する
45 現在地の地図画面
46 AVコントロールバーを表示する
46 マルチインフォメーションキーの使いかた
47 現在地メニューを表示する
48 地図を拡大／縮小する
49 地図尺度について
50 地図の向きを変える
51 地図をスクロールする
51 平面地図のスクロール
51 立体地図のスクロール
52 スクロール位置を微調整する
53 地図の表示方法を変える
54 地図を1画面で表示する
54 画面を左右に分割して表示する
54 地図を立体的に表示する
55 立体地図の角度を調整する
55 交差点リストモードで表示する(一般道路)
56 交差点リストモードで表示する(高速道路)
57 ピクチャービューモードで表示する
58 エコロジー地図モードで表示する
59 一方通行を表示する
60 地図画面の設定をする

61 目的地を探す
62 目的地検索画面を表示する
63 よく使う探しかた
63 地図で探す
63 施設の名称で探す
64 住所で探す
64 地名で探す
65 電話番号で探す
65 施設のジャンルから探す
66 ジャンル名を入力して探す
66 登録した地点から探す(登録リスト)
66 自宅に戻る
67 現在地周辺から探す
67 施設のジャンルから探す
67 よく使うジャンルから探す(お好みアイコンリスト)
68 近くの駐車場を探す
68 検索アイコンを消去する
69 目的地周辺から探す
69 施設のジャンルから探す
69 目的地周辺の駐車場を探す
70 ルート沿いの施設を探す
70 検索アイコンを消去する
71 ハイウェイの施設を探す
71 ハイウェイ上の施設名から探す
71 道路名で探す
72 ハイウェイの最寄りの入り口を探す
72 ハイウェイの出口を探す
73 TV・雑誌の情報から探す
73 TV番組・雑誌の名前で探す
73 ジャンルから探す
74 現在地・目的地周辺から探す
75 インターネットを利用して探す
75 日本全国・現在地・目的地周辺から探す
76 場所を指定して探す
76 表示画面の見かた
77 こんな探しかたもあります
77 これまでに設定した目的地から探す
77 地図表示位置周辺から探す
78 地図表示位置周辺の駐車場を探す
78 マップコードで探す
79 郵便番号で探す
79 緯度・経度で探す
79 SDカード内の登録地から探す
80 ピクチャービューから探す
80 登録ルートから探す
81 設定した目的地を解除する
82 目的地を設定したら…
83 目的地検索結果の画面表示について
83 施設情報について

85 地点・ルートを登録する
86 登録地・登録ルート編集画面を表示する
87 よく行く地点を登録する
87 登録リストに登録する
87 登録リストを並べ替える
88 地点のデータを編集する
88 地点の位置を修正する
89 リストから地点を削除する
90 よく行くルートを登録する
90 登録ルートに登録する
90 登録ルートを編集する
91 リストからルートを削除する

92 よく使うジャンルを登録する（お好みアイコンリスト）

93 ルートの設定

94 検索した地点を確認・設定する
94 現在の条件でルートを設定する
94 ルートの確認や設定をする
95 検索した地点の位置を修正する
95 検索した地点をルート上に追加する
95 検索した地点を本機に登録する
96 検索した地点周辺の駐車場を探す
96 検索した地点の情報を確認する
97 走行するルートを設定する
97 現在の条件でルートを設定する
97 異なる条件のルートから選択する
99 ルートの確認・登録をする
99 行き先を追加する
100 有料道路の出入り口を選択する
101 設定済みのルートを再探索する
102 設定した条件で再探索する
102 優先路を変更して再探索する
102 迂回ルートを再探索する
103 オンラインで交通情報を受信する
104 目的地・経由地を編集する
104 経由地設定時のご注意
105 経由地を追加する
105 目的地・経由地の位置を修正する
106 目的地・経由地の順番を並べ替える
106 目的地・経由地を削除する
106 区間ごとに優先路を設定する
107 有料道路の出入り口を変更する
108 設定したルートを確認する
108 ルート上の情報を見る
108 ルートをシミュレーション走行する
109 ルートを登録する
109 ルート上の地図をスクロールする
109 ルート案内の音量を確認・設定する
109 ルート案内時の音声出力を切り替える
110 ルート案内を中止する
110 ルート案内を中止する
110 目的地を解除する
111 オートリルートについて

113 ルートの案内

114 ルート案内中の地図画面
115 ルート案内中の案内表示
115 交差点手前で出る案内表示
116 高速道路での案内表示
117 細街路での表示
118 ルート案内中の音声案内
118 運転中の音声案内例
118 進行方向の案内について

119 情報を利用する

120 情報メニュー画面を表示する
121 FM VICS情報を利用する
121 FM VICS情報とは
122 VICS情報画面の見かた
123 FM VICS情報の更新に伴う表示変更
124 FM VICS情報を見る
125 ビーコンVICS情報を利用する
125 ビーコン情報受信時のご注意
126 ビーコンVICS情報を見る
127 ラジオの交通情報を受信する
128 GPSから現在地の情報を取得する
129 本機の情報を見る
130 メンテナンス情報を利用する
130 お知らせ設定をする
131 お知らせメッセージを確認する
131 販売店情報を登録する
132 ETC情報を見る
132 ETC情報とは
132 ETC情報の画面表示
132 予告案内／警告表示／料金案内
133 最新の利用履歴を読み上げる
133 ETC情報の履歴を見る
133 ETCのセットアップ情報を表示する
133 ETC料金を割り勘にする
134 ETCの設定をする
135 チズルとススムを利用する
135 お気に入り地点を本機に登録する
136 お気に入りコースを本機に登録する
137 MYツアーデータを本機に取り込む
137 登録地を送信／書き出しをする
138 走行軌跡を送信／書き出しをする

139 通信（Bluetooth）を利用する

140 通信を利用してできること
141 Bluetooth機器を登録する
143 Bluetooth（ブルートゥース）とは
144 携帯電話を登録する（ペアリング）
145 接続する携帯電話を切り替える
145 登録した携帯電話を削除する
146 携帯電話を利用する
146 通話中の画面
147 番号を入力して電話をかける
147 発着信履歴からかける
148 発着信履歴を消去する
148 電話帳を登録する
149 電話帳から電話をかける
150 電話帳のデータを消去する
150 施設情報から電話をかける
150 短縮ダイヤルを登録する
151 短縮ダイヤルから電話をかける
151 短縮ダイヤルの編集をする
152 短縮ダイヤルを消去する
152 電話を受ける
152 電話の設定をする
154 携帯電話から交通情報を受信する（オンライン）
154 電話の接続方法を設定する
155 交通情報をオンラインで受信する
157 交通情報のダウンロード設定をする

目次

159 チズルとススムセンターと通信連携をする
159 インターネット連携の認証をする
160 パケット通信量を表示する

161 エコロジー機能を利用する

162 エコロジー機能を使用する前に
162 エコロジー機能の楽しみかた
163 エコロジー画面を表示する
164 エコロジー機能画面の見かた
165 エコロジードライブの状況を確認する
165 エコロジーチェックをする
165 トータルチェックをする
165 エコロジー度を確認する
166 運転時間を確認する
166 加速／減速時間を確認する
167 急加速／急ブレーキ状況を確認する
168 エコロジーデータを送信する
168 オンライン経由で送信する
168 SDカード経由で送信する
169 エコロジー機能の設定をする
169 車両を設定する
169 地図上のキャラクター表示を設定する

171 オーディオ・ビジュアルを使うには

172 ディスクやSDカードの出し入れ
173 DVDやCD
174 SDカード
175 基本的な使いかた
175 オーディオを切り替える
175 音量を調整する
176 表示画面を切り替える
177 オーディオをON／OFFする

179 ラジオを聴く

180 選局する
180 AM/FMを切り替える
180 自動で放送局を選ぶ
180 手動で放送局を選ぶ
181 リストから選局する
182 放送局リストを利用する
182 プリセットチャンネルとは
182 受信バンドを活用する
183 リストに自動で登録する（オートストア）
183 リストに手動で登録する
184 ラジオの設定をする
184 受信地域を選択する
184 FM多重放送を表示する

185 テレビを観る

186 地上デジタル放送とは
186 12セグとワンセグについて
186 マルチチャンネル放送について
186 テレビ放送の受信について
187 テレビを観る前に
187 B-CASカードについて
187 B-CASカードを台紙からはがす
188 B-CASカードのセット
189 はじめて使うときは
191 選局する
191 テレビ画面から選局する
191 自動で選局する
191 受信可能な中継局／系列局を探す
192 番組表（EPG）から選局する
192 チャンネル番号を入力して選局する
193 放送局リストを利用する
193 プリセットチャンネルとは
193 受信バンドを活用する
193 リストに自動で登録する（オートストア）
194 リストに手動で登録する
194 メイン／サブチャンネルを選局する
195 便利な機能を利用する
195 番組内容を見る（12セグ放送のみ）
195 データ放送を利用する（12セグ放送のみ）
196 緊急放送を観る
196 自動表示メッセージについて
197 地上デジタル放送の設定をする
197 ワンセグ／12セグの切り替え設定をする
198 音声言語を切り替える
198 二重音声を切り替える
198 字幕表示を切り替える
199 放送局を自動で切り替える
199 系列局／中継局を自動で探す
199 優先エリアを切り替える
200 放送メールを表示する
200 B-CASカード情報を確認する
201 設定情報を初期化する
201 映像／音声のズレを補正する
202 画質を調整する

203 DVDを観る

204 本機で使えるDVD
204 再生できるディスク
204 再生できないディスク
205 DVDを再生する
206 市販のDVD（DVDビデオ）の再生
206 ご家庭で録画したDVD（DVD-VR）の再生
206 再生を停止する
206 一時停止する
206 前／次のチャプターを再生する
207 早送り／早戻しする
207 スロー再生する
207 リピート再生をする
207 メニューから再生する（DVDビデオ）
208 タイトルリストから再生する（DVD-VR）
208 プレイリストから再生する（DVD-VR）
209 静止画の切り替えをする（DVD-VR）
209 タイトル・チャプター番号を入力して再生する（DVDビデオ）
210 便利な機能を利用する

210 字幕言語・音声言語・アングルを切り替える（DVDビデオ）
210 字幕表示・音声を切り替える（DVD-VR）
211 画面サイズを切り替える
212 画質を調整する
213 DVDビデオの設定を変更する
213 モニターサイズを設定する
213 優先する言語を設定する
214 パレンタルレベルとパスワードを設定する
215 カントリーコードを設定する
216 状態表示を設定する

217 CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
218 本機で使えるCD
218 再生できるディスク
218 再生できないディスク
219 本機で使えるMP3・WMAディスク
220 MP3・WMAの記録メディアについて
220 ディスクのフォルダ構成
220 本機でMP3/WMAを再生するためのご注意
221 ディスクを再生する
222 CDを再生する
222 MP3・WMAのディスクを再生する
222 早送り／早戻しする
222 前／次のトラックを再生する
222 前／次のフォルダを再生する
223 リピート・ランダム・スキャン再生をする
224 タイトルリストから再生する

225 ミュージックキャッチャーを使う
226 ミュージックキャッチャーに録音する
226 録音する前にお読みください
226 録音についてのご注意
227 録音する
228 ミュージックキャッチャーについて
228 タイトル表示について
229 ミュージックキャッチャーを聴く
229 再生する
229 早送り／早戻しする
229 前／次のトラックを再生する
229 前／次のアルバムを再生する
230 リピート・ランダム・スキャン再生をする
230 リストから再生する
231 アーティスト名から再生する
231 条件から複数のアルバムを選んで再生する
232 録音設定を変更する
232 自動録音に切り替える
232 自動で録音する
233 アルバム・トラック情報を編集する
233 アルバム名、アーティスト名を編集する
233 アルバムを削除する
233 アルバムの再生順序を並べ替える
233 トラック名を編集する
234 トラックを削除する
234 アルバム情報の取り込み／書き出し
235 録音した音楽データについて

237 SDカード／USBメモリーの音楽を聴く
238 SDカード／USBメモリーのオーディオを再生するには
238 本機で使えるSDカード／USBメモリー
238 SDカード／USBメモリーのフォルダ構成
238 本機でMP3/WMAを再生するためのご注意
239 オーディオを再生する
240 SDカードを再生する
240 USBメモリーを再生する
240 早送り／早戻しする
240 前／次のトラックを再生する

241 iPodを聴く／iPodビデオを観る
242 接続できるiPod
244 iPodを再生する
245 iPodを聴く
245 iPodビデオを観る
245 早送り／早戻しする
245 前／次のトラック・チャプターを再生する
246 リピート・シャッフル再生をする
246 タイトルリストから再生する（オーディオ）
247 条件を指定して再生する（オーディオ）
247 条件を指定して再生する（ビデオ）
248 画質を調整する（ビデオ）
249 iPodの設定をする
249 iPodの接続方法を切り替える

251 Bluetoothオーディオを聴く
252 Bluetoothオーディオを聴くには
253 Bluetoothオーディオを再生する
253 再生する
253 早送り／早戻しする
254 前／次のトラックを再生する
254 シャッフル再生をする
254 リピート再生をする

255 各種設定
256 設定メニュー画面を表示する
257 ナビゲーションの設定をする
258 地図上のアイコンの設定をする
259 走行軌跡の設定をする
260 ルートガイドの設定をする
262 交差点ガイドの設定をする
262 バラエティボイスの設定をする
263 到着予想速度を設定する

264 交通情報・VICS情報の設定をする
266 ルート探索条件の設定をする
267 オンライン探索のダウンロード条件を設定する
268 その他の探索条件を設定する
269 その他のナビゲーション設定をする
270 現在地を修正する
271 その他の設定をする
272 初期設定をする
273 自動で車両を設定する
273 手動で車両を設定する
274 アンテナの種類を設定する
275 盗難防止設定をする
276 盗難防止用に暗証番号を設定する
276 暗証番号を忘れてしまったら…
277 出荷状態に戻す
278 OPTIONボタンの操作方法
278 OPTIONボタンに機能を割り付ける
278 OPTIONボタンを操作する
279 オーディオの音質を設定する
280 音質効果メモリーを選んで設定する
280 お好みの音質効果を設定する
281 Dolby Volumeを調整する
282 フィルター調整をする
283 画面の設定をする
283 昼画面と夜画面を切り替える
283 ナビゲーション画面の画質を調整する
283 スクリーンの設定をする
284 目的地メニュー画面をカスタマイズする
284 オープニング画面の設定をする
285 音量を調整する

287 便利な機能（アクセサリー）を使う

288 接続したビデオを観る（別売）
288 VTR機器を接続する
288 VTR画面のサイズを切り替える
289 VTRの画質を調整する
290 VTR機器の接続方法を切り替える
291 リア席モニターを使う（別売）
291 リア席モニターに表示できる映像
292 バックカメラを使う（別売）
292 バックカメラの映像について
292 バックカメラの映像を表示する
293 バックカメラの画質を調整する
294 擬似バンパーライン表示を切り替える
294 ガイドラインを表示する
294 ガイドラインを調整する
296 オプションカメラを使う（別売）
296 オプションカメラの映像を表示する
296 オプションカメラの画質を調整する
298 SDカードのデータを編集する
299 利用可能なSDカード
299 SDカードに関するご注意
299 ナビマスター SDについて
299 オープニング画面の取り込み
300 登録地点の取り込み／書き出し／編集
301 スクリーンデータの取り込み
302 ボイスデータの取り込み
302 MYツアーの取り込み
303 TV・雑誌情報の取り込み

305 困ったときに…

306 自車位置がずれていたら
306 自車位置のずれを修正するには
306 3Dセンサーによる上下道路判定について
307 自車位置の精度について
310 故障かなと思ったら
310 ナビゲーション関連
312 オーディオ関連
316 電話
317 インターネット連携
318 バックカメラ
318 オプションカメラ
319 その他

321 付録

322 収録データベースについて
324 株式会社ゼンリンからお客様へのお願い
325 市街地図収録エリア一覧
330 VICSシステムの問い合わせ先
331 VICS情報有料放送サービス契約約款
332 MP3ファイルについて
333 WMAファイルについて
334 カントリーコード一覧
335 お手入れ
335 ディスクのお手入れ
335 本体のお手入れ
335 TVアンテナのお手入れ
336 保証書とアフターサービス
337 仕様
338 構成内容
339 商標について
340 Gracenote® Music Recognition Service℠について
342 暗証番号照会申込書
343 製品を廃棄・譲渡・転売するときは
343 ナビゲーション内のデータ消去について
343 データを消去（初期化）する
344 索引

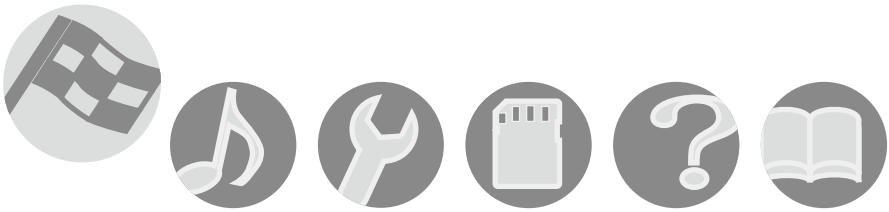
目次

Memo

操作の前に

本機をご利用になる前に、知っておいていただきたいことを説明しています。

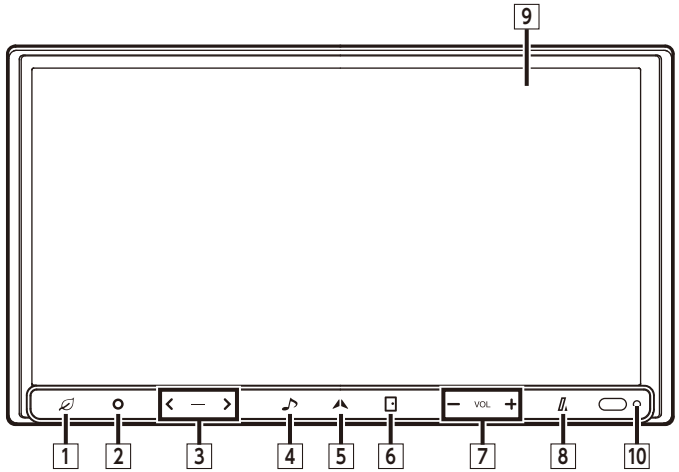
26 各部の名称とはたらき
30 操作パネルの使いかた
32 文字パネルの操作
35 リストの操作
40 自宅を登録しましょう



各部の名称とはたらき

操作パネル

本機の操作パネルのボタン名称やはたらきについて説明しています。



本書では、操作パネルの各ボタンを以下のようなイラストで説明しています。

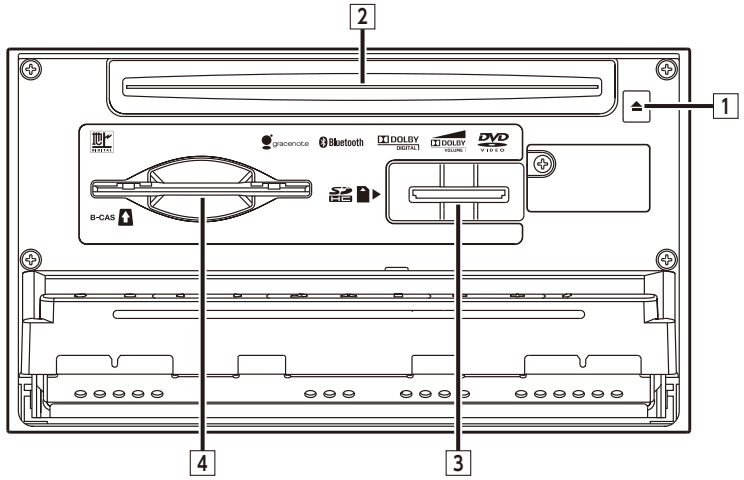
番号	イラスト	操作の説明
1		エコロジー機能のメニュー画面を表示します。(P.163) 長く押し続けると、時計を表示したり画面を消すメニューを表示します。(P.31)
2		このボタンにお好みの機能を割り当て、すぐに呼び出すことができます。(P.278) オプションカメラ接続時は、カメラの表示を呼び出します。(P.296)
3		オーディオ・ビジュアル機能で、プリセットチャンネルやトラック／チャプターを選択できます。長く押し続けることで、早送り、早戻しができます。
4		オーディオのソース選択メニューを表示します。(P.175)
5		現在地の地図画面を表示します。(P.44) 長く押し続けると、音声ガイドをリピートすることができます。
6		この画面から「目的地」「ルート」「コミュニティ /情報」「設定」の各メニューを表示します。
7		オーディオ・ビジュアル機能の音量を調整します。(P.175)
8		モニターを開閉したり、モニターの角度を調整します。(P.30)
9	—	モニター兼タッチパネルです。画面が表示され、画面をタッチすることでタッチパネルとして機能します。(P.32)
10	—	盗難防止ランプです。盗難防止設定を「ON」に設定している場合にランプを点滅させて、盗難を抑止します。(P.275)

MEMO

・画面の中に小さな黒点、輝点が現れる場合がありますが、これは液晶モニター特有の現象で、故障ではありません。

本体

本体のボタンやメディア挿入口について説明しています。本機の操作パネルを開くと確認できます。



番号	名称	機能の説明
1	イジェクトボタン	ディスクを取り出すことができます。ディスク挿入時は ⏏ が点灯します。**(P.173)**
2	ディスク挿入口	DVDビデオ、DVD-VR、CD、MP3・WMAディスクを挿入する場所です。**(P.173)**
3	SDカード挿入口	SDカードを挿入する場所です。**(P.174)**
4	B-CASカード挿入口	B-CASカードを挿入する場所です。**(P.188)**

⚠ 注意

- **DVD/CDプレーヤー部**
  - 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機をお使いになると、ディスクや光学部品が結露し、正常に動作しないことがあります。ディスクが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。光学部品が結露しているときは、1時間ほど放置しておくと結露が取り除かれます。
  - ディスクをイジェクトした状態のままで走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

付属のSDカードについてのご注意

お取り扱いに関するご注意

- 静電放電（ESD）は、電子部品に損害を与える可能性があります。SDカードを取り扱う前には、床に置いた金属物に触れて、静電気を放出してください。
- 濡れた手でSDカードを使用しないでください。感電、故障の原因となります。
- SDカードのゴールドフィンガー（ピン部）に触れないようにしてください。
- SDカードを熱、直射日光、湿気から遠ざけてください。
- SDカードを折り曲げたり、落としたりしないでください。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤で、SDカードを拭かないでください。
- データ紛失や損傷を防ぐために、転送中および使用中には決して、SDカードを本機から抜かないでください。
- SDカードを本機で使用する際は、必ず本書、パソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。
- ロックスイッチがLOCK状態になっているとデータは書き込めません。解除した状態でご利用ください。

保証に関するご注意

- 保証を受ける際は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 記録データの消失に関しては保証いたしておりません。
- 保証の際には、SDカードを回収させていただき、交換対応いたします。
- SDカード交換の際には、格納されていたデータはすべて消去されます。
- 次のような場合は、保証期間内でも保証は適用されません。
  - ・お取り扱い上の不注意（取扱説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水濡れなど）
  - ・不当な修理や改造・分解による故障および損傷
  - ・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障および損傷
  - ・ご使用後のキズ、変色、汚れおよび保管上の不備による損傷

操作パネルの使いかた

電源を入れる

イグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、電源がONになります。

1 エンジンをかける

本機に電源が入ります。
オープニング画面が表示された後、現在地地図画面が表示されます。

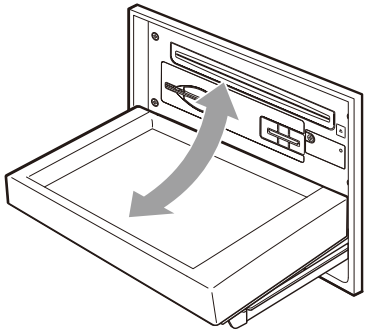
MEMO

- 次回、本機を起動したときは電源を切る前に使用していた画面からはじまります。
- イグニッションキーを「ACC」から「OFF」にすると、本機の電源が切れます。
- 盗難防止機能を設定すると、暗証番号入力画面が表示される場合があります。**(P.276)**

操作パネルを開閉する

1 (操作パネルボタン)

操作パネルが開きます。



操作パネルを閉じるには、もう一度 (操作パネルボタン) を押します。
しばらく開けた状態にしていると、操作パネルは自動的に閉じます。

MEMO

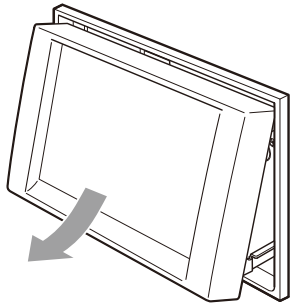
- 操作パネルが開いた状態では、タッチパネルは操作できません。

操作パネルの角度を調整する

操作パネルを見やすい角度に調整できます。調整できる角度は0 ～ 30°（5°刻みの6段階）の範囲です。

1 (操作パネルボタン)**（長押し）**

「ピピッ」と音がした後に (操作パネルボタン) から指を離すと操作パネルが1段階開きます。
操作パネルは5°刻みの6段階の角度で調整できます。



MEMO

- 最大の角度（30°）まで開いている状態で (操作パネルボタン) を長押しすると、0°の状態に戻ります。また、操作パネルが開いているときに (操作パネルボタン) の長押しを行い、「ピピッ」と音がしてから指を離すと0°の状態に戻ります。

画面の表示を消す

画面を非表示にします。

1 (画面消しボタン)**（長押し）**
2 画面消し

MEMO

- この画面で 時計画面表示 をタッチすると、画面に時計が表示されます。
- 再度画面を表示させるには、以下のいずれかの操作を行います。
  - 画面をタッチする
  - (画面消しボタン)、(ナビボタン)、(ディスクボタン)、(オーディオボタン)、(操作パネルボタン) のいずれかを押す
- 画面が消えた状態、または時計が表示された状態でエンジンを切っても、次にエンジンをかけたときには通常地図画面が表示されます。

時計画面表示



時計の表示を設定する

画面に表示される時計は、GPSを受信すると自動で表示されます。
時計の表示はお好みで設定することができます。

1 (操作パネルボタン)
2 設定
3 その他設定
4 時計
5 各キーで時計表示を設定



常時表示：
各画面で時計を常に表示させるかどうかを設定します。タッチするたびに、ON/OFFが切り替わります。

24時間表示：
時刻の表示形式を24時間表示／12時間表示で切り替えます。ONに設定すると24時間表示になります。タッチするたびに、ON/OFFが切り替わります。

オフセット調整：
1分単位で時刻を調整できます。調整できる範囲は、−59分～+59分です。

文字パネルの操作

MEMO
- 走行中は、文字パネルの操作を行えません。

文字の種類を切り替える

文字を入力する前に、ひらがな・漢字、カナ、アルファベットといった文字の種類を切り替えます。

MEMO
- ミュージックキャッチャーのアルバム名編集など、編集時のみの機能です。

1 **入力したい文字の種類を選択**



キーの表示が切り替わります。
文字の種類は以下の順で切り替えることができます。
ひらがな→カタカナ（全角／半角）→英数（大文字／小文字／全角／半角）→記号（全角／半角）→ひらがな

文字を入力する

MEMO
- 画面に表示されるキーは、使う機能により異なります。

1 **画面上の文字を選択**

2 **続けて画面上の文字を選択 ▶**

確定



MEMO
- ひらがな、カタカナキーでは、文字入力後 小文字 をタッチすると、小さい文字を入力できます。
  例：「っ」「ょ」「ィ」など

文字を変換する

MEMO
- 施設名称検索などは、文字の変換は必要ありません。

1 **文字を入力**

2 変換

変換候補が表示されます。



3 **変換対象を選択**

MEMO
- 変換候補が多い場合は、前へ、次へ をタッチして変換対象を探してください。

範囲を変えて変換する

入力した文字列の範囲を変えて変換することができます。

1 **文字を入力**

2 変換

変換候補が表示されます。

3 **［変換エリアの選択］の ◀、▶**



変換する範囲が変更され、該当する変換候補が表示されます。



4 **変換対象を選択**

文字を消去する

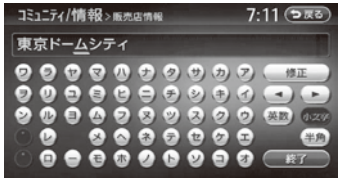
1 ◀、▶

消したい文字にカーソルを移動します。

2 修正



文字が1字消えます。



MEMO
- 修正 をタッチし続けると、文字をすべて消すことができます。
- カーソルが文字の間にあるときに 修正 をタッチし続けると、カーソルがある位置の文字とその右側の文字をすべて消すことができます。

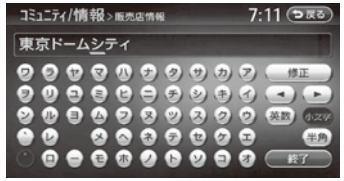
文字を挿入する

1 ◀、▶

挿入したい位置の右にある文字にカーソルを移動します。



2 挿入する文字を入力



文字が挿入されます。

予測候補を表示する

入力した文字で始まる語句の予測候補をリスト表示させます。予測候補から文字を選ぶことで、変換を含む入力をすばやく行えます。

1 文字を入力

2 予測候補



3 目的の項目を選択



タッチした候補が文字入力欄に表示されます。



MEMO

- 表示される候補は、それまでに入力した語句や、県名・ブランド名などよく入力される語句、また有名施設の名称などです。
- 候補画面の施設名に MAP が表示されている場合があります。MAP をタッチすると、その施設の検索結果画面が表示されます。

リストの操作

リストから項目を選ぶために、さまざまな便利な方法があります。

MEMO

- 走行中は、リストの操作を行えません。

リストをスクロールする

リストの項目が多い場合、複数のページに表示されます。

リストを1つ移動するには

1 ▲ または ▼



リストのページを移動するには

1 ⏫ または ⏬



MEMO

- ⏫ または ⏬ をタッチし続けると、連続してページが移動します。リストの最後まで移動するとリストの先頭に戻ります。

インデックスを使って選ぶ

画面左部には、ひらがなのキーが表示されています。タッチしたキーやキーの行を先頭文字とする項目をリスト表示できます。ここでは、例として、リストから「と」で始まる項目を絞り込む方法を説明します。

1 た



「た」、「ち」、「つ」、「て」、「と」で始まる項目が表示されます。



2 リストから該当する項目を選択

このように「あ」、「か」、「さ」、「た」、「な」など50音の行頭キーが表示された場合は、行頭キーをタッチしてリストから該当する項目を探します。

MEMO

- インデックスがすべて表示されていない場合は、⏫ または ⏬ をタッチしてページを送ってください。

リストの選択／解除をする

リストの項目に以下の画面のようなON/OFFのランプがついているものは、項目をタッチするごとに、選択／解除が切り替わります。「ON」の状態が選択中を表します。



全選択をする

全て選択／解除 というキーが表示されている場合は、すべての項目を選択できます。

1 全て選択／解除

すべての項目が選択されます。

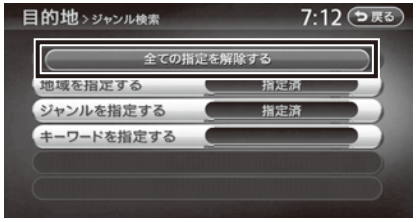
MEMO

- 再度 全て選択／解除 をタッチすると、すべての選択を解除できます。

項目を絞り込む

MEMO

- 複数の絞り込みを行うと、前の絞り込みで除かれた項目は表示されません。例えば地域とジャンルで絞り込みを行った場合、地域で絞り込んだ項目に「東京都」がない場合は、ジャンルで絞り込んだ項目の中に「東京都」は表示されません。
- すべての絞り込みを解除したいときは、絞込み指定の画面で 全ての指定を解除する、または検索結果リスト画面で 戻る をタッチしてください。





1 検索結果リスト画面で 候補を絞る



絞込み指定の画面が表示されます。

地域を指定する

リストの項目数が多い場合、地域を指定して項目を絞り込めます。

1 [地域を指定する]の 未指定

2 都道府県名を選択 ▶ 市区町村指定

MEMO

- すでに都道府県を指定している場合は、手順3に進みます。
- 5つまでの都道府県を選択できます。
- 市区町村名が不明の場合は、指定を完了 をタッチすると都道府県で項目が絞り込まれます。

3 市区町村名を選択 ▶ 指定を完了

項目が絞り込まれて表示されます。

MEMO

- 再度 候補を絞る をタッチして、地域を絞り込むこともできます。その際には、[地域を指定する]の 指定済 をタッチし絞り込みを実行してください。都道府県選択画面で 指定を解除 をタッチすると、絞り込みで指定した地域が解除され 未指定 に戻ります。

ジャンルを指定する

リストの項目数が多い場合、ジャンルを指定して項目を絞り込めます。

1 [ジャンルを指定する]の 未指定

2 ジャンルを選択

MEMO

- 指定を完了 をタッチすると、選択した分類内のすべてのジャンルが絞り込みの対象となります。
- 再度 候補を絞る をタッチして、ジャンルを絞り込むこともできます。その際には[ジャンルを指定する]の 指定済 をタッチし絞り込みを実行してください。ジャンル選択画面で 指定を解除 をタッチすると、絞り込みで指定したジャンルが解除され 未指定 に戻ります。

施設種別を指定する

ハイウェイの施設リストで、インターチェンジ入口、サービスエリアといった施設の種別を絞り込めます。

1 [施設種別を指定する]の 未指定

2 施設種別を選択 ▶ 指定を完了



項目が絞り込まれて表示されます。



MEMO

・再度 候補を絞る をタッチして、施設種別を絞り込むこともできます。その際には[施設種別を指定する]の 指定済 をタッチし絞り込みを実行してください。施設種別選択画面で 指定を解除 をタッチすると、絞り込みで指定した施設種別が解除され 未指定 に戻ります。

路線を指定する

ハイウェイの施設リストで、4号新宿線上り、5号池袋線下りといった路線を絞り込めます。

1 [路線を指定する]の 未指定

2 路線名を選択 ▶ 指定を完了



項目が絞り込まれて表示されます。



MEMO

・再度 候補を絞る をタッチして、路線を絞り込むこともできます。その際には[路線を指定する]の 指定済 をタッチし絞り込みを実行してください。路線選択画面で 指定を解除 をタッチすると、絞り込みで指定した路線が解除され 未指定 に戻ります。

キーワードを指定する

リストの項目数が多い場合、施設名に含まれる文字を指定して項目を絞り込めます。1文字でも絞り込めます。

1 [キーワードを指定する]のエリア

2 施設名に含まれる文字を選択 ▶ 終了

項目が絞り込まれて表示されます。

MEMO

・再度 候補を絞る をタッチして、キーワードで絞り込むこともできます。その際には[キーワードを指定する]の表示項目をタッチしてください。文字入力画面で 修正 を長押しすると、抽出に指定した文字を消せます。

近隣県を指定する

住所やハイウェイ施設から目的地を探すときに、近隣県 をタッチすると、現在地周辺の都道府県を指定して絞り込めます。

1 近隣県

MEMO

・地名を入力 をタッチすると、地名を入力して目的地・地点を探せます。
・MAP をタッチすると、選択した県の中心となる場所が地図で表示されます。

2 絞り込みたい県を選択

関連する地図を表示する

候補画面の施設名に MAP が表示されている場合があります。MAP をタッチすると、その施設の検索結果画面が表示されます。
都道府県リストで MAP をタッチすると、選択した県の中心となる場所の検索結果画面が表示されます。



数値を増減する

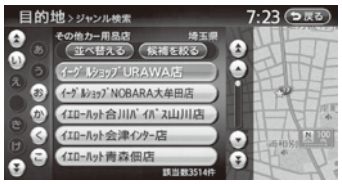
リストの項目に ＋、－ が表示されている場合は、数値や音量などを増減することができます。



リストを並べ替える

リストの項目数が多い場合、リストの項目を並べ替えて、選びやすくできます。

1 並べ替える



2 並べ替える方法を選択



リストの項目が選択した方法で並べ替えられます。

読み順：
50音順にリストが並べ替えられます。

近い順：
自車位置から目的地までの距離が近い順にリストが並べ替えられます。

登録順：
地点登録順にリストが並べ替えられます。

使用頻度順：
よく使う順にリストが並べ替えられます。

新着順：
メディアに紹介された年月日の新しい順にリストが並べ替えられます。(TV・雑誌情報検索のみ)

アイコン順：
登録地に設定されたアイコンごとにリストが並べ替えられます。

グループ指定：
指定したグループを先頭にしてリストが並べ替えられます。

路線順：
各路線の上り／下り方向の順にリストが並べ替えられます。(ハイウェイ検索のみ)

MEMO

・機能によっては、表示されないキーもあります。

自宅を登録しましょう

あらかじめ自宅を登録しておくと、お出かけ先から自宅へのルートを設定できます。
本機を購入されたら、まず自宅の登録を行うことをおすすめします。
ここでは、住所から自宅を登録する方法を説明しています。

MEMO
・走行中は、本操作を行えません。

1 ⊡
2 目的地
3 自宅へ戻る
4 はい
5 住所
6 **都道府県を選択**
7 **市区町村を選択**
8 **地域を選択**
9 **番地、号を選択**

MEMO
・番地を入力 をタッチすると、番地、号を入力できます。
・号がない住所の場合は、番地をタッチしてください。

10 決定



MEMO
・表示された場所が、実際の自宅の場所とずれている場合は、地図をスクロールして自宅地点を調整してください。(P.51)

11 戻る
自宅が登録され、目的地メニュー画面に戻ります。

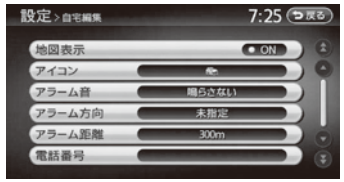
自宅情報を編集する

登録済みの自宅情報を編集します。

1 ⊡
2 設定
3 ナビゲーション
4 登録地の編集・消去
5 自宅
6 編集



7 **編集する項目を選択**



地図表示：
「ON」に設定すると、地図上の自宅位置に自宅アイコンを表示します。

アイコン：
自宅に割り当てるアイコンを設定します。

アラーム音：
自宅に接近したときに鳴らすアラーム音を設定します。

アラーム方向：
自宅に接近したときに、アラーム音を鳴らすための方向を設定します。方向を設定すると、設定した方向以外の向きで自宅に接近してもアラームは鳴りません。

アラーム距離：
自宅に接近したときにアラームを鳴らすための距離を設定します。

電話番号：
電話番号を編集します。

MEMO
・自宅が未登録の場合は、自宅 をタッチすると自宅検索画面が表示されます。

自宅の位置を修正する

地図をスクロールして自宅の位置を修正します。

1 ⊡
2 設定
3 ナビゲーション
4 登録地の編集・消去
5 自宅
6 位置を修正

7 **地図をスクロールして位置を調整**



微調整：
位置の微調整ができる画面に切り替わります。タッチキーが 解除 に変わり、解除 をタッチするともとの画面に戻ります。

8 決定
自宅位置が修正されます。

自宅を消去する

登録済みの自宅情報を消去します。

1 ⊡
2 設定
3 ナビゲーション
4 登録地の編集・消去
5 自宅
6 消去
7 はい
自宅情報が消去されます。

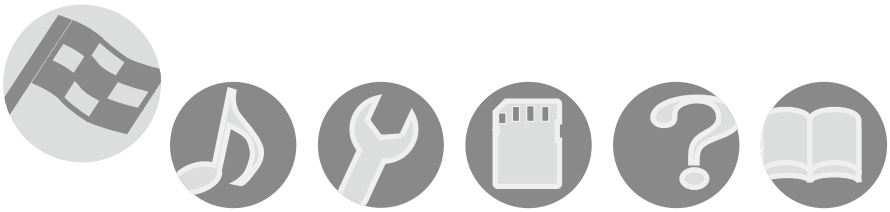
MEMO
・「登録地の編集・消去」画面で 登録の消去 ▶ 自宅の消去 をタッチしても、自宅を消去することができます。

Memo

地図画面の見かた

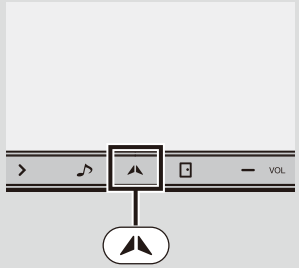
地図画面の表示内容や操作方法について説明しています。

44 現在地の地図画面を表示する
45 現在地の地図画面
48 地図を拡大／縮小する
50 地図の向きを変える
51 地図をスクロールする
53 地図の表示方法を変える
60 地図画面の設定をする

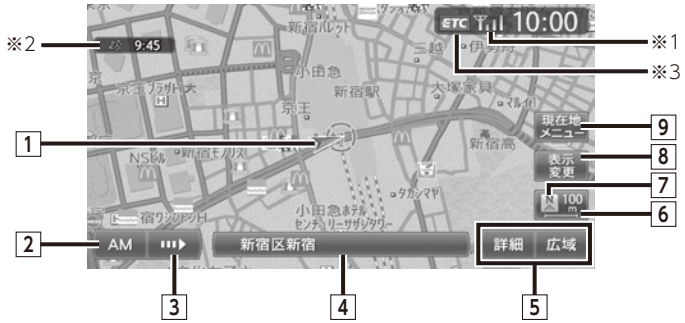


現在地の地図画面を表示する

現在地地図画面は、以下のボタンを押して表示させます。



現在地の地図画面



1 **自車位置マーク**
現在の車の位置を示しています。
マークの種類は変えることができます。**(P.60)**

2 **AV操作キー**
タッチすると、視聴しているAV（オーディオ・ビジュアル）のメインメニュー画面が表示されます。**(P.176)**

3 **AVコントロールバー表示キー**
タッチすると、AV（オーディオ・ビジュアル）コントロールバーが表示されます。**(P.46)**

4 **マルチインフォメーションキー**
自車周辺の情報が表示されます。お好みの機能を割り付け、キーの下段に情報を追加表示させることもできます。**(P.46)**

5 **詳細／広域キー**
タッチすると、地図を拡大／縮小することができます。**(P.48)**

6 **スケール表示**
現在表示している地図の縮尺が表示されます。

7 **方位マーク**
現在の地図の向きです。タッチするたびに地図の向きが切り替わります。**(P.50)**

8 **表示変更キー**
タッチすると、地図表示変更メニューが表示されます。地図の表示方法や、地図表示に関する設定を変更することができます。**(P.53)**

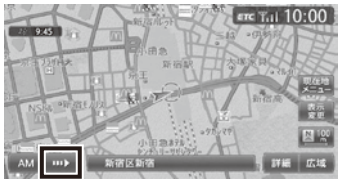
9 **現在地メニューキー**
タッチすると、現在地メニューが表示されます。**(P.47)**

※1 Bluetooth機器が接続状態のときに表示されます。
※2 別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時は、FM VICS情報またはビーコンVICS情報の提供時間が表示されます（未接続時は、FM VICS情報提供時間のみ表示されます）。
※3 別売のETCユニット接続時に表示されます。

AVコントロールバーを表示する

地図画面では、オーディオ・ビジュアル機能をすばやく呼び出せるAVコントロールバーを表示できます。表示内容は、使用中のオーディオ・ビジュアルの種類によって異なります。

1 AVコントロールバー表示キー



使用中のオーディオ・ビジュアルのコントロールバーが表示されます。

MEMO

- 再度AVコントロールバー表示キーをタッチすると、コントロールバーが消えます。コントロールバーの項目をタッチしないまま10秒が経過すると、コントロールバーが自動的に消えるように設定できます。**(P.269)**

マルチインフォメーションキーの使いかた

マルチインフォメーションキーの下段にお好みの機能を割り付け、情報を追加表示させることができます。
マルチインフォメーションキーはナビゲーション設定の「現在地名称プレートの常時非表示」で、表示／非表示を切り替えられます。情報の追加を行っていない状態では、信号機アイコン、現在地名称、通過交差点名称、レーン情報などの自車周辺情報のみが表示されます。

1 マルチインフォメーションキー

2 機能を選択



オーディオ情報：
再生中のトラック名、受信中の放送局名・番組名などの情報が表示されます。表示される情報は、ソースによって異なります。

マルチメーター情報：
以下の情報が表示されます。
Spd：走行速度
Avg：平均速度
Max：最高速度
Odo：走行距離
目的地を設定したり、ルートを取りやめると、表示された情報はリセットされます。

ハイウェイ出入口情報：
ルートが設定されているとき、ルート上にあるハイウェイの出入り口や料金所について、アイコン、名称、現在地からの距離、通過予想時刻などの情報が表示されます。

GPS&自車方位情報：
GPS測位状態、GPS捕捉数、自車進行方向などの情報が表示されます。
GPS測位状態には、以下の種類があります。
3次元測位：
4つ以上のGPS衛星から電波を受信し、現在地を三次元で測位しています。
2次元測位：
3つ以上のGPS衛星から電波を受信し、現在地を二次元で測位しています。
非測位：
GPS衛星から電波を受信できません。

追加表示しない：
機能は追加されません。自車周辺情報のみが表示されます。

情報を追加した場合



現在地メニューを表示する

現在地メニューを表示します。
現在地メニューでは、現在地を登録リストに登録したり、現在地や目的地周辺の検索などを行うことができます。

1 現在地メニュー



ここを登録：
現在地を登録リストに登録します。**(P.87)**

周辺施設を検索：
現在地周辺の施設を検索します。**(P.67)**

最寄IC入口を検索：
現在地周辺のハイウェイの入り口を検索します。**(P.72)**

検索アイコンの消去：
地図上の検索アイコン**(P.68、P.70)**を消去します。

渋滞情報取得：
Bluetooth対応携帯電話が接続済みの場合、渋滞情報をダウンロードします。**(P.155)**

周辺駐車場：
目的地周辺の駐車場を検索します。**(P.69)**

地図を拡大／縮小する

1画面地図表示および2画面地図表示の地図を、拡大または縮小して表示します。
10mスケールの詳細な市街地図から、256kmスケールの日本全国地図まで、14段階に拡大／縮小して表示されます。

MEMO

- 道路拡張などで道幅が変わった道路については、実際の道路が表示された地図と異なる場合があります。
- 一部地域では、市街地図の収録エリア内でも表示しない場合があります。

1 地図画面の 詳細 または 広域

地図が拡大／縮小されます。

通常地図50m画面



市街地図50m画面



スケールコントロールバー



画面下に表示されるスケールコントロールバーの尺度をタッチしても、同様に地図が拡大／縮小されます。
50m、100m、200m、500m、1km、2kmからスケールを選択することができます。3秒間操作がない場合、スケールコントロールバーは画面から消えます。

MEMO

- 市街地図の表示中に、車が市街地図の収録エリア外に出たときは、50mスケールの通常地図で表示されます。
- 市街地図の表示中、市街地図のエリア外に近づくと画面に「広域にしてください」と表示されます。このような場合は、広域 をタッチしてください。
- 2画面地図表示の左地図を拡大または縮小するには、左地図をタッチしてから操作を行ってください。
- 詳細 または 広域 を押し続けると、地図の大きさを細かく拡大／縮小できます。ただし、市街地図50mスケールと通常地図50mスケールの間、および10m表示（2Dのみ）／256km表示では、細かい調整表示はできません。

地図尺度について

本機で表示される地図の尺度は以下のとおりです。

市街地図エリアの地図尺度（14段階（2D）／13段階（3D））
市街地図：10m（2Dのみ）、25m、50m
通常地図：50m、100m、200m、500m、1km、2km、4km、10km、16km、64km、256km

市街地図がないエリアの地図尺度（11段階）
50m、100m、200m、500m、1km、2km、4km、10km、16km、64km、256km

地図の向きを変える

地図の向きを、進行方向上向き、または北方向上向きから選択できます。

MEMO

・地図画面の「表示変更」、設定メニューの「地図表示変更」からも同様の操作ができます。

1 地図画面の または

進行方向上向き



北方向上向き



タッチするごとに地図の表示方向が、進行方向上向き、北方向上向きの表示に切り替わります。

MEMO

・立体地図では、地図の向きを変えられません。

地図をスクロールする

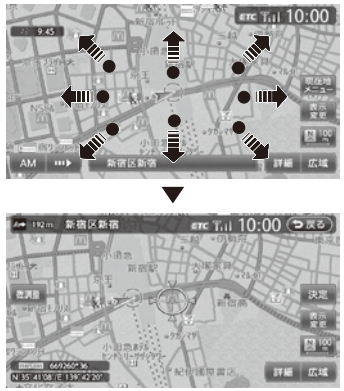
地図を好きな方向に動かせます。(スクロール)

MEMO

・市街地図表示で走行中のときは、スクロールはできません。
・画面を左右に分割して表示しているときの左画面は、スクロールできません。

平面地図のスクロール

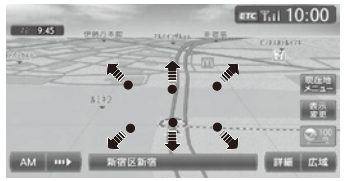
1 見たい方向の画面の端をタッチ



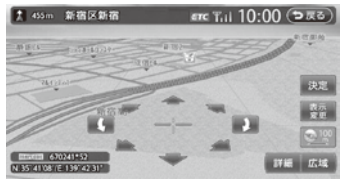
地図上を移動できます。

立体地図のスクロール

1 見たい方向の画面の端をタッチ



2 、



MEMO

・平面地図画面を短くタッチした場合は、その場所が中心となるようにスクロールします。
・地図画面を長くタッチし続けると、タッチした方向に地図がスクロールし続けます。
・決定 をタッチすると、スクロール先メニューが表示され目的地や登録地に設定できます。(P.63) スクロール先が登録地、目的地、経由地の場合は、スクロール先メニューから地点を消去することができます。また、Bluetooth対応携帯電話を接続している場合は、オンラインを利用してスクロール先周辺の交通情報をダウンロードすることができます。(P.155)
・スクロール中は画面にマップコード、緯度・経度が表示されます。
・平面地図で市街地図から通常地図へのスクロールはできません。 広域 をタッチして通常地図にしてからスクロールさせてください。
・画面左上には、スクロール先の地点名称、自車位置からの距離が表示されます。
・詳細 広域 をタッチし、地図のスケールを変えながらスクロールすると、遠く離れた場所に移動しやすくなります。
・現在地地図画面に戻るには、( ) を押すか、戻る をタッチします。

スクロール位置を微調整する

1 スクロール先で 微調整

微調整スクロール地図画面が表示されます。



見たい方向の画面の端をタッチすると、スクロール位置を微調整できます。 解除 をタッチすると、通常のスクロール地図画面に戻ります。

MEMO

- 微調整できるのは、平面地図画面のみです。
- 走行中は微調整できません。

地図の表示方法を変える

地図をいろいろな表示方法に設定できます。また、地図表示に関する設定を変更することができます。

MEMO

- 設定メニューの 地図表示変更 をタッチしても、同様の操作ができます。

1 地図画面の 表示変更



1画面／ 2画面：
地図を分割するかどうかを選択します。**(P.54)**

交差点リスト：
交差点リストモードに切り替わります **(P.55、P.56)**

ピクチャービュー：
ピクチャービューモードに切り替わります。**(P.57)**

＋エコロジー：
エコロジー地図モードに切り替わります。**(P.58)**

3D：
地図が立体的に表示されます。**(P.54)**

／ ：
地図の向きが切り替わります。**(P.50)** 立体地図を表示している場合は、平面地図に切り替わります。

上がる／下がる：
立体地図の角度を調整します。地図表示を「3D」に設定しているときに表示されます。**(P.55)**

一方通行表示：
一方通行情報が地図上に表示されます。**(P.59)**

施設アイコン表示：
地図上に表示する施設アイコンを選択します。設定メニューの「アイコンの表示」**(P.258)** からも同様の操作ができます。

VICS表示設定：
地図上に表示するVICS情報を選択します。設定メニューの「交通情報・VICSの設定」**(P.264)** からも同様の操作ができます。

その他設定：
地図表示に関するいろいろな設定を行います。**(P.60)**

地図を1画面で表示する

1 地図画面の 表示変更

2 1画面



画面を左右に分割して表示する

1 地図画面の 表示変更

2 2画面



MEMO

- 左画面を拡大または縮小するときは、左画面をタッチしてから操作します。その後、左画面の ✕ をタッチすると、もとの2画面表示に戻ります。
- 2画面の場合は、以下のように表示されます。
  - 地図のスケールと向きは左右別々に設定できます。**(P.48、P.50)**
  - 割り込み表示は、左地図に表示されます。
  - スクロール操作は右地図で行います。

地図を立体的に表示する

1 地図画面の 表示変更

2 3D



MEMO

- 2画面表示の場合、立体地図を表示できるのは、左地図か右地図のどちらか一方です。
- 立体地図では、視点の角度を調整できます。**(P.55)**
- 平面地図に戻すには、N または  をタッチします。

立体地図の角度を調整する

1 地図画面の 表示変更

2 3Dアングル調整

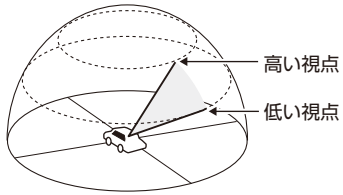
3 上がる または 下がる

上がる をタッチして視点を高くした場合



下がる をタッチして視点を低くした場合





交差点リストモードで表示する(一般道路)

目的地が設定されている場合、一般道路走行中に1 ～ 3つ先の交差点情報、目的地情報、経由地情報を表示させることができます。

MEMO

- (人) を押すと、交差点リストモード画面→拡大図→現在地画面→交差点リストモード画面の順で、画面を切り替えることができます。拡大図は表示可能な場合のみ切り替わります。
- 背景イラストはイメージ図です。実際に走行中の道路とは形状が異なります。

1 地図画面の 表示変更

2 交差点リスト



交差点リストが表示されます。

MEMO

- 都市高速道路の入口約300m手前では、都市高速道路入口イラストが割り込み表示されます。道路形状などの条件によっては表示されない場合もあります。
- 右地図のスケールや向きを変えたり **(P.48、P.50)**、平面や立体で表示できます。**(P.54)**

交差点リストモードで表示する（高速道路）

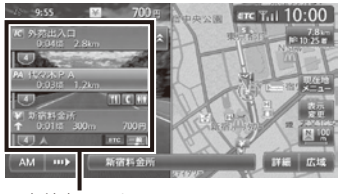
高速道路および一部の有料道路を走行中に、インターチェンジ、ジャンクション、SA/PA、ランプ、目的地までの合計料金といった情報を表示させることができます。

MEMO

- 以下の条件を満たしている場合は、自動的に交差点リストモードに切り替わります。
  - **「ハイウェイモードの自動表示」(P.60)**が「ON」に設定されている
  - 高速道路、都市高速道路、一部の有料道路を走行している
- 背景イラストはイメージ図です。実際に走行中の道路とは形状が異なります。
- 「ハイウェイモードの自動表示」を「ON」に設定しているときは、(人)を押すと、交差点リストモード画面→拡大図→現在地画面→交差点リストモード画面の順で、画面を切り替えることができます。拡大図は表示可能な場合のみ切り替わります。

1 地図画面の 表示変更

2 交差点リスト



交差点リスト

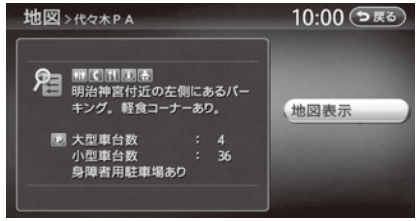
交差点リストが表示されます。

MEMO

- 渋滞状況が色で表示されます。（赤：渋滞、オレンジ：混雑、緑：順調）
- サービスエリアやパーキングエリアをタッチするとサービスエリア・パーキングエリア図が表示されます。
- 目的地を設定していない状態でインターチェンジやジャンクションをタッチすると、施設情報や分岐道路名称などが表示されます。
- 料金所には、料金が表示されます。料金所はタッチすることができません。
- 右地図のスケールや向きを変えたり**(P.48、P.50)**、平面や立体で表示できます。**(P.54)**
- VICSの規制アイコンは、最大5個まで表示されます。
- 高速道路の途中で目的地を設定した場合、料金表示、音声での料金案内は行いません。
- オートリルート**(P.261)**すると、交差点リストモードが一時的に解除される場合があります。
- 一部の有料道路や変則的な料金体系の高速道路の料金表示には対応していない場合があります。また、ETC割引などの変則的な料金体系には対応していません。このような場合には、料金が正しく表示されないことがあります。
- 道路の開通時期によっては、料金が表示されなかったり、実際とは異なる料金が表示されることがあります。このような場合には、実際の料金に従ってお支払いください。

サービスエリア・パーキングエリア図

サービスエリアやパーキングエリアの施設情報です。交差点リストでサービスエリアやパーキングエリアの名前をタッチすると表示されます。



地図を表示：
施設の地図を表示します。

電話をかける：
Bluetooth対応携帯電話が接続済みの場合、施設に電話をかけます。

MEMO

- サービスエリアやパーキングエリアなどから一般道路への出入りが可能なETC専用のインターチェンジを「スマートインターチェンジ（スマートIC）」と呼びます。
- スマートICをご利用の際は、以下をご注意ください。
  - ETCユニットを搭載していない車両は、スマートICを通行できません。
  - スマートICの中には、社会実験として実施されている箇所もあります。営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約があります。

ピクチャービューモードで表示する

自車付近のグルメスポット、観光スポットを写真で表示します。クラリオン株式会社Webサイト「チズルとススム」からMYツアーデータを取り込んでいる場合は、データ内のスポットも写真で表示することができます。**(P.137)**表示中の施設は、目的地や経由地として設定できます。
ピクチャービューモードは、1画面の平面地図で表示されます。

1 地図画面の 表示変更

2 ピクチャービュー ▶ 戻る

3 写真を選択



ここに行く：
施設へのルートが設定され、案内が開始されます。

ここをルートに追加：
施設を経由地として追加します。ルートが設定されている場合のみ表示されます。

ここを登録：
施設を登録リストに登録します。

詳細情報を見る：
施設の詳細情報を表示します。

位置を修正：
地図をスクロールして、表示している位置を修正することができます。

MEMO

- 走行中は、写真はアイコンで表示されます。
- 、をタッチすると、写真リストをスクロールできます。をタッチすると、写真リストの先頭に戻ります。
- 、、(本機にMYツアーデータを取り込んだ場合のみ)をタッチすると、表示される施設の種類を切り替えることができます。
- ルート沿い をタッチすると、ルート沿いの施設の写真を優先して表示します。ルートが設定されていない、あるいはルートを外れて走行している場合はタッチすることができません。
- 目的地や経由地に設定済みのスポットには、写真の右上に が表示されます。
- 地図表示を変更して、1画面、2画面、立体地図、交差点リストモード、エコロジー地図モードに切り替えると、ピクチャービューモードは解除されます。
- を押すと、ピクチャービューモードと通常地図画面の切り替えができます。
- をタッチすると、スクロール地図画面が表示されます。設定メニューの**「カーソル表示」(P.271)**がOFFのとき、は表示されません。

エコロジー地図モードで表示する

1 **地図画面の** 表示変更

2 +エコロジー



地図画面左側に、エコロジー指数を示すグラフが表示されます。

MEMO

- エコロジー指数に応じてキャラクターが変化します。エコロジー機能について詳しくは、**P.161**をご覧ください。
- を押すと、エコロジー地図モードと通常地図画面の切り替えができます。

一方通行を表示する

1 **地図画面の** 表示変更

2 一方通行表示



タッチするたびに、ON／OFFが切り替わります。

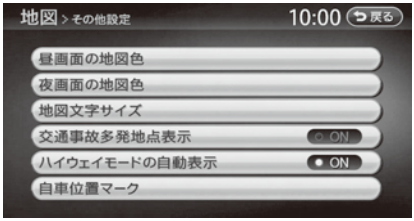
MEMO

- 一方通行情報は、市街地図および通常地図の50m以下のスケールで表示されます。
- 立体地図では表示されません。
- 細街路の一方通行情報は、細街路以外の道路を走行中は表示されません。

地図画面の設定をする

1 地図画面の 表示変更

2 その他設定



※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
昼画面／夜画面の地図色	昼画面、夜画面（車のスモールランプ点灯時）の表示色を選択する	昼画面：地図色1※～4 夜画面：地図色1 ～4※	—
地図文字サイズ	地図画面に表示させる文字の大きさを選択する	大／中※／小	—
交通事故多発地点表示	交通事故多発地点を地図上に表示するかどうかを選択する ・1km以下のスケールで表示されます。市街地図、立体地図では表示されません。	ON ／ OFF※	—
ハイウェイモードの自動表示	交差点リストモードの自動表示／非表示を切り替える	ON※／ OFF	P.56
自車位置マーク	地図画面に表示される自車位置（現在地）のマークを選択する	一番上のマーク※	—

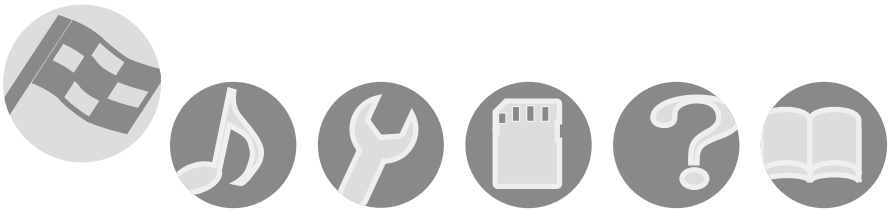
MEMO

・「ハイウェイモードの自動表示」を「ON」に設定して、高速道路および一部の有料道路を走行中に（人）を押すと、交差点リストモード画面→拡大図→現在地画面の順で、画面を切り替えることができます。

目的地を探す

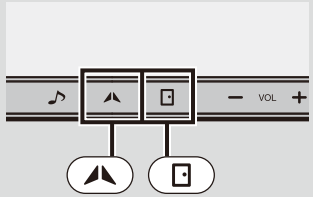
本機では、さまざまな方法で目的地を検索できます。

62 目的地検索画面を表示する
63 よく使う探しかた
67 現在地周辺から探す
69 目的地周辺から探す
71 ハイウェイの施設を探す
73 TV・雑誌の情報から探す
75 インターネットを利用して探す
77 こんな探しかたもあります
81 設定した目的地を解除する
82 目的地を設定したら…



目的地検索画面を表示する

目的地検索画面の操作では、操作パネルの以下のボタンを使用します。



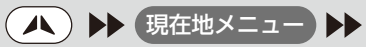
目的地メニュー画面では、本機に収録されているデータから、効率良く目的地を探し出すことができます。
また、現在地メニュー画面からも目的地を探すことができます。



目的地メニュー画面



※走行中は選択できる項目が限定されます。



現在地メニュー画面



※走行中は選択できる項目が限定されます。

MEMO

- 目的地や経由地を道路上に設定するときは、国道・主要地方道路・都道府県道路・主要一般道路・高速道路・有料道路に設定してください。
- 目的地メニュー画面は、表示項目を入れ替えることができます。(P.284)

よく使う探しかた

お願い

- 検索結果として表示される施設の位置は、あくまでもその施設の位置を示しています。そのため、そのまま目的地として設定すると、まれに施設の裏側や高速道路上など、車で行くのに適さない場所に誘導されることがあります。あらかじめご了承の上、目的地付近の経路をお確かめいただくよう、お願いいたします。

地図で探す

1 地図をスクロールさせて目的地を表示 (P.51)

2 決定



3 ここに行く



次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

施設の名称で探す

施設の名前が完全にわからなくても、名前の一部で探せます。

MEMO

- 施設の名前の一部からでも目的地を探せますが、省略した名前では探せない施設もあります。できるだけ正式名称で探すことをおすすめします。
- 施設名の一部として入力した文字数が少ないと、対象となる施設が膨大な数になるため、名前に対して完全一致した施設のみが表示されます。入力文字を増やすことで、部分一致する施設を探せるようになります。

1 ▶ 目的地
2 名称
3 施設の名称を入力 ▶ 候補を表示

入力した施設名の候補が5件以下になると、候補を表示 をタッチしなくても自動的に手順4に進みます。

4 施設を選択

目的地の検索結果画面が表示されます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

住所で探す

全国の住所データから、目的地を探せます。

MEMO
- 住所データの整備状態により、一部探せない住所があります。
- 数字以外の文字を含む番地や号は、検索できない場合があります。

1 ⊡ ▶ 目的地
2 住所
3 **目的の都道府県を選択**
4 **市区町村を選択**
5 **地域名を選択**
6 **番地、号を選択**
目的地の検索結果画面が表示されます。

MEMO
- 番地を入力 をタッチすると、番地、号を入力できます。
- 号がない住所の場合は、番地をタッチすると目的地と地点メニューが表示されます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

地名で探す

都道府県名や市町村名がわからなくても、地名から位置を検索できます。

1 ⊡ ▶ 目的地
2 住所
3 地名を入力
4 **地名を入力** ▶ 決定
地名の途中までででも検索できます。
5 **目的の地名を選択**
6 **番地、号を選択**
目的地の検索結果画面が表示されます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

電話番号で探す

1 ⊡ ▶ 目的地
2 電話
3 **電話番号を市外局番から入力** ▶ 決定
目的地の検索結果画面が表示されます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

個人宅を検索する場合

入力した電話番号が個人宅の場合、プライバシー保護のため、名字入力画面が表示されます。名字を入力して 決定 をタッチしてください。
名字とデータが一致していれば、検索結果画面が表示されます。一致していない場合は、「名字が一致しません。もう一度入力してください。」と表示されます。
個人宅の名字入力において、複数の読みがある名字については、実際と異なる読み方で登録されている場合があります。

MEMO
- 携帯電話やPHSの電話番号からは目的地・地点を探せません。
- 電話帳に掲載されていない電話番号では目的地・地点を探せません。
- データの整備状況により、探せない施設や位置が正確ではない施設があります。
- 敷地が広大である場合や近くに道路がない場合など、位置が正確ではない施設の場合、警告音と共に「ピンポイントのデータではありません…」というメッセージが表示され、その後に地図が表示されます。このとき地図に示された位置はおおよその位置であり、正確な施設の位置とは異なります。ご注意ください。
- 電話番号で目的地・地点を探したときに、複数の施設がリストに表示される場合がありますので、リストから目的の施設を選択してください。

施設のジャンルから探す

「食べる・飲む」、「遊ぶ・見る」などのジャンルを選択して、該当する施設を探します。

1 ⊡ ▶ 目的地
2 他の検索方法
3 ジャンル
4 **ジャンルを選択**



5 **施設のジャンルを選択**



選択したジャンル内に詳細なジャンルがない場合は、施設リスト画面が表示されます。手順6に進んでください。

MEMO
- 詳細 をタッチすると、さらに細かくジャンルを選択できます。

6 **目的の施設を選択**
目的地の検索結果画面が表示されます。

MEMO
- 対象となる施設の数が1万件を超えた場合は、都道府県を選択する画面が表示されます。目的地とする施設の都道府県をタッチしてください。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

ジャンル名を入力して探す

施設のジャンルに関連した言葉をキーワードとして入力し、施設を探します。

1 ▶ 目的地
2 他の検索方法
3 ジャンル
4 ジャンル名入力
5 キーワードを入力 ▶ 候補を表示

MEMO
- キーワードの入力途中でも対象が絞られた場合は、自動的にジャンルのリストが表示されます。
- 予測候補 をタッチして、予測変換候補リストからジャンルや施設を選択することもできます。

6 **目的のジャンルを選択**



7 **目的の施設を選択**

目的地の検索結果画面が表示されます。

MEMO
- 似た名前の別のジャンルに目的の施設データが含まれる場合があります。目的の施設が見つからない場合は、似た名前のジャンルも探してみることをおすすめします。
- 対象となる施設の数が1万件を超えた場合は、都道府県を選択する画面が表示されます。目的地とする施設の都道府県をタッチしてください。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

登録した地点から探す（登録リスト）

本機に登録したよく行く場所の一覧から目的地を探すことができます。

MEMO
- 本機の登録リストには、400件まで地点を登録できます。(P.87)
- 「チズルとススム」サイトから、本機の登録リストに地点を取り込むこともできます。(P.135)

1 ▶ 目的地
2 登録地
3 **グループを選択**

MEMO
- 登録リストにグループを設定していない場合は、手順4に進んでください。

4 **登録地を選択**

目的地の検索結果画面が表示されます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

自宅に戻る

自宅を登録(P.40)しておくと、自宅をすぐに探し出せます。

1 ▶ 目的地
2 自宅へ戻る

自宅までのルートが設定され、ルート案内を開始します。

現在地周辺から探す

施設のジャンルから探す

ジャンルを選択して現在地周辺の施設を探せます。周辺100km以内の地域で、最大100件までの施設を探せます。

1 ▶ 目的地
2 他の検索方法
3 周辺検索
4 自車周辺
5 **施設のジャンルを選択**



MEMO
- ジャンル名入力 をタッチすると、キーワードを入力してジャンル名から探すことができます。(P.66)
- お好みアイコンキーをタッチすると、選択したアイコンのジャンルの施設を現在地周辺から探すことができます。(P.67)

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

6 **目的の施設を選択**

MEMO
- 施設名の横に施設までの距離が表示されます。

目的地の検索結果画面が表示されます。

MEMO
- 現在地地図画面で 現在地メニュー ▶ 周辺施設を検索 をタッチしても、同様の操作ができます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

よく使うジャンルから探す（お好みアイコンリスト）

お好みアイコンリスト(P.92)に登録したジャンルで、現在地周辺の施設を探せます。周辺100km以内の地域で、最大100件までの施設を探せます。

MEMO
- あらかじめ、「検索アイコンの表示」を「ON」に設定してください。(P.258)

1 ▶ 目的地
2 他の検索方法
3 周辺検索
4 **お好みのジャンルのアイコンを選択**



5 **施設を選択**

目的地の検索結果画面が表示されます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

近くの駐車場を探す

現在地周辺の駐車場を目的地として設定できます。表示先から半径800m以内にある駐車場を最大10件まで探します。

1 ▶ 現在地メニュー

2 周辺駐車場



3 **駐車場を選択**

MEMO
- 駐車場名の横に駐車場までの距離が表示されます。

目的地の検索結果画面が表示されます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

検索アイコンを消去する

周辺検索で検索した施設のアイコンの上には矢印が付きます。これを検索アイコンと呼びます。検索アイコンを消去するには、以下のようにします。

1 ▶ 現在地メニュー

2 検索アイコンの消去

MEMO
- ナビゲーション設定の「検索アイコンの消去」から操作することもできます。(P.258)

目的地周辺から探す

目的地を設定後、目的地周辺の施設や駐車場を探します。

MEMO
- 目的地までのルートが設定されていないと、この操作はできません。

施設のジャンルから探す

ジャンルを選択して目的地周辺の施設を探せます。周辺100km以内の地域で、最大100件までの施設を探せます。

1 ▶ 目的地

2 他の検索方法

3 周辺検索

4 目的地周辺

5 **施設のジャンルを選択**



MEMO
- ジャンル名入力 をタッチすると、キーワードを入力してジャンル名から探すことができます。(P.66)
- お好みアイコンキーをタッチすると、選択したアイコンのジャンルの施設を目的地周辺から探すことができます。(P.67)

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

6 **目的の施設を選択**

MEMO
- 施設名の横に施設までの距離が表示されます。

目的地の検索結果画面が表示されます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

目的地周辺の駐車場を探す

目的地に最も近い駐車場を目的地として設定できます。目的地の半径800m以内にある駐車場を最大10件まで探します。

1 ▶ 目的地

2 他の検索方法

3 周辺検索

4 目的地周辺の駐車場

5 **駐車場を選択**

MEMO
- 駐車場名の横に駐車場までの距離が表示されます。

目的地の検索結果画面が表示されます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

ルート沿いの施設を探す

目的地までのルート沿いの施設を、立寄地として設定できます。立寄地は目的地までのルート沿いにある施設のことで、経由地とは異なります。ルート上から80m以内、ルートの距離で10km以内にある施設を最大100件まで探します。

1 [⊡] ▶ 目的地
2 他の検索方法
3 周辺検索
4 ルートサイド
5 ジャンルを選択



MEMO
- ジャンル名入力 をタッチすると、キーワードを入力してジャンル名から探すことができます。**(P.66)**
- お好みアイコンキーをタッチすると、選択したアイコンのジャンルの施設をルート沿いで探すことができます。**(P.67)**

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

6 目的の施設を選択

MEMO
- 施設名の横に施設までの距離が表示されます。
- 施設名の左側に、施設がルート上の左右どちら側にあるかを表すアイコンが表示されます。

地図上の立寄地に 立寄地点 というアイコンが表示されます。



MEMO
- ルートを再計算すると、立寄地は解除されます。

検索アイコンを消去する

周辺検索で検索した施設のアイコンの上には矢印が付きます。これを検索アイコンと呼びます。検索アイコンを消去するには、以下のようにします。

1 [⛵] ▶ 現在地メニュー
2 検索アイコンの消去

MEMO
- ナビゲーション設定の「検索アイコンの消去」から操作することもできます。**(P.258)**

ハイウェイの施設を探す

MEMO
- 検索結果として道路の分岐点や合流点上の地点が表示されることがあります。この場合、適切なルートとならないことがありますので、地点の位置を適宜調整してください。

ハイウェイ上の施設名から探す

1 [⊡] ▶ 目的地
2 他の検索方法
3 ハイウェイ
4 ハイウェイ名称入力
5 施設の名称を入力 ▶ 候補を表示
6 施設を選択

目的地の検索結果画面が表示されます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」**(P.82)**

道路名で探す

ハイウェイのサービスエリアや入口・出口などの施設を、路線名から探します。

1 [⊡] ▶ 目的地
2 他の検索方法
3 ハイウェイ
4 高速道路の路線名
5 道路の種類を選択

MEMO
- 高速道路 をタッチした場合でも、高速道路以外の有料道路が目的地候補として表示される場合があります。

6 路線を選択
7 目的の施設を選択

目的地の検索結果画面が表示されます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」**(P.82)**

ハイウェイの最寄りの入り口を探す

現在地の近くにあるハイウェイの入り口を探します。周辺100km以内の地域で、最大100件までの施設を探せます。

1 [⊡] ▶ 目的地
2 他の検索方法
3 ハイウェイ
4 自車周辺の入口
5 入り口を選択



MEMO
- 入り口までの距離が表示されます。

目的地の検索結果画面が表示されます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

ハイウェイの出口を探す

目的地周辺にあるハイウェイの出口を探します。周辺100km以内の地域で、最大100件までの施設を探せます。目的地が設定されていないと、この操作はできません。

1 [⊡] ▶ 目的地
2 他の検索方法
3 ハイウェイ
4 目的地周辺の出口
5 出口を選択



MEMO
- 出口までの距離が表示されます。

目的地の検索結果画面が表示されます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

TV・雑誌の情報から探す

TV番組や雑誌で紹介された施設を、目的地として設定できます。
TV・雑誌の情報は更新することができます。(P.303)

MEMO
- メディアで紹介された施設をすべて収録しているわけではありません。レジャーランドなどの有名な施設でも収録されていない場合があります。
- 収録されている番組・雑誌は継続的に施設を紹介している特定のもので、今後は予告なく変更されることがあります。

TV番組・雑誌の名前で探す

目的の施設がどのTV番組・雑誌などで紹介されたかが分かっている場合の探しかたです。

1 [⊡] ▶ 目的地
2 他の検索方法
3 TV・雑誌
4 番組・雑誌
5 目的の番組または雑誌名を選択
6 目的の施設を選択

目的地の検索結果画面が表示されます。

MEMO
- 画面上部に、紹介された番組・雑誌名、放送日または発売日が表示されます。番組の放送日はキー局の放送日であるため、地域によっては実際の放送日とは異なる場合があります。
- 施設リストで施設名称の横に表示されるアイコンは、その施設のジャンルを表します。
  : 食べる・飲む : 遊ぶ・見る
  : 泊まる : 買う

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

ジャンルから探す

目的の施設を、ジャンルから検索します。
ジャンルは、大きく分けて「食べる・飲む」、「遊ぶ・見る」、「泊まる」、「買う」の4種類があります。

1 [⊡] ▶ 目的地
2 他の検索方法
3 TV・雑誌
4 ジャンル
5 目的のジャンルを選択
6 目的の詳細ジャンルを選択
7 目的の施設を選択

目的地の検索結果画面が表示されます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

現在地・目的地周辺から探す

現在地または目的地周辺の施設をジャンルで検索できます。周辺100km以内の地域で、最大100件までの施設を探せます。

1 [⊡] ▶ 目的地

2 他の検索方法

3 TV・雑誌

4 周辺検索

5 自車周辺 または 目的地周辺

6 目的のジャンルを選択

MEMO

- 詳細 をタッチすると、詳細ジャンルリストから絞り込めます。

7 目的の施設を選択

目的地の検索結果画面が表示されます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

インターネットを利用して探す

本機からキーワードを「チズルとススム」サイトに送信して、サイト内の「投稿情報」から地点を探すことができます。これを「チズルサーチ」と呼びます。また、同様にGoogleからの情報を利用することもできます。これをGoogleマップ「ローカル検索」と呼びます。
チズルサーチおよびGoogleマップ「ローカル検索」のご利用には、「チズルとススム」の会員登録（無料）が必要です。本機をより便利にお使いいただくために、会員登録をおすすめします。「チズルとススム」について詳しくは、以下をご覧ください。
http://chizu-route-susumu.jp

MEMO

- チズルサーチおよびGoogleマップ「ローカル検索」を行う場合は、あらかじめBluetooth対応携帯電話を本機に接続し、「インターネット連携」で認証を行う必要があります。詳しくは、(P.159)をご覧ください。
- 施設検索および情報表示にはパケット通信料がかかります。

日本全国・現在地・目的地周辺から探す

キーワードを入力して目的地を検索します。チズルサーチとGoogleマップ「ローカル検索」で共通の機能です。

1 [⊡] ▶ 目的地

2 チズルサーチ または Google

3 日本全国から 、 現在地周辺から または 目的地周辺から

MEMO

- 現在地周辺から または 目的地周辺から をタッチした場合は、周辺100km以内の地域で探せます。

4 キーワードを入力

5 候補を表示 または Google

接続が開始され、情報をダウンロードすると検索結果リスト画面が表示されます。



※画面はGoogleマップ「ローカル検索」の場合です。

MEMO

- 1回でダウンロードできる情報は20件までです。最大40件までダウンロードできます。
- 現在地周辺から または 目的地周辺から をタッチした場合は、周辺100km以内の地域で探せます。また、検索結果リスト画面の施設名の横に、施設までの距離が表示されます。
- チズルサーチでの検索結果は投稿された情報がもとになっているため、同じ施設の情報でもレビューなどの内容が異なっている場合は、同じ名称の検索結果リストが2つ以上表示される場合があります。

6 施設を選択

目的地の検索結果画面が表示されます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

場所を指定して探す

指定した場所から入力したキーワードを検索します。チズルサーチとGoogleマップ「ローカル検索」で共通の機能です。

1 ▶ 目的地
2 チズルサーチ または Google
3 指定場所から
4 地点を検索（P.64）▶ 決定
5 キーワードを入力
6 候補を表示 または Google

接続が開始され、情報をダウンロードすると検索結果リスト画面が表示されます。

MEMO
- 1回でダウンロードできる情報は20件までです。最大40件までダウンロードできます。
- 検索結果リスト画面の施設名の横に、施設までの距離が表示されます。
- チズルサーチでの検索結果は投稿された情報がもとになっているため、同じ施設の情報でもレビューなどの内容が異なっている場合は、同じ名称の検索結果リストが2つ以上表示される場合があります。

7 施設を選択

目的地の検索結果画面が表示されます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」（P.82）

表示画面の見かた

各画面の見かたについて説明します。

検索結果リスト画面の見かた



ダウンロードした検索結果の名称を表示します。

★は、各地点の投稿情報をもとにした評価を表しています。

本機の表示は、チズルとススムサイトおよびGoogleサイトの表示と対応しています。

情報表示画面の見かた

施設を選択した後の検索結果画面で 情報 をタッチすると、施設の情報が表示されます。





電話をかける：
表示している施設に電話をかけます。（P.146）

レビューを見る：
ユーザのレビューをダウンロードして表示します。

QRコード：
QRコードを表示します。（P.84）

こんな探しかたもあります

これまでに設定した目的地から探す

今まで目的地として設定した地点の一覧から探します。

1 ▶ 目的地
2 他の検索方法
3 履歴
4 目的の地点を選択

目的地の検索結果画面が表示されます。

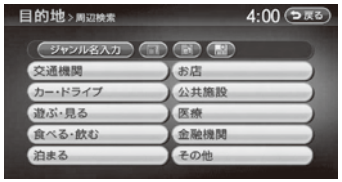
MEMO
- 履歴は最新のものから順に最大100件まで自動で保存されます。
- 履歴の削除は、ナビゲーション設定の「目的地履歴の消去」から行います。（P.277）

次の操作は…
「目的地を設定したら…」（P.82）

地図表示位置周辺から探す

地図をスクロールして表示した先の周辺にある施設を探します。周辺100km以内の地域で、最大100件までの施設を探せます。

1 地図をスクロール ▶ 決定
2 周辺施設を検索
3 施設のジャンルを選択



MEMO
- ジャンル名入力 をタッチすると、キーワードを入力してジャンル名から探すことができます。（P.66）
- お好みアイコンキーをタッチすると、選択したアイコンのジャンルの施設を表示先周辺から探すことができます。（P.67）

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

4 目的の施設を選択

MEMO
- 施設名の横に施設までの距離が表示されます。

目的地の検索結果画面が表示されます。

MEMO
- 周辺検索で検索した施設のアイコンの上には矢印が付きます。これを検索アイコンと呼びます。検索アイコンは消去できます。（P.68、P.70）

次の操作は…
「目的地を設定したら…」（P.82）

地図表示位置周辺の駐車場を探す

地図をスクロールした先の駐車場を目的地として設定できます。表示先から半径800m以内にある駐車場を最大10件まで探します。

1 **地図をスクロール** ▶ 決定

2 周辺駐車場



3 **駐車場を選択**

MEMO

- 駐車場名の横に駐車場までの距離が表示されます。

目的地の検索結果画面が表示されます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

マップコードで探す

ガイドブックなどに掲載されているマップコードから目的地を探します。本機では、標準、高精度どちらのマップコードにも対応しています。

1 ▶ 目的地

2 他の検索方法

3 マップコード

4 **マップコードを入力** ▶ 決定

目的地の検索結果画面が表示されます。

MEMO

- マップコードに関するお問い合わせ先は以下のとおりです。
  ホームページ：
  http://guide2.e-mapcode.com/
  電話：
  0566-61-4210（株式会社デンソー MCプロジェクト）

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

郵便番号で探す

1 ▶ 目的地

2 他の検索方法

3 郵便番号

4 **郵便番号を入力** ▶ 決定

目的地の検索結果画面が表示されます。

MEMO

- 入力した郵便番号に該当するデータが見つからない場合は、メッセージが表示されて郵便番号の入力画面に戻ります。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

緯度・経度で探す

1 ▶ 目的地

2 他の検索方法

3 緯度・経度

4 **北緯と東経を入力** ▶ 決定

目的地の検索結果画面が表示されます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

SDカード内の登録地から探す

SDカードに保存した登録地点から目的地を探します。

MEMO

- あらかじめ、SDカードに登録地を保存しておく必要があります。(P.300)
- SDカードに保存できる登録地点の数は、最大4,500件です。1グループにつき450件、最大10グループまで登録できます。

1 ▶ 目的地

2 他の検索方法

3 バックアップ登録地

4 **グループを選択**

5 **地点を選択**

目的地の検索結果画面が表示されます。

次の操作は…
「目的地を設定したら…」(P.82)

ピクチャービューから探す

自車付近のグルメスポット、観光スポットを写真で表示して目的地に設定します。クラリオン株式会社Webサイト「チズルとススム」からMYツアーデータを取り込んでいる場合は、データ内のスポットも写真で表示することができます。

1 地図画面の 表示変更

2 ピクチャービュー ▶ 戻る

3 写真を選択



4 ここに行く



目的地までのルートが設定され、案内が開始されます。

MEMO

- ピクチャービューモードについて詳しくは、P.57をご覧ください。

登録ルートから探す

本機に登録してあるルートから、目的地を設定します。

MEMO

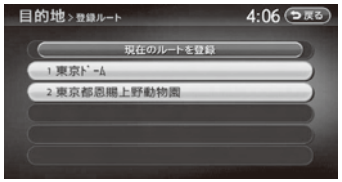
- ルートの登録・編集についてはP.90をご覧ください。
- 「チズルとススム」サイトから、本機の登録ルートリストにルートを取り込むこともできます。(P.136)

1 ▶ 目的地

2 他の検索方法

3 登録ルート

4 目的の登録ルートを選択



目的地までのルートが設定され、ルート探索結果画面（P.97）が表示されます。

MEMO

- 目的地が設定されている場合は、手順4で 現在のルートを登録 をタッチすると、そのルートを本機のルートリストに登録できます。

設定した目的地を解除する

目的地を解除すると、経由地も同時に削除されます。

1 ▶ 目的地

2 目的地解除

3 はい

目的地が解除され、ルート案内が中止されます。

目的地を設定したら…

目的地を設定すると、以下のような検索結果画面が表示されます。目的地を設定した後は、この画面からルートを設定します。



⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中に操作しない**
  前方不注意になり、交通事故の原因となる恐れがあります。
- **実際の交通規制に従って走行する**
  ナビゲーションによるルート計算では、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。

1 ガイド開始

現在の条件でルート計算が始まります。車をルートに沿って走らせると、ルート案内が開始されます。目的地に到着すると、自動的にルート案内は終了します。
ルートの確認や条件を変えてルートを設定する場合は ルートを選ぶ をタッチしてください。

MEMO

- 走行中は、表示できる項目が限定されます。
- 地図をスクロールして地点を設定した場合は、表示される画面が異なります。
- 画面左上にあらかじめ設定された探索条件が表示されます。ルート案内の条件を変更することもできます。**(P.101)**

検索結果画面では、以下の操作を行えます。

ガイド開始：
現在の条件でルートを設定します。

ルートを選ぶ：
5種類の条件でルートを探索し、その中からお好みのルートを選択できます。**(P.94)**

位置を修正：
地点の位置を調整します。**(P.95)**

ルートに追加※
現在のルートに経由地または目的地として追加します。**(P.95)**

ここを登録：
表示している地点を本機の登録リストに登録します。**(P.95)**

周辺駐車場：
周辺の駐車場情報を表示します。**(P.96)**

情報：
施設情報を表示します。**(P.96)**

※ルート設定時に表示されます。

目的地検索結果の画面表示について

●施設によっては、目的地検索後に以下のメッセージが表示される場合があります。

「ピンポイントのデータではありません。周辺の地図を表示します。実際の場所とは大きく異なる場合があります。」
ピンポイントで地点を検索できなかった場合に表示されます。正確な位置ではありませんので、施設位置をご確認の上、位置調整をしてください。

「施設出入り口地点を表示します。」
表示されている場所が施設の入口であるため、そのまま目的地として設定すると、車で走行するのには適さない場所に誘導される場合があります。

●専用駐車場や契約駐車場を併設した施設を選択すると、地図表示の前に駐車場のリスト画面が表示されることがあります。この場合、施設または駐車場を選択すると、それぞれの場所の地図が表示されます。

施設情報について

施設情報画面の表示

●検索結果画面に 情報 が表示されている施設には、施設情報が登録されています。



情報 をタッチすると、施設情報画面が表示されます。



地図表示：
検索結果画面に戻ります。

QRコード：
QRコードを表示します。**(P.84)**

電話する：
電話番号が登録されているときにBluetooth対応携帯電話を接続すると表示され、タッチして電話をかけます。**(P.146)**

レビューを見る：
ユーザのレビューを表示します。(チズルサーチ、およびGoogleマップ「ローカル検索」の場合のみ)

QRコードの読み取り

施設情報画面で QRコード をタッチすると、施設情報が含まれたQRコード（携帯電話のカメラなどで読み取れるバーコード）が表示されます。QRコードを利用して、施設地図情報やガイド情報を携帯電話で確認できます。



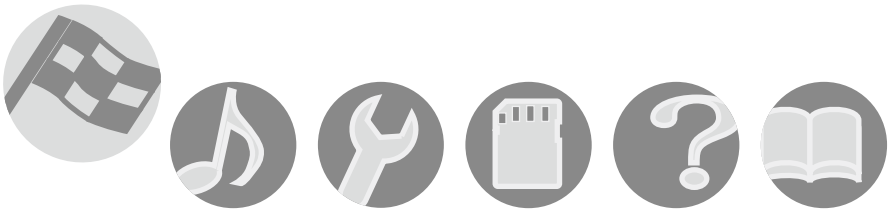
縮小：

情報量が多く表示できないときに、QRコードを縮小表示します。

地点・ルートを登録する

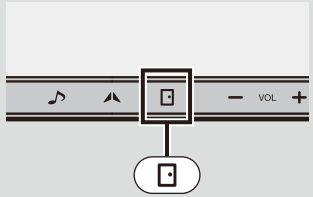
本機によく行く地点やルートを登録できます。

86 登録地・登録ルート編集画面を表示する
87 よく行く地点を登録する
90 よく行くルートを登録する
92 よく使うジャンルを登録する（お好みアイコンリスト）

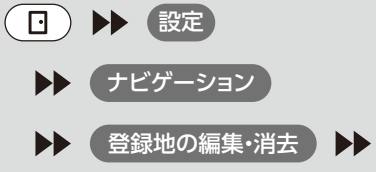


登録地・登録ルート編集画面を表示する

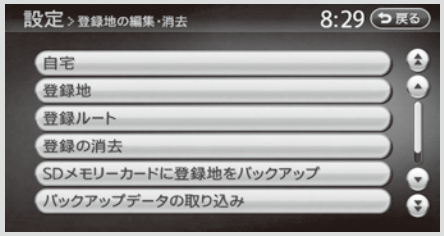
登録地・登録ルート編集操作では、操作パネルの以下のボタンを使用します。



登録地の編集・消去メニュー画面では、本機に地点やルートを登録したり、編集・消去をすることができます。



登録地の編集・消去メニュー画面



※走行中は選択できる項目が限定されます。

よく行く地点を登録する

よく行く地点を400件まで登録リストに登録できます。登録した地点は登録リストから呼び出せます。

MEMO

- 本機の登録リストに登録した地点を400件までSDカードに書き出せます。**(P.300)**
- 「チズルとススム」サイトから地点を取り込んで、本機の登録リストに追加できます。**(P.135)**

登録リストに登録する

1 **登録したい地点を探す（P.61）**

2 ここを登録



3 決定

地点が登録リストに登録されます。

MEMO

- 現在地やスクロール先の地点を登録する場合は、現在地メニュー ▶ ここを登録 をタッチします。
- 登録リストに登録した地点を編集できます。**(P.88)**
- 登録リストに登録した地点にグループを設定できます。**(P.88)**
- 登録リストに登録した地点を消せます。**(P.89)**

登録リストを並べ替える

1 ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録地の編集･消去

2 登録地

3 並べ替え

MEMO

- 新規登録 をタッチすると、地点を探して登録する画面が表示されます。

4 **並べ替える種類を選択**



登録順：
登録した日付の新しい順に表示します。

読み順：
50音順に表示します。

アイコン順：
登録地に設定されたアイコンの順に表示します。

グループ指定：
タッチすると、グループ選択画面が表示されます。並べ替えるグループを選択すると、グループ指定順に表示します。

地点のデータを編集する

1 ⊡ ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録地の編集・消去

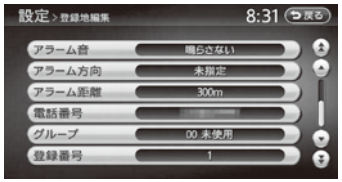
2 登録地

3 登録地点を選択

4 編集

5 項目を選択 ▶ 登録地点の内容を編集





地図表示：
地図上のアイコン表示をON/OFFします。

名称：
名称を設定します。名称入力後、終了をタッチしてください。

ヨミ：
読みを設定します。読みを入力後、終了をタッチしてください。

アイコン：
登録地点に割り当てるアイコンを設定します。

アラーム音：
車が登録地に近づいたときに鳴るアラーム音を設定します。

アラーム方向：
車が登録地に近づいたときにアラームを鳴らす方向を設定します。設定した方向から車が近づいたときにアラーム音が鳴ります。方向設定後、決定をタッチしてください。

アラーム距離：
自車位置とアラームを鳴らす登録地までの距離を設定します。車が設定した距離内まで登録地に近づいたときにアラーム音が鳴ります。

電話番号：
登録地点の電話番号を設定します。電話番号入力後、決定をタッチしてください。

グループ：
登録地を所属させるグループを選択します。

登録番号：
登録番号を設定します。

地点の位置を修正する

1 ⊡ ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録地の編集・消去

2 登録地

3 登録地点を選択

4 位置を修正

5 地図をスクロールして位置を修正 ▶ 決定

MEMO

- 微調整 をタッチすると、詳細な修正ができます。(P.52)

リストから地点を削除する

1 ⊡ ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録地の編集・消去

2 登録の消去

3 登録地の消去

4 1件消去

5 地点を選択 ▶ はい

選択した地点が登録リストから削除されます。

MEMO

- 一括消去 をタッチすると、登録地点をすべて削除します。
- 手順2で 登録地 をタッチして、地点を選択 ▶ 消去 をタッチしても同様の操作を行えます。

よく行くルートを登録する

よく行くルートを5件まで本機に登録できます。登録したルートは登録ルートから呼び出せます。

MEMO

- 「チズルとススム」サイトからルートを取り込んで、本機の登録ルートに追加できます。(P.136)
- 本機能は、探索されたルートそのものを登録するものではなく、経由地・目的地・探索条件の組み合わせをセットで登録するものです。そのため、登録ルートを呼び出したときに実際に案内されるルートは、ルート登録を行ったときのルートとは異なる場合があります。

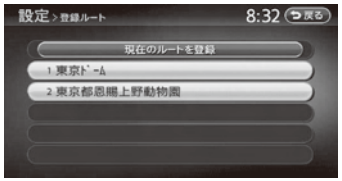
登録ルートに登録する

1 ルートを設定 (P.93)

2 [⊡] ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録地の編集・消去

3 登録ルート

4 現在のルートを登録 ▶ はい



現在設定しているルートが本機に登録されます。

MEMO

- 登録したルートは編集できます。(P.90)

登録ルートを編集する

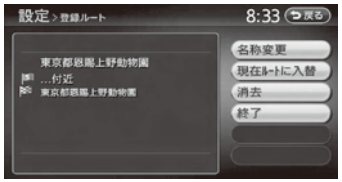
登録済みのルートを編集します。

1 [⊡] ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録地の編集・消去

2 登録ルート

3 編集するルートを選択

4 項目を選択 ▶ 登録ルートの内容を編集



名称変更：
登録ルートの名称を設定します。名称入力後、終了 をタッチします。

現在のルートに入替：
現在設定しているルートと、登録済みのルートを入れ替えます。

消去：
登録済みのルートを削除します。

リストからルートを削除する

1 [⊡] ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録地の編集・消去

2 登録の消去

3 登録ルートの消去

4 1件消去

5 登録ルートを選択 ▶ はい

選択したルートが、登録ルートリストから削除されます。

MEMO

- 一括消去 をタッチすると、登録ルートをすべて削除します。

よく使うジャンルを登録する（お好みアイコンリスト）

よく使う施設のジャンルを5つまで本機に登録できます。ジャンルを登録しておくと、目的地をジャンルで探すときにすばやく呼び出せて便利です。コンビニやガソリンスタンドは、店名まで指定して登録することもできます。

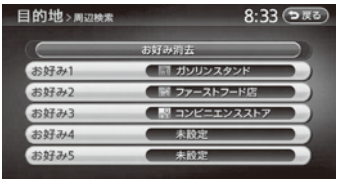
1 ▶ 目的地

2 他の検索方法

3 周辺検索

4 お好み変更

5 登録したいお好み番号を選択



MEMO

- ジャンルが表示されているお好み番号を選択すると、ジャンルが上書きされます。
- お好み消去 をタッチすると、お好みアイコンリストに登録したジャンルを削除できます。

6 ジャンルを選択

7 さらにジャンルを選択

MEMO

- 選択したジャンル内のすべてのジャンルが登録されます。
- 詳細 をタッチすると、店名を設定できます。

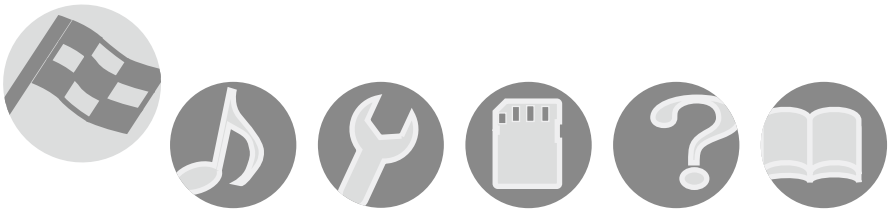
よく使うジャンルが登録され、周辺検索メニュー画面に選択したジャンルのアイコンが表示されます。



ルートの設定

目的地を探したら、ルートを設定します。ルートが設定されると案内が始まりますので、ルート案内に従って走行してください。

94 検索した地点を確認・設定する
97 走行するルートを設定する
101 設定済みのルートを再探索する
104 目的地・経由地を編集する
108 設定したルートを確認する
110 ルート案内を中止する
111 オートリルートについて



検索した地点を確認・設定する

地点検索（P.61）で地点を探したら、ルートを設定する前に位置を修正したり、地点を登録することができます。また、目的地の施設情報などを確認することもできます。この操作は、検索結果画面から行います。

地点を検索（P.61） ▶▶

検索結果画面



※走行中は選択できる項目が限定されます。

現在の条件でルートを設定する

現在設定されている条件のまま、検索した地点を目的地としてルートを設定します。ルート探索の条件は変更できます。**(P.97、P.102)**

1 **地点を検索（P.61）▶** ガイド開始

そのままの条件でルートが設定されます。

MEMO

- 自車位置からおよそ100m以内に有料道路や高速道路がある場合、一般道と有料道路(または高速道路)のどちらを現在走行中であるかを確認する画面が表示されます。 有料/高速 または 一般道走行 をタッチしてください。
  この確認画面は、探索条件を指定するものではありません。
- 設定したルートに冬季規制道路がある場合は、ルート案内が始まる前にお知らせ画面が表示されます。
- 検索した地点から最も近い道路が有料道路または高速道路の場合は、その道路上で案内を終了するかどうか確認する画面が表示されます。
- オンライン探索の自動ダウンロード設定の「行き先設定時にダウンロード」**(P.267)**が「ON」に設定されているときは、自動的にオンラインで交通情報を取得し、渋滞を考慮したルートが設定されます。

ルートの確認や設定をする

地点を検索してルート案内を開始する前に、ルートの確認をしたり、他のルートを検索して選択することができます。

1 **地点を検索(P.61）▶** ルートを選ぶ

ルート探索結果画面が表示されます。**(P.97)**



ガイド開始：
選択したルートにしたがってルート案内を開始します。**(P.97)**

他のルートを選ぶ：
異なる条件の5つのルートから、お好みのルートを選択できます。**(P.97)**

ルートの確認・登録：
ルートの各種情報の確認やルートの登録ができます。**(P.99)**

行き先を追加：
ルートに行き先を追加することができます。**(P.99)**

検索した地点の位置を修正する

検索した地点の位置を、地図をスクロールして調整できます。

1 **地点を検索（P.61）▶** 位置を修正

2 **地図をスクロールして位置を修正 ▶** 決定



検索結果画面に戻り、調整した地点を中心とした地図が表示されます。

MEMO

- 微調整 をタッチすると、詳細な修正ができます。**(P.52)**

検索した地点をルート上に追加する

すでにルートが設定されている場合に、検索した地点を新たにルート上の経由地として追加したり、目的地に設定し直すことができます。

1 **地点を検索(P.61）▶** ルートに追加

行き先追加画面が表示されます。

2 ここに追加



選択した位置に地点が追加され、ルート探索結果画面が表示されます。**(P.97)**

MEMO

- ⊡ ▶ ルート ▶ ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正 をタッチしても、ルート上に地点を追加することができます。**(P.105)**

検索した地点を本機に登録する

検索した地点を本機の登録リストに登録できます。

1 **地点を検索（P.61）▶** ここを登録

地点が登録地として本機に登録されます。

MEMO

- 地点の検索方法が「登録地」の場合は、この操作は行えません。
- 本機に登録できる地点は最大400件です。

検索した地点周辺の駐車場を探す

検索した地点の周辺にある駐車場を探し、駐車場を目的地として設定できます。検索結果地点から半径800m以内にある駐車場を最大10件まで探します。

1 地点を検索（P.61）▶ 周辺駐車場

2 駐車場を選択



駐車場キーをタッチすると、検索結果画面に戻ります。

検索した地点の情報を確認する

検索した地点の施設情報を表示します。
検索した施設の種類によって、表示される画面は異なります。

1 地点を検索（P.61）▶ 情報

施設情報画面が表示されます。

SA/PAの場合



SA/PA以外の場合



地図表示：
検索結果画面に戻ります。

QRコード：
施設情報が含まれたQRコードが表示されます。携帯電話でQRコードを読み取ると、施設の詳細情報が確認できます。

電話する：
施設に電話番号が登録されている場合に表示されます。Bluetooth対応携帯電話を本機に接続していると、タッチして電話をかけられます。

MEMO

- 施設に情報がない場合、情報 は選択できません。
- 「QRコード」をタッチすると、画面にQRコードと 縮小 が表示されます。QRコードの情報量が多く、表示できないときに 縮小 をタッチすると、正しく表示することができます。

走行するルートを設定する

目的地を設定したら、走行するルートを決めます。条件の異なるルートを比較したり、経由地を追加することもできます。
この操作はルート探索結果画面から行います。この画面を表示したまましばらく操作をしないと、自動的にルート案内が開始します。

地点を検索（P.61）▶▶ ルートを選ぶ ▶▶

ルート探索結果画面



※走行中は選択できる項目が限定されます。

現在の条件でルートを設定する

現在設定されている条件のまま、ルートを設定して案内を開始します。

1 地点を検索(P.61)▶ ルートを選ぶ

2 ガイド開始

現在の条件でルートが設定されます。

MEMO

- ガイド開始 をタッチしなくても、ルート探索結果画面を表示して何も操作しないまましばらくすると、自動的に現在の条件でルート案内が開始します。
- 設定したルートに冬季規制道路がある場合は、ルート案内が始まる前にお知らせ画面が表示されます。

異なる条件のルートから選択する

ルート探索時には、地図上に5つのルートが表示され、現在の探索条件のルートが明るい色で表示されます。
異なる条件で探索された5つのルートから、お好みのルートを選択できます。

MEMO

- 経由地、または高速道路出入り口の指定がある場合は、この操作は行えません。

1 地点を検索(P.61)▶ ルートを選ぶ

2 他のルートを選ぶ

ルート選択画面が表示されます。

3 お好みのルートを選択 ▶ 決定



有料優先：
有料道路を優先的に使用し、目的地までの所要時間が短くなるルートです。

有料（省エネ）：
有料道路を優先的に使用し、目的地までの燃料消費量が少なくなるルートです。

有料優先（別ルート）：
「有料優先」とは異なる有料道路を優先的に使用するルートです。「有料優先」のルートと同じになる場合もあります。

一般優先：
一般道路を優先的に使用し、目的地までの所要時間が短くなるルートです。

一般（省エネ）：
一般道路を優先的に使用し、目的地までの燃料消費量が少なくなるルートです。

MEMO

- 省エネルートを選択すると、画面右側に「省エネ度」が表示されます。どの程度燃料消費量が改善されているかを確認できます。この機能はアイドリングストップ車、ハイブリッド車、電気自動車には適応していません。
- 省エネルートを選択して案内を開始した場合、**「統計交通情報を考慮」(P.268)**の設定に関係なく、統計交通情報を考慮して探索します。
- 省エネルートを選択した場合、以下の設定内容を使用します。
  - 乗車人数
  - 車両重量
  - 排気量
  - モード燃費
  - ボディタイプ

  この設定は**「車両設定」(P.273)**から行えます。数値を設定していない場合は、本機の初期値を使用してルートの探索を行います。
- 画面上のルートのキーには、それぞれのルート情報が表示されます。料金が発生する場合は到着時間と料金が表示され、料金が発生しない場合は到着時間と走行距離が表示されます。

ルートの確認・登録をする

現在のルートの情報を確認したり、登録ルートとして本機に登録することができます。

1 地点を検索(P.61) ▶ ルートを選ぶ

2 ルートの確認・登録

ルート確認・登録画面が表示されます。
この画面から、ルート情報の確認やルートの登録ができます。



ルート情報：
ルート上の情報を表示します。**(P.108)**

現在のルートを登録：
現在のルートを本機に登録します。**(P.109)**

地図スクロール：
地図をスクロールしてルートを確認します。**(P.109)**

MEMO

- ▶ ルート ▶ ルートの確認・登録 をタッチしても、同様の操作を行えます。操作方法や確認内容について詳しくは、**(P.108)**からの説明をご覧ください。

行き先を追加する

ルート上に新しく行き先を追加します。追加した地点は、目的地や経由地に設定できます。

1 地点を検索(P.61) ▶ ルートを選ぶ

2 行き先を追加

3 行き先を検索（P.61）

4 ここに決定する



この画面からは、以下の操作が行えます。

ここに決定する：
検索した地点を確定し、手順5に進みます。

位置を修正：
地図をスクロールして、検索した地点の位置調整を行います。

情報を見る：
検索した地点の施設情報を表示します。**(P.83)**

ここを登録：
検索した地点を本機に登録します。

5 ここに追加



選択した位置に地点が追加されます。

有料道路の出入り口を選択する

使用する有料道路の出入り口をリストから選択できます。

1 地点を検索(P.61) ▶ ルートを選ぶ

2 入り口施設名称、または出口施設名称を選択



入り口施設名称　　出口施設名称

選択した出入り口の前後3つまでの出入り口と、その間で分岐・合流する有料道が変更対象となります。

3 変更する出入り口の名称を選択



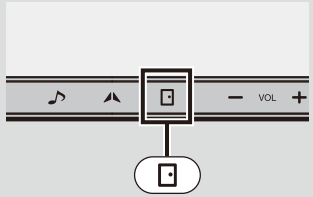
「分岐・合流」を表す道路名をタッチした場合は、以下のような画面が表示されます。同様に、変更する出入り口を選択してください。



入り口施設名称、または出口施設名称の表示が切り替わり、ルートが設定されます。

設定済みのルートを再探索する

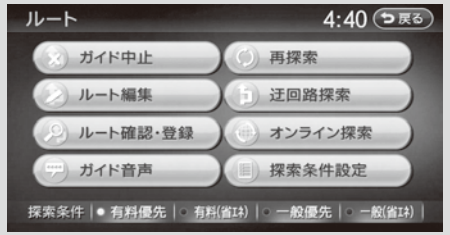
ルートメニュー画面の操作では、操作パネルの以下のボタンを使用します。



ルートメニュー画面では、一度設定したルートを条件を変更するなどして手動で再探索することができます。また、行き先を追加したり渋滞を迂回してルートを探索することもできます。



ルートメニュー画面



※走行中は選択できる項目が限定されます。

設定した条件で再探索する

ルート設定時に探索された5つのルート(P.97)をすべて再探索します。

1 ▶ ルート

2 再探索

そのままの条件でルートを再探索します。

MEMO

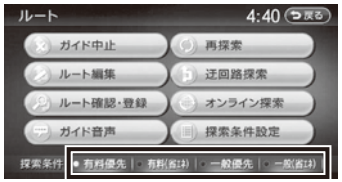
・立寄地(P.70)設定時にこの操作をすると、立寄地は解除されます。

優先路を変更して再探索する

優先的に走行する道路を選択して、ルートを再探索します。
高速道路を走行していて、途中で一般道に降りたくなった場合などに便利な機能です。

1 ▶ ルート

2 **希望の探索条件を選択**



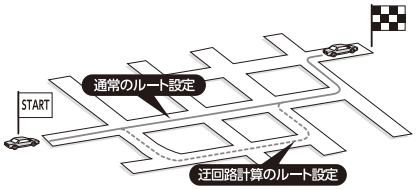
MEMO

・探索条件について詳しくは**P.97**をご覧ください。

選択した道路を優先して、ルートを再探索します。

迂回ルートを再探索する

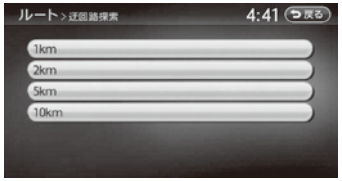
渋滞など、避けたい場所を迂回したルートを再探索できます。



1 ▶ ルート

2 迂回路探索

3 **迂回ルートを設定する、現在地からの距離を選択**



迂回するルートが再探索されます。

オンラインで交通情報を受信する

本機にBluetooth対応携帯電話を登録すると、渋滞・道路規制などの交通情報をリアルタイムに取得できます。このオンライン(P.154)で受信した交通情報をもとに、渋滞を考慮したルートを設定できます。

MEMO

・オンラインを利用するための設定が必要です。(P.154)

1 ▶ ルート

2 オンライン探索

交通情報が受信されます。走行中のルートよりも早く到着するルートが探索された場合は、新ルートで案内を開始します。

MEMO

・交通情報を受信しても新しいルートが見つからない場合は、そのままのルートで案内を継続します。

オンライン探索の条件を設定する

オンラインの情報受信時の動作や、受信した情報の利用に関する設定を行います。

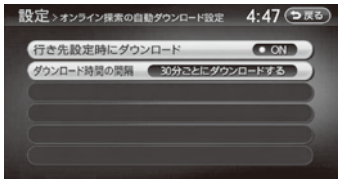
1 ▶ ルート

2 探索条件設定

ルート探索条件の設定画面が表示されます。

3 オンライン探索の自動ダウンロード設定

ルート探索条件の設定画面が表示されます。



この後の操作は、**「交通情報のダウンロード設定をする」(P.157)**と同様です。

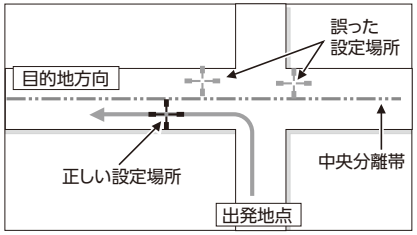
目的地・経由地を編集する

経由地設定時のご注意

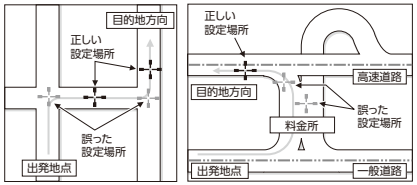
ルートの途中で寄り道をしたいときなど、ルートに経由地を5つまで設定できます。設定された順番に経由地を通り、目的地に向かうルートが計算されます。また、目的地の位置を修正することもできます。
経由地を設定してルートを変える際には、以下のことにご注意ください。

1 経由地は、国道・主要地方道路・都道府県道路・主要一般道路・高速道路・有料道路に設定してください。

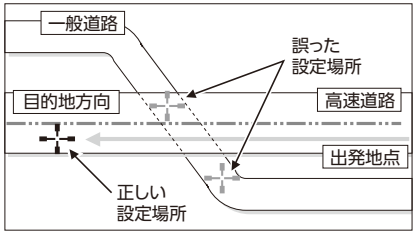
2 上下線や一方通行路に経由地を設定するときは、車線を正確に設定してください。



3 交差点やインターチェンジなどに経由地を設定しないでください。交差点やインターチェンジ付近に経由地を設定したい場合は、目的地方向に少し離れた道路上に設定してください。



4 高速道路と一般道路が交差している場所や、高速道路が一般道路上に高架になっている道路には、経由地を設定しないでください。

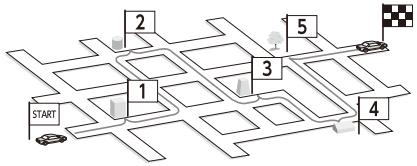


MEMO

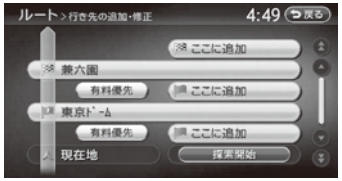
・設定した経由地を通過しないで先に進んだ場合、通過しなかった経由地に向かって、ルートが自動的に設定されることがあります。

経由地を追加する

経由地は最大5つまで設定できます。現在設定されている目的地よりも後ろの位置に地点を追加すると、その場所が目的地として設定されます。



1 [⊡] ▶ ルート
2 ルート編集
3 行き先の追加・修正
4 経由地を追加する位置の ここに追加



5 地点を検索（P.61）▶ 決定
6 ここに決定する



この画面からは、以下の操作が行えます。

ここに決定する：
検索した地点を確定し、手順7に進みます。

位置を修正：
地図をスクロールして、検索した地点の位置調整を行います。

情報を見る：
検索した地点の施設情報を表示します。(P.83)

ここを登録：
検索した地点を本機に登録します。

7 探索開始

経由地が追加され、新しいルートが設定されます。

目的地・経由地の位置を修正する

ルートに設定した目的地や経由地の位置を、地図をスクロールして変えられます。

1 [⊡] ▶ ルート
2 ルート編集
3 行き先の追加・修正
4 位置を調整したい地点を選択
5 位置を修正



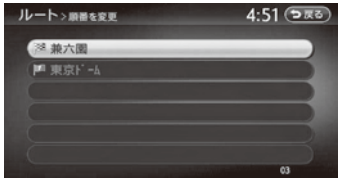
6 位置を修正 ▶ 決定
7 探索開始

目的地、または経由地の位置が調整され、ルートが設定されます。

目的地・経由地の順番を並べ替える

複数の経由地を設定した場合、あとから順番を並べ替えられます。

1 ⊡ ▶ ルート
2 ルート編集
3 行き先の追加・修正
4 順番を変えたい地点を選択
5 順番を変更
6 移動する位置を選択



7 探索開始

目的地、または経由地の順番が変わり、新しいルートが設定されます。

目的地・経由地を削除する

設定した目的地・経由地をルートから削除します。

1 ⊡ ▶ ルート
2 ルート編集
3 行き先の追加・修正
4 削除したい地点を選択
5 消去 ▶ はい
6 探索開始

選択した目的地、または経由地が削除され、新しいルートが設定されます。

MEMO

- 目的地を削除した場合は、最後の経由地が目的地に変わります。

区間ごとに優先路を設定する

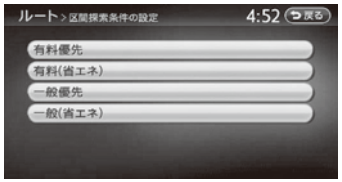
現在地～経由地～目的地間で、区間ごとに優先路を設定できます。

1 ⊡ ▶ ルート
2 ルート編集
3 行き先の追加・修正
4 優先路を設定したい区間の探索条件キー選択



探索条件キー

5 希望の探索条件を選択



MEMO

- 探索条件について詳しくは、**P.97**をご覧ください。
- 選択した区間の前後に指定ICがある場合は、探索条件を選択したあとに はい または いいえ をタッチします。
- 省エネルートを選択して案内を開始した場合、**「統計交通情報を考慮」(P.268)**の設定に関係なく、全区間において統計交通情報を考慮して探索します。

6 探索開始

選択した探索条件で、ルートが設定されます。

有料道路の出入り口を変更する

設定したルート上の有料道路の出入り口を、リストから選択して変更できます。

1 ⊡ ▶ ルート
2 ルート編集
3 有料区間の修正
4 入り口を変更 、または 出口を変更



MEMO

- 入口ICを元に戻す 、または 出口ICを元に戻す をタッチすると、指定したICを解除します。

5 変更する出入り口の名称を選択



「分岐・合流」を表す道路名をタッチした場合は、以下の画面が表示されます。同様に、変更する出入り口を選択してください。



ルート探索結果画面に戻り、入り口施設名称、または出口施設名称の表示が切り替わります。

MEMO

- 選択した出入り口がスマートICの場合は、確認画面が表示されます。 はい をタッチすると、スマートICを考慮したルートが設定され、 いいえ をタッチすると、スマートICを使用しないルート設定を行います。

スマートICとは

スマートICとは、高速道路のサービスエリアやパーキングエリアなどから一般道路に出入りできるETC専用のインターチェンジです。
本機では、利用できるスマートICを考慮してルート設定を行います。

MEMO

- スマートICは、ETCユニットを搭載した車両のみご利用できます。
- スマートICの中には、社会実験として実施されている箇所があります。そのようなスマートICでは、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、それらを考慮したルート設定は行っていません。ご利用の際はご注意ください。

設定したルートを確認する

走行する前に設定したルートを確認したり、音声を設定できます。

MEMO
- 走行中にルートの確認はできません。必ず車を安全なところに停車して操作してください。
- 走行を始めると、ルート確認は解除され、現在地地図画面が表示されます。

ルート上の情報を見る

ルート上の道路の種類や走行距離、通行料金、目的地への到着予想時刻などを確認することができます。

1 ▶ ルート
2 ルートの確認・登録
3 ルート情報

ルート情報画面が表示されます。



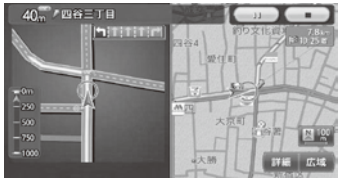
MEMO
- 現在走行中の道路の情報は表示されませんので、各道路ごとの走行距離の合計と、目的地までの走行距離とは一致しません。

ルートをシミュレーション走行する

画面上で、ルートを走行する様子をシミュレーションして確認します。

1 ▶ ルート
2 ルートの確認・登録
3 ルートシミュレーション

ルートシミュレーションが開始されます。



▶：
ルートシミュレーションを再生します。
⏸：
ルートシミュレーションを一時停止します。
■：
ルートシミュレーションを中止します。

MEMO
- ルートシミュレーション中にも、詳細 広域で地図の縮尺を変えることができます。
- ルートシミュレーション実行中に、以下の操作を行うと、シミュレーションは停止します。
  - ハードボタンの操作
  - 電話を着信
  - カメラ画面を表示
  - 走行を開始
- ルート探索結果画面から ルートの確認・登録 をタッチした場合は、ルートシミュレーションは操作できません。**(P.99)**

ルートを登録する

現在のルートを本機に登録します。

1 ▶ ルート
2 ルートの確認・登録
3 現在のルートを登録 ▶ はい

本機の登録ルートに登録されます。

MEMO
- 本機に登録できるルートは5件までです。
- ナビゲーション設定の「登録地の編集・消去」からも、同様にルートの登録ができます。**(P.257)**

ルート上の地図をスクロールする

地図をスクロールしてルートを確認します。

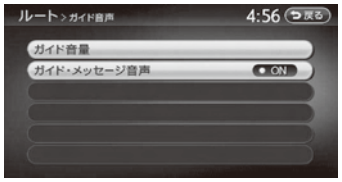
1 ▶ ルート
2 ルートの確認・登録
3 地図スクロール

カーソルの位置を中心にして、全画面地図が表示されます。

ルート案内の音量を確認・設定する

ルート案内時の音量や、音声出力のON/OFFを切り替えることができます。

1 ▶ ルート
2 ガイド音声
3 ガイド音量



4 ＋ － で音量を調整

通常走行時と高速走行時とに分けて設定できます。

MEMO
- この設定は、ナビゲーション設定の**「ルートガイドの設定」(P.260)**の「ガイド音量」と連動しています。

ルート案内時の音声出力を切り替える

音声案内などのナビゲーション音声を出力するかしないかを選択できます。

1 ▶ ルート
2 ガイド音声
3 ガイド・メッセージ音声

タッチするたびに、ON/OFFが切り替わります。

MEMO
- この設定は、ナビゲーション設定の**「ルートガイドの設定」(P.260)**の「ガイド・メッセージ音声」と連動しています。

ルート案内を中止する

ルート案内を中止する

1 ⊡ ▶ ルート

2 ガイド中止

ルート案内が中止されます。

MEMO

・ガイド中止 をタッチすると、キーの表示が ガイド再開 に変わります。ルート案内を中止しているときに ガイド再開 をタッチすると、ルート案内が継続されます。

目的地を解除する

MEMO

・目的地を解除すると、経由地も同時に削除されます。ただし、ルート編集の**「行き先の追加・修正」(P.106)**で目的地を削除しても、経由地は削除されません。

1 ⊡ ▶ 目的地

2 目的地解除

3 はい

目的地が解除され、ルート案内が中止されます。

オートリルートについて

オートリルートは、ルート案内中に新しい最適ルートが見つかった場合や、ルートを外れてしまった場合に、自動的に新しいルートに切り替えて案内を再開する機能です。オートリルート機能を利用するには、「ルートガイドの設定」で「オートリルート」を「ON」に設定してください。**(P.261)**



オートリルートは、以下の場合に行われます。

●お車がルートを外れている場合

お車がルートから外れて一定距離以上走行しているときに、自車位置から目的地までのルートを自動的に再設定します。

●ルート上を走行中に最適なルートが探索された場合

渋滞や規制など、ルート上の交通情報の変化に対して自動的に最適なルートを設定します。
この探索には以下の設定が必要な場合があります。

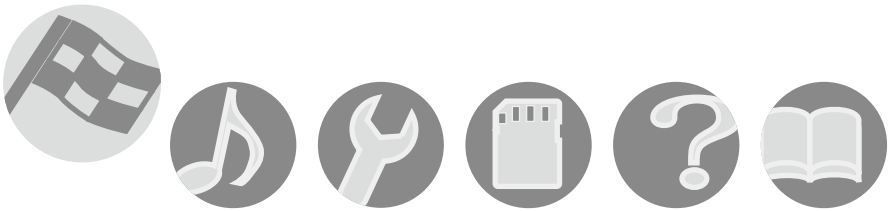
- リアルタイム交通情報を考慮 **(P.268)**：ON
- 時間規制道路 **(P.268)**：規制に従う（推奨）

Memo

ルートの案内

ルート案内中の地図画面や音声案内について説明しています。

114 ルート案内中の地図画面
115 ルート案内中の案内表示
118 ルート案内中の音声案内

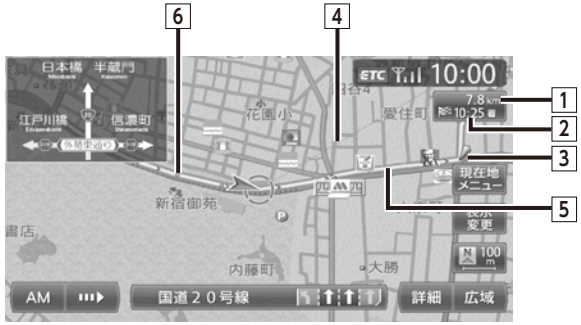


ルート案内中の地図画面

ルート案内中は、地図上に渋滞情報や案内地点、案内ルートなど、さまざまな情報がわかりやすく表示されます。

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中に操作しない**
  前方不注意になり、交通事故の原因となる恐れがあります。
- **実際の交通規制に従って走行する**
  ナビゲーションによるルート計算では、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。



1 自車位置から目的地までのルート距離
ルートを外れて走行している場合は、目的地までの直線距離が表示されます。

2 到着予想時刻※1
目的地までの到着予想時刻が表示されます。

3 音声案内地点
音声で案内される地点です。
通常道路・細街路での右左折を案内します。

4 目的地方向表示
目的地までの方向を直線で示しています。

5 誘導ルート
目的地までの走行道路です。このルートに従って走行してください。
経路色：黄色（一般道路）または黄緑色（有料道路）

6 軌跡
車が走行した軌跡が軌跡マークで表示されます。軌跡マークは「ナビゲーション設定」の「軌跡の表示」で表示／非表示を切り替えられます。**(P.259)**

※1 **「自動計算」(P.263)**が「OFF」に設定されている場合、到着予想時刻は**「到着予想時刻の速度設定」(P.261)**で定めた平均速度で計算され、渋滞情報は考慮されません。

ルート案内中の案内表示

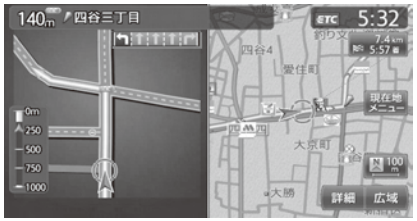
交差点手前で出る案内表示

交差点や都市高速道路入口の約300m手前で、交差点が拡大して表示されます。
交差点によっては、実際の交差点に差し掛かったときのイラストが表示される場合があります。

MEMO

- 一部の交差点では、実際の景色に似たイラストが表示されます。

交差点の手前



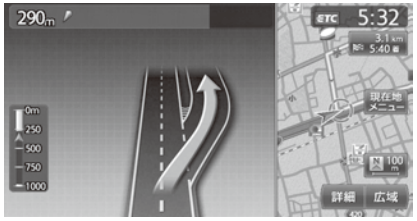
都市高速道路の手前※1



複雑交差点の手前



側道分岐点の手前



※1 **「拡大図設定」(P.261)**の「高速入口の画像表示」がONの場合に表示されます。

高速道路での案内表示

都市高速道路の入口※1



入口の名称と通行車線が表示されます。

都市高速道路の出口※2



出口の名称と通行車線が表示されます。

高速道路の分岐点※2



分岐点名、分岐点までの距離、通行車線が表示されます。

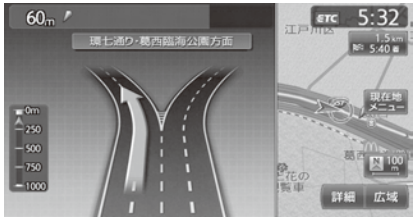
高速道路走行中



高速道路内の情報や到着予想時刻、料金が表示されます。

※1 **「拡大図設定」(P.261)**の「高速入口の画像表示」がONの場合に表示されます。
※2 **「拡大図設定」(P.261)**の「高速分岐の画像表示」がONの場合に表示されます。

■ デフォルメ図



以下の分岐点の手前では、道路形状をデフォルメ化した拡大図が表示されます。

- 側道分岐点
- 高速道路・有料道路の3分岐以内の分岐点
- 画像がない場合の高速道路の分岐点

デフォルメ図には、出口の番号と通行車線が表示されます。

細街路での表示

出発ポイントや目的地周辺の道幅が5.5m以下の細街路でも、目的地までルート案内されます。

⚠ 警告

- **出発地、目的地周辺では細街路や地図データ上の幅3.3 ～ 5.5mの一般道路が暗い黄色の線でルート表示されます。また、これらのルートは交通規制（一方通行や右左折禁止など）の情報がない道路を含みますので、必ず実際の交通規制や道路標識などに従って走行してください。**



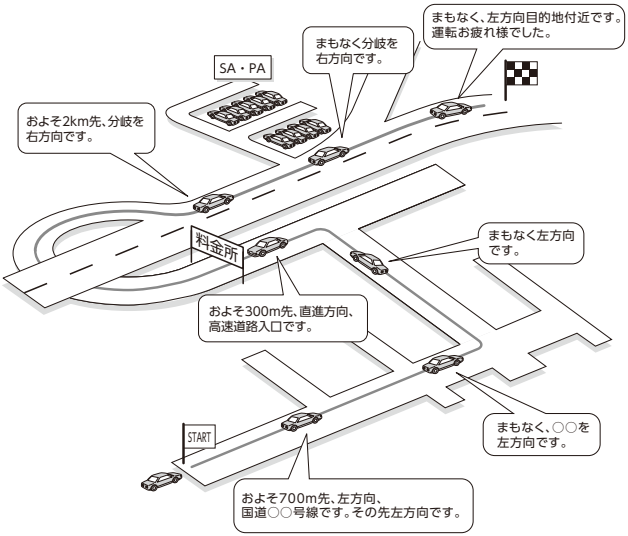
MEMO

- 200mおよび100mスケールで停止中、細街路走行中（50mスケールでは、細街路以外の道路走行中も表示されます）は細街路を表示します。200mスケールで表示されるのは一部の細街路のみです。細街路表示は、地図のスクロール中は消えます。

ルート案内中の音声案内

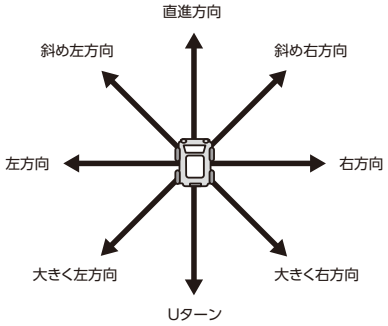
案内地点が近づくと、音声で案内されます。初めて行く場所でも安心して運転に集中できます。

運転中の音声案内例



進行方向の案内について

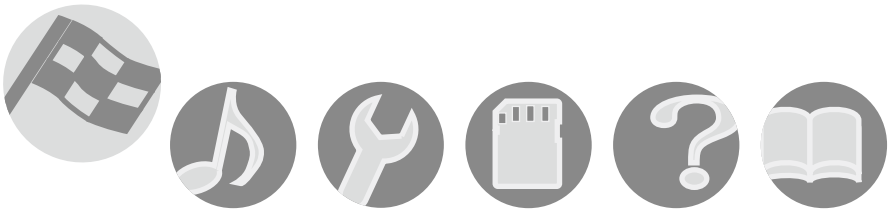
進行方向の音声案内は、図のとおり8方向で案内されます。



情報を利用する

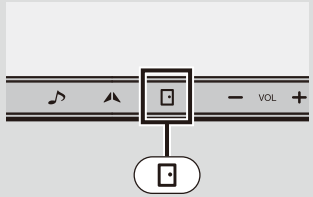
FM VICS情報やビーコンVICS情報など、さまざまな交通情報を受信してドライブに役立てられます。車のメンテナンス情報や本体情報、ETC履歴の情報などもご活用ください。

120 情報メニュー画面を表示する
121 FM VICS情報を利用する
125 ビーコンVICS情報を利用する
127 ラジオの交通情報を受信する
128 GPSから現在地の情報を取得する
129 本機の情報を見る
130 メンテナンス情報を利用する
132 ETC情報を見る
134 ETCの設定をする
135 チズルとススムを利用する



情報メニュー画面を表示する

情報メニュー画面の操作では、操作パネルの以下のボタンを使用します。



情報メニュー画面では、VICS情報やビーコンVICS情報を受信して、交通情報などを見ることができます。また、車のメンテナンスに関する情報や本機の情報、ETC履歴などの情報を見ることもできます。



情報メニュー画面



※走行中は選択できる項目が限定されます。

FM VICS情報を利用する

FM VICS情報とは

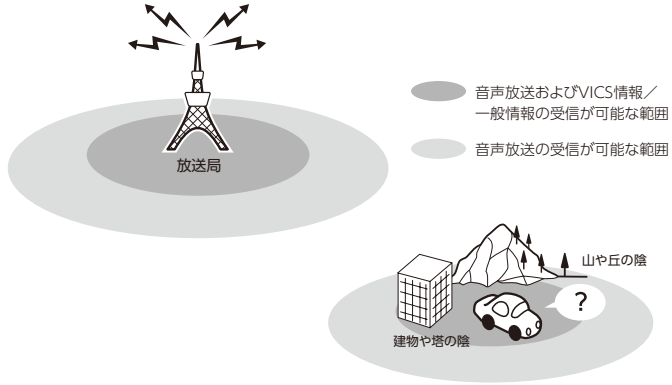
VICS（Vehicle Information and Communication System）とは、日本道路交通情報センターからの情報をもとにした道路情報サービスです。
本機は、内蔵のFM多重受信機でFM文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示します。渋滞情報、所要時間、事故情報、道路工事情報などが数分ごとに更新されます。

お願い

・表示されるFM VICS情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。

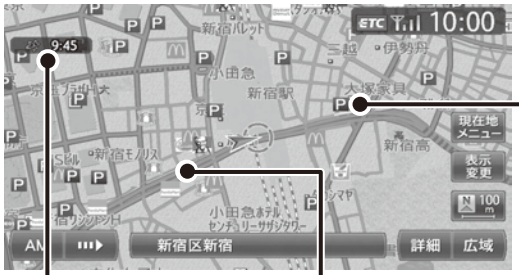
VICS情報／一般情報が取得できないときは

VICS情報／一般情報は、音声放送と比べて受信できる距離が半減するため、電波が強くなければ受信できません。受信可能範囲であっても、山、ビルなどの障害物によって電波がさえぎられ、受信できない場合もあります。また、すべてのFMラジオ放送局でVICS情報、一般情報を放送しているわけではないので、放送状況を確認してください。



VICS情報画面の見かた

VICS情報が表示された画面は以下のようになります。
画面に表示されるアイコンや渋滞情報を示す線は、「交通情報・VICSの設定」**(P.264)** で表示／非表示を設定できます。
また、ルート上に渋滞・規制情報が存在する場合は、それぞれについて音声案内を行います。

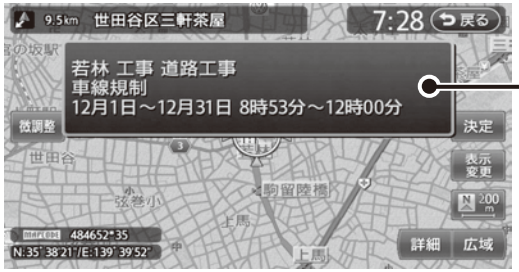


VICSアイコン表示
1km以下のスケールで表示

受信マーク表示
FM多重放送と、光・電波ビーコンの情報提供時刻を表示します。

渋滞情報を線で表示
(1km以下のスケールで表示)
赤色　：渋滞
オレンジ色　：混雑
緑色　：順調
200m以下のスケールでは、渋滞の方向を示す矢印も表示されます。

地図をスクロールしてカーソルをVICS情報のランドマークに合わせると、VICSアイコン情報が表示されます。VICSアイコン情報は、**「スクロール地点情報表示」(P.269)** で表示／非表示を設定できます。



VICSアイコン情報
カーソルの置かれたアイコンの情報が表示されます。(2D地図のみ)

FM VICS情報の更新に伴う表示変更

ナビゲーションおよび地図ソフトを購入して3年ほど経過すると、地図画面で渋滞情報が表示されない場所が出る場合が次第に増えます。この現象が起きるのは、レベル3の地図情報のみで、レベル1の文字情報・レベル2の図形情報では従来どおり表示されます。
この現象の原因は、VICSセンターの採用するVICSリンク（主要交差点ごとに道路を区切った単位）というデータ方式にあります。道路の新設や改築、信号機の設置などで交通情報が変化する場合は、適宜VICSリンクの追加や変更が行われます。そのため、新しいVICSリンクによって提供された情報は、変更前のVICSリンクでは表示されなくなります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更後の3年間は、旧VICSリンクにも従来どおりの情報を提供する仕組みになっています。
VICSリンクは毎年更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめいたします。
現在お使いのナビゲーションまたは地図ソフトの対応などにつきましては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。また詳しくは、VICSセンターへお問い合わせください。**(P.330)**

VICS情報の概要は以下のとおりです。

VICS情報提供時間：
FM多重、VICS光、電波ビーコンともに24時間提供。(メンテナンスなどで、情報提供を休止する場合があります)

情報の種類：
渋滞情報：渋滞区間を表示
所要時間情報：主要地点間の現在の所要時間を表示
交通障害情報:事故、故障車、路上障害物、工事、作業などについて通知
交通規制情報：通行止め、速度規制、車線規制などの臨時規制とその原因について通知
駐車場情報：駐車場、SA/PAの満車・空車情報について通知

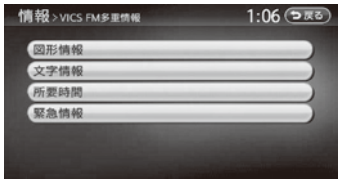
情報画面の種類：
文字情報（レベル1）(発信していない地域もあります)
図形情報（レベル2）
地図情報（レベル3）

FM VICS情報を見る

ここでは、図形情報で渋滞情報を表示させる手順を例として、NHK-FM受信時の操作を説明します。

1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ FM VICS

2 **見たい情報を選択**



図形情報：
渋滞情報を図形表示で確認します。

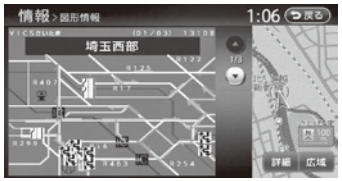
文字情報：
渋滞情報などを表示します。
※地域によっては、情報が発信されない場合があります。

所要時間：
各地への所要時間を見ます。

緊急情報：
FM VICS情報から受信した緊急情報を見ます。

3 **見たい項目の番号を選択**

FM VICS情報が表示されます。



MEMO

- 民放のFM文字多重放送を見るには、ラジオ画面の設定メニューから操作してください。**(P.184)**
- 地図の大きさを詳細に変えているときは、各FM VICS情報が表示されない場合があります。
- FM VICS情報が更新されていない場合は、更新前に受信した情報が表示されます。
- エンジンスイッチを切ると、VICS情報は消去されます。
- FM多重放送の受信地域を変更することもできます。**(P.264)**

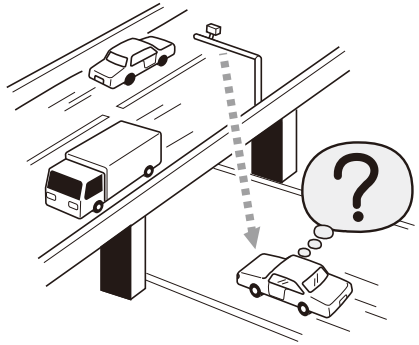
ビーコンVICS情報を利用する

別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時に受信できる情報です。VICS光・電波ビーコンユニットから受信した最新の簡易図形情報や災害発生時の緊急情報は、自動的に表示され、しばらくすると消えます。また、音声でもお知らせします。
緊急情報が消えた後に、再度最新VICS情報を表示させるには、手動で表示させます。**(P.126)**
ビーコンVICS情報は、車の走行状態や状況により、受信できなかったり、誤受信することがあります。

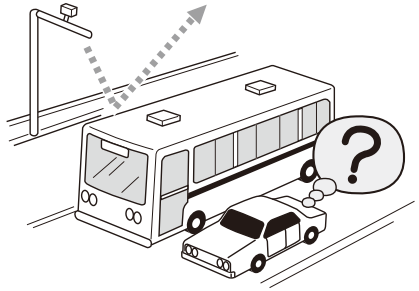
ビーコン情報受信時のご注意

一般道路走行中には

- 高速道路と交差する道路や、近くを平行して走る道路などでは、高速道路のVICS情報を受信することがあります。

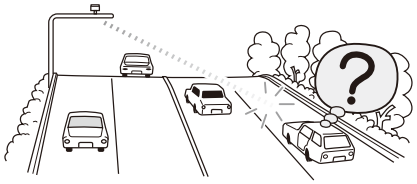


- 道路に設置されているVICS光・電波ビーコン発信機との間に大型車両などがいる場合には、VICS情報を受信できないことがあります。
- VICS光・電波ビーコン受信状況により、VICS情報が受信しにくかったり、対向車線のVICS情報を受信することがあります。



高速道路走行中には

- トンネル内や幅の広い道路では、VICS情報を受信できないことがあります。
- 道路に設置されているVICS光・電波ビーコン発信機との間に大型車両などがいる場合には、VICS情報を受信できないことがあります。
- 豪雪や豪雨時などには、VICS情報を受信しにくいことがあります。



VICS光・電波ビーコンアンテナ（別売）の取り扱いについて

- 別売のVICS光・電波ビーコンアンテナの表面に、シールなどを貼らないでください。

ビーコンVICS情報を見る

ここでは、ビーコンVICS情報の図形情報を見る方法を例として説明します。

1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ ビーコン情報

2 **見たい情報を選択**



図形情報：
渋滞情報を図形表示で確認します。

文字情報：
渋滞情報などを表示します。

所要時間：
各地への所要時間を見ます。

緊急、注意警戒情報：
ビーコン情報から受信した緊急情報／注意警戒情報を見ます。

3 **見たい項目の番号を選択**

ビーコンVICS情報が表示されます。

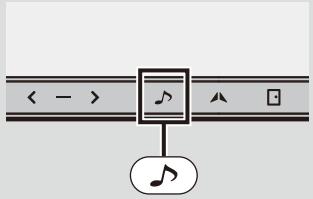


MEMO

- 図形情報などを受信すると、自動的に割り込み表示されます。この設定は変更することができます。**(P.264)**
- エンジンスイッチを切ると、ビーコンVICS情報は消去されます。

ラジオの交通情報を受信する

交通情報を受信するには、操作パネルの以下のボタンを使用します。



1 ▶ 交通情報

交通情報を受信します。



周波数を選択する場合は、1620 または 1629 をタッチします。

MEMO

- 解除 をタッチすると、交通情報を聞く前に使っていたオーディオに戻ります。

GPSから現在地の情報を取得する

GPSから現在地の情報を取得します。

1 ▶ コミュニティ／情報

2 GPS現在地情報



GPSの測位状態、自車位置の緯度・経度・概算高度、測位衛星・待機衛星それぞれの数が表示されます。

MEMO

・ナビゲーション設定の**「接続チェック」(P.269)**からも、同様にGPS受信状態を確認することができます。

本機の情報を見る

MEMO

・走行中は、本操作を行えません。

1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ 本体情報

本体情報（メモリー情報）画面が表示されます。



製品情報 または 使用許諾 をタッチすると、以下の画面が表示されます。





本体情報画面には、ナビゲーションアプリケーションのバージョン情報、バラエティスクリーンのバージョン情報、オーディオアプリケーションのバージョン情報、TV・雑誌データの最終更新日、SDカードの空き容量などが表示されます。
製品情報画面には、地図のバージョンアップに使用する確認コードなどが表示されます。
使用許諾画面には、Googleの利用規約のURLが表示されます。

MEMO

・製品情報は、クラリオン株式会社Webサイト「チズルとススム」（http://chizu-route-susumu.jp）で会員登録する際に必要となります。あらかじめ、製品コード、シリアル番号、確認コードをお控えになるか、QRコード をタッチして表示される2次元バーコード（QRコード）を携帯電話に読み取ってご登録ください。コードの読み取り操作については、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

メンテナンス情報を利用する

あらかじめ日付や距離を設定しておくことで、車のオイルや消耗品の交換、点検、免許更新などの時期を通知できます。
設定できるメンテナンス項目は、以下のとおりです。各項目に対して、日付、距離、お知らせ設定、交換間隔設定／更新機能を設定できます。

オイル関連：
エンジンオイル、オイルフィルタ、ミッションオイル、ブレーキオイル

タイヤ関連：
空気圧チェック、タイヤローテーション、タイヤ交換

消耗品：
ワイパーブレード、エアクリーナー、クーラント、バッテリー、ブレーキパッド

点検・車検：
車検、定期点検（日付とお知らせ設定のみ、設定できます）

免許証・保険：
免許証更新、自動車保険更新（日付とお知らせ設定のみ、設定できます）

オリジナル1～3：
任意の項目を設定できます。(日付とお知らせ設定のみ、設定できます)

MEMO
- お車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と、実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。

お知らせ設定をする

ここでは、エンジンオイル交換のメンテナンス時期を設定する方法を例として説明します。

1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ メンテナンス情報

2 オイル関連

MEMO
- オリジナル1 ～ オリジナル3 をタッチした場合→手順4へ

3 エンジンオイル

4 **各項目を設定**



設定できる項目は以下のとおりです。

設定項目の内容は、メンテナンス項目によって異なります。

お知らせ表示：
メンテナンス時期をお知らせ表示するかどうかを設定します。

お知らせ日：
お知らせする日を設定します。

交換間隔：
1ヶ月単位でお知らせする交換間隔を設定します。

お知らせ距離：
お知らせする走行距離を設定します。計測される走行距離と実際の走行距離では誤差が生じる場合があります。

名称：
メンテナンス項目の名前を設定します。手順2で オリジナル1 ～ オリジナル3 を選択したときのみ表示されます。

MEMO
- 交換完了 をタッチすると、設定した交換間隔でお知らせ日が更新され、走行距離が0に戻ります。

お知らせメッセージを確認する

メンテナンス項目が設定され、設定した年月日や走行距離に達すると、次に本機を起動したときにお知らせのメッセージが表示されます。

1 確認

MEMO
- 後で見る をタッチすると、後からメンテナンス項目を確認できます。**「お知らせ設定をする」(P.130)**の手順2、3で ! が表示されている項目がお知らせされた項目です。 交換完了 をタッチすると、 ! は消えます。

2 **お知らせ項目を選択**

次のメンテナンス時期を設定します。

MEMO
- お店へ行く をタッチすると、登録した販売店までのルートが設定されます。

販売店情報を登録する

販売店の情報を登録しておくと、メンテナンス情報お知らせ時に販売店へルート案内できます。

1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ メンテナンス情報

2 販売店情報

3 販売店登録

4 **販売店を探す（P.61）**

5 決定

6 はい

販売店が登録されます。設定した販売店の名称、電話番号、位置は自動で入力されます。

販売店を登録したら

販売店情報を登録したあとの販売店情報画面およびお知らせ項目確認画面には、お店へ行く が表示されます。タッチすると、販売店までの地図とルート選択メニューが表示されます。
ルート選択メニューの ガイド開始 をタッチすると、販売店までのルートが設定されます。

MEMO
- 販売店の名称、電話番号、担当者、位置を編集したい場合は、販売店情報画面で各項目をタッチしてください。

ETC情報を見る

ETC情報とは

ETC情報とは、別売のETCユニットを接続すると表示される、ETCの料金情報や予告案内、警告情報です。料金所ゲートを通過するときに、ETC情報を受信し、画面表示と音声で案内されます。

MEMO

- 本操作を行うには、ETCユニットにETCカードがセットされている必要があります。ETCユニットについて詳しくは、ETCユニット付属の取扱説明書をご覧ください。
- ETCの車載器管理番号などを表示させることもできます。**(P.133)**

ETC情報の画面表示

ETCユニットからの料金情報を受信すると、料金案内が表示されます。表示内容はナビゲーション画面、オーディオ画面とも同様です。



予告案内／警告表示／料金案内

ETCユニットが予告案内、警告情報、料金案内を受信すると、以下の内容が表示されます。

予告案内

料金所に予告アンテナ／ETCカード未挿入お知らせアンテナが設置されている場合のみ表示されます。同時に「○○にお進みください」など、車線の誘導が表示されることがあります。

- **「ETCは利用できません」**
- **「ETCがご利用可能です」**
- **「ETC車線を通行できます」**

警告

- **「ETCカードを確認してください」**

ETCカードが故障、またはカードがETCカードでないときに表示されます。

- **「ETCに異常が検出されました　販売店に連絡してください」**

ETCユニットの異常により、本機との接続ができないときに表示されます。

- **「ETCカードを挿入してください」**

ETCカードの入れ忘れ警告を「ON」に設定した場合**(P.134)**、本機起動時に表示されます。また、ETCカード未挿入で「履歴」「最新利用日履歴」「精算」をタッチしたときにも表示されます。

- **「ETCユニットがセットアップされていません」**

ETCユニット本体がセットアップされていないときに表示されます。

- **「ETCカードの有効期限が切れています　ETCを利用できません」**

ETCカードの有効期限が切れているとき、起動時とETCカード挿入時に表示されます。

- **「ETCカードの有効期限が近づいています」**

ETCカードの有効期限切れ14日前から、起動時とETCカード挿入時に表示されます。

料金案内

ETCゲート通過時に料金が徴収された場合、また料金の払い戻しがあった場合は、以下の内容が表示されます。

- **利用料金は、xxxx円です**
- **払い戻し料金は、xxxx円です**

最新の利用履歴を読み上げる

1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ ETC情報

2 最新利用履歴の読上げ

最後に課金されたETCの金額が音声で案内されます。

ETC情報の履歴を見る

1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ ETC情報

2 履歴 または 最新利用日履歴

ETC情報が表示されます。

MEMO

- ETC情報の履歴は、ETCカードが差し込まれている場合に、新しい利用履歴から最大100件分を確認できます。

ETCのセットアップ情報を表示する

ETCのセットアップ情報を表示させることができます。

1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ ETC情報

2 セットアップ情報

ETCの車載器管理番号、型式登録番号、車載器型式が表示されます。

ETC料金を割り勘にする

ETC情報の履歴の中から履歴を指定して、希望の人数で割った金額を算出できます。また、駐車料金などの調整金額を含めて算出することもできます。

MEMO

- 走行中はETC料金の精算はできません。

1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ ETC情報

2 精算

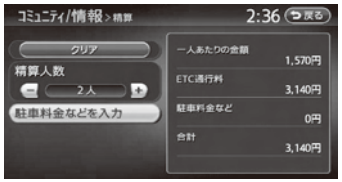
3 精算したい履歴を選択 ▶ 決定



MEMO

- 日+ をタッチするごとに1日分ずつの履歴が選択されます。
- 日− をタッチするごとに選択した履歴を1日分ずつ解除します。

4 ＋ または − で人数を調整



1人あたりの支払い金額が表示されます。

5 ETC以外にかかった料金がある場合は、駐車料金などを入力

6 金額を入力 ▶ 決定

1人あたりの支払い金額が表示されます。

MEMO

- ETC履歴のICランプ情報が不明の場合、または料金所が新規追加され情報が不足している場合は、「情報なし」と表示されます。

ETCの設定をする

別売のETCユニット接続時の設定です。

1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ ETC情報

2 ETC設定



※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
音声ガイド	本機からの音声ガイドを出力させるかどうかを選択する	ON※／ OFF	—
カード入れ忘れ警告	ETCカードを入れ忘れたときに警告させるかどうかを選択する	ON※／ OFF	
本体ブザー音	ETCユニットのブザー音を鳴らすかどうかを設定する ・ブザー音が鳴るのは以下の場合です。 ・ゲート通過時 ・カード挿入時／排出時 ・ACC ON時にカード未挿入	ON※／ OFF	—
アイコン表示	地図上にETCアイコンの情報を表示させるかどうかを選択する	ON※／ OFF	—

チズルとススムを利用する

「チズルとススム」サイトと連携し、お気に入りの地点や登録ルートなどのデータの送信や本機への取り込みを行います。データの送信や本機への取り込みは、オンライン経由またはSDカードを使用して行います。「チズルとススム」のご利用には、会員登録（無料）が必要です。本機をより便利にお使いいただくために、会員登録をおすすめします。「チズルとススム」について詳しくは、以下をご覧ください。
http://chizu-route-susumu.jp

MEMO

- オンライン経由でデータの登録／送信を行う場合は、あらかじめBluetooth対応携帯電話を本機に接続し、「インターネット連携」で認証を行う必要があります。詳しくは、**P.159**をご覧ください。
- SDカードを本機にセットする方法については、**P.174**をご覧ください。

お気に入り地点を本機に登録する

「チズルとススム」サイト内の登録地（お気に入りスポット）を、本機の登録地へ追加します。本機では400箇所のお気に入りスポット（地点登録を含む）を保存できます。
本機に取り込むことができる地点情報は、名称、位置、住所、電話番号です。

オンライン経由で本機に登録する

あらかじめ、「チズルとススム」サイトの「お気に入り」内で登録する地点を選択してください。お気に入りスポットは最大20件まで選択できます。

1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ チズルとススム

2 お気に入りスポットを登録地へ追加

3 オンライン

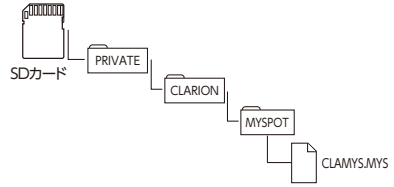
接続が開始されます。

4 OK

本機に「チズルとススム」サイトのお気に入りスポットが登録されます。

SDカードから本機に登録する

あらかじめ、「チズルとススム」サイトから登録する地点をSDカードに書き出してください。
「チズルとススム」から地点を取り込むには、以下のフォルダ構造でファイルが保存されている必要があります。



1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ チズルとススム

2 お気に入りスポットを登録地へ追加

3 SDメモリーカード

4 本機に登録する地点を選択 ▶ 決定

5 OK

本機に「チズルとススム」サイトのお気に入りスポットが登録されます。

お気に入りコースを本機に登録する

「チズルとススム」サイト内のお気に入りコースを、本機の登録ルートへ追加します。本機では5件の登録ルートを保存できます。

オンライン経由で本機に登録する

あらかじめ、「チズルとススム」サイトの「お気に入り」内で登録するコースを選択してください。1回で登録できる件数は1件のみです。

1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ チズルとススム
2 お気に入りコースを登録ルートへ追加
3 オンライン

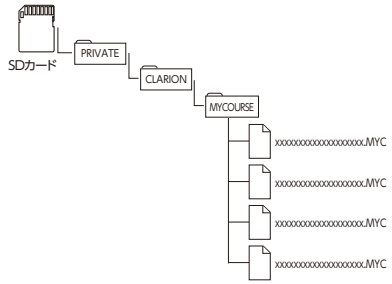
接続が開始されます。

4 OK

本機に「チズルとススム」サイトのお気に入りコースが登録されます。

SDカードから本機に登録する

あらかじめ、「チズルとススム」サイトから登録するコースをSDカードに書き出してください。
「チズルとススム」からコースを取り込むには、以下のフォルダ構造でファイルが保存されている必要があります。



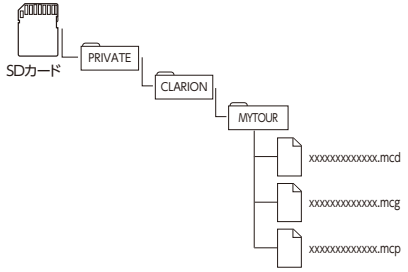
※ファイル名は、半角35文字以内、全角17文字以内にしてください。

1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ チズルとススム
2 お気に入りコースを登録ルートへ追加
3 SDメモリーカード
4 本機に登録する地点を選択 ▶ 決定
5 OK

本機に「チズルとススム」サイトのお気に入りコースが登録されます。

MYツアーデータを本機に取り込む

「チズルとススム」サイトでは、ご使用のお客様から投稿されたスポット（位置情報）からお好みのものを探し、SDカードに保存することができます。これを「MYツアー」と呼びます。
本機に取り込むことのできるMYツアーデータは1件のみです。取り込んだMYツアーデータは、ピクチャービュー画面から目的地・経由地として設定することができます。**(P.57)**
「チズルとススム」からMYツアーを取り込むには、以下のフォルダ構造でファイルが保存されている必要があります。



※ファイル名は、半角31文字以内、全角15文字以内にしてください。

1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ チズルとススム
2 MYツアーデータの取り込み
3 本機に取り込むMYツアーを選択 ▶ 決定

MYツアーデータが本機に取り込まれます。

登録地を送信／書き出しをする

本機の登録地を、お気に入りスポットとして「チズルとススム」サイトに送信、またはSDカードに書き出すことができます。
送信／書き出しができる地点情報は、アイコン、名称、電話番号、位置、住所、認識愛称です。
スクロール画面で登録された地点は、お気に入りスポットとして書き出すことができます。各種検索から登録した地点やGoogleから検索した地点の情報は送信／書き出しができません。

オンライン経由で送信する

選択できるお気に入りスポットは最大20件です。

1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ チズルとススム
2 登録地を"チズルとススム"サイトへ送信
3 オンライン
4 送信する登録地を選択 ▶ 決定



接続が開始されます。

5 OK

「チズルとススム」サイトに、本機のお気に入りスポットが送信されます。

SDカードに書き出す

SDカードに書き出したお気に入りスポットは、「チズルとススム」サイトで利用できます。
SDカードには最大400件までお気に入りスポットを書き出せます。
「チズルとススム」でお気に入りスポットを利用するには、**「SDカードから本機に登録する」(P.135)**と同様のフォルダ構造でファイルが保存されている必要があります。

1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ チズルとススム
2 登録地を"チズルとススム"サイトへ送信
3 SDメモリーカード
4 書き出す地点を選択 ▶ 決定



5 はい

SDカードにお気に入りスポットが書き出されます。

走行軌跡を送信／書き出しをする

本機の軌跡情報を「チズルとススム」サイトに送信、またはSDカードに書き出すことができます。

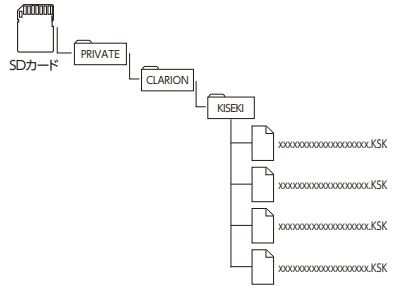
オンライン経由で送信する

1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ チズルとススム
2 走行軌跡を"チズルとススム"サイトへ送信
3 オンライン

「チズルとススム」サイトに、本機の走行軌跡が送信されます。

SDカードに書き出す

SDカードに書き出した走行軌跡は、「チズルとススム」サイトで利用できます。
「チズルとススム」で走行軌跡を利用するには、以下のフォルダ構造でファイルが保存されている必要があります。



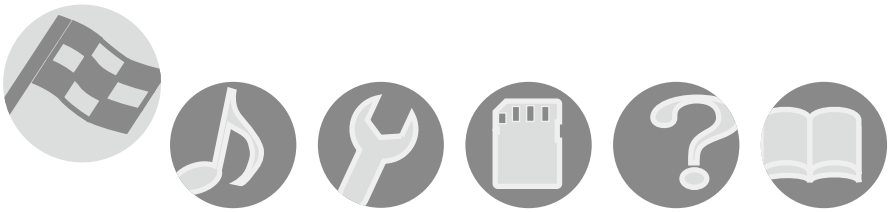
1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ チズルとススム
2 走行軌跡を"チズルとススム"サイトへ送信
3 SDメモリーカード
4 軌跡の名称を入力 ▶ 終了
5 はい

SDカードに走行軌跡が書き出されます。

通信（Bluetooth）を利用する

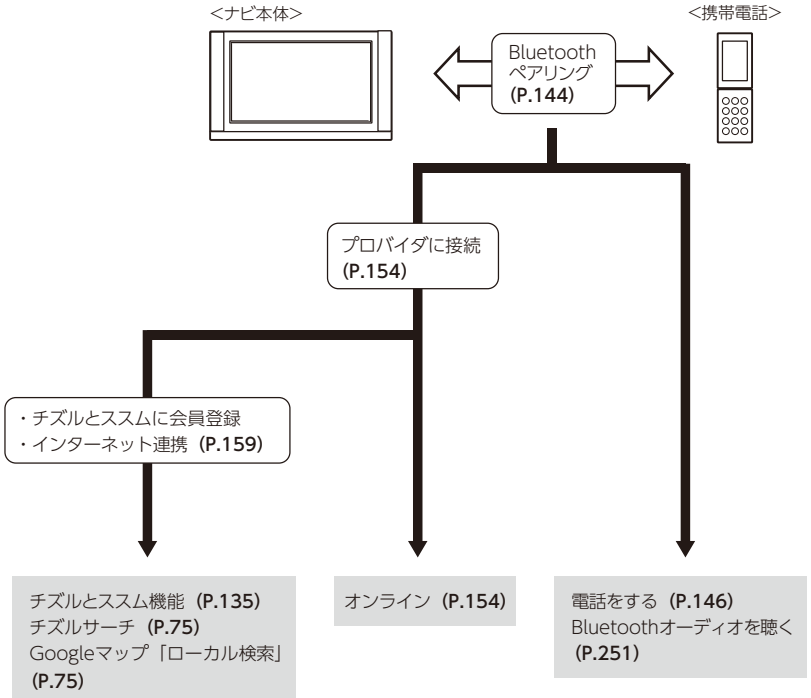
本機に携帯電話などのBluetooth機器を接続すると、本機から電話をかけたり、交通情報を受信することができます。

140 通信を利用してできること
141 Bluetooth機器を登録する
146 携帯電話を利用する
154 携帯電話から交通情報を受信する（オンライン）
159 チズルとススムセンターと通信連携をする
160 パケット通信量を表示する



通信を利用してできること

Bluetooth対応携帯電話を利用すると、交通情報をリアルタイムで受信したり、「チズルとススム」の各機能やGoogleマップ「ローカル検索」などの便利な機能を使用することができます。これらの機能を使用するには、携帯電話を本機に登録（ペアリング）するほか、通信会社の設定などの通信連携を行う必要があります。



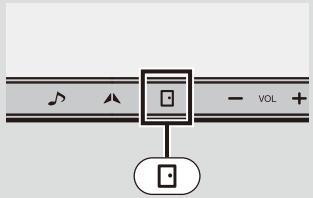
通信連携について詳しくは、各機能のページをご覧ください。

MEMO

・通信連携を行うにはパケット通信料がかかります。

Bluetooth機器を登録する

電話メニュー画面および電話設定画面、Bluetooth設定画面の操作では、操作パネルの以下のボタンを使用します。

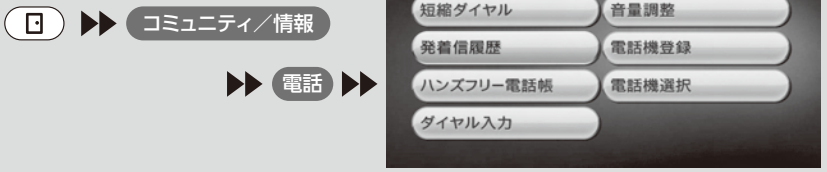


MEMO

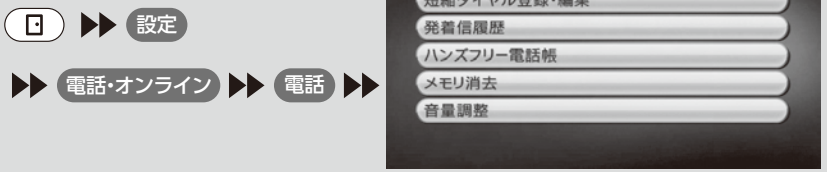
・本機でBluetooth機能を使用するには、本機のBluetooth電源をONにする必要があります。（P.153）

携帯電話などのBluetooth対応機器を登録して、本機から電話の発着信やオーディオの再生を行うことができます。
Bluetooth対応携帯電話を用いるとケーブルを接続することなく、Bluetoothを利用したハンズフリー機能を使用できます。
この操作は、電話メニュー画面および電話設定画面、Bluetooth設定画面から行います。

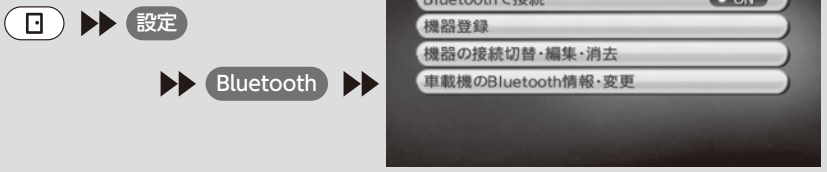
電話メニュー画面



電話設定画面



Bluetooth設定画面



※走行中は選択できる項目が限定されます。

Bluetooth（ブルートゥース）とは

Bluetoothとは、産業団体Bluetooth SIGにより提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.45GHz帯の電波を利用してBluetooth対応機器どうしで通信を行います。
本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。

ハンズフリープロファイル（HFP）：
本機でBluetooth対応機器とハンズフリーで通話する

オブジェクトプッシュプロファイル（OPP）：
Bluetooth対応機器から本機に電話帳などを転送する

オーディオプロファイル（A2DP、AVRCP）：
Bluetooth対応機器と接続し、ワイヤレスで音楽の再生と簡易コントロールを行う

ダイヤルアップネットワークプロファイル（DUN）：
本機でBluetooth対応機器をネットワークに接続し、データ通信を行う

フォンブックアクセスプロファイル（PBAP）：
携帯電話のメモリを読み出す

※Bluetoothプロファイルに対応している機器であっても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、表示や動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

MEMO

- 本機では、Bluetoothに対応した携帯電話およびオーディオ機器を利用できます。
- Bluetooth対応機器を利用するには、本機に登録（ペアリング）する必要があります。**(P.144)**
- 本機では、Bluetooth対応携帯電話（ハンズフリー）とBluetoothオーディオを同時に使用することができます。ただし、音声についてはハンズフリーを優先します。
- 携帯電話およびオーディオ機器は、Bluetooth方式に対応しているものを使用してください。ただし、携帯電話、オーディオ機器の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 携帯電話、オーディオ機器の収納場所、距離によっては、接続できない場合があります。本機との間に障害物のない場所に携帯電話、オーディオ機器を置いてご使用ください。
- Bluetooth対応携帯電話、オーディオ機器について詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。
- 通話中に音量を調整した場合、他のソースに切り替えて音量を変更しても、次回電話を受発信したときに元の音量で通話できます。

携帯電話を登録する（ペアリング）

初めてBluetooth対応携帯電話を利用するときは、本機に登録（ペアリング）する必要があります。ペアリングすることにより、ハンズフリーで通話できる携帯電話を限定します。

MEMO
- 走行中はペアリングを実行できません。
- あらかじめ携帯電話でBluetooth機能をONに設定しないと、ペアリングできない場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

1 ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 機器登録 ▶ はい



携帯電話から本機の探索を行います。

MEMO
- 携帯電話以外のBluetoothオーディオ機器を登録する場合は、いいえ をタッチしてからパスキー「例：1234」を入力してください。
- 電話メニュー画面の 電話機登録 をタッチしても、同様の操作ができます。

3 **携帯電話から「NX-BT」（初期値）を選択し、パスキー「1234」（初期値）を入力**

ペアリングが完了します。

MEMO
- ハンズフリー中（発信、着信、通話）は、オーディオ音声は出力されません。
- 携帯電話は、5台までペアリングすることができます。6台目をペアリングするには、すでに登録されたペアリング情報を削除する必要があります。
- 携帯電話にBluetooth対応機器を登録する方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- すでに携帯電話を接続した状態でペアリングを行った場合は、接続を解除し、最後にペアリングした携帯電話と接続します。
- 携帯電話の「接続待機中」の設定を行わないと、自動的に接続されない場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話の受信感度、電池残量の表示は、接続する携帯電話によって、数値が一致しない場合があります。
- ペアリング完了後、携帯電話上で接続確認の操作が必要な場合があります。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- ペアリング完了後、携帯電話上で接続するプロファイルを選択する必要がある場合は、「ハンズフリー」を選択してください。また、同時にオーディオプレーヤーを使用する場合は、「オーディオ」も選択してください。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth対応携帯電話と距離が離れているなど、何らかの理由で接続が切断された場合に、自動的に再接続を試みます。
- 携帯電話を再起動した場合、携帯電話の種類によって、自動的に接続されない場合があります。自動接続されない場合は電話メニュー画面の 電話機選択 をタッチしてリストから接続したい携帯電話を選択してください。(P.142)

接続する携帯電話を切り替える

本機に複数のBluetooth機器が登録されている場合に、接続する機器を切り替えることができます。

1 ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 機器の接続切替・編集・消去

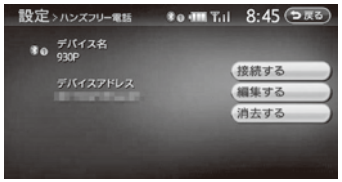
3 ハンズフリー電話



MEMO
- 携帯電話以外のBluetoothオーディオ機器を使用する場合は オーディオ音楽再生 をタッチしてください。

4 **切り替える機器を選択**

5 接続する



手順3で「オーディオ音楽再生」を選択している場合は 選択する をタッチします。
本機と接続する機器が切り替わります。

接続する：
接続する機器を切り替えます。

編集する：
機器の登録名称を変更します。(P.153)

消去する：
選択した機器を本機の登録済みリストから削除します。

MEMO
- 電話メニュー画面の 電話機選択 をタッチしても、同様の操作ができます。その場合は、携帯電話以外のBluetoothオーディオ機器の切り替えはできません。
- 現在使用中の携帯電話の切り替えを行うと、短縮ダイヤル・発着信履歴などの機器情報も選択した機器の情報に切り替わります。

登録した携帯電話を削除する

ペアリング済みのBluetooth機器情報を削除します。

1 ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 機器の接続切替・編集・消去

3 ハンズフリー電話

登録機器リスト画面が表示されます。

MEMO
- 携帯電話以外のBluetoothオーディオ機器も削除できます。

4 **削除したい機器を選択**

5 消去する

6 はい

MEMO
- 携帯電話の登録情報を削除すると、該当する携帯電話の発着信履歴、短縮ダイヤル、電話帳情報も削除されます。
- 携帯電話の登録情報を削除している最中に本機の電源を切ると、削除できないことがあります。その場合は電源を入れ、再度削除の操作を行ってください。

携帯電話を利用する

通話中の画面

通話中は、以下のような画面が表示されます。

通話中画面



タッチすると、通話を終了します。

タッチすると、携帯電話での通話に切り替わります。

タッチすると、送話音声がミュート状態になります。

タッチすると、番号入力画面が表示され、通話中にパスワードなどの数字を入力することができます。

通話中に（人）を押すと、以下のような画面になります。この画面のまま、目的地検索などの操作も行えます。

通話中地図画面



携帯電話の受信感度が表示されます。

通話中画面に切り替わります。

タッチすると、携帯電話本体での通話に切り替わります。

タッチすると、電話を切り現在地が表示されます。

通話時間、相手先の名前または電話番号が表示されます。

MEMO

- 通話中に第三者から着信があった場合は、自動的に着信を拒否します。その際の着信履歴は保存されません。
- 通話中に車が電波の届かない場所に移動したときは回線が切れます。
- ハンズフリー中は、オーディオソースの選択切り替え、オンライン機能を使用できません。
- 携帯電話が待ち受け状態でないと、発着信できないことがあります。
- ご使用の携帯電話によっては、プライベート設定できない場合があります。

番号を入力して電話をかける

⚠ 注意

• 走行中は、電話番号を入力して電話をかけることはできません。必ず車を安全な場所に停車させてから行ってください。

MEMO

- 一般の電話にかけるときは、市内通話であっても必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 携帯電話によっては、ダイヤル発信後、発信中の電話を切った場合、すぐに再発信できないことがあります。しばらく経ってから、ダイヤル発信を行ってください。

1 （□）▶ コミュニティ／情報 ▶ 電話

2 ダイヤル入力

3 **電話番号を入力**

4 電話をかける

電話番号が発信され、相手を呼び出します。



電話を切る：
呼び出し途中でタッチすると、電話を切ることができます。

5 通話を終了する場合は 電話を切る



電話を切り、地図画面に戻ります。
発信した電話番号、名称（電話帳に登録されている場合）、発信日時が発信履歴として保存されます。同一電話番号の場合、最新の履歴のみが表示されます。

発着信履歴からかける

1 （□）▶ コミュニティ／情報 ▶ 電話

2 発着信履歴

3 着信履歴 または 発信履歴

4 **ダイヤルしたい相手先を選択**



着信履歴／発信履歴：
リストに表示する履歴を切り替えます。

5 電話をかける

登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

MEMO

- 発着信履歴の登録数は、最新の5件分です。この履歴は、携帯電話ではなく本機に記録されているものです。
- 同一電話番号を異なる名称で短縮ダイヤルと電話帳に登録している場合、短縮ダイヤルの情報を優先して履歴を表示・登録します。
- 非通知着信時の着信履歴からは電話をかけられません。
- 短縮ダイヤルまたは、電話帳に登録されている電話番号の場合、登録している名称を表示します。

発着信履歴を消去する

1 ▶ 設定 ▶ 電話・オンライン

2 電話

3 メモリ消去

4 発着信履歴



MEMO

- メモリ全消去 をタッチすると、短縮ダイヤル、電話帳および発着信履歴のすべてのデータを消去することができます。

5 消去する方法を選択



一括消去：
すべての発着信履歴を消去します。

履歴ごとに消去：
すべての発信履歴、またはすべての着信履歴を選択して消去します。

1件消去：
選択した1件の発着信履歴を消去します。発着信履歴リストから消去したい履歴を選択し、消去する をタッチしてください。

6 はい

選択した履歴が消去されます。

MEMO

- 手順3で 発着信履歴 をタッチし、発着信履歴リストから履歴を選択して消去することもできます。

電話帳を登録する

あらかじめ携帯電話の電話帳を本機に登録しておき、そこから電話をかけることができます。
携帯電話の電話帳は、携帯電話側の電話帳転送機能を使用して登録します。携帯電話によっては、電話帳を転送できないものがあります。
詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

MEMO

- 電話帳を転送後、携帯電話の接続が切断される場合があります。その場合は、再度、登録機器リストから接続したい携帯電話を選択してください。

1 ▶ 設定 ▶ 電話・オンライン

2 電話

3 ハンズフリー電話帳

4 携帯メモリー括ダウンロード または 携帯メモリ追加ダウンロード ▶ はい



電話帳転送の待ち受け画面になります。

携帯メモリー括ダウンロード：
携帯電話で選択した電話帳が転送されます。転送後は、電話帳のリスト画面が表示されます。キャンセル をタッチすると、転送途中のデータは破棄され登録されません。

携帯メモリ追加ダウンロード：
携帯電話で選択した電話帳が転送されます。転送後に キャンセル をタッチするまで、連続して追加する電話帳を選択することができます。

ダウンロード済みリスト：
登録済みの電話番号を短縮ダイヤルに登録(P.150)、または消去(P.150)できます。

5 携帯電話から電話帳転送

登録機器リストで現在選択されている携帯電話の電話帳が本機に転送されます。
追加ダウンロード完了時には、キャンセル をタッチして登録作業を終了してください。

MEMO

- 登録可能な電話帳データは登録機器全体で1500件です。1台の最大登録件数は300件です。
- 電話帳の1つの名称に対して、最大5件まで電話番号を表示できます。
- 電話帳の転送は、同一の電話番号でも常に追加で登録され上書きされません。必要に応じて電話番号を削除してください。
- 電話番号リストに表示されるアイコンには以下の種類があります。
  (携帯電話) / (一般電話) / (自宅) / (会社) / (その他)
- 転送した電話帳の表示順序は、携帯電話で表示される順序とは異なります。読みがなで並べ替えを行いますので、ダイヤルの際は発信する相手の電話番号をご確認ください。
- 電話メニュー画面の ハンズフリー電話帳 ▶ 電話帳ダウンロード をタッチしても、携帯メモリの一括ダウンロードができます。本機に電話帳が1件も登録されていない場合は、ハンズフリー電話帳 をタッチすると電話帳転送の待ち受け画面になります。

電話帳から電話をかける

1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ 電話

2 ハンズフリー電話帳

3 名前を選択

4 電話番号を選択

5 電話をかける

登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

電話帳のデータを消去する

1 ▶ 設定 ▶ 電話・オンライン

2 電話

3 メモリ消去

4 ハンズフリー電話帳



MEMO

・メモリ全消去 をタッチすると、短縮ダイヤル、電話帳および発着信履歴のすべてのデータを消去することができます。

5 消去する方法を選択



一括消去：
すべての電話番号を消去します。

1件消去：
選択した1件の電話帳を消去します。電話帳リストから消去したい電話帳を選択し、消去する をタッチしてください。

6 はい

選択した電話帳が消去されます。

MEMO

・手順3で ハンズフリー電話帳 ▶ ダウンロード済みリスト をタッチし、電話帳一覧から電話帳を選択して消去することもできます。

施設情報から電話をかける

施設情報画面に「電話する」が表示されている場合、Bluetooth対応携帯電話を接続すると画面から電話をかけることができます。



1 電話する

登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

短縮ダイヤルを登録する

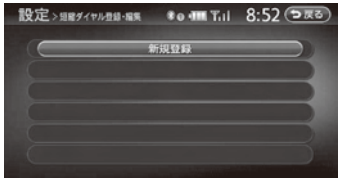
本機に短縮ダイヤルを登録すれば、簡単に電話をかけることができます。

1 ▶ 設定 ▶ 電話・オンライン

2 電話

3 短縮ダイヤル登録・編集

4 新規登録



5 登録する方法を選択



発着信履歴から登録：
発着信履歴リストから登録したい電話番号を選択します。

ハンズフリー電話帳から登録：
電話帳から登録したい電話番号を選択します。

入力して登録：
登録したい電話番号を直接入力します。入力後は、決定 をタッチしてください。

6 登録情報を確認



短縮ダイヤルの登録番号、名称、電話番号、アイコンの種類は編集することができます。それぞれの項目をタッチし、希望の設定値を入力してください。短縮ダイヤル登録後に編集することもできます。(P.151)

7 決定

短縮ダイヤルが登録されます。

MEMO

・短縮ダイヤルの最大登録件数は携帯電話1台につき5件です。
・電話メニュー画面の 短縮ダイヤル をタッチしても、同様の操作ができます。
・手順3で 発着信履歴 または ハンズフリー電話帳 をタッチし、それぞれのリストから電話番号を選択して登録することもできます。

短縮ダイヤルから電話をかける

1 ▶ コミュニティ／情報 ▶ 電話

2 短縮ダイヤル

3 ダイヤルしたい相手先を選択

4 電話をかける

登録されている短縮ダイヤルが発信され、電話がかかります。

短縮ダイヤルの編集をする

登録済みの短縮ダイヤルの編集をします。

1 ▶ 設定 ▶ 電話・オンライン

2 電話

3 短縮ダイヤル登録・編集

4 編集したい短縮ダイヤルを選択

5 編集する

「登録番号」「名称」「番号」「種類」から編集したい項目を選択し、希望の設定値を入力してください。

短縮ダイヤルを消去する

1 ▶ 設定 ▶ 電話・オンライン

2 電話

3 メモリ消去

4 短縮ダイヤル



MEMO

- メモリ全消去 をタッチすると、短縮ダイヤル、電話帳および発着信履歴のすべてのデータを消去することができます。

5 消去する方法を選択



一括消去：
すべての短縮ダイヤルを消去します。

1件消去：
選択した1件の短縮ダイヤルを消去します。短縮ダイヤルリストから消去したい短縮ダイヤルを選択し、消去する をタッチしてください。

6 はい

選択した短縮ダイヤルが消去されます。

MEMO

- 手順3で 短縮ダイヤル登録・編集 をタッチし、短縮ダイヤルリストから短縮ダイヤルを選択して消去することもできます。

電話を受ける

本機に接続した携帯電話が着信すると、着信画面が表示されます。

⚠ 注意

- **走行中に電話を受けるときは、必ず周りの安全を十分に確認してください。**

1 電話がかかってきたら 電話に出る



通話を終了したい場合は、電話を切る をタッチします。
電話を切り、着信直前の画面に戻ります。着信した電話番号、名称（短縮ダイヤル、電話帳に登録されている場合）、着信日時が着信履歴として保存されます。

MEMO

- 着信中に 着信拒否する をタッチすると、着信を拒否します。
- 保留する をタッチすると、応答を保留することができます。

電話の設定をする

ハンズフリー電話に関する設定ができます。

通話音量と着信音の設定をする

電話の音量と着信音について設定できます。

1 ▶ 設定 ▶ 電話・オンライン

2 電話

3 音量調整

4 各項目を設定



着信音量：
着信音量をレベル1 ～ 16に設定できます。初期値はレベル4です。

受話音量：
受話音量をレベル1 ～ 16に設定できます。初期値はレベル4です。

送話音量：
送話音量をレベル1 ～ 5に設定できます。初期値はレベル3です。

自動応答保留：
着信時に、自動的に保留状態にします。**(P.153)** 初期値は「OFF」です。

車載機の着信音使用：
本機からの着信音を使用するかどうかを選択します。初期値は「OFF」です。

自動応答保留を設定する

電話がかかってきたときに、2秒後に自動的に電話をつなぎ、保留状態にするよう設定できます。

1 ▶ 設定 ▶ 電話・オンライン

2 電話

3 音量調整

電話設定画面が表示されます。

4 自動応答保留

タッチするたびに、ON ／ OFFが切り替わります。

MEMO

- 工場出荷時、自動応答保留は「OFF」に設定されています。

Bluetooth電源をON ／ OFFする

携帯電話によっては、接続応答を返さずに通信異常が発生し、操作が正常にできなかったり、表示されなかったりすることがあります。その場合は、Bluetooth電源のOFF→ON切り替えを行ってください。
Bluetooth電源をOFFにすると、他のBluetooth機器からの探索を防ぐことができます。OFFのときは、本機でBluetooth機能の操作を行うことはできません。また、Bluetooth対応携帯電話から本機への接続や操作もできなくなります。

1 ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 Bluetoothで接続

タッチするたびにON ／ OFFが切り替わります。

MEMO

- 工場出荷時、Bluetooth電源は「OFF」に設定されています。

パスキー・デバイス名称を変更する

本機に設定されているパスキーとデバイス名称を変更できます。

1 ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 車載機のBluetooth情報・変更

3 パスキー または デバイス名

4 新しいパスキーまたは名称を入力

5 決定

MEMO

- 工場出荷時、パスキーは「1234」、名称は「NX-BT」に設定されています。
- デバイス名称は、電話メニュー画面で 電話機選択 ▶ 編集する をタッチしても変更することができます。
- デバイスアドレスは変更できません。

携帯電話から交通情報を受信する（オンライン）

Bluetooth対応携帯電話から渋滞・交通規制情報などをリアルタイムに受信することができます。
受信した情報は地図上に表示されるほか、渋滞を考慮したルートの再探索に使用できます。
オンラインの情報を受信するには、Bluetooth対応携帯電話を本機に接続する必要があります。(P.144)

電話の接続方法を設定する

オンラインでリアルタイムに渋滞・交通規制情報を受信するには、プロバイダに接続する必要があります。
接続方法には、指定のプロバイダを選択する場合と、任意のプロバイダに手動で接続の設定を行う場合とがあります。

MEMO

- はじめてオンラインの接続設定を行うときは、「オンラインサービス利用確認画面」が表示されます。内容をご確認の上、サービスを利用する をタッチして次の画面に進んでください。

指定のプロバイダを選択する場合

1. ▶ 設定 ▶ 電話・オンライン
2. オンライン
3. 接続先の編集



MEMO

- Bluetooth設定 をタッチすると、Bluetooth設定画面(P.142)を表示することができます。

4. 接続先1 または 接続先2
5. かんたん設定

携帯電話会社のプロバイダリストが表示されます。

6. プロバイダを選択 ▶ 決定



選択したプロバイダが接続先として設定されます。

手動で設定する場合

1. ▶ 設定 ▶ 電話・オンライン
2. オンライン
3. 接続先の編集
4. 接続先1 または 接続先2
5. マニュアル設定
6. 各項目を入力 ▶ 終了 または 決定





接続先名称：
接続先（プロバイダ）の名称を入力します。

接続先電話番号：
アクセスポイントの電話番号を入力します。

ID：
プロバイダ入会時に発行されたIDを入力します。

パスワード：
上記IDに対するパスワードを入力します。

プライマリDNS／セカンダリDNS：
DNSを入力します。

MEMO

- 初期化 をタッチすると、すべての項目が初期状態に戻ります。

交通情報をオンラインで受信する

Bluetooth対応携帯電話を使用して、交通情報を受信します。
交通情報を受信すると、受信した情報が地図上に表示されます。
受信できる交通情報の種類および表示形式については以下のとおりです。

渋滞情報：
混雑状態により、下記の色の矢印で表示されます。表示／非表示の設定は変更できます。(P.264)

色／線種	状態／情報
赤色	渋滞
オレンジ色	混雑
緑色	順調
実線	VICS情報
破線	プローブ情報※をもとにした交通情報

※プローブ情報とは、個々の車両から収集した位置や速度、時刻などのデータです。このデータをもとに渋滞情報を割り出しています。

規制情報、SA/PA情報：
アイコンで表示されます。

駐車場情報：
地図をスクロールしている場合にのみ取得・アイコン表示されます。

MEMO

- カメラ画面、メニュー画面、スクロール地図画面の表示中は、渋滞情報の自動受信および新ルートの探索は行われません。

1 ▶ コミュニティ／情報

2 渋滞情報取得

MEMO

・以下の手順からも、同様の操作ができます。
  ・ ▶ ルート ▶ オンライン探索
  ・現在地メニュー、またはスクロール先メニューで 渋滞情報取得

交通情報が受信されます。



データ通信中アイコン

この後の動作は、お車および本機のご使用状況によって異なります。

ルート走行中の場合

地図が現在地を表示している場合は、受信した交通情報をもとに新しいルートを設定します。

目的地が設定されていない場合

現在地周辺の交通情報を受信し、地図上に表示します。地図をスクロールしている場合は、表示中の地点周辺の交通情報が受信および表示されます。

MEMO

・ルート走行中であっても、条件によって動作は異なります。

迂回路を設定していない場合：

地図画面に戻り、受信した情報を表示します。また、目的地への到着予想時刻が更新されます。

地図をスクロールしている場合：

受信した情報を表示します。

・新ルートが見つからない場合は、地図画面に戻り、受信した情報を表示します。
・情報受信を中止するには、通信中に 終了 をタッチしてください。
・情報受信中は電話の操作はできません。
・受信した交通情報は、ACC OFFにより消去されます。

交通情報のダウンロード設定をする

情報受信時の動作や、受信した情報の利用に関する設定を行います。

交通情報の受信間隔を設定する

交通情報を自動で取得する場合に、何分ごとに受信するかを設定します。
ここでの設定は、「オンライン探索の自動ダウンロード設定」と連動しています。(P.267)

1 ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 交通情報・VICSの設定

3 交通情報のダウンロード設定

4 ダウンロード時間の間隔

5 **受信時間を選択**



MEMO

・工場出荷時は、「30分ごとにダウンロードする」に設定されています。

ルート案内時の交通情報取得を設定する

ルート案内の開始時に交通情報を自動で取得するかどうかを設定します。
ここでの設定は、「オンライン探索の自動ダウンロード設定」と連動しています。(P.267)

1 ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 交通情報・VICSの設定

3 交通情報のダウンロード設定

4 行き先設定時にダウンロード

タッチするたびにON／OFFが切り替わります。

MEMO

・工場出荷時、行き先設定時にダウンロードは「ON」に設定されています。
・この設定が「ON」のときも、以下の場合は交通情報が受信されません。
  ・迂回路探索 からルートを再探索した場合
  ・お車がルートを外れた、またはルート上に規制が表れた場合のオートリルート時

プローブ情報の利用を設定する

プローブ情報を利用した交通情報を送信するかどうかを設定します。

1 ⊡ ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2 交通情報・VICSの設定
3 プローブ情報設定
4 プローブ情報の送信

MEMO
- 工場出荷時、プローブ情報の送信は「OFF」に設定されています。
- プローブ情報の活用地区は限定されています。

プローブ情報を消去する

1 ⊡ ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2 交通情報・VICSの設定
3 プローブ情報設定
4 プローブ情報を消去 ▶ はい

プローブ情報が消去されます。

チズルとススムセンターと通信連携をする

本機と「チズルとススムセンター」の通信連携を行うと、「チズルとススム」の各機能やGoogleマップ「ローカル検索」**(P.75)**などの便利な機能を使用できます。この通信連携のことを「インターネット連携」と呼びます。インターネット連携を行うには、あらかじめ以下の項目を行ってください。

- **「チズルとススム」サイトで会員登録を行う**
- **プロバイダに接続する（P.154）**
- **Bluetooth対応携帯電話を本機に登録する（P.144）**

「チズルとススム」について詳しくは、以下をご覧ください。
http://chizu-route-susumu.jp

インターネット連携の認証をする

インターネット連携の認証を行うには、「チズルとススム」に会員登録をしたときのメールアドレスとパスワードが必要です。認証を行うことで、インターネット連携が確立します。

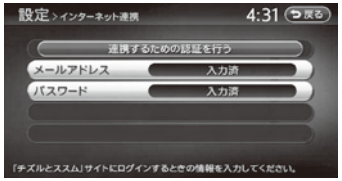
1 ⊡ ▶ 設定 ▶ 電話・オンライン
2 インターネット連携
3 メールアドレス
4 メールアドレスを入力 ▶ 終了

終了 をタッチすると、画面のリスト上に「入力済」と表示されます。

5 パスワード
6 パスワードを入力 ▶ 終了

終了 をタッチすると、画面のリスト上に「入力済」と表示されます。

7 連携するための認証を行う



センターに接続され、認証が確立します。タッチキーの表示が 認証を解除する に変わり、このキーをタッチするとインターネット連携の認証が解除されます。

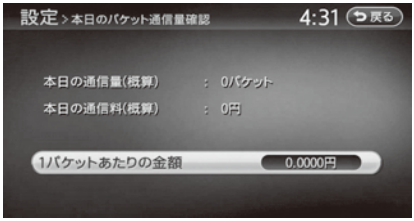
MEMO
- GPSが受信できる場所にて接続を行ってください。建物内などでは、GPSの受信ができず通信に失敗する場合があります。
- 「チズルとススムセンター」側の認証を解除する場合は、別途センターでの認証解除を行う必要があります。

パケット通信量を表示する

1パケットあたりの金額を設定し、1日分のパケット通信量と通信料を確認することができます。

1 ⊡ ▶ 設定 ▶ 電話・オンライン

2 本日のパケット通信量確認



1日分のパケット通信量と通信料が表示されます。
データは午前0時にリセットされます。

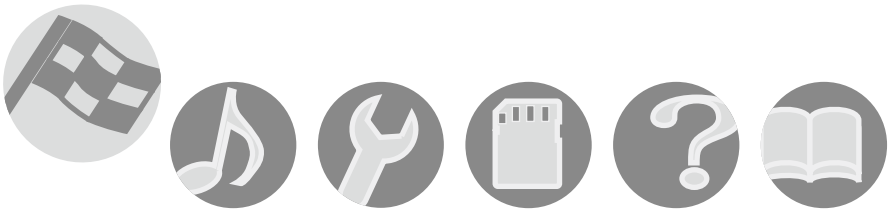
MEMO

・ 1パケットあたりの金額 をタッチすると、1パケットあたりの金額を設定することができます。

エコロジー機能を利用する

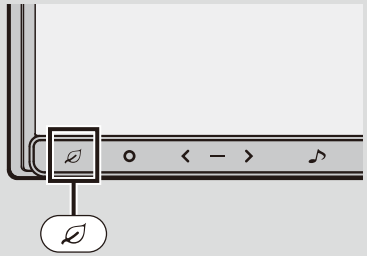
環境にやさしい運転（エコロジードライブ）を行っているかどうかを確認できます。

162 エコロジー機能を使用する前に
163 エコロジー画面を表示する
165 エコロジードライブの状況を確認する
168 エコロジーデータを送信する
169 エコロジー機能の設定をする



エコロジー機能を使用する前に

エコロジー機能の操作では、操作パネルの以下のボタンを使用します。



エコロジー機能の楽しみかた

エコロジー機能画面では、以下のようなイラストが表示されます。
環境にやさしい運転（エコロジードライブ）を行うと、画面の木が成長していきます。



木の成長について

エコロジードライブを続けることにより最大まで木を成長させると、その木は背景に移動して、新たな木を育て始めます。10本の木を成長させると画面左上に星マークが表示され、また新たに1本目の木から始まります。

10本目の木を育てている場合



エコロジー画面を表示する

環境にやさしい運転（エコロジードライブ）を行っているかどうかを確認する画面です。
画面のキャラクターは、運転の状況に応じて話したり動いたりします。

1



タッチキー	設定の内容	参照ページ
	エコロジー機能に関する設定を行う	P.169
データ書き出し	エコロジーデータを、オンライン経由またはSDカードへの出力によって「チズルとススム」のホームページに送信する	P.168
エコロジー度	過去7運転日分のエコロジードライブ状況をグラフで表示する	P.165
運転時間	過去30運転日の中から指定した日のドライブ距離、ドライブ時間、アイドリング時間を表示する	P.166
加速減速	過去30運転日の中から指定した日のドライブ時間、加速時間、減速時間、定速走行割合、定速走行時間を表示する	P.166
急加速急ブレーキ	過去31件分の運転データから急加速時間、急ブレーキ時間をグラフで表示する	P.167
	エコロジードライブの達成度を葉っぱのイラストで表示する	P.165
	前回運転月と現在運転月のエコロジー度比較、一定速走行比較、CO_2排出量比較を表示する	P.165

MEMO

・走行中は、グラフや解説などが表示されません。

エコロジー機能画面の見かた

エコロジーホーム画面

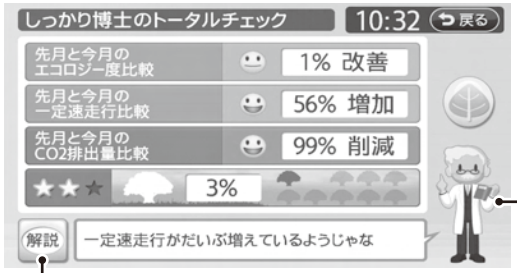


木
エコロジードライブを続けると、少しずつ成長します。画面上に最大で10本の木を育てることができます。

ブラック・シーオーツー※
環境に悪い運転を続けると登場します。タッチすると話をします。

ナビック
ホーム画面に常にいます。タッチすると現在の運転状況について話をします。

トータルチェック画面



博士
エコロジードライブのアドバイスや解説を行います。

解説
詳細な解説を表示します。
各エコロジー機能画面で共通の操作です。

※ブラック・シーオーツーが登場すると、ナビックは表示されません。

MEMO

- 1日の運転時間が極端に短い場合（たとえばエンジンをかけてすぐに切るような場合）でも、エコロジー診断されて各種エコロジー画面の博士のセリフに反映されることがあります。そのため博士のセリフが期待する評価にならないこともありますので、ご了承ください。
- GPS接続していないときは、各種エコロジー画面の表示はできません。

地図画面にナビックが表示されたら

エコロジードライブを行っているなど、ある一定の条件が満たされると地図画面上にナビックが表示されることがあります。画面上のナビックをタッチすると、エコロジーホーム画面が表示されます。

ナビックが登場する条件例

- 葉っぱを獲得したとき（P.165）
- 久しぶりに運転したとき
- 木が成長したとき（P.162）
- 長い距離を走行したとき
- 急加速／急ブレーキしたとき

エコロジードライブの状況を確認する

エコロジーチェックをする

エコロジードライブの条件を達成すると、葉っぱを獲得します。画面上でその達成度を確認することができます。

1

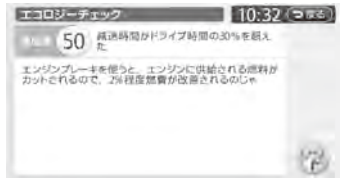
2

エコロジーチェック画面が表示されます。



獲得済みの項目は緑、未獲得の項目はグレーの葉っぱで表示されます。
1枚の葉っぱに対して、エコロジーポイントは複数あり、獲得済みの項目数が葉っぱの上に表示されます。すべての枚数を獲得した葉っぱは虹色で表示されます。
葉っぱをタッチすると、獲得したエコロジードライブ技術やアドバイスを画面上部に表示します。

また、葉っぱを選択して 解説 をタッチすると、さらに詳細な説明画面が表示されます。



MEMO

-  をタッチすると、トータルチェック画面（P.165）が表示されます。

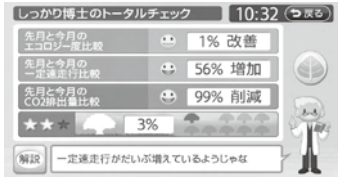
トータルチェックをする

前回運転月と現在運転月のエコロジー度比較、一定速走行比較、CO_2排出量比較を表示します。

1 

2 

トータルチェック画面が表示され、運転状況が確認できます。



前回運転月と現在運転月を比較したときの向上率を数値で表示します。
「木の成長」は、エコロジードライブの度合いに対する評価を木の成長で表しています。この成長は、ホーム画面の木の成長に反映されます。（P.162）

MEMO

-  をタッチすると、エコロジーチェック画面（P.165）が表示されます。

エコロジー度を確認する

現在および過去のエコロジードライブ状況をグラフで表示します。

1 

2 エコロジー度

エコロジー度画面が表示されます。



運転時間を確認する

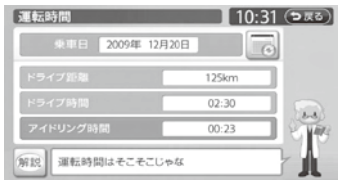
現在および過去のドライブ距離、ドライブ時間、アイドリング時間を表示します。

1 

2 運転時間

現在の日付とドライブデータが表示されます。過去の日付のデータを確認する場合は、手順3を行います。

3 



日付を変更する画面が表示されます。



日付キー

◀▶：
表示日を前後に切り替えます。

最新：
現在のドライブ時間表示画面に戻ります。

決定：
選択した日付を決定します。

日付キー：
過去の日付を表します。その日付の運転状況に応じて以下のように色分けされています。

グレー：通常
緑：状態が良い
紫：状態が悪い
縁あり：選択中の日付

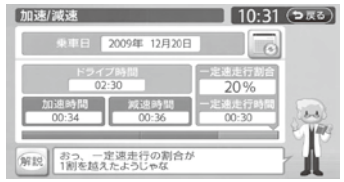
加速／減速時間を確認する

現在および過去のドライブ時間、加速時間、減速時間、定速走行割合、定速走行時間を表示します。

1 

2 加速減速

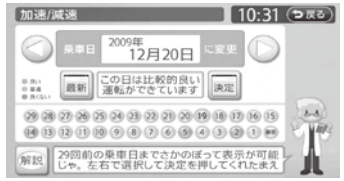
現在の日付とドライブ状況が表示されます。過去の日付のデータを確認する場合は、手順3を行います。



ドライブ状況時間の下に、ドライブ時間に対する加速時間比率、減速時間比率、一定走行時間比率をグラフで表示します。

3 

日付を変更する画面が表示されます。



以降の操作方法は**「運転時間を確認する」(P.166)**の手順3と同様です。

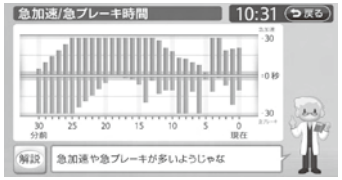
急加速／急ブレーキ状況を確認する

過去の急加速／急ブレーキの履歴をグラフで表示します。

1 

2 急加速急ブレーキ

急加速／急ブレーキ画面が表示されます。



上方向は急加速、下方向は急ブレーキを表します。

エコロジーデータを送信する

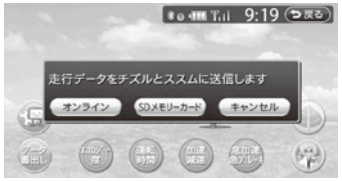
エコロジーデータをオンライン経由またはSDカードに出力することにより、クラリオン株式会社Webサイト「チズルとススム」に送信してエコロジーデータを管理、保存できます。SDカード経由の場合は、データを本機からSDカードに書き出してパソコンで送信します。
「チズルとススム」のご利用には、会員登録（無料）が必要です。本機をより便利にお使いいただくために、会員登録をおすすめします。「チズルとススム」について詳しくは、以下をご覧ください。
http://chizu-route-susumu.jp

オンライン経由で送信する

MEMO

- オンライン経由でデータを送信するには、あらかじめ携帯電話を本機に接続し、「インターネット連携」で認証を行う必要があります。詳しくは、**P.159**をご覧ください。

1 
2 データ書き出し
3 オンライン



データの送信がはじまり、終了するとエコロジーホーム画面に戻ります。

SDカード経由で送信する

MEMO

- あらかじめ本機にSDカードをセットしてください。
- SDカードにCDを録音しているときはこの操作は行えません。

1 
2 データ書き出し
3 SDメモリーカード
4 ファイル名を入力

MEMO

- ファイル名は全角／半角で19文字まで入力できます。

5 終了

データの書き出しがはじまり、終了するとエコロジーホーム画面に戻ります。

エコロジー機能の設定をする

エコロジー機能に関連する設定を行います。

車両を設定する

1 
2 
3 車両設定
4 マニュアル設定

車両設定画面が表示されます。各設定項目について詳しくは、**P.273**をご覧ください。



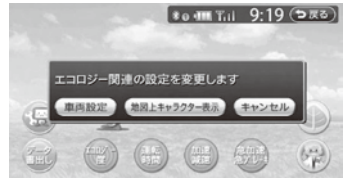
MEMO

- かんたん設定 をタッチした場合の操作手順は、**P.273**をご覧ください。

地図上のキャラクター表示を設定する

地図画面を表示しているときに、ナビックを登場させるかどうかを設定します。

1 
2 
3 地図上キャラクター表示



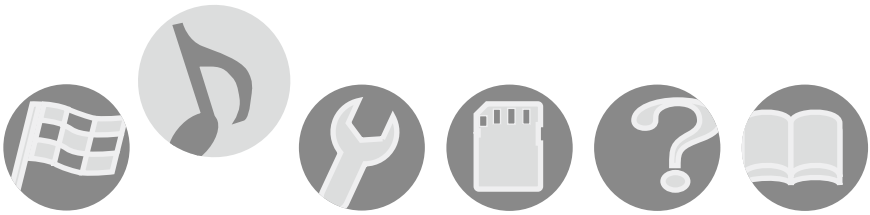
ECO表示関連画面が表示されます。
リスト上をタッチして、ON／OFFを切り替えます。

Memo

オーディオ・ビジュアルを使うには

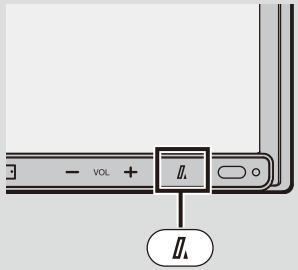
オーディオ・ビジュアルの機能をご使用になる前に、最初に覚えておいていただきたいことを説明しています。

172 ディスクやSDカードの出し入れ
175 基本的な使いかた



ディスクやSDカードの出し入れ

ディスクやSDカードの出し入れ操作では、操作パネルの以下のボタンを使用します。



本機では、ラジオ、地上デジタル放送、DVDなど、視聴したいソース（音源や映像源）を選んでお楽しみいただけます。
CD、MP3/WMAディスク、DVD、SDカード内のMP3/WMAデータをお楽しみいただくには、ディスクまたはSDカードを本機にセットします。また、ミュージックキャッチャー **(P.225)** を利用するときも、本機にSDカードをセットします。

DVDやCD

MEMO

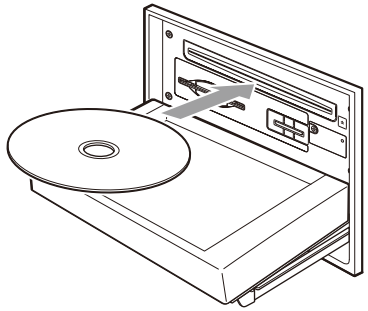
- ディスクの記録面（光沢のある面）には触れないでください。

入れかた

1 ⏏

操作パネルが開きます。

2 **ディスクの記録面（光沢のある面）を下にして、挿入口に差し込む**



ディスクが取り込まれ、操作パネルが自動的に閉じます。しばらくすると、ディスクの再生が始まります。

MEMO

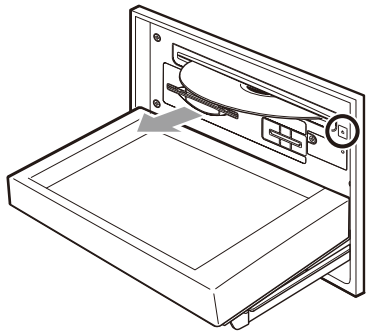
- ⏏ マークが点灯しているときは、すでにディスクがセットされています。セットされたディスクを取り出してから、ディスクを挿入してください。
- ある程度差し込むと、ディスクは自動的に取り込まれます。ディスクが取り込まれない場合は、すでにディスクがセットされています。ディスクを無理やり挿入せず、セットされたディスクを取り出してから、ディスクを挿入してください。

取り出しかた

1 ⏏

操作パネルが開きます。

2 **本体の ⏏ を押して、ディスクを取り出す**



3 ⏏

操作パネルが閉まります。

MEMO

- ディスクを取り出さないまま、しばらくすると、自動的にディスクが取り込まれ、操作パネルが閉じます。

SDカード

MEMO

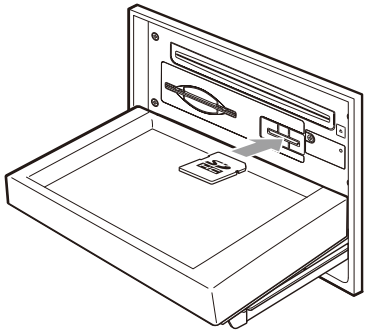
・SDカードの端子面には触れないでください。

入れかた

1 ⏏

操作パネルが開きます。

2 **SDカードのラベル面を上にして、挿入口に差し込む**



カチッと音がするまで、SDカードを奥にしっかりと差し込んでください。操作パネルは開けてから一定時間が経過すると自動的に閉じます。

MEMO

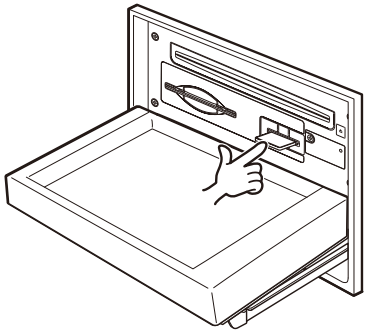
・SDカードが正しく差し込まれていないと、操作パネルを閉じることはできません。

取り出しかた

1 ⏏

操作パネルが開きます。

2 **SDカードを押す**



SDカードが少し飛び出します。

3 **SDカードを取り出す**

4 ⏏

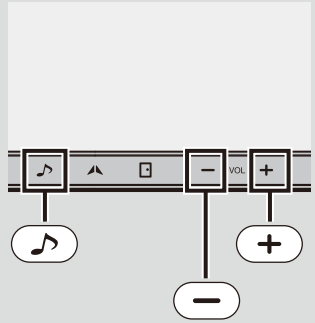
操作パネルが閉まります。

MEMO

・SDカードを取り出すときは、指でSDカードをしっかりつまんでください。SDカードが飛び出す恐れがあります。

基本的な使いかた

オーディオ・ビジュアルの基本操作では、操作パネルの以下のボタンを使用します。



オーディオを切り替える

1 ♪

2 **お好みのソースを選択**



選択したソースをお楽しみいただけます。以降の操作について詳しくは、各ソースのページをご覧ください。

音量を調整する

1 ＋ または －

音量が変わります。

MEMO

・＋ または － を押し続けると、連続して音量が変化します。

・ナビゲーションの音声案内の音量については、別の操作で調整します。(P.285)

表示画面を切り替える

オーディオ・ビジュアルの画面には、各オーディオ専用の画面と地図画面の2種類の表示があり、オーディオ画面と地図画面は以下の手順で切り替えることができます。

オーディオ画面に切り替える

1 AV操作キー



▼



選択したソースのオーディオ画面が表示されます。
※画面はDVDの場合です。

地図画面に切り替える

1 (AV)



▼



地図画面が表示されます。
※画面はDVDの場合です。

オーディオをON／OFFする

ONにする

1 AV操作キー、または (♪)

地図画面



オーディオ画面



地図画面では、OFFにする前に使っていたオーディオ機能がONになります。
オーディオ画面では、OFFにする前に使っていたオーディオ画面に戻り、オーディオ機能がONになります。

MEMO

- ディスクやUSBメモリーを挿入しても、オーディオをONにすることができます。

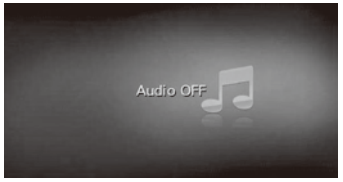
OFFにする

1 (♪) を長押し、または (♪) ▶ Audio OFF

地図画面



オーディオ画面



地図画面ではAV操作キーの表示が「Audio OFF」になります。
オーディオ画面ではAudio OFF画面になります。

MEMO

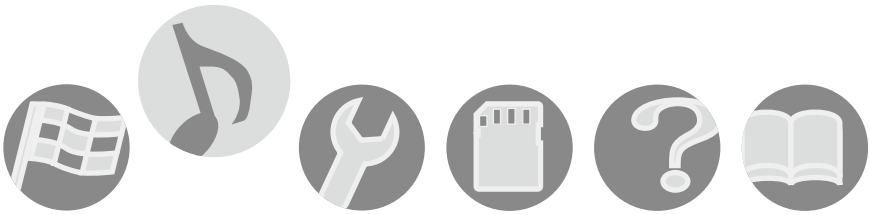
- オーディオをオフにしたときも、ナビゲーションの音声案内は出力されます。

Memo

ラジオを聴く

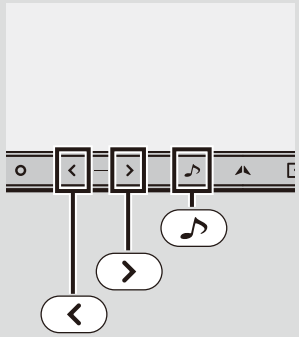
本機では、FMラジオ・AMラジオを受信してお楽しみいただけます。

180 選局する
182 放送局リストを利用する
184 ラジオの設定をする



選局する

ラジオの操作では、操作パネルの以下のボタンを使用します。



AM/FMを切り替える

AMラジオ、FMラジオを切り替えて受信します。

1 ♪ ▶ FM/AM

ラジオが受信されます。

2 FM/AM



タッチするたびに、AMラジオとFMラジオが切り替わります。

MEMO

- 自宅モードの場合、「AM」→「FM1」→「FM2」→「AM」…の順で切り替わります。お出かけモードの場合、「AM（お出かけ）」と「FM（お出かけ）」が交互に切り替わります。
- AVコントロールバーの FM/AM をタッチしても同様の操作ができます。

自動で放送局を選ぶ

1 ♪ ▶ FM/AM

2 ＜ または ＞（1.5秒以内の長押し）

受信可能な放送局を検出すると、自動的に終了しその放送局を受信します。

MEMO

- ＜（＞）で開始させた放送局検出中に＞（＜）を押すと、周波数の切り替え方向が逆になります。
- ＜または＞を1.5秒以上長押しすると、周波数が連続して切り替わります。指を離すと自動で受信可能な放送局を検出し、受信します。

手動で放送局を選ぶ

1 ♪ ▶ FM/AM

2 ＜ または ＞

押すごとに周波数が切り替わります。

リストから選局する

登録した放送局を、リストから選局します。

1 ♪ ▶ FM/AM

2 目的の放送局を選択

選択した放送局が受信されます。

MEMO

- AVコントロールバーの 前P.CH または 次P.CH をタッチして、放送局を切り替えることもできます。

放送局リストを利用する

よく聴く放送局を放送局リストにプリセット（あらかじめ周波数を本機に記憶させておくこと）できます。
放送局リストは、自宅モードにAM/FM1/FM2の3種類、お出かけモードにAM/FMの2種類があります。
登録できる放送局は、それぞれのリストで6つまでです。

プリセットチャンネルとは

現在走行中のエリアで受信可能な放送局の周波数を登録できるチャンネルです。何度も周波数を合わせることなく、ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。



プリセットチャンネルリスト
（放送局リスト）

リストに「重複」と表示されるときは

同一周波数内で、異なる放送局名が存在するときは、リストに「重複」と表示されます。
「重複」と表示されている放送局を受信中に、そのチャンネルリストをタッチすると、表示されている放送局名を切り替えることができます。

受信バンドを活用する

地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内でのプリセットチャンネルを「自宅」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。
たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「自宅」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録しておけば、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信することができます。

1 ♪ ▶ FM/AM
2 お出かけ

放送局リストの表示が切り替わります。
お出かけモード選択時には、キーのランプが点灯します。自宅モード選択時にはランプが消灯します。

リストに自動で登録する（オートストア）

お出かけモードを選択しているときのみ実行できます。

1 ♪ ▶ FM/AM
2 オートストア
3 はい

受信可能な放送局が、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。

MEMO

- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。中止するには、キャンセル をタッチします。
- オートストアを途中で停止させた場合、それまでに受信した放送局は登録されません。

リストに手動で登録する

1 ♪ ▶ FM/AM
2 登録したい放送局を受信
3 登録するチャンネルを、「ピーッ」という音がするまで長押し



受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

ラジオの設定をする

受信地域を選択する

受信地域を正しく設定することで、受信中の放送局名を自動的に表示できます。

MEMO

- 走行中は本操作を行えません。

1 ♪ ▶ FM/AM

2 設定

3 地域選択

4 オート または地域を選択



受信地域が切り替わります。

MEMO

- オート をタッチすると、自車位置から最も適した地域の放送局を自動的に受信します。
- 自宅モードとお出かけモードでそれぞれ地域を設定できます。

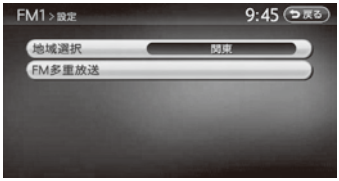
FM多重放送を表示する

FMラジオ受信時にFM多重放送を受信し、直近の道路交通情報などを画面に表示させることができます。

1 ♪ ▶ FM/AM

2 設定

3 FM多重放送



FM多重放送が受信されます。

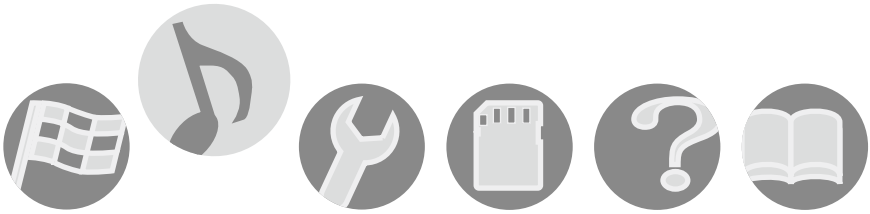
MEMO

- AMラジオ受信時には FM多重放送 キーは表示されません。
- 複数の番組メニューがある場合は「番組番号」キーが表示されます。見たい番組番号をタッチして切り替えてください。

テレビを観る

本機では、地上デジタル放送のテレビをお楽しみいただけます。

186 地上デジタル放送とは
187 テレビを観る前に
189 はじめて使うときは
191 選局する
193 放送局リストを利用する
195 便利な機能を利用する
197 地上デジタル放送の設定をする
202 画質を調整する

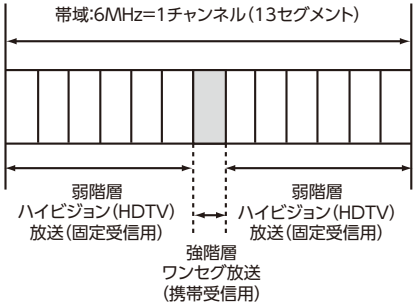


地上デジタル放送とは

地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。
本機では、ワンセグ／12セグの地上デジタル放送をお楽しみいただけます。

12セグとワンセグについて

日本の地上デジタル放送は、UHF帯域の電波を使用しており、約6MHzの帯域を1つのチャンネルとして13個のセグメントと呼ばれる領域に分けて放送する仕組みとなっています。そのうち12セグメントを使って高画質・高音質の固定受信向けのHDTV放送（弱階層）を行うサービスを12セグと呼びます。ワンセグ放送は、残り1セグメントを使って携帯や移動体向けの簡易動画放送（強階層）を行うサービスです。
ワンセグは12セグに比べると画質や音質は劣りますが、電波の到達距離は12セグより長く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる特長を備えています。



マルチチャンネル放送について

地上デジタル放送では、1つの放送局が図のように周波数帯域を2 ～5に分け、それらを組み合わせることでチャンネルを構成しています。

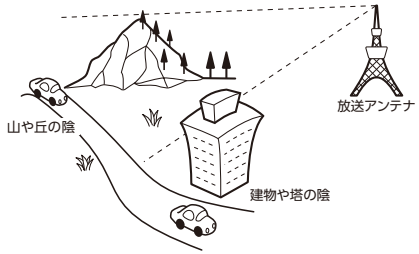
	A 放送局		
	○○○ch	△△△ch	×××ch
6 時	プロ野球中継 (デジタルハイビジョン放送)		
7 時	プロ野球 (標準テレビ放送)	ドラマ (標準テレビ放送)	ニュース (標準テレビ放送)
8 時	映画 (デジタルハイビジョン放送)		

上記の例で、6時台は○○○chと△△△chと××chのすべてを使いプロ野球を放送。7時台は○○○chでプロ野球、△△△chでドラマ、×××chでニュースをそれぞれ放送。8時台は、○○○chと△△△chと×××chのすべてを使い映画を放送、などのような編成ができます。
上記の放送の例では、○○○chをメインチャンネル、△△△chと×××chをサブチャンネルと呼びます。
本機はマルチチャンネルに対応しています。

テレビ放送の受信について

テレビをご覧になるにあたって、以下のような現象が起こることがあります。

- ●車の移動によって、建物や山などの障害物に影響されて電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。
- ●放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。
- ●電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたりする場合があります。



テレビを観る前に

テレビを視聴するために必要なB-CASカードについて説明します。

B-CASカードについて

B-CASカードは、デジタル放送番組の著作権保護や有料放送の視聴などに利用するカードです。
地上デジタル放送では、このB-CASカードがセットされていないと放送をご覧になれません。
地上デジタル放送を視聴するときは、必ず本機にB-CASカードを入れてください。

MEMO

- B-CASカードは本機に付属のものを使用してください。

- ●地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送しています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。
- ●B-CASカードを折り曲げたり、濡らしたり、大きな衝撃を加えたりしないでください。衝撃などが加わるとB-CASカードが故障する恐れがあります。
- ●B-CASカードのIC（集積回路）部は触らないでください。IC部に触れるとB-CASカードが故障する恐れがあります。
- ●B-CASカードを直射日光に当たるところに長時間放置しないでください。高温によりB-CASカードが故障する恐れがあります。
- ●B-CASカードを磁石の近くやテレビの上など、磁気がある場所に放置しないでください。
  磁気によりB-CASカードが故障する恐れがあります。
- ●試乗車など、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
  ※試乗車の場合は、特別用途向けカードをご使用ください。

B-CASカードを台紙からはがす

B-CASカードの「使用許諾契約約款」をよくお読みになり、お客様ご自身でパッケージを開封してください。お客様がカードのパッケージを開封した時点で、カード台紙に記載の「B-CASカード利用許諾契約約款」を締結したことになります。
B-CASカードが貼り付けられていた台紙は、大切に保管しておいてください。B-CASカスタマーセンターへ問い合わせる際の案内などが記載されています。

MEMO

- B-CASカードに関する内容の問い合わせや、B-CASカードを紛失された場合は、下記の問い合わせ先へ連絡してください。
  株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
  TEL：0570-000-250（AM10：00 ～ PM8：00）（年中無休）
- お問い合わせ時にB-CASカードのID（識別）番号が必要となる場合があります。あらかじめB-CASカードのID番号は控えておいてください。**(P.200)**

B-CASカードのセット

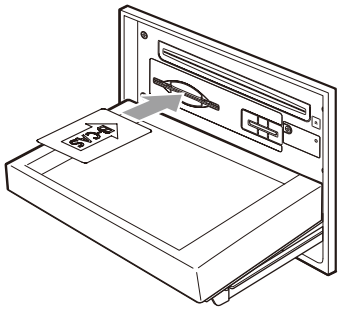
お願い

- B-CASカードの抜き差しは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。
- 故障の原因となりますので、カード挿入口にB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- 車から離れる時は、必ず操作パネルを閉じてください。

1 エンジンを切る

2 操作パネルを開く

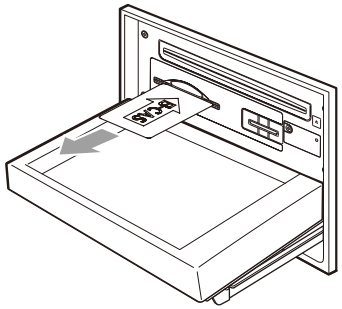
3 ICチップ面を下にして、B-CASカードをカード挿入口に挿入する



4 操作パネルを閉じる

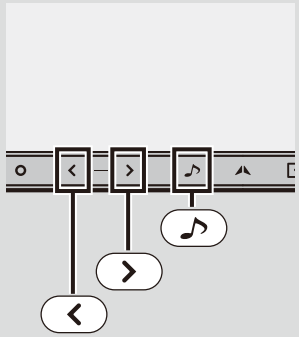
MEMO

- B-CASカードを入れる向きを間違えないようにしてください。入れる向きを間違えると地上デジタル放送を視聴できません。
- B-CASカードは必ず奥に突きあたるまで差し込んでください。奥まで差し込まれていないと、操作パネルが閉じなくなり、受信できません。
- B-CASカードを抜く場合は、カードや本体を傷つけないよう静かに抜いてください。



はじめて使うときは

テレビの操作では、操作パネルの以下のボタンを使用します。



⚠ 警告

- **運転者がテレビを観るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみテレビの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

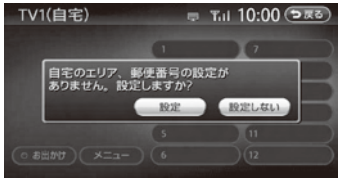
MEMO

- 地上デジタル放送を受信するには、受信用アンテナが必要です。

はじめて地上デジタル放送を観るときは、受信できる放送局を探して、本機に記憶（オートストア）させます。

1 ♪ ▶ TV

2 設定



MEMO

- 設定しない をタッチすると、テレビ画面に切り替わります。この場合、放送局のリスト（プリセットチャンネルリスト）には何も表示されません。

3 **テレビを受信する地域を選択**

4 **テレビを受信する地域の郵便番号を入力** ▶ 決定

5 はい

受信できる放送局を探して、本機に自動登録します。オートストアが終了するまで、しばらくお待ちください。
オートストアが終了すると、テレビ画面に切り替わります。



次回から ♪ ▶ TV でテレビ画面が表示されます。
画面のキーに触れないまま約8秒が経過すると、画面に表示されているキーが消えます。再度表示させるには画面をタッチします。

MEMO

- 手動でキーを消すには、戻る をタッチします。
- 手順3、手順4で「設定しない」を選択しても、オートストアを実行することができます。
- 手順5で「いいえ」を選択すると、テレビ画面に切り替わります。この場合、放送局のリスト（プリセットチャンネルリスト）には何も表示されません。
- 受信する地域と郵便番号は、設定画面からも設定できます。**(P.199)**
- 地図画面では、AV操作キーに「DTV」（12セグ受信時）と表示されます。（ワンセグ受信時は「1SEG」と表示されます。）
- 本機は地上デジタル12セグ放送とワンセグ放送の自動切り替え機能を備えています。12セグ放送の受信状態が悪化したときに、自動的にワンセグ放送に切り替えることができます。**(P.197)**
- 地上デジタル放送受信中に音量を調整した場合、他のソース（ラジオ、DVDなどの音源・映像源）に切り替えて音量を変えても、次回地上デジタル放送を受信したときに元の音量で観られます。
- 地上デジタル放送受信時に（主に弱電界）画像が乱れることがありますが、故障ではありません。また画像が一時止まる場合がありますが、デジタル処理によるもので故障ではありません。

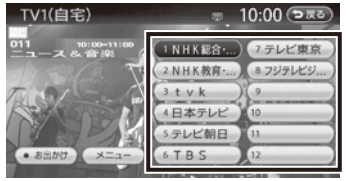
選局する

テレビ画面から選局する

現在観ている画面から、他のチャンネルに切り替えることができます。

1 ♪ ▶ TV

2 **放送局を選択**



選択した放送局に切り替わります。

MEMO

- UP または DOWN を押して、チャンネルを切り替えることもできます。

自動で選局する

1 ♪ ▶ TV

2 ＜ または ＞ **（長押し）**

受信可能な放送局を検出すると、自動的に終了しその放送局を受信します。

MEMO

- 「1セグ／地デジ切替」**(P.197)** を「自動」に設定している場合、12セグ放送を優先して受信します。

受信可能な中継局／系列局を探す

走行中に受信状態が悪くなった場合などに、中継局や系列局を探して切り替えることができます。
はじめに中継局を探し、中継局がなければ系列局を探します。

1 ♪ ▶ TV

2 メニュー

3 系列局サーチ

走行エリア内で、受信状態の良い中継局／系列局を探索し切り替えます。
異なる地域をまたいで走行する場合は、中継局／系列局を自動で探し出して受信することができます。**(P.199)**

MEMO

- 「1セグ／地デジ切替」**(P.197)** を「自動」に設定している場合、12セグ放送を優先して受信します。
- 系列局に切り替わった場合、時間帯によって番組内容が異なることがあります。
- 切り替わった中継局／系列局は、プリセットチャンネルリストに自動登録されません。

番組表（EPG）から選局する

観たい番組を番組表から探して選局します。

1 ♪ ▶ TV
2 メニュー
3 番組表
4 ▲、▼、◀、▶ で番組を選択 ▶ 決定



選択した番組の放送を受信します。

番組表切替：
タッチするたびに、番組表の表示をワンセグ／12セグに切り替えます。
※「1セグ／地デジ切替」**(P.197)**を「自動」に設定している場合のみ

前日：
翌日以降の番組表を参照中に、前日の番組表を表示します。

翌日：
翌日の番組表を表示します。

表示切替：
番組表の表示を、メインチャンネルのみ／全チャンネルに切り替えます。

拡大縮小：
タッチするごとに4パターンの拡大縮小画面が表示されます。

更新：
番組表の内容を更新します。

MEMO

- 番組表は、他のソース選択時やオーディオパワー OFF時などテレビモードがOFFのときに、15分ごとに自動で更新されます。
- 現在の放送時間ではない番組を選択すると、番組内容が表示されます。**(P.195)**

チャンネル番号を入力して選局する

12セグおよびワンセグ放送のメイン／サブチャンネルを直接入力して選局することができます。

1 ♪ ▶ TV
2 メニュー
3 設定
4 チャンネル番号入力
5 チャンネル番号を入力 ▶ 決定

MEMO

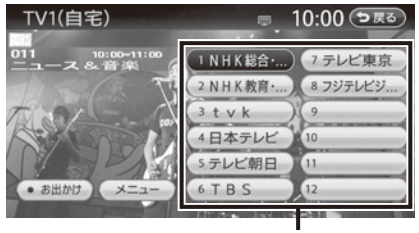
- 3桁に満たない番号を入力した場合は、決定 はタッチできません。
- 「1セグ／地デジ切替」**(P.197)**が「自動」の場合は、ワンセグ／12セグのどちらの3桁チャンネル番号を入力しても放送局があれば選局されます。
- 「1セグ固定」の場合はワンセグ3桁チャンネル、「地デジ固定」の場合は12セグ3桁チャンネル番号のみ選局されます。
- テレビ画面で観たい番組の放送局をタッチして、直接選局することもできます。

放送局リストを利用する

よく観る放送局を放送局リストにプリセット（あらかじめ放送局を本機に記憶させておくこと）できます。放送局リストは、自宅モードとお出かけモードの2種類があります。登録できる放送局は、それぞれのモードで12個までです。

プリセットチャンネルとは

現在走行中のエリアで受信可能な放送局を登録できるチャンネルです。何度もチャンネルを合わせることなく、ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。



プリセットチャンネルリスト
（放送局リスト）

MEMO

- プリセットチャンネルに登録される放送局は、メインチャンネルのみです。サブチャンネルを受信中にプリセットチャンネルを登録しても、そのメインチャンネルが登録されます。
- 「1セグ／地デジ切替」**(P.197)**の設定を変更して、ワンセグと12セグを切り替えても、プリセットチャンネルリストの表示は変わりません。

受信バンドを活用する

地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内でのプリセットチャンネルを「自宅」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。
たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「自宅」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録しておけば、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信することができます。
12セグ放送のサブチャンネルを視聴しているときにバンドを切り替え、再度元のバンドに戻ると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

1 ♪ ▶ TV
2 お出かけ

放送局リストの表示が切り替わります。
お出かけモード選択時には、キーのランプが点灯します。自宅モード選択時にはランプが消灯します。

リストに自動で登録する（オートストア）

1 ♪ ▶ TV
2 メニュー
3 オートストア

受信可能な放送局が、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。

MEMO

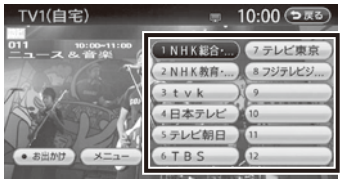
- お出かけモード中で、かつお出かけ地域を設定(P.199)している場合は、手順3の後に「現在のお出かけ地域設定を考慮しますか？」というメッセージが表示されます。 はい または いいえ をタッチして、オートストアを行います。
- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- 受信状態によっては、1分ほど処理時間がかかることがあります。
- オートストア中は、 キャンセル を押してキャンセルすることができます。
- オートストアを行うと、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。
  以前に手動で登録したプリセットチャンネルがクリアされる場合もあります。
- オートストアを途中解除した場合は、プリセットチャンネルの内容は書き換わらず、プリセットチャンネルのうち、オートストア前に受信していたチャンネルが選局されます。
- 地域設定(P.199)で優先エリアに指定されている地域の番組は、優先的にプリセットチャンネルに登録されます。
- 県境などでオートストアを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合は、オートストアしたリスト内の未登録のプリセットチャンネルに割り振られます。
- 空きプリセットチャンネル数により、オートストアした結果が全部は登録できない場合があります。
- 「1セグ／地デジ切替」(P.197)が「自動」の場合は、12セグを優先して受信します。「1セグ固定」または「地デジ固定」の場合は、選択したモードで受信します。

リストに手動で登録する

1 ♪ ▶ TV

2 **登録したい放送局を受信**

3 **登録するチャンネルを、「ピーッ」という音がするまで長押し**



受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

メイン／サブチャンネルを選局する

受信中のチャンネルにサブチャンネルが存在する場合、メインチャンネルからサブチャンネルに切り替えることができます。サブチャンネルが存在する場合は、画面に「SUB」と表示されます。(12セグのみ)

1 ♪ ▶ TV

2 **受信中のプリセットチャンネルを選択**



サブチャンネルに切り替わります。

便利な機能を利用する

番組内容を見る（12セグ放送のみ）

現在受信中の番組の詳細内容を表示します。

MEMO

- 走行中は、本操作を行えません。

1 ♪ ▶ TV

2 メニュー

3 番組内容

MEMO

- 番組表(EPG)画面(P.192)で現在の放送時間ではない番組を選択した場合も、番組内容を表示できます。この場合は、番組内容の概要が表示されます。

データ放送を利用する（12セグ放送のみ）

地上デジタル放送には、映像や音声によるテレビ放送のほかに、現在地周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの便利な情報をお知らせするデータ放送があります。

MEMO

- データ放送がない番組の場合、 d をタッチしてもデータ放送画面は表示されません。

1 ♪ ▶ TV

2 メニュー

3 データ放送操作キー呼出

4 d

データ放送画面が表示されます。
画面を操作する場合は手順5に進みます。



✥ :
手順5に進み、画面を操作できます。

d :
データ放送の表示／非表示を切り替えます。

終了 :
データ放送の表示を終了し、テレビ画面に戻ります。

5 ✥

画面上に操作キーが表示されます。



青 赤 緑 黄 :
画面に表示されている指示にしたがってタッチします。

0-9 :
数字入力メニューに切り替わります。

d :
データ放送の表示／非表示を切り替えます。

移動 :
操作キーの位置を画面の左右に移動します。

消す :
操作キーの表示を消します。

MEMO

- チャンネル選局直後には d をタッチしても動作しないことがあります。その際は、再度 d をタッチしてください。
- 画面下に「データ取得中」と表示されているときは、データ放送取得中のため、表示が消えてから d をタッチしてください。

緊急放送を観る

緊急放送とは、災害など、緊急な出来事が発生した場合に視聴者に、いち早く情報を知らせる放送システムです。
デジタル放送受信中に緊急放送が始まると、画面に「EWS」(Emergency Warning System)、または「緊急放送を受信しました」と表示され、自動で緊急放送に切り替わります。



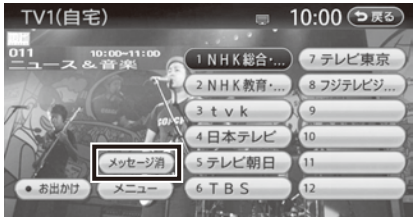
放送が終了すると、緊急放送前のチャンネルに自動で戻ります。

MEMO

- 緊急放送中でもチャンネル切り替えなどの操作はできます。
- 切り替えた放送局が緊急放送中の場合も、同様に緊急放送が表示されます。

自動表示メッセージについて

テレビを視聴中に、放送局から自動的に送られてくるメッセージがある場合は、そのメッセージ内容が画面上に表示されます。



テレビ画面で メッセージ消 をタッチすると、自動表示メッセージが消去されます。表示されない場合は、自動表示メッセージは消去できません。放送局側によって自動消去されるまでお待ちください。

地上デジタル放送の設定をする

地上デジタル放送で12セグとワンセグ共通の各種設定・編集ができます。

ワンセグ／12セグの切り替え設定をする

本機の地上デジタルTVチューナーは、12セグ放送受信時に電波が弱くなった場合、12セグ放送からワンセグ放送へ自動的に切り替える機能を搭載しています。
「自動」に設定中は、12セグ放送視聴中に受信電波が弱くなると、視聴していたチャンネルのワンセグ放送に自動的に切り替わります。
また、ワンセグ／12セグのみ受信することもできます。

MEMO

- ワンセグ放送の受信感度が悪い場合や12セグ放送で視聴していたチャンネルにワンセグ放送がない場合には、自動的に切り替わりません。ただし放送局によっては、ワンセグ放送を行っていないのにワンセグと認識してデータが送信され、自動的に切り替わる場合があります。
- 放送局によっては、12セグ放送とワンセグ放送とで番組が異なる場合があります。
- 「地デジ固定」**(P.197)** に設定中、電波が弱くなった場合は、ワンセグ放送に切り替わらずに、12セグ放送の映像が静止画で表示されます。

1 ♪ ▶ TV
2 メニュー
3 設定
4 [1セグ／地デジ切替] の ◀、▶ で項目を選択



自動：
12セグ放送とワンセグ放送を自動で切り替えます。

地デジ固定：
12セグ放送を受信します。

1セグ固定：
1セグ放送を受信します。

MEMO

- 工場出荷時、「1セグ／地デジ切替」は「自動」に設定されています。
- 12セグ放送のサブチャンネルを視聴しているときにワンセグ放送に切り替え、再度12セグ放送に切り替えると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

音声言語を切り替える

2ヶ国語放送や複数の音声がある番組で、音声を切り替えます。

1 ♪ ▶ TV
2 メニュー
3 設定
4 [音声]の ◀ 、▶ で音声を選択



受信される番組は、それぞれ音声種類を持っています。12セグ放送は最大16音声まで、ワンセグ放送は2音声まで切り替えられます。

MEMO
- 音声を切り替えた後、他のチャンネルに切り替えると第1音声に戻ります。同じチャンネルのまま12セグとワンセグを切り替えた場合、設定した音声は変わりません。

二重音声を切り替える

主音声／副音声がある番組で、音声を切り替えます。

1 ♪ ▶ TV
2 メニュー
3 設定
4 [主・副] の ◀ 、▶ で音声を選択



「主音声」「副音声」「主／副 音声」から選択します。

MEMO
- 副音声の状態で他のチャンネルに切り替えたとき、同じく副音声で放送されていればそのまま継続されます。

字幕表示を切り替える

映画やドラマなど、字幕のついた番組受信中に字幕を表示する機能を設定します。
表示する場合は「第一言語」「第二言語」の各言語から選択します。

1 ♪ ▶ TV
2 メニュー
3 設定
4 [字幕] の ◀ 、▶ で項目を選択



「第一言語」「第二言語」「非表示」から選択します。

MEMO
- 工場出荷時、字幕表示は「非表示」に設定されています。

放送局を自動で切り替える

時間内に放送が終わらなかったとき、局が変更される番組（高校野球中継など）について、放送局の切り替えを自動で行えます。

1 ♪ ▶ TV
2 メニュー
3 設定
4 イベントリレー

タッチするたびに、イベントリレーのON/OFFが切り替わります。

MEMO
- 工場出荷時、イベントリレーは「ON」に設定されています。

系列局／中継局を自動で探す

走行中に電波状態が悪化し、30秒間受信レベルが回復しない場合、走行地域を考慮して中継局／系列局を自動で検出します。

1 ♪ ▶ TV
2 メニュー
3 設定
4 系列局自動サーチ

タッチするたびに、系列局自動サーチのON/OFFが切り替わります。

MEMO
- 工場出荷時、系列局自動サーチは「ON」に設定されています。

優先エリアを切り替える

県境などでオートストアを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合に、優先エリアのチャンネルが選択されるよう設定します。
またデータ放送受信時に地域情報を取得するために郵便番号を設定します。
優先地域と郵便番号は「自宅」と「お出かけ」でそれぞれ設定できます。

1 ♪ ▶ TV
2 メニュー
3 設定
4 自宅エリア、郵便番号設定（TV1）
（自宅モード中）または
お出かけエリア、郵便番号設定（TV2）
（お出かけモード中）
5 優先させたい地域を選択



6 郵便番号を入力 ▶ 決定



7 はい または いいえ



はい をタッチすると、オートストア(P.193)が開始されます。いいえ をタッチすると、オートストアを行わず、テレビ画面に切り替わります。

MEMO

- 工場出荷時、地域および郵便番号は設定されていません。
- エリアのみ設定したい場合や、その地域の郵便番号が不明な場合には、「設定しない」を選択してください。

放送メールを表示する

放送局から送られてくるメールの内容を表示できます。

1 ♪ ▶ TV

2 メニュー

3 設定

4 放送メール

放送メール一覧画面が表示されます。
すでに表示したメールは「既読」が、まだ表示していないメールには「未読」が表示されます。

5 メールを選択 ▶ 決定

選択した放送メールの内容が表示されます。

MEMO

- 放送メールの内容が複数ページあるときは、▲▼で画面をスクロールして表示します。
- 放送メールを選択して消去することができます。手順5で 消去 をタッチし、確認画面で はい をタッチしてください。また、すべての放送メールを一括で消去することもできます。(P.201)
- 受信した放送メールは最大8個まで保存されます。8個以上の放送メールを受信した場合は、一番古い放送メールが自動的に削除されます。一番古いメールが未読状態でも削除されます。
- 放送メールの受信が1通もない場合、放送メール はタッチできません。

B-CASカード情報を確認する

1 ♪ ▶ TV

2 メニュー

3 設定

4 B-CASカード情報

B-CASカードIDの確認画面が表示されます。

MEMO

- テスト をタッチすると、B-CASカードの通信テストを行います。通信テストがエラーの場合、番組放送画面に戻るときにメッセージが表示されます。メッセージの内容にしたがって対処してください。
- B-CASカード未挿入時には、B-CASカードID番号表示画面の各項目には［－－－－］が表示されます。

設定情報を初期化する

1 ♪ ▶ TV

2 メニュー

3 設定

4 設定情報初期化

5 初期化したい設定情報を選択



削除の確認画面が表示されます。

受信メール消去：
放送メールをすべて消去します。

自宅エリア設定消去：
自宅モードの地域と郵便番号設定を消去します。

お出かけエリア設定消去：
お出かけモードの地域と郵便番号設定を消去します。

各種設定項目の初期化：
設定メニューで設定した項目を初期化します。プリセットチャンネルリストおよび画質調整設定の初期化、放送メールの消去は行いません。

全データの消去・初期化：
設定メニューで設定した項目およびプリセットチャンネルリストを初期化します。また、放送メールをすべて消去します。画質調整の設定は初期化されません。

6 はい

選択した各設定が初期化されます。

MEMO

- 初期化メッセージ表示中には、エンジンを切らないでください。初期化中にエンジンを切った場合、初期化できないことがあります。

映像／音声のズレを補正する

12セグ／ワンセグ自動切替時の映像／音声のズレを軽減します。

1 ♪ ▶ TV

2 メニュー

3 設定

4 遅延補正

タッチするたびに、遅延補正のON/OFFが切り替わります。

MEMO

- 工場出荷時、遅延補正は「ON」に設定されています。

画質を調整する

1 ♪ ▶ TV

2 メニュー

3 設定

4 画質調整

5 **調整する項目を選択**



明るさ：
明るさを調整します。

色合い：
色味を調整します。

色の濃さ：
色の濃さを調整します。

コントラスト：
明るさと暗さの差を調整します。

黒レベル：
黒レベルを調整します。

6 − **または** ＋

画面の映像を見ながら画質を調整します。

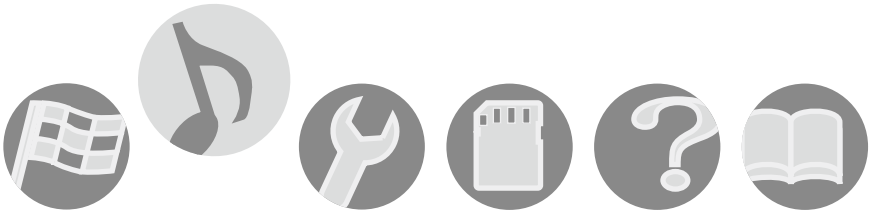
MEMO

・画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

DVDを観る

本機では、市販されているDVDビデオ、またご家庭などで録画されたDVD-VRをお楽しみいただけます。DVDビデオとDVD-VRでは操作方法が異なります。ご利用になるDVDの種類に該当する箇所をご覧ください。

204 本機で使えるDVD
205 DVDを再生する
210 便利な機能を利用する
212 画質を調整する
213 DVDビデオの設定を変更する
216 状態表示を設定する



本機で使えるDVD

本機では市販のDVDビデオ、ご家庭で映像・静止画を保存されたDVD-VRを再生できます。
DVD-VRを再生する場合は、あらかじめお持ちのレコーダーでディスクをファイナライズしておく必要があります。

再生できるディスク

- DVD VIDEO のついているディスク
- リージョン番号が「2」「ALL」のディスク
- DVD-VR

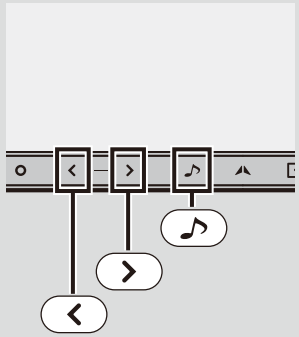
再生できないディスク

- 8cmディスク
- 異形のディスク
- リージョン番号が「2」「ALL」以外のディスク
- パケットライト方式で記録されたディスク
- ご家庭でハイビジョン録画したディスク
- DVD-RAM
- デュアルディスク（Dual Disc）は、ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。
- ラベルを貼り付けたディスクは、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。

※ビデオモードで録画・ファイナライズしたDVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RWは、機器の仕様や環境設定、ディスクの特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。

DVDを再生する

DVDビデオ、DVD-VRの操作では、操作パネルの以下のボタンを使用します。



⚠ 警告

- **運転者がDVDの映像を観るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみDVDの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

MEMO

- 市販のDVD（DVDビデオ）とご家庭で録画されたDVD（DVD-VR）の画面は異なります。

市販のDVD（DVDビデオ）の再生

1 DVDビデオをセットする、または
♪ ▶ DVD/CD

本機にセットされたDVDビデオが再生されます。



画面のキーに触れないまま5秒が経過すると、画面に表示されているキーが消えます。再度表示させるには画面をタッチします。

MEMO
- 手動でキーを消すには、戻る をタッチします。

ご家庭で録画したDVD（DVD-VR）の再生

1 DVD-VRをセットする、または
♪ ▶ DVD/CD

本機にセットされたDVD-VRが再生されます。



画面のキーに触れないまま5秒が経過すると、画面に表示されているキーが消えます。再度表示させるには画面をタッチします。

MEMO
- 手動でキーを消すには、戻る をタッチします。

再生を停止する

1 再生中に ▶/II（長押し）

MEMO
- 停止中に ▶/II をタッチすると、再生が始まります。
- 停止中に ▶/II をタッチし続けると、再生が完全に停止します。次に再生したときは、ディスクの先頭から再生されます。

一時停止する

1 再生中に ▶/II

MEMO
- 一時停止中に ▶/II をタッチし続けると、再生が停止します。
- 一時停止中に交通情報を聴くと、一時停止が解除され、再生が始まります。
- DVDビデオの場合、メニュー中に一時停止や再生開始などのキー操作ができない場合があります。そのような場合は、メニュー操作 をタッチして、DVDメニューの操作キーから操作を行ってください。

前／次のチャプターを再生する

1 ‹ または ›

MEMO
- ‹ を押すとチャプターの先頭に戻り、さらに ‹ を押すごとに前のチャプターに移動します。
- › を押すごとに次のチャプターに移動します。

早送り／早戻しする

1 再生中に › （早送り）または
‹ （早戻し）（長押し）

MEMO
- ›、‹ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生する

1 再生中に ▶/II ▶ › （長押し）

MEMO
- › から指を離すと、通常の再生に戻ります。
- スロー再生中は、再生情報表示部に「スロー再生 1/4」と表示されます。

リピート再生をする

1つのチャプターまたはタイトルを繰り返して再生（リピート再生）できます。

MEMO
- DVD-VRでプレイリストを利用して再生している場合は、リピート再生を行えません。

1 ♪ ▶ DVD/CD
2 リピート
リピート再生が始まります。

MEMO
- 通常再生に戻す場合は、リピート を再度タッチします。

メニューから再生する（DVDビデオ）

DVDビデオディスクには、そのディスク特有のDVDメニュー（ディスクメニュー）が収録されているものがあります。ディスクメニューを利用して、本編や映像特典など、観たい映像をすぐに再生できます。
表示されるメニューや操作方法は、各ディスクにより異なります。

1 ♪ ▶ DVD/CD
2 メニュー操作

MEMO
- 「操作はできません」と表示された場合は、DVDビデオのディスク自体にメニューが設定されていません。

3 トップメニュー または メニュー
トップメニューまたは再生中のチャプターのメニューが表示されます。

4 ▲、◀、▶、▼ でメニューを選択 ▶ 決定



選択したメニュー項目が再生されます。

MEMO
- 10キー をタッチすると、メニュー番号を直接入力してメニュー項目を選択できます。

タイトルリストから再生する（DVD-VR）

1 ♪ ▶ DVD/CD

2 リスト

3 **観たいタイトルを選択**



選択したタイトルが再生されます。

MEMO

- 番号指定 をタッチしてタイトル番号を入力すると、入力した番号が先頭になったタイトルリストが表示されます。

4 戻る

リスト画面が消え、映像画面に切り替わります。

プレイリストから再生する（DVD-VR）

プレイリストとは、DVD映像をお好みのシーンだけに編集し、独自に作成したタイトルです。

1 ♪ ▶ DVD/CD

2 プレイリスト

3 リスト

4 **観たい項目を選択**



選択した項目が再生されます。

MEMO

- 番号指定 をタッチしてプレイリスト番号を入力すると、入力した番号が先頭になったプレイリストが表示されます。

5 戻る

リスト画面が消え、映像画面に切り替わります。

静止画の切り替えをする（DVD-VR）

1つのチャプターに複数の静止画が記録されている場合、静止画の切り替えを行うことで、チャプター内の静止画が再生できます。

1 ♪ ▶ DVD/CD

2 静止画切替

タッチするたびにチャプター内の静止画が切り替わります。

MEMO

- 静止画切替 をタッチしても他のチャプターの静止画は再生されません。他のチャプターは ＜ ＞ を押して再生してください。
- 静止画が収録されていない、またはチャプター内に静止画が1枚しか収録されていない場合などは、「操作できません」というメッセージが表示されます。

タイトル・チャプター番号を入力して再生する（DVDビデオ）

1 ♪ ▶ DVD/CD

2 設定

3 10キーダイレクト入力

4 **タイトル番号・チャプター番号を入力** ▶ 決定



チャプター：
チャプター番号を入力するときにタッチします。

タイトル：
タイトル番号を入力するときにタッチします。

5 戻る

入力したタイトルまたはチャプターが再生されます。

便利な機能を利用する

字幕言語・音声言語・アングルを切り替える（DVDビデオ）

DVDに字幕、複数の音声およびアングルが収録されている場合のみ有効です。

1 ♪ ▶ DVD/CD

2 設定

3 音声／字幕／アングル

4 音声 、字幕 、アングル

タッチするたびに音声言語、字幕言語、アングルの設定が切り替わります。

MEMO

- 設定できる言語はディスクによって異なります。
- 初期設定(P.213)で設定できる言語以外の言語が収録されている場合は、「その他」と表示されます。
- 「OFF」を表示させると、字幕を消せます。

5 戻る

設定が確定します。

字幕表示・音声を切り替える（DVD-VR）

DVDに字幕、複数の音声が収録されている場合のみ有効です。

1 ♪ ▶ DVD/CD

2 設定

3 音声／字幕

4 音声 または 字幕

タッチするたびに音声または字幕の設定が切り替わります。

MEMO

- 設定できる音声はディスクによって異なります。

5 戻る

設定が確定します。

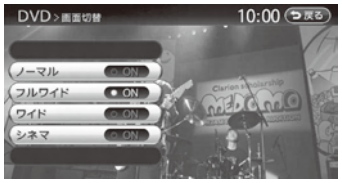
画面サイズを切り替える

1 ♪ ▶ DVD/CD

2 設定

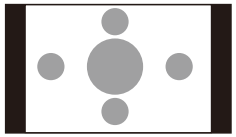
3 画面切替

4 画面サイズを選択



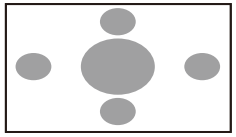
選択したサイズで画面が表示され、通常の映像画面に戻ります。

ノーマル：



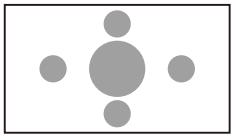
映像が縦横の比率を変えずに中央に表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。

フルワイド：



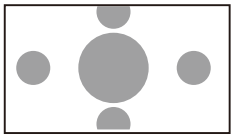
映像が画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。

ワイド：



映像の左右部分が横に広がって画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合に違和感を少なく表示できます。

シネマ：



通常のテレビでシネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使います。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が黒く表示されます。

5 戻る

画質を調整する

DVDビデオ、DVD-VRの画質をお好みで調整できます。

1 ♪ ▶ DVD/CD

2 設定

3 画質調整

4 調整する項目を選択



明るさ：
明るさを調整します。

色合い：
色味を調整します。

色の濃さ：
色の濃さを調整します。

コントラスト：
明るさと暗さの差を調整します。

黒レベル：
黒レベルを調整します。

5 − または ＋

画面の映像を見ながら画質を調整します。

MEMO

- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

DVDビデオの設定を変更する

MEMO

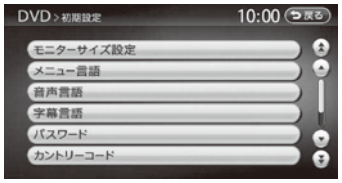
- 初期設定画面から各設定画面に移動すると、DVDの再生は停止します。設定終了後は、DVDの再生が始まりますが、設定内容によって再生が始まる位置が異なります。(DVDの先頭から再生されることもあれば、設定前の場所から再生が始まることもあります)
- 以下の初期設定画面で何もせずに画面を閉じると、設定前の場所から再生が始まります。

モニターサイズを設定する

1 ♪ ▶ DVD/CD

2 設定 ▶ 初期設定

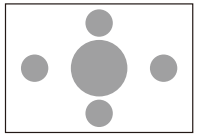
3 モニターサイズ設定



4 モニターサイズを選択

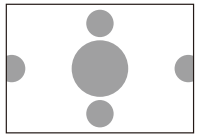


ワイド：



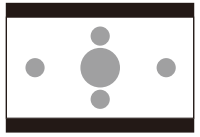
映像が画面にぴったり納まります。映像と画面の比率が違う場合は、変形して表示されます。映像が切れる部分はありません。

パンスキャン：



画面の上下と映像の高さが合わせて表示されます。映像と画面の比率が違う場合は、映像の左右が切れて表示されます。

レターボックス：



画面の横幅と映像の幅が合わせて表示されます。映像と画面の比率が違う場合は、上下に黒い帯が表示されます。

MEMO

- 収録されているモニターサイズは、ディスクごとに異なります。モニターサイズを「パンスキャン」または「レターボックス」に設定しても、ディスクによっては自動的にどちらかで再生される場合があります。

優先する言語を設定する

再生時に優先する言語を、メニュー言語、音声言語、字幕言語のそれぞれについて設定できます。ここでは、メニュー言語の設定を例として説明しています。

MEMO
- 本設定は、DVD再生時に優先する言語の設定です。必ずしも切り替えた言語で再生されるわけではありません。

1 ♪ ▶ DVD/CD
2 設定 ▶ 初期設定
3 メニュー言語 、音声言語 、字幕言語
4 言語を選択

MEMO
- 英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語、OFF（字幕言語のみ）から選択できます。

パレンタルレベルとパスワードを設定する

パレンタルレベルとは、お子様に対しDVDの視聴を制限させるために設定するものです。パレンタルレベルの設定には、パスワードが必要です。

視聴制限（パレンタルレベル）について

DVDビデオには、「視聴制限（パレンタルレベル）」が設定されているものがあります。パレンタルレベルはレベル1 ～ 8まであり、数字が小さくなるほど視聴制限が厳しくなります。視聴制限が設定されているディスクは、本機のパレンタルレベル設定によっては再生できないことがあります。

例：DVDの視聴制限がレベル3の場合

本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル4 ～ 8」の場合のみ、再生できます。

本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル1 ～ 3」の場合は、再生しようとすると「パレンタルレベル変更」の警告メッセージが表示されます。

また、パレンタルレベルは国によって異なるため、カントリーコードを設定しないと、視聴制限がうまく機能しない場合があります。

MEMO
- 初期設定は「パレンタルレベルOFF」です。
- パレンタルレベルは、DVDのパッケージなどに記載されています。パッケージにパレンタルレベルが記載されていないディスクは、パレンタルレベルを設定しても視聴制限はかけられません。
- パレンタルレベルの設定をする場合は、パスワードを設定してください。パスワードの初期設定は「0000」です。

パスワードを設定・変更する

視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・変更します。

1 ♪ ▶ DVD/CD
2 設定 ▶ 初期設定
3 パスワード
4 パスワードを入力 ▶ 決定
入力されたパスワードは、「＊＊＊＊」と表示されます。
新規パスワード設定の場合→手順7へ
5 パスワードの変更
6 新しいパスワードを入力 ▶ 決定
7 再度同じパスワードを入力 ▶ 決定
新しいパスワードが設定されます。

MEMO
- パスワードの初期設定は「0000」です。
- パスワードを消去するには、パスワード編集画面で パスワードの消去 をタッチします。

パレンタルレベルを設定する

1 ♪ ▶ DVD/CD
2 設定 ▶ 初期設定
3 パレンタルレベル
4 パスワードを入力 ▶ 決定
5 パレンタルレベルを選択
パレンタルレベルが設定されます。

MEMO
- パレンタルレベルを変えるときの警告で パレンタルレベル変更 をタッチしても、同様の操作ができます。
- パレンタルレベルOFF をタッチすると、パレンタルレベルは設定されず、すべてのDVDビデオのパレンタルレベルに対して視聴制限が解除されます。

カントリーコードを設定する

パレンタルレベルは国によって内容が異なります。本機でパレンタルレベルを正しくお使いになるには、DVDのカントリーコードを設定する必要があります。カントリーコードは、国を識別するためのコードです。(P.334)

1 ♪ ▶ DVD/CD
2 設定 ▶ 初期設定
3 カントリーコード
4 DVDに記録してある国または地域のカントリーコードを入力 ▶ 決定
カントリーコードが設定されます。

MEMO
- 初期状態では、「7480（JAPAN）」が設定されています。

状態表示を設定する

DVDの再生画面に、常に再生状態（チャプター番号、再生時間）を表示できます。

1 ♪ ▶ DVD/CD

2 DVDビデオ：設定 ▶ 初期設定

DVD-VR：設定

3 常に状態を表示する

再生状態の表示が設定されます。



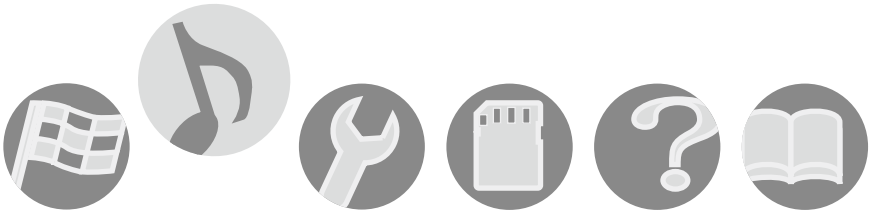
MEMO

・再生状態の表示を解除する場合は、
常に状態を表示する を再度タッチします。

CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く

本機では、音楽CDの他に、MP3・WMA形式の音楽データを保存したディスクをお楽しみいただけます。

218 本機で使えるCD
219 本機で使えるMP3・WMAディスク
220 MP3・WMAの記録メディアについて
221 ディスクを再生する



本機で使えるCD

再生できるディスク

- 音楽CD
- CD-TEXTディスク
- CD-Extraディスク ※ただし音楽CDとして
- Super Audio CD ※ハイブリッドディスクのCD層のみ
- パソコンで、正しいフォーマットで記録されたディスク※1
- 音楽CDレコーダーで録音した音楽用CD-R、CD-RWディスク※2
- コピーガード付きCD※3

※1 アプリケーションソフトの設定や環境によっては再生できない場合があります。詳しくはアプリケーションソフトの発売元にお問い合わせください。

※2 正常に再生できないこともあります。またCD-RWディスクは、ディスク挿入後から再生まで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。

※3 再生できないこともあります。

再生できないディスク

- 8cmディスク
- 異形のディスク
- MIX MODE CD
- CD-DA以外のディスク（オーバーバーンCDなど）
- DTS CD
- ビデオCD
- ファイナライズしていないCD-R、CD-RWディスク
- デュアルディスク（Dual Disc）は、ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。
- ラベルを貼り付けたディスクは、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。

本機で使えるMP3・WMAディスク

MP3とは、MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
MP3ファイルは、元の音楽データを約1/10サイズに圧縮したものです。
WMAとは、Windows Media Audioの略称で、マイクロソフト社独自の音声圧縮フォーマットです。
本機では、MP3またはWMAファイルの記録されたCD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDカード、USBメモリーを再生することができます。SDカード、USBメモリーについて詳しくは、**P.238**をご覧ください。

本機で再生できるMP3/WMAファイル（ディスク）は以下のとおりです。

- 記録メディア※1：
  CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW
- 記録フォーマット：
  CD：ISO9660レベル1 ／レベル2、Joliet、Romeo
  DVD：UDF（Ver1.02のみ）、UDF-ブリッジ、ISO9660レベル1 ／レベル2、Joliet、Romeo
- パケットライトには非対応
- 拡張子が.MP3、または.WMAのファイル（雑音や故障の原因となるため、MP3/WMAファイル以外には「.MP3」「.WMA」の拡張子をつけないでください）

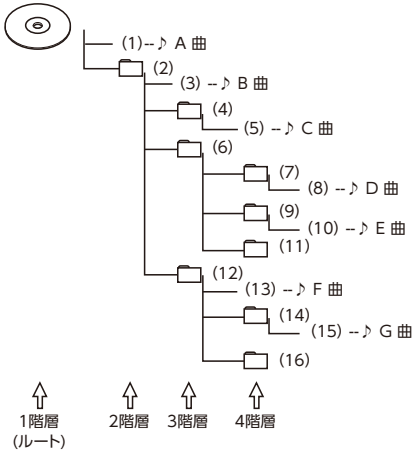
※1 マルチセッション対応で記録したディスクは、最大40セッションまで再生可能です。（DVD-R/RWはマルチセッション未対応）

MP3・WMAの記録メディアについて

- ディスク内の最大フォルダ・ファイル・トラック数：
  フォルダ：255（ルートを含む）
  ファイル：512
  トラック：1フォルダあたり255

ディスクのフォルダ構成

MP3/WMAファイルを記録したディスクのイメージ（例：1 ～ 4階層の場合）は、下図のようになります。
曲のないフォルダは飛ばして再生順序を決めます。
下図の場合の再生順序は、(1) → (3) → (5) → (8) → (10) → (13) → (15) となります。



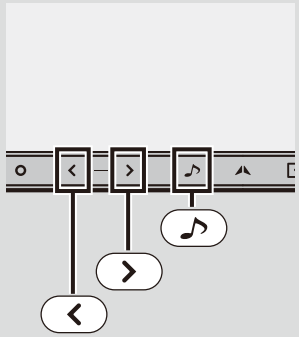
- ディスクの場合、8階層（ルートディレクトリを含む）までのMP3/WMAファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダを持つ場合は再生が始まるまでに時間がかかります。

本機でMP3/WMAを再生するためのご注意

- 最大数を超えてフォルダ・ファイル・トラックが記録されているディスクの場合、超過しているフォルダ・ファイル・トラックは本機では認識されません。また、本機でのフォルダおよびファイルの表示順序は、パソコンでの表示順序とは異なります。
- フォルダを含めたファイル名が長い場合、そのファイルは再生できないことがあります。
- MP3/WMAのファイル名を表示する場合、ファイル名の長さによってはファイル名の最後に拡張子の一部（./.m/.mp/.W/.WM）が残る場合があります。その場合には、作成するファイル名の長さを調整してください。（拡張子の一部が残るファイル名の長さは使用するファイルシステムによります）

ディスクを再生する

CD、MP3/WMAディスクの操作では、操作パネルの以下のボタンを使用します。



MEMO

- 再生中のディスクおよびトラックタイトルなどの情報は、本機内にあるGracenote Music Recognition Service℠ **(P.340)** の情報です。またCD-TEXT対応ディスクであれば、ディスク内の情報を表示できます。
- Gracenote Music Recognition Service℠からタイトル情報が得られない場合や、CDからCD-TEXTの情報が得られない場合は、トラックタイトルは表示されず、「Track01」などの番号が表示されます。
- ノンストップCD（トラックとトラックがつながっているCD）を再生すると、トラックとトラックの間に2 ～ 3秒の無音部が空いて再生されます。
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

CDを再生する

1 CDをセットする、または ♪ ▶ DVD/CD

本機にセットされたCDが再生されます。



MEMO

- 本機では、CDの曲を録音して再生するミュージックキャッチャーという機能があります。
- 地図画面のAV操作キーには、「CD」と表示されます。

MP3・WMAのディスクを再生する

1 MP3/WMAディスクをセットする、または ♪ ▶ DVD/CD

本機にセットされたディスクが再生されます。



MEMO

- 地図画面のAV操作キーには、「CD」または「DVD」と表示されます。

早送り／早戻しする

1 再生中に ＞ （早送り）または ＜ （早戻し）（長押し）

MEMO

- ＜ 、＞ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

1 再生中に ＜ または ＞

MEMO

- ＜ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに ＜ を押すごとに前のトラックに移動します。
- ＞ を押すごとに次のトラックに移動します。

前／次のフォルダを再生する

1 再生中に 前フォルダ または 次フォルダ （MP3/WMA再生時のみ）

MEMO

- 前フォルダ 、 次フォルダ をタッチするごとに、前／次のフォルダに移動し、フォルダ内の先頭のトラックが再生されます。
- AVコントロールバーの 前フォルダ 、 次フォルダ をタッチしても、同様の操作ができます。

リピート・ランダム・スキャン再生をする

1 ♪ ▶ DVD/CD

2 機能

3 目的の項目を選択

CD画面



全リピート：
ディスク内の全トラックをリピート再生します。

1トラックリピート：
現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

1ディスクランダム：
現在再生中のCDの全トラックをランダムに再生します。

1ディスクスキャン：
現在再生中のCDの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

MP3/WMA画面



全リピート：
ディスク内の全トラックをリピート再生します。

1フォルダリピート：
現在再生中のフォルダ全体をリピート再生します。

1トラックリピート：
現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

1ディスクランダム：
ディスク内の全トラックをランダムに再生します。

1フォルダランダム：
現在再生中のフォルダの全トラックをランダムに再生します。

1ディスクスキャン：
ディスク内の全トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

タイトルリストから再生する

MEMO

・走行中はフォルダリスト、トラックリストのスクロールはできません。

1 ♪ ▶ DVD/CD

2 **再生中のフォルダを選択（MP3/WMA再生時のみ）**

トラックリストが表示されます。

MEMO

・再生中以外のフォルダを選択した場合は、フォルダリストが表示されたまま、選択したフォルダの先頭のトラックから再生が始まります。トラックリストを表示するには、もう一度同じフォルダを選択します。

・MP3/WMAディスクの第1階層にあるファイルは、フォルダリスト画面の「MASTER FOLDER」と表示されたリストの中にあります。

3 **トラックを選択**

CD画面



MP3/WMA画面

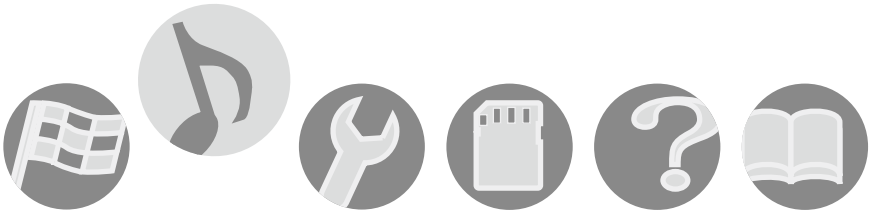


選択したトラックから再生が始まります。

ミュージックキャッチャーを使う

本機では、CDの曲を本機でSDカードに録音して再生できるミュージックキャッチャーをお楽しみいただけます。

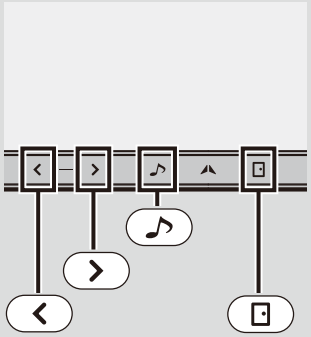
226 ミュージックキャッチャーに録音する
229 ミュージックキャッチャーを聴く
232 録音設定を変更する
233 アルバム・トラック情報を編集する



ミュージックキャッチャーに録音する

ミュージックキャッチャーとは、CDのトラックをSDカードに録音し、再生する機能のことです。CDを本機にセットしなくても、ミュージックキャッチャーに録音してあれば、そのCDのトラックを聴けます。

ミュージックキャッチャーの操作では、操作パネルの以下のボタンを使用します。



録音する前にお読みください

ミュージックキャッチャーを使用するにはSDカードが必要です。
録り直しのきかない録音の場合は、正しく録音されていることを確認してください。
本機の故障や誤作動および不具合により録音に失敗した場合、録音内容および消失した録音データの補償については、ご容赦願います。
録音したデータは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使えません。
ノンストップCD（トラックとトラックがつながっているCD）では、トラックとトラックの間に2～3秒の無音部をはさんで録音されます。

録音についてのご注意

録音時の状態について

以下のような場合には、音声が途切れたり音が飛んで録音されることがあります。
- 録音中にCDの音が飛んだ
- 傷があるなどCDの状態が悪い
- 録音中に振動の激しい悪路を走行した

録音中の操作について

録音中に以下の操作を行うと、録音中止の確認メッセージが表示されます。録音を中止する場合は はい を、続行する場合は いいえ をタッチします。
- トラックキーまたはリストからの選曲（ダイレクトトラック選択）
- REC をタッチする
- リピート／スキャン／ランダム再生
- SDカードを使用した操作（データの取り込み／書き出しなど）

MEMO
- 録音中は早送り、早戻し、トラックのアップ／ダウン操作はできません。
- 録音中は操作パネルを開閉することはできません。録音中に ( ) を押すと、「SDメモリーカード書き込み中のためオープンできません」というメッセージが表示されます。操作を継続される場合はその指示に従ってください。

録音中にエンジンを切ると、録音中のトラックが消えます。
次回エンジンをかけると、前回録音していたトラックの先頭から録音が始まります。

録音する

1 CD再生中に REC

2 希望の録音速度を選択



1倍速で録音：
1倍速で録音します。

2倍速で録音：
2倍速で録音します。録音中は、CDを聴くことはできません。

3 希望の録音方法を選択

録音が始まります。

全曲録音：
再生中のCDのすべてのトラックを録音できます。アルバムの先頭から録音されていないトラックの再生・録音が始まります。

現在の曲を録音：
再生中のトラックを録音できます。トラックの先頭に戻り、再生・録音が始まります。

曲を指定して録音：
録音したいトラックをリストから複数選択して録音できます。リストからトラックを選択して 録音開始 をタッチすると、先頭に近い曲から順に再生・録音が始まります。

MEMO
- 録音モード選択画面にディスクの情報やSDカードの情報が表示されます。SDカードの空き容量が1MB未満の場合、空き容量に「1MB未満です」と表示されます。

ミュージックキャッチャーについて

ミュージックキャッチャーの仕様は、以下のとおりです。

録音可能トラック数：

最大4000トラック（アルバムは最大500枚、1つのアルバムに収録できるトラック数：最大99トラック）

※ただし、SDカードの容量により録音できるトラック数は異なります。付属SDカード（8GB）ではおよそ2000トラックです。

録音できる音源音楽：

音楽CDのみ **(P.218)**

音質：

ATRAC3という音声圧縮技術を採用しています。CDの音質を損なわず、容量を約1/10（高音質モード）に圧縮できます。

本機は、SCMS（Serial Copy Management System）の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。SCMSでは、各種デジタルオーディオ機器の間で「デジタル信号をデジタル信号のまま録音する」というデジタル信号同士のコピーを〈1世代まで〉と規制しております。
したがって、以下の操作を本機で行えません。

- ●本機に録音したCDの曲をデジタル出力、デジタルコピーすること
- ●デジタル録音したCD-RとCD-RWおよびコピーの禁止されているCDを録音すること

タイトル表示について

CDをミュージックキャッチャーに録音すると、本機内蔵のGracenote Music Recognition Service[SM]のデータベースからタイトル・読み・アーティスト名・ジャンルの情報が取得され、画面上に表示されます。
情報を取得できなかったCDには録音した日付が表示されます。
また、CDや曲によっては、情報の取得ができない場合があります。

MEMO

- Gracenote Music Recognition Service[SM]のデータベースは、インターネット上のGracenoteデータベースから最新の情報に更新できます。**(P.234)**

ミュージックキャッチャーを聴く

MEMO

- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

再生する

1 **SDカードを本機にセット**

2 **♪ ▶ MUSIC CATCHER**

ミュージックキャッチャー内のトラックが再生されます。



MEMO

- 地図画面のAV操作キーには、「MCT」と表示されます。
- 録音中はミュージックキャッチャーの再生は行えません。録音中に MUSIC CATCHER をタッチすると、「録音中です。録音を中止してもよろしいですか？」という確認画面が表示されます。
- 再生中に操作パネルを開くと、再生が停止します。

早送り／早戻しする

1 **再生中に ＞ （早送り）または ＜ （早戻し）（長押し）**

MEMO

- ＞ 、＜ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

1 **再生中に ＜ または ＞**

MEMO

- ＜ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに ＜ を押すごとに前のトラックに移動します。
- ＞ を押すごとに次のトラックに移動します。

前／次のアルバムを再生する

1 **再生中に 前アルバム または 次アルバム**

MEMO

- 前アルバム 、次アルバム をタッチするごとに、前／次のアルバムに移動し、アルバム内の先頭のトラックが再生されます。

リピート・ランダム・スキャン再生をする

1 ♪ ▶ MUSIC CATCHER

2 機能

3 **目的の項目を選択**



選択した動作での再生が始まります。

全リピート：
全アルバムの全トラックをリピート再生します。

1アルバムリピート：
現在再生中のアルバム全体をリピート再生します。

1トラックリピート：
現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

全トラックランダム：
全アルバムの全トラックをランダムに再生します。

1アルバムランダム：
現在再生中のアルバムの全トラックをランダムに再生します。

全トラックスキャン：
全アルバムの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

リストから再生する

ミュージックキャッチャーのリストからアルバムやトラックを選択して再生できます。

1 ♪ ▶ MUSIC CATCHER

2 **再生中のアルバム名を選択**

トラックリストが表示されます。

MEMO

- 再生中以外のアルバムを選択した場合は、アルバムリストが表示されたまま先頭のトラックから再生が始まります。トラックリストを表示するには、もう一度同じアルバムを選択します。

3 **トラックを選択**



選択したトラックが再生されます。

アーティスト名から再生する

1 ♪ ▶ MUSIC CATCHER

2 設定

3 アーティスト検索

4 **アーティスト名を選択**

5 **アルバムを選択**

選択したアルバムの先頭から再生が始まります。

MEMO

- 選択演奏(P.231)中は、選択演奏の対象となっているアーティストまたはアルバムのみが検索対象となります。

条件から複数のアルバムを選んで再生する

複数のアルバムを指定して再生できます。
アルバムリストからアルバムを指定する方法と、アーティストのすべてのアルバムを指定する方法があります。

1 ♪ ▶ MUSIC CATCHER

2 設定

3 選択演奏

4 アルバム選択 **または** アーティスト選択



アルバム選択：
リスト表示されたアルバムから複数のアルバムを指定できます。

アーティスト選択：
リスト表示されたアーティストのすべてのアルバムを指定できます。

MEMO

- すでに選択演奏が設定されているときは、選択演奏解除 が表示されます。選択演奏解除 をタッチし、確認画面で はい をタッチすると、選択演奏を中止します。

5 **アルバムまたはアーティスト名を選択 ▶ 決定**

選択した項目が再生されます。

MEMO

- 決定 をタッチした直後は、SDカードに書き込み処理を行うため、操作パネルを開閉できないことがあります。

録音設定を変更する

ミュージックキャッチャーにCDを録音するには、自動と手動の2つの方法があります。

MEMO
- 録音中はSDカードの再生は行えません。

自動録音に切り替える

1 ▶ 設定
2 オーディオ
3 録音設定
4 挿入と同時に録音:1倍速 または 挿入と同時に録音:2倍速



挿入と同時に録音：1倍速：
CD再生時に1倍速でCDが録音されます。

挿入と同時に録音：2倍速：
CD再生時に2倍速でCDが録音されます。2倍速で録音中は、CDを聴くことはできません。

自動で録音する

1 SDカードを本機にセット
2 CDを再生する
自動的に録音が始まります。

MEMO
- 録音速度を変えることができます。(P.232)
- 録音時は、画面左下に REC×1 または REC×2 が表示されます。
- 全曲が録音されている場合、録音は行われません。

アルバム・トラック情報を編集する

MEMO
- アルバム･トラック情報の編集中や操作直後は、SDカードに書き込み処理を行うため、操作パネルを開閉できないことがあります。

アルバム名、アーティスト名を編集する

1 ▶ MUSIC CATCHER
2 設定
3 タイトル編集
4 アルバムを選択
5 アルバム名 または アーティスト
6 アルバム名またはアーティスト名を入力 ▶ 終了
アルバム情報が編集されます。

MEMO
- アルバム名、アーティスト名は全角・半角で20文字まで入力できます。

アルバムを削除する

MEMO
- 一度削除したアルバムは元に戻せません。

1 ▶ MUSIC CATCHER
2 設定
3 曲の削除
4 削除するアルバムを選択 ▶ 決定

MEMO
- 複数のアルバムを選択できます。

5 はい
選択したアルバムが削除されます。

アルバムの再生順序を並べ替える

1 ▶ MUSIC CATCHER
2 設定
3 アルバム並替
4 移動させたいアルバムを選択
5 移動先を選択
選択した位置にアルバムが移動します。
確認メッセージが表示され、アルバムリスト画面に戻ります。
アルバムリスト画面に戻ると、先頭のアルバムから再生が始まります。

トラック名を編集する

トラック名を編集できます。

1 ▶ MUSIC CATCHER
2 設定
3 タイトル編集
4 編集するトラックを含むアルバムの 詳細
トラックリストが表示されます。
5 トラックを選択
6 トラック名を入力 ▶ 終了
トラック名が編集されます。

MEMO
- トラック名は全角・半角で20文字まで入力できます。

トラックを削除する

MEMO
- 一度削除したトラックは元に戻せません。

1 ♪ ▶ MUSIC CATCHER
2 設定
3 曲の削除
4 削除するトラックを含むアルバムの 詳細
トラックリストが表示されます。
5 削除するトラックを選択 ▶ 決定
MEMO
- 複数のトラックを選択できます。
6 はい
選択したトラックが削除されます。

アルバム情報の取り込み／書き出し

アルバム情報の更新について

SDカードとパソコンを使用してアルバム情報を更新できます。
録音の際に、本機に内蔵のGracenote Music Recognition Service[SM]から取得したアルバム情報をSDカードとパソコンを使用して、インターネットのGracenoteのデータベースから最新の情報に更新できます。
本機能を使用するには、インターネットに接続できるパソコン、情報を取得するためのパソコン用専用アプリケーション「ナビマスター SD」が必要になります。(P.299)

アルバム情報を取り込む

1 ♪ ▶ MUSIC CATCHER
2 設定
3 アルバム情報の取り込み
4 はい
SDカード内のアルバム情報が本機に取り込まれます。

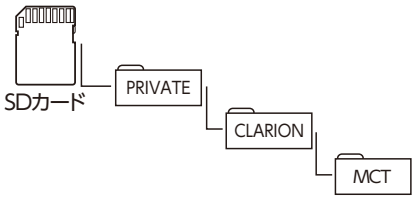
アルバム情報を書き出す

1 ♪ ▶ MUSIC CATCHER
2 設定
3 アルバム情報の書き出し
4 アルバムを選択 ▶ 決定
5 はい
選択したアルバム情報がSDカードに書き出されます。

録音した音楽データについて

録音した音楽データのバックアップ

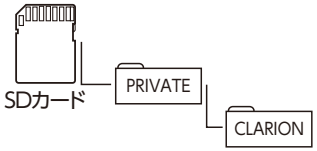
録音した音楽データはSDカード内の以下のフォルダに保存されます。



お使いのパソコンに、このフォルダをそのまま保存することでバックアップできます。

バックアップした音楽データの復元

バックアップした音楽データフォルダ("MCT")をSDカード内の下記フォルダに書き戻すことで復元できます。



このとき、すでに上記フォルダ内に“MCT”フォルダが存在する場合は、バックアップまたは削除してください。

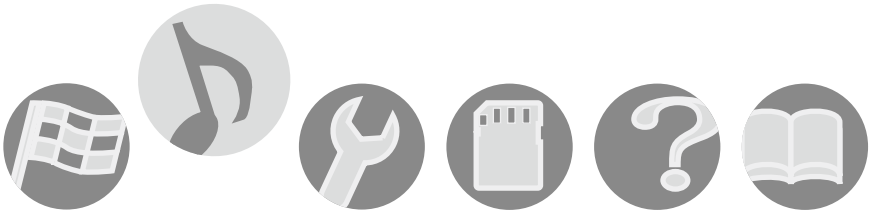
MEMO
- “MCT”フォルダ内に存在するファイルおよびフォルダの削除や変更は絶対に行わないでください。ミュージックキャッチャーが正常に動作しなくなる可能性があります。
- これらの操作は、録音データ保存の目的でのみ行うようにしてください。

Memo

SDカード／USBメモリーの音楽を聴く

本機では、お手持ちのSDカードやUSBメモリーに保存した音楽を聴くことができます。

238 SDカード／USBメモリーのオーディオを再生するには
239 オーディオを再生する



SDカード／USBメモリーのオーディオを再生するには

本機で使えるSDカード／USBメモリー

- 記録メディア
  SDカード、SDHCカード、USBメモリー
- 記録フォーマット
  SDカード：FAT16、FAT32
  USBメモリー：FAT12、FAT16、FAT32
- SDカード内の最大フォルダ・ファイル・トラック数
  フォルダ：500
  ファイル：8000
  トラック：1フォルダあたり99
- USBメモリー内の最大フォルダ・ファイル・トラック数
  フォルダ：512
  ファイル：8000
  トラック：1フォルダあたり255
- 拡張子が.MP3、または.WMAのファイル（雑音や故障の原因となるため、MP3/WMAファイル以外には「.MP3」「.WMA」の拡張子をつけないでください）
- ファイルサイズが2GB未満のファイル

MP3・WMAについて詳しくは、**(P.219)**をご覧ください。

SDカード／USBメモリーのフォルダ構成

音楽データを認識できる階層は、SDカードの場合はルートを含む8階層まで、USBメモリーの場合はルートを含む9階層までです。この階層内にあるMP3/WMA音楽データのみが認識されます。何階層目にデータを置かねばならないという指定はありません。
フォルダ名、ファイル名の文字数合計は半角で250文字以内にしてください。

MEMO

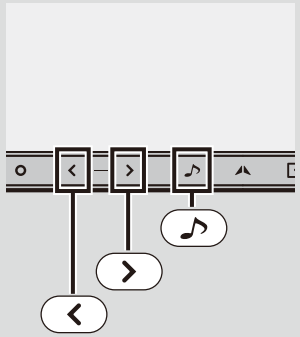
- MP3/WMAファイルを含まないフォルダは認識されません。
- SDカードの場合は8階層（ルートディレクトリを含む）まで、USBメモリーの場合は9階層（ルートディレクトリを含む）までのMP3/WMAファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダを持つ場合は再生が始まるまでに時間がかかります。
- SDカードで1つのフォルダに99以上のトラックが入っている場合、またはUSBメモリーで1つのフォルダに255以上のトラックが入っている場合はパソコンでデータが書き込まれた順序により、認識されるトラックは変わります。
- SDカード／USBメモリーで1つのフォルダにMP3/WMAファイル以外のファイルを入れた場合、認識されるトラック数が少なくなることがあります。
- SDカードの階層で認識可能なフォルダ数は最大500、USBメモリーの階層で認識可能なフォルダ数は最大512になります。

本機でMP3/WMAを再生するためのご注意

- 最大数を超えてフォルダ・ファイル・トラックが記録されているSDカード、USBメモリーの場合、超過しているフォルダ・ファイル・トラックは本機では認識されません。また、本機でのフォルダおよびファイルの表示順序は、パソコンでの表示順序とは異なります。
- フォルダを含めたファイル名が長い場合、そのファイルは再生できないことがあります。
- MP3/WMAのファイル名を表示する場合、ファイル名の長さによってはファイル名の最後に拡張子の一部（./.m/.mp/.W/.WM）が残る場合があります。その場合には、作成するファイル名の長さを調整してください。（拡張子の一部が残るファイル名の長さは使用するファイルシステムによります）
- SDカード、USBメモリーとも、著作権保護された音楽ファイルは本機では再生できません。

オーディオを再生する

SDカード、USBメモリーの操作では、操作パネルの以下のボタンを使用します。



SDカードを本機にセット、または同梱のUSBケーブルにUSBメモリーを接続することで、パソコンで編集したMP3/WMA形式の音楽データを本機で再生することができます。

MEMO

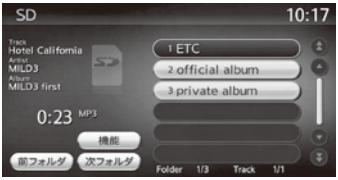
- USBケーブルにiPodを接続している場合は、USBメモリーはご利用になれません。

SDカードを再生する

1 SDカードをセットする、または

♪ ▶ SDメモリーカード

SDカードのオーディオが再生されます。



MEMO

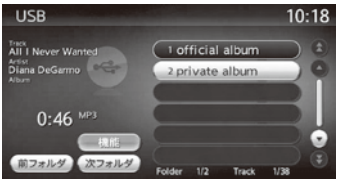
- 地図画面では、AV操作キーに「SD」と表示されます。
- 録音中はSDカードの再生は行えません。録音中に SDメモリーカード をタッチすると、「録音中です。録音を中止してよろしいですか？」という確認画面が表示されます。

USBメモリーを再生する

1 USBメモリーを接続する、または

♪ ▶ USB/iPod

USBメモリーのオーディオが再生されます。



MEMO

- 地図画面では、AV操作キーに「USB」と表示されます。
- USBメモリー内のファイルは、ファイル名順でのみ再生できます。再生順序を変更したい場合は、ファイル名の先頭に数字を入力してください。

早送り／早戻しする

1 再生中に (›) (早送り) または (‹) (早戻し) (長押し)

MEMO

- (›) 、(‹) から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

1 再生中に (‹) または (›)

MEMO

- (‹) を押すとトラックの先頭に戻り、さらに (‹) を押すごとに前のトラックに移動します。
- (›) を押すごとに次のトラックに移動します。

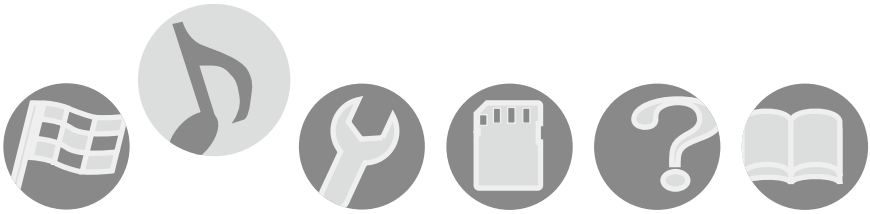
以降の操作はディスクのMP3、WMA再生と同様です。下記のページを参照して操作を行ってください。

- フォルダ／トラックリストから直接選曲する **(P.224)**
- リピート、スキャン、ランダム再生をする **(P.223)**

iPodを聴く／iPodビデオを観る

本機では、iPod（別売）を接続してiPod内の音楽データやビデオ映像をお楽しみいただけます。

242 接続できるiPod
244 iPodを再生する
248 画質を調整する（ビデオ）
249 iPodの設定をする



接続できるiPod

Made for iPod　Works with iPhone

本機は第5世代iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touch、iPhone 3G、iPhone 3GSに対応しています。詳細は以下の表をご覧ください。なお、iPodは本機に付属していません。お手持ちのiPodをお使いください。iPodビデオを視聴するには、別売のビデオ対応iPodケーブルのビデオ端子を、別売のVTRケーブルに接続します。

接続可能なiPod	備考
iPod（第5世代）	ビデオ再生可
iPod classic（80GB、120GB、160GB）※1	ビデオ再生可
iPod nano（第1世代、第2世代）	
iPod nano（第3世代、第4世代※1、第5世代）	ビデオ再生可
iPod touch（第1世代※2,※3）	ビデオ再生不可
iPod touch（第2世代）	ビデオ再生可
iPhone 3G/iPhone 3GS	ビデオ再生可

※1 ビデオファイルのみ保存している場合、iPodが認識されない場合があります。一つでも音楽ファイルを保存すると解消されます。

※2 ファームウェア2.0以降では、ビデオを再生することができます。ファームウェアが2.0より古い場合は、ミュージックモードでのみお使いください。

※3「On-The-Go」は再生できません。iTunesと同期後はプレイリストとして再生できます。

MEMO

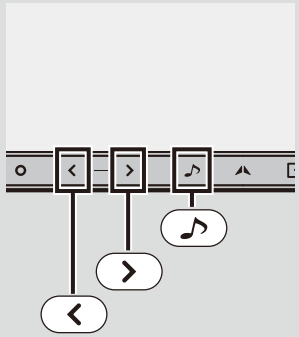
- iPodの動作が停止した場合、カテゴリーリストから曲やビデオを選択することによって操作可能になる場合があります。
- iPodのトラックリピート機能を設定している場合は、正しく動作しない場合があります。
- iPodのシャッフル機能を設定していると正しく動作しない場合があります。その場合は、シャッフル機能の設定を解除してからご利用ください。
- iPodの機種によっては再生対象の曲数が多い場合、タイトル表示やリスト表示ができない場合があります。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。
- iPodが操作不能になった場合は、iPod本体をリセットし、再度接続してください。

  リセット方法の例
  - iPodの場合：「センター」ボタンと「メニュー」ボタンをAppleのロゴが表示されるまで同時に押し続けます。
  - iPod touchの場合：「スリープ／スリープ解除」ボタンと「ホーム」ボタンを、Appleのロゴが表示されるまで同時に押し続けます。

  ※iPodをリセットして再接続しても動作しない場合は、リセット後、iPod単体で動作することを確認してから接続するようにしてください。
- 車のエンジンを切ったあとは、必ずiPodを取り外してください。接続したままではiPodの電源が切れない場合があるため、iPodの電源を消耗する恐れがあります。
- iPod touchまたは、iPhoneをBluetooth接続している場合、Bluetoothオーディオ再生または、ハンズフリー通話を行うと、音声が出力されないことがあります。iPod touch、iPhone本体から操作を行い、設定（オーディオ出力）をBluetoothから接続機器側へ切り替えてください。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

iPodを再生する

iPodの操作では、操作パネルの以下のボタンを使用します。



⚠ 注意

- **走行中は、iPod本体の操作は行わないでください。**

お願い

- 万が一iPodが操作不能になってしまったときはiPodをリセットしてください。iPodのリセット方法は、iPodの取扱説明書などで確認してください。
- オーディオファイル再生中のiPodを本機に接続した場合、再生していた曲の続きから再生されます。ビデオ対応iPodにおいてビデオ再生中に接続した場合は、iPodにより再生位置が異なることがあります。ビデオを観る場合、再度ビデオファイルを選択してください。

MEMO

- iPodビデオを視聴するには、別売のビデオ対応iPodケーブルのビデオ端子を、別売のVTRケーブルに接続します。オーディオファイルのみ再生する場合（ミュージックモード）は、iPodに付属のiPodケーブルを本機のUSB端子に接続して再生することもできます。
- ビデオ対応iPodケーブル※を接続すると、外部入力端子※との同時接続はできません。
  ※設定されていない車両がありますのでご注意ください。
- 本機とiPodを接続すると、iPodからは操作できません。
- iPodは、安全な場所に置いてご使用ください。
- 地図画面のAV操作キーには、「iPod」と表示されます。
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

iPodを聴く

別売のビデオ対応iPodケーブルを本機のUSB端子に接続すると、自動的に再生が始まります。すでに接続されている場合は、以下の方法で再生します。

1 ♪ ▶ USB/iPod

iPod内のトラックが再生されます。



iPodビデオを観る

⚠ 警告

- **運転者がiPodビデオを観るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみiPodビデオの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

MEMO

- ファームウェアが2.0より古いiPod touchは、ビデオ再生に対応しておりません。
- あらかじめ、iPodの接続方法**(P.249)**を「USB＋VTR接続（アナログ音声）」に設定してください。
- 「USB＋VTR接続（アナログ音声）」に設定している場合は、別売のビデオ対応iPodケーブルのビデオ端子を、別売のVTRケーブルに接続する必要があります。

1 ♪ ▶ USB/iPod

iPodビデオが再生されます。



MEMO

- オーディオが再生された場合は、手動でiPodビデオの映像に切り替えることができます。**(P.247)**

早送り／早戻しする

1 **再生中に ❯ （早送り）または ❮ （早戻し）（長押し）**

MEMO

- ❯ 、❮ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラック・チャプターを再生する

1 **再生中に ❮ または ❯**

チャプターの存在するトラックを再生している場合は、前または次のチャプターの先頭トラックが再生されます。

MEMO

- ❮ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに ❮ を押すごとに前のトラックに移動します。
- ❯ を押すごとに次のトラックに移動します。

リピート・シャッフル再生をする

1 ♪ ▶ USB/iPod

2 機能

3 目的の項目を選択

iPodオーディオ画面



iPodビデオ画面



4 目的の項目を選択

シャッフル（オーディオのみ）



オフ：
シャッフル再生を解除します。

曲：
現在再生中のアルバムの全トラックをランダムに再生します。

アルバム：
全アルバムをランダムに再生します。アルバム内のトラックは順番に再生されます。

リピート



1曲：
現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

すべて：
全アルバムの全トラックをリピート再生します。

選択した動作での再生が始まります。

MEMO

- iPodの機種によっては、リピート再生ができない場合があります。
- シャッフル再生中に、iPodをビデオモードに切り替えると、シャッフル再生は自動的に解除されます。

タイトルリストから再生する（オーディオ）

1 ♪ ▶ USB/iPod

2 トラックを選択

選択したトラックが再生されます。

条件を指定して再生する（オーディオ）

さまざまな条件からiPodのトラックを探して再生できます。

1 ♪ ▶ USB/iPod

2 メニュー

MEMO

- メニュー をタッチすると、最後に表示していたリスト画面が表示されるため、手順4 ～手順5の画面に進む場合があります。このような場合、手順3の画面を表示させるには メニュー を長押ししてください。

3 ミュージック

4 希望の項目を選択

MEMO

- 選択できる項目は以下のとおりです。
  プレイリスト／アーティスト／アルバム／曲／ Podcast ／ジャンル／作曲者

トラックリストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

5 トラックを選択

選択した曲の再生がはじまります。

MEMO

- 手順3 ～手順5で 再生中 をタッチすると、iPodオーディオ画面に切り替わります。また、手順4 ～手順5で メニュー をタッチすると、1つ前の画面に戻ります。押し続けると、手順3の画面に戻ります。
- プレイリストが多階層になっていると、階層の深さによって不明な項目が表示されることがあります。

条件を指定して再生する（ビデオ）

さまざまな条件からiPodビデオのトラックを探して再生できます。

1 ♪ ▶ USB/iPod

2 メニュー

MEMO

- メニュー をタッチすると、最後に表示していたリスト画面が表示されるため、手順4 ～手順5の画面に進む場合があります。このような場合、手順3の画面を表示させるには メニュー を長押ししてください。

3 ビデオ

4 希望の項目を選択

MEMO

- 選択できる項目は以下のとおりです。
  ビデオプレイリスト／ムービー／ミュージックビデオ／テレビ番組／ビデオPodcast ／レンタルムービー

トラックリストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

5 トラックを選択

選択したトラックの再生がはじまります。

MEMO

- 手順3 ～手順5で 再生中 をタッチすると、iPodビデオ画面に切り替わります。また、手順4 ～手順5で メニュー をタッチすると、1つ前の画面に戻ります。押し続けると、手順3の画面に戻ります。
- プレイリストが多階層になっていると、階層の深さによって不明な項目が表示されることがあります。

画質を調整する（ビデオ）

1 ♪ ▶ USB/iPod

2 画質調整

3 **調整する項目を選択**



明るさ：
明るさを調整します。

色合い：
色味を調整します。

色の濃さ：
色の濃さを調整します。

コントラスト：
明るさと暗さの差を調整します。

黒レベル：
黒レベルを調整します。

4 **－ または ＋**

画面の映像を見ながら画質を調整します。

MEMO

- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

iPodの設定をする

iPodの接続方法を切り替える

iPodの接続方法を、「USBのみ」または「USB＋VTR接続」から選択します。
工場出荷時は「USBのみ」に設定されています。

1 ♪ ▶ USB/iPod

2 機能

3 接続方法

4 **接続方法を選択**



USB接続：
iPodはミュージックモードのみの対応になります。iPodビデオモードへの切り替えはできません。

USB＋VTR接続（アナログ音声）：
VTR端子をiPodの映像、音声入力として使用します。この設定を行うとソース選択画面の VTR は非表示になり、VTR機器のご利用はできません。
「USB+VTR接続（アナログ音声）」に設定している場合は、別売のビデオ対応iPodケーブルのビデオ端子を、別売のVTRケーブルに接続する必要があります。

MEMO

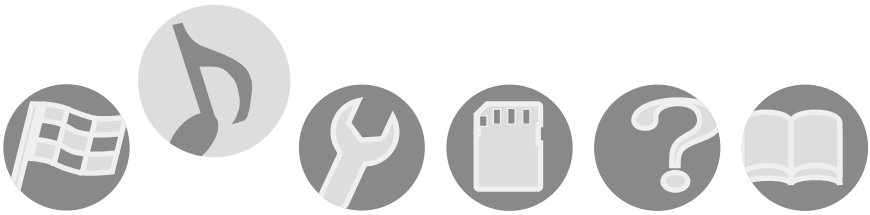
- 接続方法を変更した場合は、iPodの接続を一度解除して再度接続してください。
- 初期設定メニューからも、同様の操作ができます。**(P.272)**

Memo

Bluetoothオーディオを聴く

Bluetoothに対応しているオーディオ機器を本機に登録して、音楽を再生できます。

252 Bluetoothオーディオを聴くには
253 Bluetoothオーディオを再生する



Bluetoothオーディオを聴くには

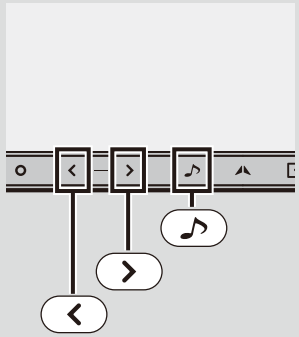
初めてBluetoothオーディオを利用するときは、本機に登録（ペアリング）する必要があります。
ペアリングの操作方法については、**P.144**からの説明をご覧ください。

MEMO

- Bluetooth方式に対応しているオーディオ機器を使用してください。ただし、Bluetoothオーディオの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。機能が非対応の場合は、ボタンやキーを押すことができません。または操作不可メッセージが表示されます。ただし、オーディオ機器により操作不可メッセージも表示されないことがあります。
- Bluetoothオーディオについて詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。
- Bluetoothオーディオの収納場所、距離によっては、接続できない場合や音とびが発生する場合があります。できるだけ通信状態のよい場所に置くことをお勧めします。
- 走行中はペアリングを実行できません。
- 電話関連機能やオンライン機能を実行している間は、オーディオ音声は出力されません。
- Bluetoothオーディオは、5台までペアリングすることができます。6台目をペアリングするには、すでに登録されたペアリング情報を削除する必要があります。また、登録されるBluetoothオーディオ機器は、ハンズフリー機器と共有です。
- iPhoneをBluetoothオーディオとして再生中、iPhone側でBluetooth画面を表示すると、音飛びが発生することがあります。このような場合は、Bluetooth画面の表示を閉じれば正常に再生されます。
- Bluetoothオーディオは、本機からの自動接続を行いません。接続したいオーディオ機器を操作し、接続を行ってください。
- Bluetoothオーディオ対応の携帯電話によっては、ハンズフリープロファイルを接続すると同時に、携帯電話側から自動でオーディオプロファイルの接続を行う機器があります。
- 接続していても音声が出力されない場合は、オーディオ機器からプロファイル切断を行い、再度接続操作を行ってください。

Bluetoothオーディオを再生する

Bluetoothオーディオの操作では、操作パネルの以下のボタンを使用します。



再生する

1 ♪ ▶ Bluetooth

Bluetoothオーディオが再生されます。



MEMO

- 再生を一時停止するには ⏸ を、再開するには ▶ をタッチします。
- Bluetoothオーディオの種類によって、本機からの再生、一時停止などの操作ができないことがあります。この場合、Bluetoothオーディオから操作してください。詳しくは、Bluetoothオーディオの取扱説明書をご覧ください。

早送り／早戻しする

1 **再生中に（›）（早送り）または（‹）（早戻し）（長押し）**

MEMO

- （›）、（‹）から指を離すと、通常の再生に戻ります。
- Bluetoothオーディオの種類によっては、本機からの操作ができないことがあります。その場合、Bluetoothオーディオ側から操作してください。詳しくは、Bluetoothオーディオの取扱説明書をご覧ください。

前／次のトラックを再生する

1 再生中に ＜ または ＞

MEMO

- ＜ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに ＜ を押すごとに前のトラックに移動します。
- ＞ を押すごとに次のトラックに移動します。
- Bluetoothオーディオの種類によっては、本機からの操作ができないことがあります。その場合、Bluetoothオーディオ側から操作してください。詳しくは、Bluetoothオーディオの取扱説明書をご覧ください。

シャッフル再生をする

1 ♪ ▶ Bluetooth

2 機能

3 シャッフル

4 目的の項目を選択



オフ：
全曲シャッフル、またはグループシャッフルを解除します。

全曲：
Bluetoothオーディオ内の全トラックをランダムに再生します。

グループ：
現在再生中のグループ内のトラックをランダムに再生します。

MEMO

- Bluetoothオーディオの種類によって、シャッフル再生ができない場合があります。

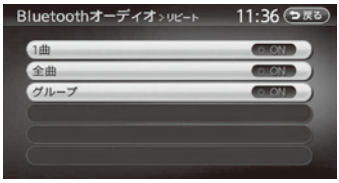
リピート再生をする

1 ♪ ▶ Bluetooth

2 機能

3 リピート

4 目的の項目を選択



1曲：
現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

全曲：
Bluetoothオーディオ内の全トラックをリピート再生します。

グループ：
現在再生中のグループ内のトラックをリピート再生します。

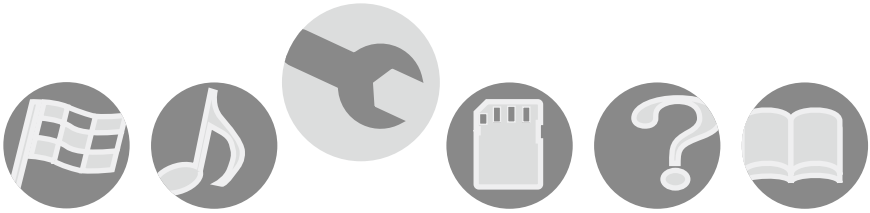
MEMO

- Bluetoothオーディオの種類によって、リピート再生ができない場合があります。

各種設定

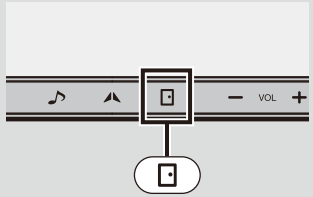
ナビゲーションに関するいろいろな操作、オーディオの音質、画面表示の色や画面などをお好みで設定することができます。

256 設定メニュー画面を表示する
257 ナビゲーションの設定をする
258 地図上のアイコンの設定をする
259 走行軌跡の設定をする
260 ルートガイドの設定をする
264 交通情報・VICS情報の設定をする
266 ルート探索条件の設定をする
269 その他のナビゲーション設定をする
271 その他の設定をする
272 初期設定をする
275 盗難防止設定をする
277 出荷状態に戻す
278 OPTIONボタンの操作方法
279 オーディオの音質を設定する
283 画面の設定をする
285 音量を調整する



設定メニュー画面を表示する

設定メニュー画面の操作では、操作パネルの以下のボタンを使用します。



設定メニュー画面では、ナビゲーションやオーディオなどに関するいろいろな設定を行うことができます。
この操作は、設定メニュー画面から行います。



設定メニュー画面



※走行中は選択できる項目が限定されます。

ナビゲーションの設定をする

ナビゲーションの設定は、設定メニューから行います。

1 ▶ 設定 ▶ ナビゲーション





タッチキー	設定の内容	参照ページ
登録地の編集・消去	自宅、登録地、登録ルートの編集・消去を行う ・自宅 ・登録地 ・登録ルート ・登録の消去 ・SDメモリーカードに登録地をバックアップ ・バックアップデータの取り込み ・SDメモリーカード内バックアップデータの消去	— P.40 P.87 P.90 P.89、P.91 P.300 P.300 P.301
地図表示変更	地図表示モードの切り替えを行う	P.53
アイコンの表示	地図上に表示されるアイコンに関する設定を行う	P.258
軌跡の設定	地図上に表示される軌跡（車の走行跡）に関する設定を行う	P.259
ルートガイドの設定	ルート案内時の案内表示、音声案内に関する設定を行う	P.260
交通情報・VICSの設定	交通情報・VICS情報に関する設定を行う	P.264
ルート探索条件の設定	ルート探索条件に関する設定を行う	P.266
その他の設定	その他、便利な設定を行う	P.269

地図上のアイコンの設定をする

1 ⊡ ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 アイコンの表示



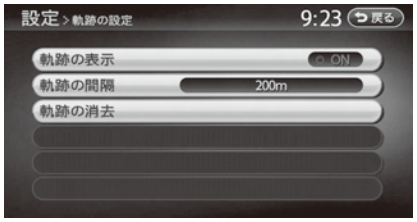
※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
施設アイコンの表示	地図上に表示される施設を示すアイコンの種類を選択する ・複数のジャンルを選択できます。 ・詳細 をタッチすると、ジャンル内のブランドまで指定できます。	初期設定では、以下が表示されています。 ・カー用品店 ・ガソリンスタンド ・カーディーラー ・レンタカー	—
検索アイコンの表示	周辺検索**(P.67、P.69)**で探した施設に表示されるアイコンの表示／非表示を切り替える	ON※／ OFF	—
検索アイコンの消去	検索アイコンの表示を地図上から消去する	—	**P.68** **P.70**

走行軌跡の設定をする

1 ⊡ ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 軌跡の設定



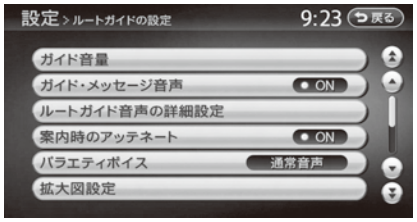
※は工場出荷時の初期設定です。

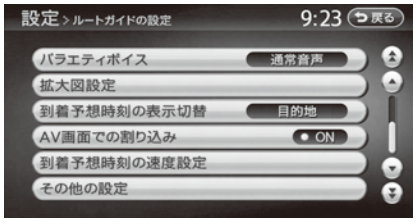
設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
軌跡の表示	走行軌跡の表示／非表示を切り替える	ON ／ OFF※	—
軌跡の間隔	走行軌跡の間隔を設定する 走行軌跡のポイントは、1,000を超えると古いものから順に消去されます。軌跡の間隔を長く設定すると、長い距離の軌跡を表示できるようになります。	50m ／ 100m ／ 200m※／ 500m	—
軌跡の消去	走行軌跡の記録を消去する 一度消した走行軌跡は再度表示できません。	—	—

ルートガイドの設定をする

1 ⊡ ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルートガイドの設定





※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
ガイド音量	音声案内の音量を、通常走行時と高速走行時とに分けて設定する ・走行速度が80km/hを超えると、高速走行時の音量設定で案内されます。	レベル1 ～ 16 (レベル6※)	—
ガイド・メッセージ音声	音声案内などのナビゲーション音声を出力するかしないかを選択する	ON※／OFF	—
ルートガイド音声の詳細設定	音声案内や案内表示に関する詳細設定を行う ・交差点ガイド設定 交差点での音声案内および案内表示を設定する ・レーンガイド ルート案内中の通過交差点に対して、レーン規制に注意する必要がある場合に音声で案内をする ・料金ガイド ・合流ガイド ・踏み切りガイド 踏み切りでの音声案内および案内表示を設定する	— — ON※／OFF ON※／OFF ON※／OFF 表示しない／ガイド中に表示する※	— P.262 — — — —
案内時のアッテネート	音声案内時、一時的にオーディオの音量を下げる	ON※／OFF	—
バラエティボイス	音声案内の声を選択する ・クラリオン株式会社の eコマース･サイト (http://ec.clarion.com/index.html) からボイスデータを購入し、ダウンロードして新しくボイスをリストに追加することもできます。	通常音声※／英語／中国語／韓国語	P.262

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
拡大図設定	高速入り口と高速分岐において、拡大図を表示するかどうかを、それぞれ選択する ・高速入口 ・高速分岐	— ON※／OFF ON※／OFF	— P.116 P.116
到着予想時刻の表示切替	到着予想時刻を表示する地点を設定する	目的地※／最寄の経由地	—
AV画面での割り込み (*)	オーディオ画面表示中の、交差点案内の割り込み表示／非表示を切り替える	ON※／OFF	—
到着予想時刻の速度設定	到着予想時間を計算するための基準となる速度を設定する	—	P.263
その他の設定	ルートガイドに関するその他の設定をする ・一般道の方面看板表示／通過交差点の情報表示 一般道の方面看板表示と通過交差点の情報表示をするかどうかを、それぞれ選択する ・オートリルート ルート案内中、ルートを外れてしまったときに、自動的に元のルートに戻るように再設定する	— 表示しない／ガイド中に表示する※／常時表示する ON※／OFF	— — —

(*)「ON」に設定すると、オーディオOFFの画面の状態でも、交差点案内は表示されます。

交差点ガイドの設定をする

1 ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルートガイドの設定

3 ルートガイド音声の詳細設定

4 交差点ガイド設定

交差点ガイド設定画面が表示されます。
現在の設定状態が、画面右側の「ジャストガイド」「交差点ガイド」「事前ガイド」に表示されます。



ジャストガイド：
交差点直前で音声案内を行います。初期設定は「ON」です。

ランドマークガイド：
交差点でのランドマーク表示と、ランドマークを含めた音声案内を行います。初期設定は「ON」です。

親切設定：
案内地点より手前で、事前に音声案内を行います。

シンプル設定：
案内地点でのみ音声案内を行います。

バラエティボイスの設定をする

音声案内の声を選択することができます。
クラリオン株式会社のeコマース･サイト（http://ec.clarion.com/index.html）からボイスデータを購入しダウンロードすれば、新しくボイスを追加することもできます。**(P.302)**

1 ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルートガイドの設定

3 バラエティボイス

4 **ボイスを選択**

選択したボイスが設定されます。

MEMO

- 消去 をタッチすると、SDカードから取り込んだボイスデータを消去できます。

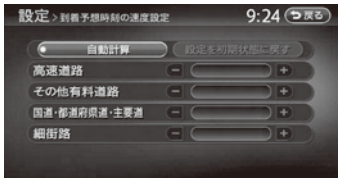
到着予想速度を設定する

1 ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルートガイドの設定

3 到着予想時刻の速度設定

4 **各設定の ＋ または －**



到着予想速度が設定されます。

自動計算：
統計交通情報などを考慮して、自動で速度を設定します。
この設定がONのときは、道路ごとの速度設定は考慮されません。

高速道路：
高速道路走行時の速度を5 ～ 120km/hに設定できます。

その他有料道路：
有料道路走行時の速度を5 ～ 100km/hに設定できます。

国道・都道府県道・主要道：
国道・都道府県道・主要道走行時の速度を5 ～ 60km/hに設定できます。

細街路：
細街路走行時の速度を5 ～ 30km/hに設定できます。

MEMO

- 工場出荷時は、「自動計算」に設定されています。
- 設定を初期値に戻す をタッチすると、それぞれの設定速度が初期値に戻ります。

交通情報・VICS情報の設定をする

1 ⊡ ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 交通情報・VICSの設定





※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
交通情報のダウンロード設定（*）	オンラインで受信する交通情報のダウンロードに関する設定を行う ・本設定は「オンライン探索の自動ダウンロード設定」と連動しています。**(P.267)**	—	**P.157**
VICS表示の対象道路	VICS情報表示の対象となる道路を選択する 設定した内容は、ビーコンVICSにも適用されます。	全ての道路※／有料道／一般道／表示しない	—
地図上のVICS表示設定	表示するVICS情報の項目を選択する 設定した内容は、ビーコンVICSにも適用されます。 ・渋滞・混雑 ・順調 ・事故・規制情報 ・駐車場情報 ・SA・PA情報	 ON※／OFF ON／OFF※ ON※／OFF ON※／OFF ON※／OFF	 — — — — —
図形情報の割込み（**）	VICS光・電波ビーコンから受信する図形情報を、画面に割り込み表示させるかどうかを設定する	ON※／OFF	—
図形情報の割込み時間（**）	VICS光・電波ビーコンから受信する図形情報を、画面に割り込み表示させる時間を設定する	5秒／10秒※／15秒／20秒／25秒／30秒	—
FM多重情報の受信地域選択	FM多重情報の受信地域の設定を行う ・オート選局 をタッチすると、自車位置から最も適した地域を自動的に受信します。 ・都道府県選択 をタッチすると、都道府県を選択できます。	オート選局※／都道府県選択履歴1／都道府県選択履歴2／都道府県選択履歴3	—
プローブ情報設定（*）	プローブ情報の送信・消去を行う	—	**P.158**

(*) オンラインで交通情報を受信する場合の設定です。詳しくは**P.154**からの説明をご覧ください。

(**) 別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時のみ設定できます。

MEMO

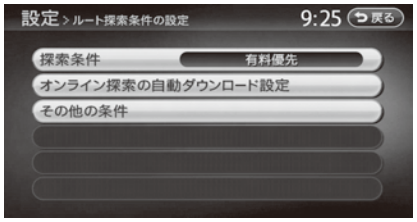
・ビーコン情報を利用するには、別売のVICS光・電波ビーコンユニットが必要です。

・本項目で設定された内容は、オンラインで受信した交通情報についても適用されます。

ルート探索条件の設定をする

1 ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルート探索条件の設定



設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
探索条件	ルート探索の優先路を選択する ・有料(省エネ) または 一般(省エネ) を選択すると、「その他の条件」の「統計交通情報を考慮」が自動的にONになります。	有料優先※／有料（省エネ）／一般優先／一般（省エネ）	—
オンライン探索の自動ダウンロード設定 (*)	オンライン探索のダウンロードに関する設定を行う	—	P.267
その他の条件	その他の探索条件を設定する	—	P.268

(*) オンラインで交通情報を受信する場合の設定です。詳しくは**P.154**からの説明をご覧ください。

オンライン探索のダウンロード条件を設定する

オンライン**(P.154)**を利用して交通情報を受信するときの設定を行います。

交通情報の受信間隔を設定する

交通情報を自動で取得する場合に、何分ごとに受信するかを設定します。
ここでの設定は、「交通情報のダウンロード設定」と連動しています。**(P.157)**

1 ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルート探索条件の設定

3 オンライン探索の自動ダウンロード設定

4 ダウンロード時間の間隔

5 **受信時間を選択**



MEMO

・工場出荷時は、「30分ごとにダウンロードする」に設定されています。

ルート案内時の交通情報取得を設定する

ルート案内の開始時に交通情報を自動で取得するかどうかを設定します。
ここでの設定は、「交通情報のダウンロード設定」と連動しています。**(P.157)**

1 ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルート探索条件の設定

3 オンライン探索の自動ダウンロード設定

4 行き先設定時にダウンロード

タッチするたびにON/OFFが切り替わります。

MEMO

・工場出荷時、行き先設定時にダウンロードは「ON」に設定されています。
・この設定が「ON」のときも、以下の場合は渋滞情報が受信されません。
  ・迂回路探索 からルートを再探索した場合
  ・お車がルートを外れた、またはルート上に規制が表れた場合のオートリルート時

その他の探索条件を設定する

ルート案内に関するいろいろな探索条件が選択できます。

1 ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2 ルート探索条件の設定
3 その他の条件



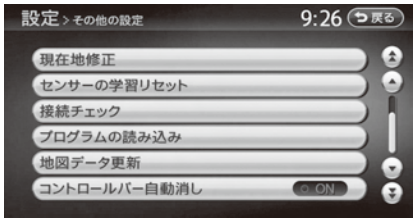
設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
時間規制道路	時間規制道路の時間規制を考慮するかどうかを選択する	規制に従う（推奨）※／規制情報を使わない／通らない	—
冬季通行止め	冬季通行規制を考慮するかどうかを選択する	規制に従う（推奨）※／規制情報を使わない／通らない	—
フェリー航路を使う	フェリー航路を使用するかどうかを選択する	ON／OFF※	—
統計交通情報を考慮	統計交通情報（*）を考慮するかどうかを選択する ・**「探索条件」(P.266)** で「有料（省エネ）」または「一般（省エネ）」が設定されている場合は自動的にONになり、選択することはできません。	ON※／OFF	—
リアルタイム交通情報を考慮	受信したオンライン情報やFM VICS情報、ビーコンVICS情報などの交通情報を考慮するかどうかを選択する	ON※／OFF	—
スマートICを考慮	スマートICを出入り口として考慮するかどうかを選択する	ON／OFF※	—

(*) 統計交通情報とは、過去の1年分のVICS情報から、曜日、時間により分類し、統計処理したデータです。

その他のナビゲーション設定をする

1 ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2 その他の設定





※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
現在地名称プレートの常時非表示	地図画面で、マルチインフォメーションキーを常時非表示にするかどうかを選択する	ON／OFF※	**P.46**
スクロール地点情報表示	スクロール先の緯度・経度、マップコードの表示／非表示、また、スクロール中にカーソルをアイコンにあてた場合の情報の表示／非表示を切り替える	—	—
	・登録地アイコン情報	ON※／OFF	—
	・VICSアイコン情報（2D地図のみ）	ON※／OFF	—
	・行き先アイコン情報	ON※／OFF	—
	・緯度・経度情報	ON※／OFF	—
	・マップコード	ON※／OFF	—
現在地修正	現在地を修正する	—	**P.270**
センサーの学習リセット	距離係数と3Dセンサーの学習記録を初期化（リセット）する ・タイヤを交換したときや、タイヤチェーン着脱時などに学習記録を初期化すると、学習時間が短くなります。**(P.306)**	—	—
接続チェック	各機器と本機との接続状況を確認する ・接続が確認されると、リスト画面に OK が表示されます。また、GPS受信状態も確認できます。	—	**P.128**
プログラムの読み込み	将来的に、SDカードによりプログラムのバージョンアップが必要なときに使用する	—	—
地図データ更新	本機の地図データをバージョンアップする場合に使用する（別途、バージョンアップキットの購入が必要です）	—	—
コントロールバー自動消し	地図上のコントロールバーの表示を自動的に消すかどうかを選択する	ON／OFF※	—

現在地を修正する

1 ⊡ ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 その他の設定

3 現在地修正

4 正しい現在地に移動（P.61）

5 場所を確認 ▶ 決定

6 ◀ または ▶ ▶ 決定



現在地が修正され、現在地画面に戻ります。

その他の設定をする

初期設定やエコロジー機能関連の設定など、各種の設定を行います。

1 ⊡ ▶ 設定

2 その他設定





※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
初期設定	車両やオートアンテナ、およびiPodの接続方法についての設定を行う	—	P.272
エコロジー関連	地図上のキャラクターを表示するかどうか、また標語の読み上げを行うかどうかを選択する ・地図上キャラクター表示 ・標語読み上げ	— ON※／OFF ON※／OFF	— — —
カーソル表示	画面上で選択している項目をハイライト表示する	ON／OFF※	—
盗難防止設定	盗難防止に関する設定を行う	—	P.275
出荷状態に戻す	本機のデータや設定を初期状態に戻す	—	P.277
販売店	使用しないでください	—	—
時計	時計の表示方法を設定する	—	P.31
イルミ色設定	イルミ色の設定を行う	ブルー／アンバー※	—

初期設定をする

ナビゲーションを使用するために必要な設定をします。

MEMO

・走行中は本操作を行えません。

1 ▶ 設定 ▶ その他設定

2 初期設定



※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
車両設定	本機を使用する車両を設定する ルートメニューの探索条件にある「有料（省エネ）」、「一般（省エネ）」に車種情報が反映され、お乗りの車種に最適なルート探索が行えます。また、車両設定を行うと、エコロジー機能(P.161)を利用するときにより正確な情報を表示できます。 ・正しく設定されていないと、高速道路料金が正しく表示されない場合があります。ただし大型車両、特定車両の高速道路料金には対応していません。 ・かんたん設定 ・マニュアル設定	— — —	— P.273 P.273
アンテナの種類	本機を使用する車のアンテナの種類を設定する	オートアンテナ／その他※	P.274
VTR接続設定	VTR機器とiPodの接続方法を選択する	VTR機器接続※／iPod Video接続	P.290

自動で車両を設定する

車種の選択を行うと、お乗りの車種に合わせて最適なイコライザー設定値に設定されるほか、オーディオ設定画面の「Loudness」がONになります。

1 ▶ 設定 ▶ その他設定

2 初期設定

3 車両設定

4 かんたん設定

5 車種選択



6 **車種データリストから車種を選択**



お使いの車種ごとにあらかじめ適切に調整された設定値に設定されます。
車種を選択すると、手順5の「オーディオ設定」と「エコロジー設定」がONになります。

車種選択のリストにお乗りの車種がない場合は…

車種データを本機に取り込む必要があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
また、車種により車種別設定ができない場合があります。

手動で車両を設定する

1 ▶ 設定 ▶ その他設定

2 初期設定

3 車両設定

4 マニュアル設定

MEMO

・かんたん設定で「エコロジー設定」を「ON」にしていると、マニュアル設定は行えません。(P.273)

5 **各項目を入力**



入力した車種情報が設定されます。

MEMO

・「車両重量」、「排気量」、「モード燃費」は、設定値入力後、決定 をタッチしてください。

乗車人数：
設定値を1 ～ 10人から選択します。初期値は2人です。

車両重量：
設定値を500 ～ 3000kgの範囲で入力します。初期値は1130kgです。

排気量：
設定値を0.60 ～ 7.00Lの範囲で入力します。初期値は1.50Lです。

モード燃費：
設定値を3.0 ～ 30.0km/Lの範囲で入力します。初期値は20.0km/Lです。

ボディタイプ：
設定値を「セダン」、「コンパクト」、「ワンボックス」、「ステーションワゴン」、「RV」、「スポーティ」から選択します。初期値は「セダン」です。

ナンバープレート：
設定値を「軽車両（軽自動車）」、「小型車両（5/7ナンバー）」、「普通車両（3ナンバー）」、「大型車両（1ナンバー）」、「特定車両（8ナンバー）」、「大型特定車両（8ナンバー）」から選択します。初期値は「小型車両（5/7ナンバー）」です。

MEMO

- お客様のお車により適した省エネルートをご案内するために、以下の項目をご確認ください。
  - 車両重量と排気量は、車検証記載の値に沿って設定してください。
  - モード燃費は、お車のカタログなどに記載されている10・15モードの燃費値を設定してください。JC08モードの記載しかない場合は、その値でもかまいません。
  - ボディタイプは、外見の形状で最も近いと思われるタイプを選択してください。必ずしも車検証記載の「車体の形状」通りである必要はありません。

アンテナの種類を設定する

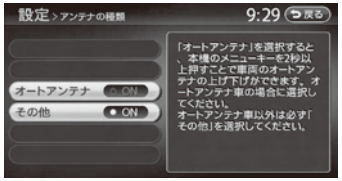
本機の ⊡ を長押しすることで、オートアンテナの上げ下げができるように設定することができます。

※オートアンテナとは、車載ラジオのスイッチをONにすると、自動的に出てくるアンテナのことです。

MEMO

- オートアンテナの設定ができるのは、オートアンテナ車で車両のアンテナ端子と本機のオートアンテナ端子を接続している場合です。
- 立体駐車場など、天井の低い場所に入るときは、オートアンテナを下げてください。

1 ⊡ ▶ 設定 ▶ その他設定
2 初期設定
3 アンテナの種類
4 オートアンテナ または その他



オートアンテナ：
オートアンテナ車の場合に選択します。

その他：
オートアンテナ以外のアンテナをお使いの場合に選択します。

盗難防止設定をする

1 ⊡ ▶ 設定 ▶ その他設定
2 盗難防止設定



設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
盗難防止イルミ	エンジンがOFFのときに操作パネルのランプを点滅させて、盗難を抑制する	ON／OFF※	—
盗難防止	盗難時にはセキュリティ機能がはたらき、いったん本機が取り外された後は、暗証番号を入力しないと起動できないようにする	ON／OFF※	P.276
盗難防止の暗証番号変更	盗難防止用の暗証番号を変更する	—	P.276

盗難防止用に暗証番号を設定する

MEMO
- 本機を譲渡・転売されるときは、必ず暗証番号の設定を解除してください。
- 暗証番号は、GPSアンテナ接続時のみ設定できます。

1 ⊡ ▶ 設定 ▶ その他設定
2 盗難防止設定
3 盗難防止
4 注意事項を読む ▶ 確認
5 暗証番号を入力（4桁） ▶ 決定
6 電話番号を入力 ▶ 決定

メッセージが表示され、暗証番号と電話番号が保存されます。

お願い
- **暗証番号を3回間違えると一定時間入力できなくなります。設定した暗証番号は忘れないように、メモを取るなどして大切に保管しておいてください。**

MEMO
- 暗証番号を変更する場合は、盗難防止の暗証番号変更 をタッチして暗証番号を入力してから、新しい暗証番号と電話番号を入力してください。
- 盗難防止設定を解除する場合は、盗難防止 をタッチして暗証番号を入力してください。

暗証番号を忘れてしまったら…

暗証番号を忘れてしまった場合は、次のことを行ってください。

1 SDカードをセット ▶ コード発行
2 SDカードを取り出し、「暗証番号照会申込書」(P.342)を添付して、クラリオン株式会社お客様相談室宛に郵送

「暗証番号照会申込書」は、クラリオン株式会社ホームページ（http://www.clarion.com）よりダウンロードしてプリントアウトするか、またはお客様相談室に請求してください。
「暗証番号照会申込書」には、必ず暗証番号設定時に入力した電話番号をご記入ください。未記入、あるいは間違っている場合は、暗証番号のご通知はできません。
本人確認のため、「暗証番号照会申込書」には以下の事項を必ず記入してください。
- 暗証番号設定時に入力した電話番号
- 自宅登録している場所（自宅住所や駐車場住所など）
- 解除コードの送付先（お客様の氏名、住所、電話番号）

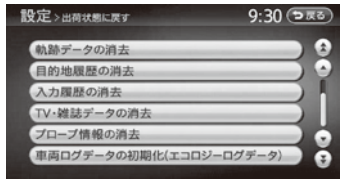
出荷状態に戻す

各種データの消去、設定の初期化を行います。

MEMO
- 本機を譲渡・転売するときは、必ずすべてのデータを削除してください。**(P.343)**
- 本操作では、SDカード内のデータも初期化されます。操作中は、SDカードを抜いたり、本機の電源を切ったりしないでください。

1 ⊡ ▶ 設定 ▶ その他設定
2 出荷状態に戻す
3 項目を選択 ▶ はい





全データの消去：
すべてのデータ、設定を初期化します。**(P.343)**
ミュージックキャッチャーの録音データは消去されません。

登録地情報の消去：
登録地、自宅を消去します。

軌跡データの消去：
保存軌跡を消去します。

目的地履歴の消去：
目的地の履歴を消去します。

入力履歴の消去：
文字入力の履歴を消去します。

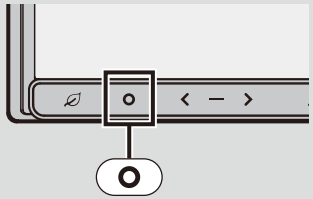
TV・雑誌データの消去：
更新したTV・雑誌データを消去します。

プローブ情報の消去：
プローブ情報を消去します。

車両ログデータの初期化（エコロジーログデータ）：
車両ログデータ（エコロジーログデータ）を初期化します。

OPTIONボタンの操作方法

OPTIONボタンの操作では、操作パネルの以下のボタンを使用します。



サイドカメラやフロントカメラなど、別売のオプションカメラを接続していないとき、(O) によく使う機能を割り付けられます。(O) を押すと、設定の変更や切り替えを即座に行うことができます。

OPTIONボタンに機能を割り付ける

MEMO

・別売のオプションカメラを接続しているときは、(O) に機能を割り付けることができません。

1 (O)（長押し）

はじめて操作するときは、(O) を短く押してもOPTIONボタン割付画面を表示できます。

2 希望の機能を選択

選択した機能が (O) に割り付けられます。

OPTIONボタンを操作する

OPTIONボタンを操作して、割り付けた機能の設定や切り替えを行います。

1 (O)

割り付けた機能の表示が切り替わります。
OPTIONボタンの機能は以下のとおりです。

目的地自宅設定：
自宅を目的地として設定します。**(P.66)**

オーディオ音量ミュート（する／しない）：
オーディオ音量ミュートのON／OFFを切り替えます。

時計画面表示（する／しない）：
時計画面の表示／非表示を切り替えます。**(P.31)**

軌跡表示（する／しない）：
軌跡の表示／非表示を切り替えます。**(P.259)**

オーディオの音質を設定する

オーディオの音質に関する設定を行います。
オーディオOFF時には設定できません。オーディオをONにしてから操作してください。

1 ⊡ ▶ 設定 ▶ オーディオ





※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
Balance	左右のスピーカーの音量バランスを調整する	L5 ～ R5（0※）	—
Fader	前後のスピーカーの音量バランスを調整する	R5 ～ F5（0※）	—
車速連動ボリューム	加速すると音量が自動で上昇し、減速すると音量が自動で下降するように調整する ・レベルの数値が大きいほど、音量の上がる幅が大きくなります。	OFF※／レベル1 ～ 3	—
Loudness	音量の大きさに合わせて、高音と低音を強調する ・「かんたん設定」のオーディオ設定をONにすると、本設定は自動的にONになります。**(P.273)**	ON ／ OFF※	—
グラフィックEQ	あらかじめ設定された音質効果メモリーからお好みの音質を選択する 音質効果メモリーを調整することもできます。	Bass.B ／ High.B ／ Acoustic ／ Impact ／ Smooth ／ Flat※	**P.280**
	〈ユーザーカスタマイズ〉 音質効果メモリーを作成して保存する	—	**P.280**
録音設定	ミュージックキャッチャーの録音設定をする	挿入と同時に録音：1倍速／挿入と同時に録音：2倍速／手動で録音※	**P.232**
Dolby Volume	再生ソースによる音量レベル差や、テレビの番組とCMの音量レベル差、映画のシーンごとの音量レベル差などを検知し、音量レベルを自動調整する	OFF※／ LOW ／ MID ／ HIGH	**P.281**

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
Dolby Volume Modeler	Dolby Volumeの聴感補正機能を有効にする ・Dolby VolumeがOFFのときは操作できません。	ON ／ OFF※	P.281
スピーカー設定	使用するスピーカーに合わせたフィルター周波数を設定する	フロント/リア用HPF ／ サブウーファー用LPF ／ サブウーファー出力	P.282

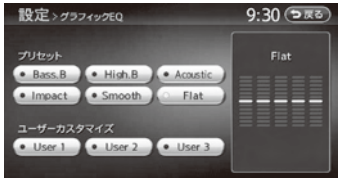
音質効果メモリーを選んで設定する

お好みの音質を選んで設定できます。

1 ▶ 設定 ▶ オーディオ

2 グラフィックEQ

3 音質を選択



Bass.B：
重低音の増強

High.B：
中高域の増強

Acoustic：
中域（人の声）の増強

Impact：
低域と高域の増強

Smooth：
しっとりと落ち着いた感じ

Flat：
原音、EQをOFF

お好みの音質効果を設定する

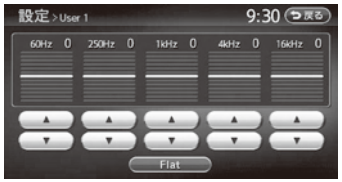
1 ▶ 設定 ▶ オーディオ

2 グラフィックEQ

3 User 1 、User 2 、または User 3

4 調整する

5 音質効果を設定



▲、▼：
低音、中音、高音それぞれの帯域の強弱を調整します。

Flat：
各帯域の設定を「0」に戻します。

MEMO

・次回からは手順3で同じ設定を呼び出せます。

Dolby Volumeを調整する

Dolby Volumeとは

Dolby Volumeは、あらゆる音楽ソースやシーンにおける音量レベル差を自動調整し、音量補正を行う機能です。Dolby VolumeをONにすると、オーディオ信号の聴感上の音量レベルを常時モニター、調整し、音量レベル差を一定の範囲に抑えて視聴することができます。
音量レベル差は以下のようなケースで起こります。

- CDを聴いているときとラジオを聴いているときの音量レベル差
- TVを見ているときの番組とCMの音量レベル差、または番組ごとの音量レベル差
- DVDなどで映画を見ているときの爆発シーンなど大きな音量のシーンと、静かなシーンとの音量レベル差

Dolby VolumeをONにすると、これらのケースでも音量操作をすることなく、各ソースを聴こえやすい音量レベルで視聴することができます。

Dolby Volumeのレベルを調整する

Dolby Volumeのレベルを調整することで、「音量補正」の効果を変化させることができます。「LOW」→「MID」→「HIGH」の順で、音量補正の効果が高くなります。

1 ▶ 設定 ▶ オーディオ

2 [Dolby Volume] の ◀ または ▶

Dolby Volumeのレベルが調整されます。

MEMO

・テレビやDVDなどの音量レベル差が大きいソースを視聴するときは、「MID」または「HIGH」に設定することをおすすめします。
・Dolby Volumeは、映像ソース（テレビ、DVD）とその他のソースで、それぞれ設定することができます。ソースを切り替えると、Dolby Volumeもそれぞれの設定値に切り替わります。

Dolby Volume ModelerのON/OFFを切り替える

Dolby Volume Modelerでは、Dolby Volumeの聴感補正機能を設定することができます。Dolby Volume ModelerをONにすると、オーディオソースを小音量で視聴している場合と、大音量で視聴している場合で知覚的印象が同じになるように聴感補正を行います。

1 ▶ 設定 ▶ オーディオ

2 Dolby Volume Modeler

タッチするたびに、ON/OFFが切り替わります。

MEMO

・テレビやDVDなどの映像ソースを視聴するときは、聴感補正をONにすることをおすすめします。
・CDなどの音楽ソースを再生するときは、曲調に合わせてON/OFFを切り替えてください。曲調に合わない場合は、OFFにしてください。

- Dolby Volume ModelerがONのときは、「Loudness」をOFFにすることをおすすめします。また「Loudness」がONのときは、Dolby Volume ModelerをOFFにすることをおすすめします。
- Dolby Volume Modelerは、Dolby VolumeがOFFのときは操作できません。
- Dolby Volume Modelerは、映像ソース（テレビ、DVD）とその他のソースで、それぞれ設定することができます。ソースを切り替えると、Dolby Volume Modelerもそれぞれの設定値に切り替わります。

フィルター調整をする

使用するスピーカーに合わせてフィルター周波数を選択します。

1 ▶ 設定 ▶ オーディオ

2 スピーカー設定

3 ＋ または －



フロント/リア用HPF：
フロント／リアスピーカー用ハイパスフィルターのカットオフ周波数を「スルー」、「50Hz」、「80Hz」、「120Hz」から選択します。初期値は「スルー」です。

サブウーファー用LPF：
サブウーファー用ローパスフィルターのカットオフ周波数を「50Hz」、「80Hz」、「120Hz」から選択します。初期値は「120Hz」です。

サブウーファー出力：
接続されたウーファーのゲインレベルを調整します。調整可能なゲインレベルの範囲は「−6」～「0」～「+6」です。初期値は「0」です。

MEMO
- サブウーファーを接続していなくても、「サブウーファー用LPF」、「サブウーファー出力」は表示されます。

画面の設定をする

昼画面と夜画面を切り替える

スモールランプを点灯させると、自動的に夜画面に切り替わります。
昼間にヘッドライトを点灯させていて、画面が見づらい場合などは、手動で昼画面に切り替えると画面が見やすくなります。

1

2

タッチするたびに、昼画面と夜画面が切り替わります。

ナビゲーション画面の画質を調整する

1 ▶ 設定 ▶ 画質調整

2 明るさ または コントラスト

3 ＋ または －

MEMO
- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。
- テレビ／DVD／VTR視聴時、またはiPodビデオ再生時の画質調整については、各ソースのページをご覧ください。

スクリーンの設定をする

ナビゲーションやオーディオのメニュー画面を、お好みのデザインに設定できます。
クラリオン株式会社ホームページからスクリーンデータをダウンロードして、新しくスクリーンを追加することもできます。(P.301)

MEMO
- 走行中は本操作を行えません。

1 ▶ 設定 ▶ バラエティスクリーン

2 スクリーンを選択 ▶ 決定

MEMO
- 消去 をタッチすると、SDカードから取り込んだスクリーンデータを消去できます。

3 はい

再起動してスクリーンが設定されます。

目的地メニュー画面をカスタマイズする

目的地メニュー画面に表示させるキーの順序を変更できます。
選択した項目を、目的地メニューの大きなキーとして割り当てます。

1 ▶ 目的地

2

3 **項目を3箇所選択**

タッチするたびにON/OFFが切り替わります。

MEMO
- 選択解除 をタッチすると、現在選択されている項目がすべて解除されます。
- 3項目を選択しないと、決定 キーは表示されません。
- 初期に戻す をタッチすると工場出荷時の表示に戻り、Google 、電話 、住所 が大きなキーで表示されます。

4 決定

選択した項目が、目的地メニュー画面の大きなキーに表示されます。



MEMO
- 選択した3つの項目は、 をタッチして表示されるメインメニュー画面のショートカットキーにも反映されます。

オープニング画面の設定をする

本機を起動したときに表示されるオープニング画面を設定します。あらかじめSDカードを使って、オープニング画面を本機に取り込んでおく必要があります。**(P.299)**

MEMO
- 走行中は本操作を行えません。

1 ▶ 設定

2 オープニング画面

3 **オープニング画面を選択** ▶ 決定



4 はい

選択したオープニング画面が設定されます。

MEMO
- 消去 をタッチすると、SDカードから取り込んだオープニング画面データを消去できます。
- オリジナル を選択すると、工場出荷時の画像に設定されます。

音量を調整する

1 ▶ 設定

2 音量調整



※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
ガイド音量（*）	音声案内の音量を、通常走行時と高速走行時とに分けて設定する ・走行速度が80km/hを超えると、高速走行時の音量設定で案内されます。	レベル1 ～ 16 (レベル6※)	—
ガイド・メッセージ音声（*）	音声案内などのナビゲーション音声を出力するかしないかを選択する	ON※／OFF	—
着信音量（**）	電話の着信音量を調整する	レベル1 ～ 16 (レベル4※)	—
受話音量（**）	電話の受話音量を調整する	レベル1 ～ 16 (レベル4※)	—
送話音量（**）	電話の送話音量を調整する	レベル1 ～ 5 (レベル3※)	—
操作音	ボタンやタッチキーを操作したときに、ビープ音を鳴らすかどうかを選択する	ON※／OFF	—

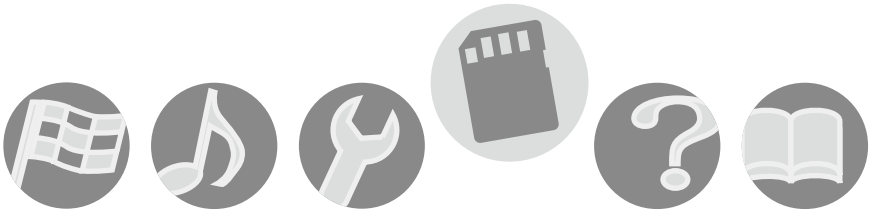
(*) ナビゲーション設定画面の「ルートガイドの設定」**(P.260)** と連動しています。
(**) 電話設定画面の「通話関連設定」**(P.152)** と連動しています。

Memo

便利な機能（アクセサリー）を使う

さまざまなアクセサリー機器の使いかたについて説明しています。

288 接続したビデオを観る（別売）
291 リア席モニターを使う（別売）
292 バックカメラを使う（別売）
296 オプションカメラを使う（別売）
298 SDカードのデータを編集する



接続したビデオを観る（別売）

⚠ 警告

- **運転者がテレビやビデオを観るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみテレビやビデオの映像を観ることができます。走行中は、音声だけ聴くことができます。**

VTR機器を接続する

1 別売の外部入力端子※で、本機とお手持ちのVTR機器を接続する

オーディオ・ビジュアル映像入力端子と音声入力端子を正しく確実に接続してください。

MEMO
- 接続したVTR機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

2 ♪ ▶ VTR

MEMO
- 外部入力端子※を接続すると、ビデオ対応iPodケーブル※との同時接続はできません。
- iPodの接続方法を「USB+VTR接続（アナログ音声）」**(P.249)**に設定していると、VTR は表示されません。

3 VTR機器を操作する

VTR映像が再生されます。

※設定されていない車両がありますのでご注意ください。

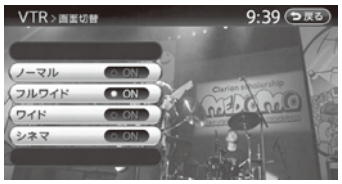
VTR画面のサイズを切り替える

MEMO
- 画面サイズを切り替えると、オリジナルの映像と見えかたが異なる場合があります。

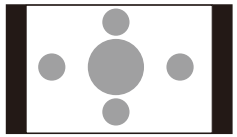
1 ♪ ▶ VTR

2 画面切替

3 画面の表示サイズを選択

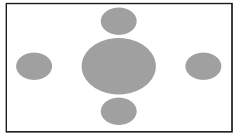


ノーマル：



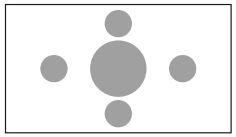
映像が縦横の比率を変えずに中央に表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。

フルワイド：



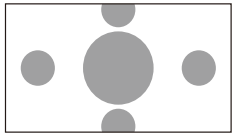
映像が画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。

ワイド：



映像の左右部分が横に広がって画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合に違和感を少なく表示できます。

シネマ：



通常のテレビでシネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使います。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が黒く表示されます。

4 戻る

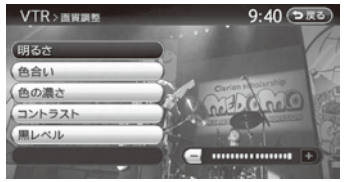
選択したサイズで画面が表示されます。

VTRの画質を調整する

1 ♪ ▶ VTR

2 画質調整

3 調整する項目を選択



明るさ：
明るさを調整します。

色合い：
色味を調整します。

色の濃さ：
色の濃さを調整します。

コントラスト：
明るさと暗さの差を調整します。

黒レベル：
黒レベルを調整します。

4 ＋ または －

画面の映像を見ながら画質を調整します。

5 戻る

調整した画質に設定されます。

MEMO
- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

VTR機器の接続方法を切り替える

1 ⊡ ▶ 設定 ▶ その他設定

2 初期設定

3 VTR接続設定

4 VTRの接続方法を選択



VTR機器接続：
iPodでオーディオファイルのみお聴きになる場合、VTR機器を接続するときに選択します。

iPod Video接続：
iPodでVideoファイルを観る場合に選択します。本設定を行うとソース切り替え画面の VTR は非表示になり、VTR機器は使用できません。
工場出荷時は VTR機器接続 に設定されています。本設定は、iPod機能内の接続方法設定と連動しています。**(P.249)**

MEMO
- 接続方法を変更した場合は、iPodの接続を一度解除してから再度接続してください。

リア席モニターを使う（別売）

車の後席に別売のリア席モニターを増設すれば、後席で映像をお楽しみいただけます。

お願い
- リア席モニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

MEMO
- リア席モニターを本機に接続するには、リア席モニターとリア席モニター取付アタッチメントが必要です。

リア席モニターに表示できる映像

リア席モニターに表示できる映像は、以下のとおりです。リア席モニターにコントロールバーなどは表示されません。走行中／停車中に関係なく映像が表示されます。
- DVDビデオ、DVD-VR
- テレビ
- VTR
- iPodビデオ

MEMO
- DVD、テレビ、VTR、iPodビデオ以外のソースを選択しても、リア席モニターには何も表示されません。
- 本機の画面でナビゲーション画面を表示中でも、リア席モニターには、再生中の映像が表示されます。

バックカメラを使う（別売）

別売のバックカメラを接続すると、車の後方をモニターで見ることができます。別売のバックカメラは、ご購入店にご相談のうえ、お買い求めください。

⚠ 警告

- **モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。**

⚠ 注意

- **バックカメラが映し出す範囲には限界があります。また、バックカメラの画面上に表示されるガイドは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります（ガイドは直線となります）。**
- **ガイドを表示する場合は、必ずお乗りのお車に合わせたガイドの調整を行ってください。**
- **バックカメラの映像は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **画質の調整やガイド表示の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。**

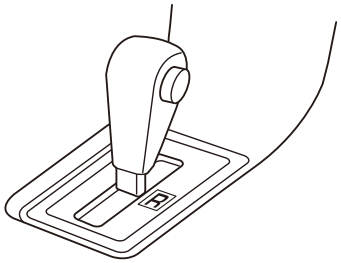
バックカメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- バックカメラの映像は鏡像です。鏡像とは、映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
- 夜間または暗所ではバックカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- バックカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。
- カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこすとレンズカバーにキズが付くことがあります。

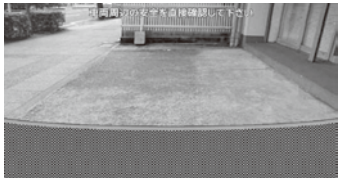
バックカメラの映像を表示する

1 エンジンをかける

2 シフトレバーを R（リバース）にする



バックカメラの映像に切り替わります。
オーディオ関連の画像が表示されているときでも、バックカメラの映像が優先して表示されます。



MEMO

- カメラ表示中に操作できるのは、操作パネルの ＋ 、 － 、 // 、です。
- シフトレバーを R（リバース）にしているときのみ、ガイドの表示および調整ができます。
- 別売のオプションカメラを同時に接続することもできます。
- サイドカメラを接続している場合は、バックカメラの映像を表示中に ○ を押すとバックカメラの映像とサイドカメラの映像を交互に切り替えます。

バックカメラの画質を調整する

1 バックカメラ映像表示中に画面をタッチ

2 画質調整



MEMO

- 何もタッチしないまま5秒が過ぎると 画質調整 は画面から消えます。

3 調整する項目を選択



明るさ：
明るさを調整します。

色合い：
色味を調整します。

色の濃さ：
色の濃さを調整します。

コントラスト：
明るさと暗さの差を調整します。

黒レベル：
黒レベルを調整します。

4 ＋ または －

画面の映像を見ながら画質を調整します。

5 戻る

調整した画質に設定されます。

MEMO

- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

擬似バンパーライン表示を切り替える

1 バックカメラ映像表示中に画面をタッチ

2 擬似バンパーライン表示



タッチするたびに、ON/OFFが切り替わります。

ガイドラインを表示する

1 バックカメラ映像表示中に画面をタッチ

2 ガイドライン表示

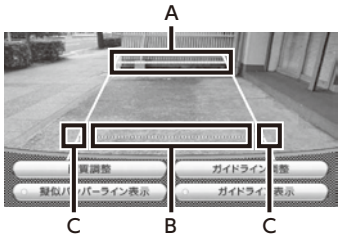


MEMO

- 何もタッチしないまま5秒が過ぎると ガイドライン表示 は画面から消えます。

3 確認

ガイドラインが表示されます。



A：車両後端から約2mの位置を示します。
B：車両後端から約50cmの位置を示します。
C：車幅＋約20cmの目安を示します。

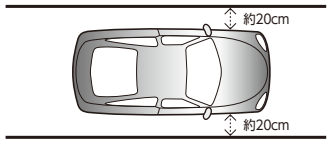
ガイドラインを調整する

ガイドラインの調整をする場合は、地面に目印を付ける必要があります。ガムテープなど、地面に線を引くための道具をご用意ください。また、必ずお乗りの車両に合わせた調整を行ってください。（本機以外から表示されるガイドラインは調整できません）

⚠ 警告

- **ガイドラインを調整する際には、安全な場所に停車して行ってください。**
- **車を降りて目印をつける際には、必ずエンジンをお切りください。**
- **ガイドラインはあくまで目安です。実際の運転では、必ずご自分で周囲の安全を確認してください。**

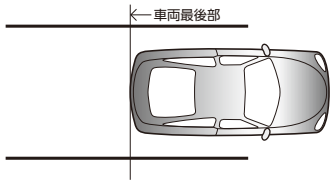
1 車両の幅＋両側約20cmの位置（地面）に、直線の目印を付ける



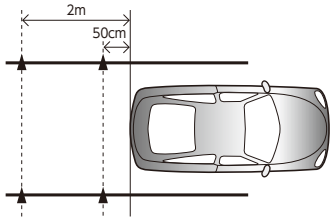
MEMO

- 目印は、ガムテープなどで車両の両側に付けてください。
- 目印は、車両の長さより少し長めに付けてください。

2 車両を約2.5m直進させ、車両最後部に、直線の目印を付ける



3 手順2の目印から、50cmおよび2m離れた左右4箇所にマークを付ける



MEMO

- 運転席から見やすいように、ガムテープなどでX印を付けることをおすすめします。

4 ガイドラインを表示（P.294）

5 ガイドライン調整

6 調整したいガイドポイント（4箇所）を選択

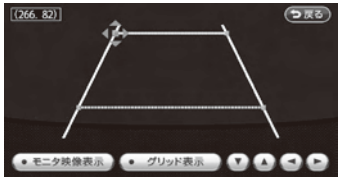
7 ▼、▲、◀、▶

手順3で付けたマークと合わせます。

MEMO

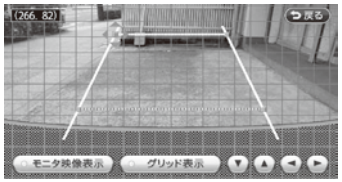
- ▼、▲、◀、▶ をタッチし続けると、連続してガイドポイントを移動させることができます。

モニタ映像表示 をOFFにした場合



バックカメラの映像が消えます。

グリッド表示 をONにした場合



グリッド線が表示されます。

8 手順6、7を繰り返して、すべてのガイドポイントを手順3で付けたマークに合わせる

9 戻る

設定が保存され、通常のバックカメラの映像が表示されます。

オプションカメラを使う（別売）

サイドカメラなどのオプションカメラを接続すると、車の前方やコーナーをモニターで見ることができます。

⚠ 警告

- **モニター画面だけを見ながら車を運転することは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。**

⚠ 注意

- **オプションカメラの映像は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。**
- **雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **画質の調整をするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。**
- **道路端へ幅寄せするときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりとした速度で運転してください。**

オプションカメラの映像を表示する

オプションカメラの映像を手動で表示します。

1 (O)

オプションカメラの映像が表示されます。



※画面はサイドカメラの場合です。

MEMO

- サイドカメラとフロントカメラを接続しているときは、(O) を押すたびにフロントカメラ映像とサイドカメラ映像を交互に切り替えます。

オプションカメラの画質を調整する

1 **オプションカメラ映像表示中に画面をタッチ**

2 画質調整



MEMO

- 何もタッチしないまま5秒が過ぎると 画質調整 は画面から消えます。

3 **調整する項目を選択**



明るさ：
明るさを調整します。

色合い：
色味を調整します。

色の濃さ：
色の濃さを調整します。

コントラスト：
明るさと暗さの差を調整します。

黒レベル：
黒レベルを調整します。

4 (+) **または** (−)

画面の映像を見ながら画質を調整します。

5 戻る

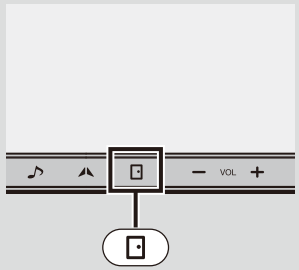
調整した画質に設定されます。

MEMO

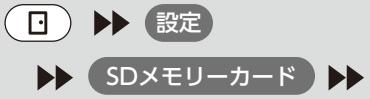
- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

SDカードのデータを編集する

データ編集メニュー画面の操作では、操作パネルの以下のボタンを使用します。



SDカードのデータは、データ編集メニュー画面から編集できます。
操作はSDカードを本機に挿入した状態で行います。



データ編集メニュー画面



※走行中は選択できる項目が限定されます。

⚠ 注意

- **操作中は電源を切らないでください。**
- **SDカードにアクセスしているときは、本機に関する一切の操作を行わないでください。**

利用可能なSDカード

SDカードをご購入の際は、規格に準拠した市販品をお選びください。
本機でお使いいただけるSDカードは以下のとおりです。
本機ではSDカードと互換のない記録メディアには対応していません。

- SDメモリーカード
- SDHCメモリーカード
- miniSDカード※
- microSDカード※

※専用のアダプターが必要です。

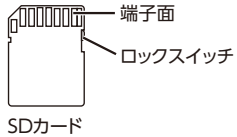
MEMO

- miniSDアダプター、microSDアダプターを本機内に残さないでください。
- 本機では、DRM（デジタル著作権管理）で保護されたデータの再生はできません。

SDカードに関するご注意

SDカードをお使いの際は、以下のようなことにご注意ください。

●SDカードは、ダッシュボードの上や直射日光のあたる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。
●SDカードの端子部に、手や金属で触れないでください。
●SDカードの最適化は行わないでください。
●書き込み中や読み込み中にSDカードを抜いたり、エンジンを切らないでください。また、静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所では使用しないでください。データが破壊されることがあります。
●操作パネルの開閉動作中や、操作パネルの角度を調整した状態では、SDカードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
●SDカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
●SDカードへアクセスしている状態では、操作パネルを開けないでください。
●SDカードのロックスイッチを「LOCK」にすると、記録・消去ができなくなります。



付属のSDカードの取り扱いに関するご注意は、**P.29**をご覧ください。

ナビマスター SDについて

本機に取り込む画像のサイズ調整や、アルバム情報の更新には、クラリオン株式会社で提供しておりますパソコン用の専用アプリケーション「ナビマスター SD」が必要です。
「ナビマスター SD」は、以下のクラリオン株式会社ホームページからダウンロードできます。
http://www.clarion.com
※「サポート」メニューの「ダウンロード」を選択すると、ダウンロードページが表示されます。
「ナビマスター SD」の操作方法は、アプリケーションの提供とあわせてご案内します。

オープニング画面の取り込み

SDカード内のオープニング画面データを20個まで取り込むことができます。オープニング画面として取り込んだ画像は他の用途には使えません。

MEMO

- 設定メニュー**(P.271)**の「オープニング画面」からも、同様の操作ができます。

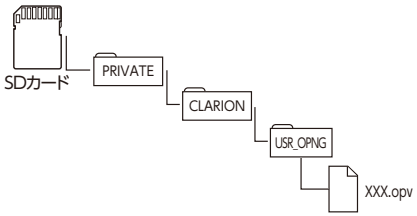
オープニング画面とは

オープニング画面とは、本機起動時に画面に表示される画像のことです。デジタルカメラなどで撮影したお好みの画像ファイルをオープニング画面としてお使いいただけます。**(P.284)**

オープニング画面として画像を扱うには

オープニング画面は、以下の条件をすべて満たす必要があります。

- パソコン用の専用アプリケーション「ナビマスター SD」で作成した画像データを「opv」形式で保存したもの。
- 以下のフォルダ構造でファイルが保存されていること。



オープニング画面を取り込む

1 [⊡] ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2 オープニング画面の取り込み
3 **オープニング画面を選択** ▶ 決定

オープニング画面データが本機に取り込まれます。

登録地点の取り込み／書き出し／編集

MEMO

- 設定メニューの「登録地の編集・消去」からも、同様の操作ができます。

登録地点を取り込む

SDカード内の登録地点を、本機の登録リストに最大400件まで取り込むことができます。

1 [⊡] ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2 登録地点
3 バックアップデータの取り込み
4 **グループを選択**
5 **登録地点を選択** ▶ 決定

選択した地点が登録リストに取り込まれます。

登録地点を書き出す

本機の登録リストから登録地点を選択して、SDカードに書き出すことができます。SDカードに保存できる登録地点の数は、最大4,500件です。最大10グループ（1グループにつき450件）まで登録できます。

1 [⊡] ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2 登録地点
3 バックアップ
4 **登録地点を選択** ▶ 決定
5 **グループを選択**
6 はい

選択した登録地点がSDカードに書き出されます。

MEMO

- 登録地点の書き出しはバックアップとして保存されます。お気に入りスポットとして書き出す場合は、**P.137**をご覧ください。

登録地点のグループ名を変更する

SDカード内の登録地点グループの名称を変更することができます。

1 [⊡] ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2 登録地点
3 SDメモリーカード内グループフォルダ名の編集
4 **グループを選択**
5 **名称を入力** ▶ 終了

グループ名が変更されます。

登録地点を削除する

SDカード内の登録地点を削除することができます。

1 [⊡] ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2 登録地点
3 SDメモリーカード内バックアップデータの消去
4 **登録地点が所属するグループを選択**
5 **登録地点を選択** ▶ 決定
6 はい

選択した登録地点が削除されます。

スクリーンデータの取り込み

SDカード内のスクリーンデータを2つ取り込むことができます。取り込んだスクリーンデータは本機で使用できます。**(P.283)**

MEMO

- 設定メニューの「バラエティスクリーン」からも、同様の操作ができます。

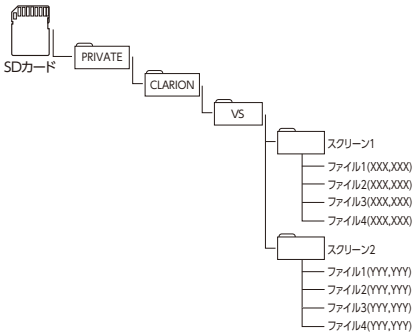
スクリーンとは

スクリーンとは、ナビゲーションやオーディオのメニュー画面を、お好みのデザイン（メニューのベース色、タッチキーの色合い、イラスト表示、形状など）に設定できるテンプレート（ひな形）です。

新しいスクリーンデータはクラリオン株式会社のホームページからダウンロードできます。
http://www.clarion.com

スクリーンとして画像を扱うには

スクリーンデータを取り込むには、以下のフォルダ構造でファイルが保存されている必要があります。



スクリーンデータを取り込む

1 [⊡] ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2 バラエティスクリーンの取り込み
3 **スクリーンを選択** ▶ 決定

スクリーンデータが本機に取り込まれます。

MEMO

- すでに取り込んだスクリーンは上書きされません。

ボイスデータの取り込み

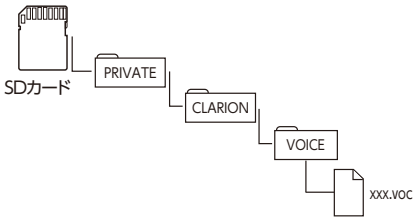
SDカード内のボイスデータを2つまで取り込むことができます。取り込んだボイスデータは本機で使用できます。**(P.262)**
初期状態では、通常音声、英語、中国語、韓国語の4つのボイスを用意しています。
新しいボイスデータは、クラリオン株式会社の eコマース·サイト（http://ec.clarion.com/index.html）から購入し、ダウンロードできます。

MEMO

- 「ルートガイドの設定」メニュー**(P.260)**の「バラエティボイス」からも、同様の操作ができます。

ボイスデータを取り込むには

ボイスデータを取り込むには、以下のフォルダ構成でファイルが保存されている必要があります。



ボイスデータを取り込む

1 ⊡ ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2 バラエティボイスの取り込み
3 ボイスを選択 ▶ 決定
ボイスデータが本機に取り込まれます。

MEMO

- すでに取り込んだボイスデータは上書きされません。

MYツアーの取り込み

SDカード内のMYツアーデータを1件本機に取り込むことができます。

MYツアーとは

クラリオン株式会社Webサイト「チズルとススム」では、ご使用のお客様から投稿されたスポット（位置情報）からお好みのものを探し、SDカードに保存することができます。これを「MYツアー」と呼びます。
取り込んだMYツアーデータは、ピクチャービュー画面から目的地・経由地として設定することができます。**(P.57)**

MEMO

- 「チズルとススム」のご利用には、会員登録（無料）が必要です。本機をより便利にお使いいただくために、会員登録をおすすめします。「チズルとススム」について詳しくは、以下をご覧ください。
  http://chizu-route-susumu.jp

MYツアーとしてデータを扱うには

「チズルとススム」からMYツアーを取り込むには、特定のフォルダ構成でファイルが保存されている必要があります。
詳しくは、**P.137**をご覧ください。

MYツアーを取り込む

1 ⊡ ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2 MYツアーデータの取り込み
3 MYツアーを選択 ▶ 決定
MYツアーデータが本機に取り込まれます。

MEMO

- 「チズルとススム」メニューからも同様の操作ができます。**(P.137)**

TV・雑誌情報の取り込み

SDカード内のTV・雑誌情報の更新データを、本機に取り込むことができます。

お願い

- データの取り込み中は、本機に関する一切の操作を行わないでください。データが破壊され、「TV·雑誌の名前で探す」**(P.73)**機能が正しく動作しなくなる恐れがあります。

1 ⊡ ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2 TV·雑誌情報の更新
3 はい
本機にデータが取り込まれます。

MEMO

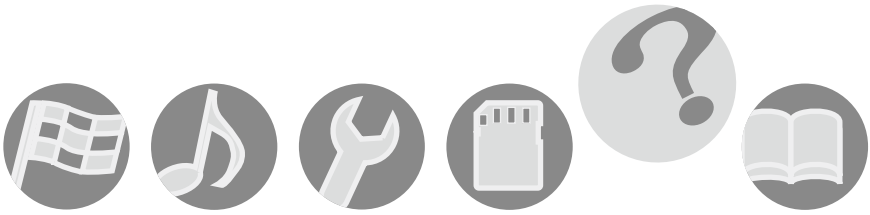
- メモリーカードとパソコンを使用してTV・雑誌情報を更新することができます。
- 本機能を使用するには、インターネットに接続できるパソコン、情報を取得するためのパソコン用専用アプリケーション「ナビマスターSD」が必要になります。**(P.299)**なお、TV・雑誌情報は過去3年分を収録しているため、データを更新すると、古いデータは削除され、過去3年以内の情報のみになります。削除したくない施設は、あらかじめ地点登録などをしておいてください。

Memo

困ったときに…

ナビゲーション・オーディオの操作方法に困ったとき、エラーメッセージが表示されたときなどの対処方法について説明しています。

306 自車位置がずれていたら
310 故障かなと思ったら



自車位置がずれていたら

本機は、車が走行することにより、そのデータから車が地図を進む距離や方向を学習して認識します（距離係数／学習機能）ので、ある程度の走行データが必要です。
従って、走行状態やGPS衛星の状態により、自車位置マークが実際の車の位置とずれることがありますが、故障ではありません。
そのまましばらく走行すると、自動的に現在位置を補正します。

自車位置のずれを修正するには

はじめて使用するときやセンサーの学習リセット**(P.269)**の操作を行った後は、走行データが少ないために誤差を生じますが、GPS衛星からの電波が良好に受信できる見通しのよい道（国道、主要地方道路、主要一般道路）をしばらく走行すると、自車位置マークが地図上を正確に進むようになりますので、次の方法により短時間で学習をさせることができます。

上空に障害物がない道、あるいは周辺に高いビルがない（GPSが受信できる）道で、約5分間、50km/h前後のスピードで定速走行を行う。

MEMO

・自車位置マークの精度や誤差について詳しくは**P.307**をご覧ください。

3Dセンサーによる上下道路判定について

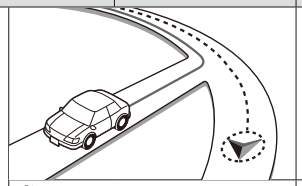
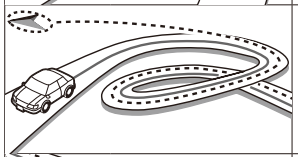
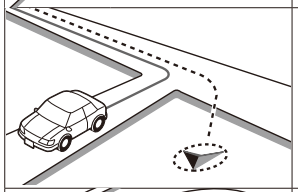
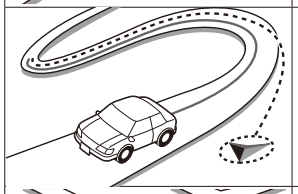
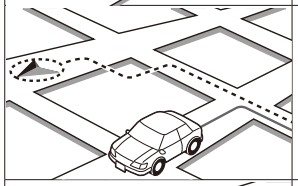
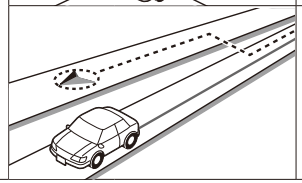
自車が都市高速などに乗った場合（降りた場合）などに、車の高さの変動や道路の傾斜を3Dセンサーで検出し、上下道路判定による自車位置測位を行います。

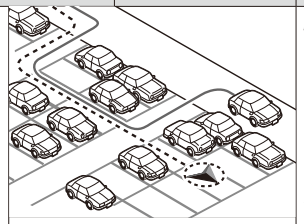
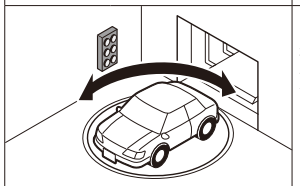
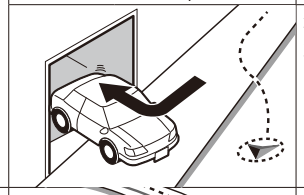
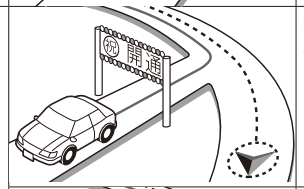
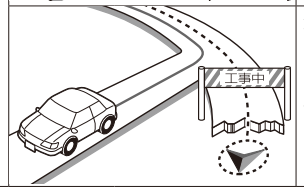
●上下道路判定は、3Dセンサー並びに高さデータを収録している地図データからの情報で行います。高さデータを収録している道路は、都市高速道路（首都・名古屋・阪神・広島・福岡・北九州）、東京外環自動車道などです。

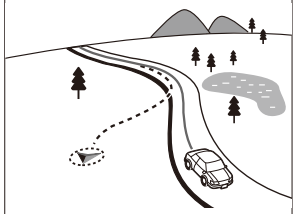
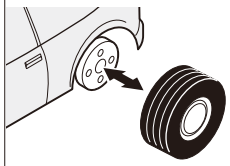
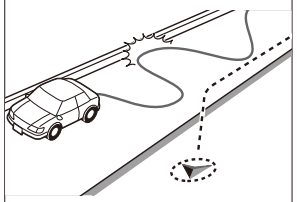
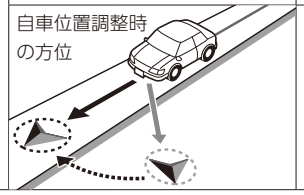
●高さデータ収録地域においても、道路形状や走行状況により、正しく上下移動判定ができない場合があります。（道路の傾斜が緩やかで高低差が少ない、ランプの長さが短い、センサーの学習が不十分な場合など）

自車位置の精度について

次のような道路状況、走行状態やGPS衛星の状態により、実際の車の位置と自車位置マークがずれ、正しく判定できない場合がありますが、そのまましばらく走行すると自動的に現在位置を補正します。

原因（状況） ——：走行中 - - - -：表示	走行条件	備考（処置など）
道路の形状 	Y字路のように徐々に開いていくような分岐では、センサーにより推測される進行方向の誤差により、誤った道路上に自車位置マークが表示されることがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、**「現在地修正」(P.269)**を行ってから、**「センサーの学習リセット」(P.269)**を行ってください。これらの操作を行った上で、**「自車位置のずれを修正するには」(P.306)**をご覧ください。
	ループ橋など、連続して大きく旋回する場合は、旋回角度の誤差の累積により、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
	直線および緩やかなカーブを長距離走行すると、マップマッチングの効果が完全には発揮されず、距離の誤差が大きくなり、その後、角を曲がったりすると、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
	つづら折れでは、方位の精度により近くの似た方位の道路上に誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
	碁盤目状道路では、近くに似た方位の道路が多いため、誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
	高速道と側道のように、近くに似た方位の道路があると、誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	

原因（状況） ——：走行中 - - - -：表示		走行条件	備考（処置など）
場所		駐車場など、地図上で道路のないところを走行すると、周辺の道路に誤ってマッチングし、道路に戻ったときに、自車位置マークが正しい位置からはずれていることがあります。また、旋回や切り返しを繰り返すと、方位誤差が累積し、正しく道路上に乗らないことがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、**「現在地修正」(P.269)**を行ってから、**「センサーの学習リセット」(P.269)**を行ってください。これらの操作を行った上で、**「自車位置のずれを修正するには」(P.306)**をご覧ください。
		ターンテーブルで旋回すると、方位が狂い、自車位置マークが正しい道路に戻りにくいことがあります。	
		雪道、濡れた路面、砂利道など、タイヤがスリップしやすい道路では、距離の誤差が累積し、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	
		坂道の車庫入れやバンクした道路など、車両が傾斜した状態で旋回すると、旋回角度に誤差が生じ、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
地図データ		地図画面などに表示されていない新設道路などを走行すると、マップマッチングが正確に働かず、近くの道路に誤ってマッチングし、表示される道路に戻ったときには、自車位置マークが正しい道路からはずれていることがあります。	
		地図データに登録されている道路と実際の道路形状が違う場合は、マップマッチングが正常に働かず、近くの道路に誤ってマッチングし、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	

原因（状況） ——：走行中 - - - -：表示		走行条件	備考（処置など）
地図データ		詳細地図のない地域では、詳細地図のある地域と比較して、形状が正しく表現されていない場合があります。また、登録されている詳細な道路が少ないため、地図画面に表示されない道路を走行すると誤ってマッチングし、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、**「現在地修正」(P.269)**を行ってから、**「センサーの学習リセット」(P.269)**を行ってください。これらの操作を行った上で、**「自車位置のずれを修正するには」(P.306)**をご覧ください。
車両		タイヤチェーンを装着したり、タイヤ交換をすると、距離が正しく検出されず、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	タイヤチェーンを脱着した後やタイヤを交換した後は、**「センサーの学習リセット」(P.269)**を行って下さい。この操作を行った上で、**「自車位置のずれを修正するには」(P.306)**をご覧ください。
走りかた	無停止連続走行	長距離を停止せずに連続して走行すると、方位誤差が累積し、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	一度停止して、**「センサーの学習リセット」(P.269)**を行ってください。この操作を行った上で、**「自車位置のずれを修正するには」(P.306)**をご覧ください。
		ホイールスピンをするなどの乱暴な運転をすると、正しい検出ができず、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	**「現在地修正」(P.269)**を行い、**「センサーの学習リセット」(P.269)**を行ってください。これらの操作を行った上で、**「自車位置のずれを修正するには」(P.306)**をご覧ください。
位置修正のしかた	自車位置調整時の精度	位置の設定の精度が悪いと、とくに道路が多い場所では、正しい道路を見つけられずに、精度が低下することがあります。	**お願い** **修正時は、可能な限り、詳細図で行ってください。**
	自車位置調整時の方位 	自車位置の移動時に車両の方位が合っていないと、その後の精度が低下することがあります。	自車位置調整の方位修正機能で修正してください。

故障かなと思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

ナビゲーション関連

	症　状	原　因	処　置
表示関連	GPS受信の表示がでない。	アンテナケーブルが接続されていない。	アンテナケーブルを接続してください。
		障害物などにより、GPS衛星の電波を受信できない。	障害物などがなくなれば受信できます。
		受信可能なGPS衛星が少ない。	衛星の配置が悪く、測位できない場合もあります。
		フェリーなどで大幅に移動した。	走行することにより表示されるようになります。
	メニュー画面が表示されない。	走行中は、安全のため操作を禁止している項目のボタンは表示しない。	車を完全に停車させてください。
	アイコンがやたらに表示される。	周辺検索を行うと検索結果の表示として↓付きのアイコンが多数表示される。	現在地メニューの「検索アイコンの消去」を選ぶと表示を消せます。
	地図画面が乱れる。	電気的ノイズを発生する電装品（以下）を本機の近くで使用している。 ・高電圧を発生させて作動するもの ……マイナスイオン発生器など ・電磁波を発生するもの ……携帯電話、無線機など	本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
	電源投入直後、画面が見づらい。	気温が低いときは、液晶バックライトの特性上、輝度が低い場合がある。	バックライトが温まれば解消されます。
誘導音声関連	ルート誘導の音声が小さい（または大きい）。	音量が小さく（または大きく）設定されている。	音量を調整してください。**(P.285)**
	音声案内が出ない。	音声案内が、「OFF」に設定されている。	音声案内の設定を「ON」にしてください。**(P.285)**
自車位置精度関連	自車位置がずれる。（購入直後）	車速パルスと距離の学習が不十分の可能性がある。	GPSの受信しやすい場所で、時速50km程度の速度を保ってしばらく走行すると精度が向上します。
	自車位置がずれる。（タイヤ交換後）	車速パルスと距離の関係値が交換前のタイヤに最適化されてしまっている。	センサーの学習記録を初期化してください。**(P.269)**
	自車位置がずれる。（他の電装品が装着されている）	GPS内蔵レーダー探知機など装着されている電装品の影響で、GPSなどのセンサーに影響が出ている可能性がある。	装着されている電装品を、本機およびGPSアンテナ線から十分離してご使用ください。

	症　状	原　因	処　置
VICS関連	FM多重周波数がオート選局されない。	周波数を変えると、オート選局の設定は強制的に「OFF」になる。	オート選局の設定を「ON」にしてください。**(P.184)**
		出力の小さいローカル局など、電波状態が悪い場合は追オート選局しない場合がある。	手動で放送局を選んでください。**(P.180)**
	ビーコンの簡易図形が割込表示されない。	ビーコンから図形情報が提供されていないことがある。	特定の場所で表示されない場合、VICSセンターにお問い合わせください。
		キー操作中やメニュー表示中は、図形情報が割込まない。	地図表示画面かオーディオモードの画面で割り込みが行われるかご確認ください。
	情報メニューに ビーコン情報 が表示されない。	VICS光・電波ビーコンが接続されていない。	別売のVICS光・電波ビーコンを接続してください。
ETC関連	情報メニューに ETC情報 が表示されない。	ETCユニットが接続されていない。	別売のETCユニットを接続してください。

オーディオ関連

症状		原因	処置
表示関連	オーディオ画面が乱れる。	電気的ノイズを発生する電装品（以下）を本機の近くで使用している。 ・高電圧を発生させて作動するもの ……マイナスイオン発生器など ・電磁波を発生するもの ……携帯電話、無線機など	本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
ラジオ	雑音が多い。	放送局の周波数に合っていない。	正しい周波数に合わせてください。**(P.180)**
	自動で選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で放送局を選んでください。**(P.180)**
CD／DVD／MP3／WMA	ディスクを挿入しても音が出ない、またはディスクがすぐ出てしまう。	ディスクの裏表を逆にセットしている。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。
		CD-R/RWで記録されたCDやコピーガード付きのCDを使用している。	CD-R/RWで記録されたCDやコピーガード付きのCDは使用できない場合があります。お使いのCDをもう一度ご確認ください。
		ファイナライズされていないディスクをセットしている。	ディスクをファイナライズしてから使用してください。
		MIX MODE CDをセットしている。	MIX MODE CDは再生できませんのでディスクを取り出してください。
		8cmディスクをセットしている。	8cmディスクは再生できませんのでディスクを取り出してください。
	イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せない。	異物等の混入により、通常の排出動作ではディスクを排出できない状態にある。	販売店にご相談ください。
	DVD-VRで記録した静止画の切り替えに時間がかかる。	DVD-VRをセットしている。	DVD-VRで記録した静止画の切り替えには時間がかかります。
	音飛びする。 ノイズなどが入る。	ディスクが汚れている。	ディスクをやわらかい布でふいてください。
		ディスクに大きな傷やソリがある。	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後、音が良くない。	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴がつくことがある。	電源を入れた状態にして、約1時間乾燥させてください。
	ディスクが挿入できない。	本機の中にすでにディスクがセットされている。	すでにセットされているディスクを取り出してから、聴きたいディスクを挿入してください。**(P.172)**

症状		原因	処置
CD／DVD／MP3／WMA	CDタイトルが表示されない。	Gracenoteのデータベースよりも新しいCDを再生した。	最新のアルバム情報を取り込んでください。**(P.234)**
	MP3/WMAの音が飛ぶ。	MP3/WMAファイルにエラーがある。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	MP3/WMAの音切れがする／音が飛ぶ。	エンコードソフトとの相性が合っていない。	エンコードソフトを変えて録音してみてください。
	MP3/WMAの音が悪い。	圧縮率が大きく録音されている。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音をしてみてください。
	再生できないファイルやフォルダがある。	8階層以上の深いフォルダに収録されている曲は再生できない。また、フォルダは最大255（ルートを含む）、ファイルは最大512（1フォルダには最大255ファイルまで）を超えた場合には、再生できない。 また、TAG情報の中に画像やテキストファイルなど音楽データ以外の大きなデータが入っていると、ファイルが再生できない場合がある。	音楽データ以外のデータ部分を削除してファイルを作ってください。
	正しく表示されない。	正しく書き込まれていない。	ISO9660-LV1またはLV2に書き込み設定を変えて書き込みを行ってください。
	CD Extraに記録したMP3/WMAが再生できない。	CD Extraで第1セッション以外にMP3/WMAファイルが書き込まれている。	CD Extraの第1セッションにMP3/WMAファイルが書き込まれたCDを再生してください。
	「ディスクが読めません」の画面が表示される。	ディスクを表裏逆にセットしている。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。
iPod	リストが表示されない。	65,500曲以上のトラックを保存したiPodでトラックを再生している。	リスト表示件数には上限があるため、リストが表示されない場合があります。故障ではありません。

症　状		原　因	処　置
●オーディオ関連			
ミュージックキャッチャー	タイトルが表示されない。	Gracenoteのデータベースよりも新しいCDを録音したためアルバム情報が古くなっている。	パソコン用の専用アプリケーション「ナビマスター SD」を使った最新のアルバム情報をSDカードに保存し、アルバム情報を最新のものにしてください。**(P.234)** または、ユーザータイトルを入力してください。**(P.233)**
	表示されたタイトル（アーティスト／アルバム／トラックの各タイトル）が間違っている。	GracenoteはTOC情報でタイトルを探すが、あいまいに探してタイトルを割り当てるために、タイトルが合わないことがある。	
	音が飛ぶ。	音飛びした状態で録音された。	振動やディスクのキズにより音飛びした可能性があります。ディスクに傷がないか確認して、再度録音してください。
	録音ができない。	SDカードの容量が不足している。	録音済みの曲を消してください。**(P.233、P.234)**
		コピー禁止ディスクを使っている。	コピー可能ディスクを使って、録音してください。
		全曲録音済みのディスクを再生している。	別のディスクをセットしてください。
		録音に使用しているSDカードが書き込み禁止になっている。	SDカードの書き込み禁止スイッチをOFFにしてください。
		録音に使用しているSDカードが未対応のフォーマットになっている。	対応しているSDカードのフォーマットはFAT32、FAT16となります。 SDカードをお使いのパソコンでこれらにフォーマットしてください。
		自動録音モードになっていない。	自動録音モードに設定してください。**(P.232)**
		SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）で2世代目のコピーになっている。	コピー可能ディスクを再生してください。
	録音したはずのアルバムが表示されない。	「設定」の「選択演奏」の「アルバム選択」でアルバムが選ばれていない。	アルバムを選択してください。**(P.231)**

症　状		原　因	処　置
SDカード／USBメモリー	SDカードの音がでない。	未対応のSDカードを使っている。	対応可能なSDカードを使ってください。
	SDカードが挿入できない。	SDカードを表裏逆に挿入している。	SDカードのラベル面を上にして挿入してください。
	USBメモリーから再生できない。	USB取り外し処理を実行した。	一度USBメモリーを取り外して、再生接続してください。
	音が飛ぶ。	MP3/WMAファイルにエラーがある。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	音が悪い。	圧縮率が大きい。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音してみてください。
	再生できないファイルやフォルダがある。	• **SD** 8階層以上の深いフォルダに収録されている曲は再生できない。また、フォルダは最大500（ルートを含む）、ファイルは最大8000（1フォルダには最大99ファイルまで）を超えた場合には、再生できない。 • **USB** ９階層以上の深いフォルダに収録されている曲は再生できない。また、フォルダは最大512（ルートを含む）、ファイルは最大8000（1フォルダには最大255ファイルまで）を超えた場合には、再生できない。	PCを使用し、制限内に収まるよう再構成してください。
	操作パネルを開いたら再生が停止してしまった。	SDカード内のデータ保護のために操作パネルを開くとスロットの電源が切れる。	操作パネルを閉じると再生が再開されます。
	実際に入れているMP3/WMAファイルの数が違う。	SDカードまたはUSBメモリーにMP3/WMA以外のファイルがある。	MP3/WMA以外のファイルを削除してください。

症　状		原　因	処　置
●オーディオ関連			
TV	放送局名が表示されない。	受信チャンネルのリストが取得できていない。	まず、放送局の地域を設定します。**(P.199)**次にオートストアを実行してください。**(P.193)**
		受信感度が悪い。	放送局の情報は放送電波より取得するものがあります。電波環境のよいところに移動してください。
	映りが悪い。	フロントガラスからフィルム（アンテナ）がはがれている。	フィルムは貼り直しができませんので、販売店で新しいアンテナと交換してください。
Bluetoothオーディオ	再生されない。	接続オーディオ機器の状態がおかしい。	接続を解除し、再度接続してください。
		接続オーディオ機器のプレイヤーを起動していない。	接続オーディオ機器のプレイヤーを起動してください。

電話

症　状	原　因	処　置
電話がつながらない。	Bluetooth対応携帯電話を正しく接続していない。	Bluetooth対応携帯電話を正しく接続してください。**(P.144)**
	携帯電話の電源が切れている。	携帯電話の電源を入れてください。
	携帯電話が近くにない。	本機とBluetooth携帯電話とは、無線で通信を行います。 無線の届く範囲内でないと通信ができません。携帯電話を車内に置いてください。
電話画面まで遷移できない。	携帯電話との接続が正常に行われない場合がある。	携帯電話の電源をOFF→ONにし、その後Bluetooth電源をOFF→ONしてください。**(P.153)**
自動的に接続されない。	携帯電話の機種によっては、自動的に接続されない場合がある。	登録機器のリストから接続したい携帯電話をタッチしてください。
通話音が聞こえづらい。	通話音量が小さく設定されている。	通話中に (+) を押して通話音量を大きくしてください。
通話者に声が聞こえづらいと言われる。	送話音量が適切でない。	送話音量を適切に設定してください。**(P.152)**
本機の電話帳に携帯電話の電話帳が表示されない。	あらかじめ携帯電話の電話帳を本機に転送していない。	携帯電話の電話帳を本機に転送してください。**(P.148)**

インターネット連携

症　状	原　因	処　置
「インターネットに接続できません。再度設定を確認してください」、または「インターネットに接続できません。しばらくしてから再度接続してください」の画面が表示される。	Bluetoothの設定、通信会社の設定が正しく行われていない。	**P.144**,**P.154**を再度確認してください。
	GPS受信ができない状態で、時刻が正しく取得できない状態にある。	建物の外などに移動して接続を行ってください。
	センターにて改修が行われている。	しばらくしてから接続を行ってください。
「該当するメールアドレスがありません。サイトでユーザ登録を行ってからご利用ください」の画面が表示される。	入力したメールアドレスが間違っているか、チズルとススムに会員登録されていないメールアドレスである。	入力したメールアドレスをご確認ください。大文字、小文字も区別しています。
「メールアドレス、あるいはパスワードが間違っています」の画面が表示される。	入力したメールアドレスあるいはパスワードが間違っている。	入力したメールアドレス、パスワードをご確認ください。大文字、小文字も区別しています。
「他の製品を登録しているため、ログインできません」の画面が表示される。	入力したメールアドレスに、すでに他の製品を登録している。	お客様相談室にご相談ください。
「現在、この製品は、別会員に登録されています」の画面が表示される。	お使いの製品が、別会員にすでに登録されている。	
「現在、この製品は、通信に係わる機能が使用できません」の画面が表示される。	お使いの製品が、使用できない状態にある。	
「現在、この製品は、譲渡のための準備中です」の画面が表示される。	お使いの製品が、譲渡する機器となっている。	
「現在、この製品は、修理中です」の画面が表示される。	お使いの製品が、修理中になっている。	
「販売店に相談してください」の画面が表示される。	故障している。	販売店にご相談ください。

バックカメラ

症　状	原　因	処　置
カメラ映像が表示されない。	シフトレバーがRの位置になっていない。	シフトレバーがRの位置になっているか確認してください。
カメラ映像の映りが悪い。	前面のレンズカバーが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。
カメラ映像に白い光の縦線が入る。	CCD 素子を使用したカメラの特性による。	故障ではありません。
バックカメラのガイドラインが表示されない。	ガイドライン表示がOFFになっている。	徐行もしくは停止した状態で画面をタッチし、ガイドライン表示 をタッチしてください。
バックカメラのガイドラインが正しく合っていない。	ガイドラインが正しく調整されていない。	販売店での調整が必要です。
	乗車している人数や荷物、地形の影響などで車両が傾いている。	平らな場所や荷物を降ろした状態でご確認ください。ガイドラインの調整が必要な場合は販売店にご相談ください。

オプションカメラ

症　状	原　因	処　置
カメラ映像の映りが悪い。	前面のレンズカバーが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。

その他

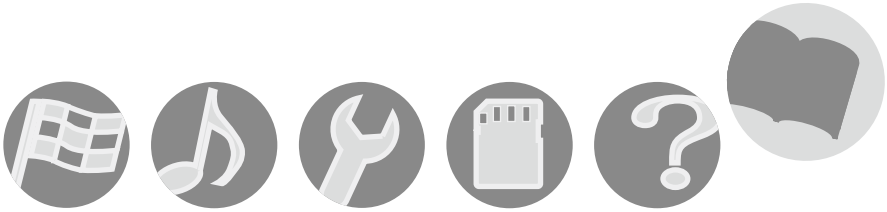
症　状	原　因	処　置
ディスプレイに「エラー表示」が出る。	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている。	エラー内容を確認してください。
ナビゲーション使用中に画面が暗くなった（部分的に暗くなった）、または消えてしまった。	液晶バックライトの消灯、あるいはナビゲーション本体の誤動作	いったんお車を安全な場所に停車してエンジンをかけ直してください。 その後も元に戻らない場合は、液晶バックライトの故障か、ナビゲーション本体の誤動作が考えられますので、お買い求めの販売店、または最寄りのクラリオン株式会社修理相談窓口にご相談ください。
設定した内容がエンジン始動後に戻ってしまう。	エンジン始動時、ナビゲーションの電源が瞬間的にOFFされるため、一部の情報が正常に保持できないことがある。	設定操作をエンジン動作状態で行ってください。
起動直後に、ボタンが反応しない時がある。	起動直後は、設定情報などの確認に時間がかかる場合がある。	しばらく待ってから操作を行ってください。

Memo

付録

収録データや仕様など、本機に関する情報を記載しています。
本機を第三者に転売・譲渡するとき、または廃棄するときは、P.343をご覧ください。

322 収録データベースについて
325 市街地図収録エリア一覧
330 VICSシステムの問い合わせ先
331 VICS情報有料放送サービス契約約款
332 MP3ファイルについて
333 WMAファイルについて
334 カントリーコード一覧
335 お手入れ
336 保証書とアフターサービス
337 仕様
339 商標について
342 暗証番号照会申込書
343 製品を廃棄・譲渡・転売するときは



収録データベースについて

■ データ取得日について

本機SD内の情報は、以下を使用しています。

- 道路情報　：2009年9月（一般道路）／ 2009月12月（高速・有料道路）
- ハイウェイ情報　：2009年12月現在
- 交通規制情報　：2009年11月現在
- イラスト情報　：2009年9月（一般道路）／ 2009月12月（高速・有料道路）
- スマートIC情報　：2009年12月現在
- 施設検索情報　：2009年11月現在
- 住所検索情報　：2009年11月現在
- 市区町村合併情報　：2009年11月現在（政令指定都市は2010年4月1日施行分まで対応しています。）
- 郵便番号検索情報　：2009年11月現在
- TV・雑誌　：2010年2月現在（定期的に最新データを提供しています。**(P.303)**）
- 個人宅電話番号　：2009年10月現在

※本機SD内の各情報は、作成日の都合上、現状と異なる場合があります。

■ 地図データについて

●本商品に収録されている地図データ（以下「地図データ」といいます。）の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用（測量法第30条に基づく成果使用承認平17企指公第1号）した財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース（測量法第44条に基づく成果使用承認07-173）を基に（株）ゼンリンにて作成しております。（© 2007財団法人日本デジタル道路地図協会）

●この地図データの作成にあたっては、（株）ゼンリンが国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しております。（承認番号平20業使、第204-324号）

●市街地図データは、住宅地図データベースを基に（株）ゼンリンが作成したものです。

●本商品で表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。基図の作成時期などにより、新設道路の地図データが収納されていないもの、名称や道路などが一部異なる場合があります。

●この地図データの作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。（承認番号　国地企調発第78号　平成16年4月23日）

●交通事故多発地点データは、（財）交通事故総合分析センターが作成した交通事故多発地点の地図データに基づき作成したものを使用しています。この地図データに使用している交通事故多発地点データは、1998年11月時点の交通事故多発地点です。この地図データに使用している交通事故多発地点データは、（財）日本交通事故管理協会と（財）交通事故総合分析センターが所有権を有し、（株）ゼンリンは二次的著作物に使用実施権を取得しております。

●地形データは、国土地理院長の承認を得て同院発行の5万分の1地形図を使用し、（株）武揚堂にて作成されたものです。（承認番号平9総使、第47号）

●道路データは、高速道路、有料道路はおおむね2009年12月、国道、県道、主要地方道はおおむね2009年9月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。

●音声データは、（株）ゼンリンが作成した資料を基にして、（株）アレックスが録音・編集をおこなっております。（© 2009.AREX CO., LTD.）

© 2007 財団法人日本デジタル道路地図協会
© 2009 AREX CO., LTD.
© 2009 ZENRIN CO., LTD.

■ 交通規制データについて

●交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。

●この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

■ 検索データについて

●個人宅電話番号検索では、公開電話番号登録者の名字で複数の読み方が可能なものは、データ上実際とは異なった読み方で収録されている場合があります。また、電話番号非公開個人宅のデータは収録されておりません。

●TV・雑誌情報は、株式会社レインボー・ジャパン提供のTeePeeデータを使用しました。
「TeePeeデータ」の著作権は、株式会社レインボー・ジャパンに帰属します。
同社の承諾なく複写、改変、本製品以外での使用等をすると、著作権法に違反し、場合によっては罰せられることがあります。

●施設検索データは以下のデータを元に作成されています。

- NTTタウンページデータ
- 株式会社ゼンリン提供のデータ
- 株式会社昭文社提供のデータ

●NTTタウンページデータなどの元データそのものが間違っている場合、間違った位置を表示する事があります。
また、住所番地が広大な場所や、元のデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示される事があります。

●施設検索データは、その施設の住所位置（中心位置）を表示しますので、そのままルート設定をした場合、必ずしも入口や、駐車場までの案内にはなりません。

■ 注意事項

●データベース作成時点の関連で、表示される地図あるいは検索データが現状と異なることがありますが、ご了承ください。

●自然災害による道路形状の変更等につきましては対応いたしかねます。

●本品で表示される地図や検索結果データの内容が、誤字・脱字・位置ずれなど、現状と異なることがあっても、商品の取り替えや代金の返却は致しませんのであらかじめご了承ください。

●本品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求などにつきましても、弊社は一切その責任を負いかねます。

●本品を弊社に無断で、複製・複写・加工・解析・業務上での使用や第三者への有償での譲渡・貸与を禁じます。またネットワークや他の方法などで複数の機器での同時使用を禁止します。

●本品の内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

株式会社ゼンリンからお客様へのお願い

本商品に格納されている地図データおよび検索情報等のデータの製作にあたって、毎年新しい情報を収集・調査していますが、膨大な情報の更新作業をおこなうため収録内容に誤りが発生する場合や情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合など、収録内容が実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。

重要

本使用規定（「本規定」）は、お客様と株式会社ゼンリン（「弊社」）間の本商品に格納された地図データおよび検索情報等のデータ（「本ソフト」）の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

■ 使用規定

●弊社は、お客様に対し、本取扱説明書（「取説」）の定めに従い本ソフトを本ソフトが格納されていた本商品で使用する権利を許諾します。

●お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
- 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
- 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。

●お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
- 本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
- 本ソフトは必ず本商品に格納された状態で使用すること。
- 本ソフトおよび本ソフトを使用することによってなされる案内などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、またすべてが正確かつ完全ではないこと。弊社は、このような場合においても、本ソフトの交換・修補・代金返還その他の責任を負わないこと。
- 弊社は、本ソフトに関するお客様に対する損害賠償責任を、弊社の故意または重過失による場合を除き、一切負わないこと。なお、この規定は、本ソフトに関する弊社の損害賠償責任の全てを規定したものとすること。
- 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。

●お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
- 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
- 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む）の全部または一部を使用させること。
- 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
- その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

市街地図収録エリア一覧

MEMO

・一部地域では、収録エリア内でも市街地図が表示されないことがあります。

収録都道府県	市街地図収録都市
北海道・東北地域	
北海道	札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、北広島市、石狩市、当別町、江差町、斜里町、白老町、音更町、釧路町
青森県	青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、藤崎町、大鰐町、東北町
岩手県	盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、岩手町、滝沢村、紫波町、矢巾町、大槌町、山田町、岩泉町
宮城県	仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、多賀城市、岩沼市、東松島市、大崎市、大河原町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、富谷町、色麻町、加美町、美里町町
秋田県	秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、潟上市、大仙市、にかほ市、仙北市、五城目町、井川町
山形県	山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町
福島県	福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、南相馬市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、鏡石町、西郷村、矢吹町、小野町
関東地域	
東京都	千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町
千葉県	千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ケ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、匝瑳市、香取市、山武市、いすみ市、酒々井町、印旛村、本埜村、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町

収録都道府県	市街地図収録都市
埼玉県	さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、秩父市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、鳩ヶ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、横瀬町、皆野町、長瀞町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、騎西町、北川辺町、大利根町、宮代町、白岡町、菖蒲町、栗橋町、鷲宮町、杉戸町、松伏町
茨城県	水戸市、日立市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ケ崎市、下妻市、常総市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、筑西市、坂東市、かすみがうら市、神栖市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村、阿見町、五霞町、境町、利根町
栃木県	宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、上三川町、益子町、市貝町、芳賀町、壬生町、野木町、大平町、都賀町、那須町
群馬県	前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、榛東村、吉岡町、甘楽町、中之条町、嬬恋村、草津町、東吾妻町、昭和村、みなかみ町、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町
神奈川県	横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、清川村

収録都道府県	市街地図収録都市
	中部地域
静岡県	静岡市、浜松市、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、芝川町、吉田町、森町、新居町
長野県	長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、松川町、高森町、阿智村、豊丘村、山形村、白馬村、坂城町、小布施町、山ノ内町
新潟県	新潟市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、聖籠町、田上町、湯沢町
山梨県	甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、中央市、市川三郷町、増穂町、鰍沢町、昭和町、富士河口湖町
富山県	富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、射水市、舟橋村
石川県	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、白山市、能美市、野々市町、津幡町、内灘町、志賀町
岐阜県	岐阜市、大垣市、高山市、多治見市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、本巣市、下呂市、岐南町、笠松町、関ケ原町、神戸町、安八町、北方町、坂祝町、富加町
愛知県	名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、東郷町、長久手町、豊山町、大口町、扶桑町、七宝町、美和町、甚目寺町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、一色町、吉良町、幡豆町、幸田町、三好町、小坂井町
福井県	福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、美浜町、高浜町

収録都道府県	市街地図収録都市
近畿地域	
大阪府	大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、高槻市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、河内長野市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、泉南市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、島本町、豊能町、能勢町、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村
京都府	京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、京丹後市、南丹市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村
兵庫県	神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、稲美町、播磨町、福崎町、太子町、上郡町、香美町、新温泉町
奈良県	奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、生駒市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、田原本町、明日香村、上牧町、王寺町、広陵町、河合町
滋賀県	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、東近江市、米原市、安土町、日野町、竜王町
三重県	津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、志摩市、伊賀市、東員町、菰野町、朝日町、川越町、明和町、玉城町、度会町
和歌山県	和歌山市、海南市、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、紀の川市、岩出市、紀美野町、かつらぎ町、湯浅町、広川町、有田川町、美浜町、白浜町、那智勝浦町、太地町

収録都道府県	市街地図収録都市
中国・四国・九州・沖縄地域	
岡山県	岡山市、倉敷市、津山市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、浅口市、和気町、早島町、里庄町、矢掛町、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町、吉備中央町
鳥取県	鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、三朝町
島根県	松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、東出雲町、斐川町
広島県	広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町
山口県	下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、山陽小野田市、和木町、平生町
高知県	高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、佐川町、梼原町、四万十町
香川県	高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、宇多津町、綾川町、琴平町、多度津町、まんのう町
徳島県	徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、阿波市、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町
愛媛県	松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、久万高原町、松前町、砥部町、伊方町
福岡県	北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、中間市、小郡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、前原市、古賀市、福津市、うきは市、嘉麻市、朝倉市、那珂川町、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、筑前町、二丈町、志摩町、大刀洗町、香春町、糸田町、苅田町、吉富町、築上町
佐賀県	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市、基山町、白石町
大分県	大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、由布市
熊本県	熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、阿蘇市、天草市、合志市、植木町、大津町、菊陽町、南小国町、小国町、益城町
長崎県	長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、五島市、雲仙市、長与町、時津町、波佐見町
宮崎県	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、清武町、三股町
鹿児島県	鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、奄美市、伊佐市
沖縄県	那覇市、宜野湾市、石垣市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、豊見城市、うるま市、宮古島市、南城市、本部町、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町

VICSシステムの問い合わせ先

VICSは、受信した内容をそのまま表示するレベル1（文字情報）、レベル2（図形情報）の表示と、ナビゲーション機器が地図上に表示するレベル3を提供するサービスです。表示内容のお問い合わせについては以下のVICSセンターへ、その他の内容に関連するお問い合わせについては、クラリオン「お客様相談室」（連絡先は裏表紙をご覧ください）にご連絡ください。問い合わせ先は次のようになります。

問い合わせ先 / 問い合わせ項目	クラリオン お客様相談室	VICSセンター
VICSの概念、計画	−	○
レベル1（文字情報）の表示内容	−	○
レベル2（図形情報）の表示内容	−	○
レベル3（地図上に表示される情報）の表示内容	−	○
情報のサービスエリア	○	−
受信の可否	○	−
ナビゲーション機器の調子、機能、使いかた	○	−

VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは（財）VICSセンターにお問い合わせください。

■（財）VICSセンター

電話番号：0570-00-8831
※PHSからはご利用できません。
受付時間：9:30 ～ 17:45（土曜、日曜、祝祭日を除く）
FAX番号：(03）3592-5494（東京）
受付時間：24時間
●インターネット・ホームページ
http://www.vics.or.jp/

VICSリンクデータベースの著作権について
VICS情報のデータの著作権は、（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しております。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総　　則

(約款の適用)
第1条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)
第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)
第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
(2) VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
(3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
(4) VICSデスクランプラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

(VICSサービスの種類)
第4条　VICSサービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
(2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
(3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)
第5条　当センターは、原則として一週間に概ね１２０時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契　　約

(契約の単位)
第6条　当センターは、VICSデスクランプラー１台毎に１のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)
第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)
第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランプラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)
第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第４条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)
第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
(1) 加入者がVICSデスクランプラーの使用を将来にわたって停止したとき
(2) 加入者の所有するVICSデスクランプラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)
第12条
1　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料　　金

(料金の支払い義務)
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保　　守

(当センターの保守管理責任)
第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)
第15条
1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑　　則

(利用に係る加入者の義務)
第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)
第17条
1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他 当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは当該変更においても変更後３年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]
視聴料金　315円（うち消費税15円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

MP3ファイルについて

- ID3-Tag：Ver1.x、2.xのalbum（Disc Titleとして表示）、track（Track Titleとして表示）、artist（Track Artistとして表示）の表示に対応
- エンファシス：44.1kHzのファイル再生時のみ対応
- 再生可能なサンプリング周波数
  MPEG1：44.1kHz/48kHz/32kHz
  MPEG2：22.05kHz/24kHz/16kHz
  ※音質面においては44.1kHz以上 を推奨
- 再生可能なビットレート
  MPEG1：32kbps ～ 320kbps
  MPEG2：8kbps ～ 160kbps
  ※音質面においては128kbps以上を推奨
- MP3i（MP3 interactive）、mp3 PROフォーマット非対応
- VBR（バリアブルビットレート）で記録されたMP3ファイルは音飛びする場合があります。
- 記録時間の短いファイルは再生できないことがあります。
- ディスク、SDカードまたはUSBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- 低ビットレートのファイルを早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。
- Windows Media Player、iTunes以外のTAG編集ソフトでTAG情報を変更すると、TAGが正常に表示されないことがあります。

WMAファイルについて

- 作成するパソコンのソフトウェアによっては、アルバム名が文字化けすることがあります。
- WMA9 Professional、WMA9 Voice、WMA9ロスレスフォーマット非対応。
- ディスクまたはSDカード／ USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- 再生可能なサンプリング周波数は記録バージョンによって異なります。下記の表をご参照ください。
- 再生可能なビットレートは記録バージョンによって異なります。下記の表をご参照ください。

	ディスク	SDカード	USBメモリー
ビットレート (kbps)	サンプリング周波数 (kHz)	サンプリング周波数 (kHz)	サンプリング周波数 (kHz)
192	48/44.1	48/44.1	48/44.1
160	48/44.1	48/44.1	48/44.1
128	48/44.1	48/44.1	48/44.1
96	44.1	48/44.1	44.1
80	44.1	44.1	44.1
64	44.1	48/44.1/32	44.1/32
48	44.1/32	44.1/32	44.1/32
44	—	32	32
40	32	32	32
36	—	32	32
32	44.1/32/22.05	44.1/32/22.05	44.1/32/22.05
22	22.05	32/22.05	—
20	32/22.05	44.1/32/22.05/16	—
16	22.05	22.05/16	—
VBR※	48/44.1	48/44.1	44.1

※ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。

カントリーコード一覧

国名	国コード	入力番号
ALBANIA	AL	6576
ANDORRA	AD	6568
AUSTRIA	AT	6584
BAHRAIN	BH	6672
BELGIUM	BE	6669
BOSNIA AND HERZEGOWINA	BA	6665
BULGARIA	BG	6671
CROATIA (local name:Hrvatska)	HR	7282
CYPRUS	CY	6789
CZECH REPUBLIC	CZ	6790
DENMARK	DK	6875
EGYPT	EG	6971
FINLAND	FI	7073
FRANCE	FR	7082
FRANCE, METROPOLITAN	FX	7088
GERMANY	DE	6869
GREECE	GR	7182
HUNGARY	HU	7285
ICELAND	IS	7383
IRAN (ISLAMIC REPUBLIC)	IR	7382
IRAQ	IQ	7381
IRELAND	IE	7369
ISRAEL	IL	7376
ITALY	IT	7384
JAPAN	JP	7480
JORDAN	JO	7479
KUWAIT	KW	7587
LEBANON	LB	7666
LESOTHO	LS	7683
LIECHTENSTEIN	LI	7673
LUXEMBURG	LU	7685
MACEDONIA, THE FORMER YUGOSLAV REPUBLIC OF	MK	7775

国名	国コード	入力番号
MALTA	MT	7784
MONACO	MC	7767
NETHERLANDS	NL	7876
(NETHERLANDS ANTILLES)	AN	6578
NORWAY	NO	7879
OMAN	OM	7977
POLAND	PL	8076
PORTUGAL	PT	8084
QATAR	QA	8165
ROMANIA	RO	8279
SAN MARINO	SM	8377
SAUDI ARABIA	SA	8365
SLOVAKIA (Slovak Republic)	SK	8375
SLOVENIA	SI	8373
SOUTH AFRICA	ZA	9065
SPAIN	ES	6983
SWAZILAND	SZ	8390
SWEDEN	SE	8369
SWITZERLAND	CH	6772
SYRIAN ARAB REPUBLIC	SY	8389
TURKEY	TR	8482
UNITED ARAB EMIRATES	AE	6569
UNITED KINGDOM	GB	7166
Vatican City State	VA	8665
YEMEN	YE	8969
YOUGOSLAVIA	YU	8985
FAROE ISLANDS	FO	7079
GIBRALTAR	GI	7173
GREENLAND	GL	7176
SVALBARD AND JAN MAYEN ISLANDS	SJ	8374

お手入れ

本機や、CD・DVDなどディスク類のお手入れについて説明します。

ディスクのお手入れ

大切なディスクはきちんとお手入れして、長く楽しみましょう。

- ディスクが汚れたときは、やわらかい布でディスクの内側から外側に向かって、よく拭いてください。
- レコード用のクリーナー液やアルコールは使用しないでください。
- DVD/CD専用クリーナーは使用できますが、その場合はよく乾燥させてからお使いください。
- ディスクは次のような場所には保管しないでください。
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気やホコリの多い場所
  - 暖房の熱が直接当たる場所

本体のお手入れ

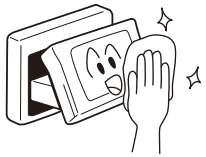
本体のお手入れをする際には、以下のことにご注意ください。

- 本体をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。
  汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にごく微量つけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。機器のすきまに液体が入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。



※ベンジンやシンナー、自動車用クリーナーなどは、変質したり、塗料がはげる原因となりますので、使わないでください。また、ゴムやビニール製品を長期間接触させておくと、シミのつくことがあります。

- タッチパネルに保護シートを貼らないでください。誤動作する場合があります。
- 液晶表示部は、ホコリがつきやすいので、ときどきやわらかい布でふいてください。



TVアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウ（室内側）をお手入れする際は、アンテナを柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を堅くしぼり、軽く拭いてください。
  アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
- 一度貼り付けたアンテナははがさないようにしてください。機能が損なわれます。

保証書とアフターサービス

■ 保証について

この商品には、保証書もしくは購入証明書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。
なお、再発行いたしませんので、ご注意ください。

■ 保証期間

保証書に記載の期間をご確認ください。

■ 万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。ただし、脱着にともなう工賃は、お客様のご負担となります。
お買い求めの販売店、または最寄りのクラリオン株式会社修理相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後6年保有しています。

仕様

ナビゲーション部
受信周波数　：1575.42MHz
　　C/A コード
感度　　：−130dBm以下
チャンネル数：パラレル13チャンネル

LCD モニター部
画面寸法　：7型
　　(156.2mm×82.3mm)
表示方式　：透過型TN液晶パネル
駆動方式　：TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式
画素数　　：1,152,000画素
　　800×3（RGB）×480

CD プレーヤー部
周波数特性　：20Hz ～ 20kHz
SN比　　：80dB
高調波ひずみ率：0.05%（1kHz）

DVD プレーヤー部
周波数特性　：20Hz ～ 20kHz
SN比　　：80dB
高調波ひずみ率：0.05%（1kHz）

FMチューナー部
受信周波数　：76.0MHz ～ 90.0MHz
実用感度　　：8dBf（IHF）

AMチューナー部
受信周波数　：522kHz ～ 1,629kHz
実用感度　　：30dBμV

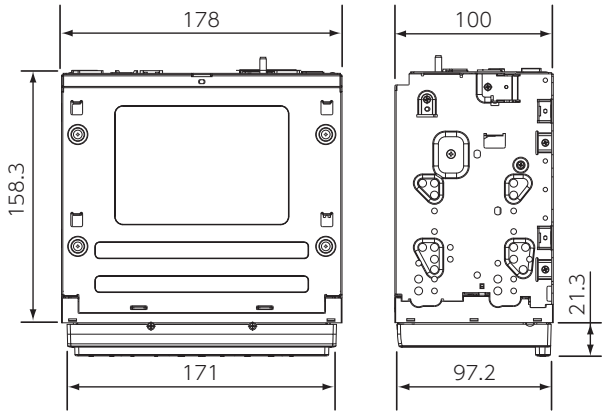
オーディオ部
定格出力　　：16W×4（10%、4Ω）
瞬間最大出力：45W×4
適合インピーダンス：4Ω

共通部
電源電圧　　：14.4V
接地方式　　：マイナス接地
消費電流　　：約4A（1W出力時）

Bluetooth部
受信周波数　：2402MHz ～ 2480MHz
　　(1MHzステップ)
感度　　：-73dBm以下

構成内容

外形寸法図



※これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

商標について

●本機には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、ロヴィ コーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁じられています。

●本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアモジュールを使用しています。それらの一部にはMPL（Mozilla Public License）のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアモジュールが含まれています。ソースコードの入手およびMPLについては以下のWEBサイトをご覧ください。
http://www.clarion.com/jp/ja/products/navigation/mpl/index.html
その他、本機には以下のソフトウェアモジュールを使用しています。
・ Independent JPEG Group

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

●DVD VIDEO はDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

●「SDHCメモリーカード」「SDメモリーカード」「miniSD™」「microSD™」はSDカードアソシエーションの登録商標です。

●マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

●GracenoteおよびCDDBは、グレースノート社の登録商標です。Gracenoteロゴ、ロゴ標記、および“Powered by Gracenote”ロゴはグレースノート社の商標です。

●VICSは、（財）道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

●「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

●「タウンページデータベース」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。

●「ATRAC3」および「ATRAC3」ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

●TV・雑誌情報は、（株）レインボー・ジャパンの所有するTeePeeデータを使用しています。
・「TeePee商標」は、株式会社レインボー・ジャパンの登録商標であり、TeePeeデータは（株）レインボー・パートナーズによりライセンス供与されています。
・「TeePeeデータ」の著作権は、株式会社レインボー・ジャパンに帰属します。同社の承諾なく複写、改変、本製品以外での使用等をすると、著作権法に違反し、場合によっては罰せられることがあります。

●「Made for iPod」とは、iPod専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
「Works with iPhone」とは、iPhone専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
iPod およびiTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
iPhoneは、Apple Inc.の商標です。

●Bluetoothワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有物であり、クラリオン（株）は許可を受けて使用しています。

●MAPPLEガイドデータは、株式会社昭文社の登録商標または商標です。

●GoogleおよびGoogle Mapsは、Google Inc.の登録商標または商標です。

Gracenote® Music Recognition Service℠について

Gracenote,Inc.提供のCDおよび音楽関連データ:copyright© 2000 to present Gracenote.
Gracenote Software,copyright© 2000 to present Gracenote.本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。
適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。
Gracenote、CDDB、MusicID、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および"Powered by Gracenote"ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenoteの登録商標または商標です。

※本機のデータベースは、2010年2月時点のものです。



Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書

バージョン 20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.（以下「Gracenote」）のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」）を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenote データ」）などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenote サーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、またはGracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenoteとして行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアとGracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenoteは、Gracenote サーバーにおける全てのGracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたはGracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いはGracenote ソフトウェアまたはGracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenoteは、Gracenoteが将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenote ソフトウェアまたは任意のGracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote 2010

暗証番号照会申込書

盗難防止のために、本機に暗証番号を設定しておくことができます。
万が一設定した暗証番号をお忘れになった場合は、コード発行されたSDカード **(P.276)** と、下記の「暗証番号照会申込書」をクラリオン株式会社お客様相談室宛に郵送でお送りください。
「暗証番号照会申込書」は、クラリオン株式会社ホームページ（http://www.clarion.com）よりダウンロードしてプリントアウトするか、またはお客様相談室に請求してください。

暗証番号照会申込書

盗難防止機能の暗証番号を忘れてしまった場合は、本申込書に必要事項を記入の上、クラリオンお客様相談室宛に暗証番号照会の申し込みをしてください。

申込年月日　平成　　年　　月　　日

クラリオン株式会社 お客様相談室 行

1. 登録情報（本人確認するための情報になります。）

電話番号	セキュリティ機能を設定した際に入力した電話番号を記載してください。
自宅登録	ナビゲーションに自宅登録している場所（住所）をできるだけ詳しく記載してください。

2. お客様の連絡先（暗証番号の発行およびメモリーカードの返送先になります。）

氏 名	フリガナ
住 所	フリガナ 商業ビル等の住所表記では受け付けることはできません。 〒
電話番号	

※ 本人確認のため電話連絡させていただく場合があります。

3. 商品情報

機種名	保証書等を参考に記載してください。例）MAX7700
購入先	□ カー用品店　□カーディーラー　□ その他（　　）

＜申し込み手順＞
① 対応したメモリーカードをカードスロットに挿入します。
メモリーカードを郵送していただきますので余分なデータは消去するようにしてください。
② 暗証番号入力画面から「コード発行」をタッチします。
「コード発行」をタッチするとメモリーカードに解除コード発行に必要な情報が書き込まれます。
③ コード発行されたメモリーカードと本申込書を同封の上、クラリオンお客様相談室 宛に送付してください。

送付先：
〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心 7-2
クラリオン株式会社 お客様相談室 宛

【個人情報保護に関して】
本申込書に記入していただいた個人情報は、ご提示した目的の範囲内で利用させていただき、外部への公表、不正アクセス、紛失、漏洩、改竄、窃取、がないよう適切にセキュリティ管理いたします。

製品を廃棄・譲渡・転売するときは

本機を第三者に転売・譲渡するとき、または廃棄するときのご注意について説明しています。

ナビゲーション内のデータ消去について

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または廃棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとにすべてのデータを消去していただきたく、お願い申し上げます。

お客様のプライバシー保護のために…

メモリーに保存された個人情報を含むすべてのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、以下に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）してください。

著作権保護のために…

メモリー内に保存された画像データ、音楽データ（録音データ含む）などを、以下に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）してください。著作権があるデータを、著作権者の同意なく本機に残存させたまま譲渡（有償および無償）・転売されますと、著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害などに関しては、一切責任を負いかねますので、上記のとおりお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

データを消去（初期化）する

本機に保存されたデータをすべて消去（初期化）します。

1 ▶ 設定
2 その他設定
3 出荷状態に戻す
4 全データの消去
確認画面が表示されます。
5 はい
本機に保存された全データが消去されます。

MEMO

- TV・雑誌データは、更新データのみ消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
- 盗難防止機能が「ON」に設定されている場合は、暗証番号入力画面が表示されます。この場合は、設定した暗証番号を入力し、盗難防止機能を解除してから実行してください。
- 「チズルとススム」で機器登録をしている場合は画面にQRコードが表示されます。携帯電話またはパソコンから、登録機器を削除してください。

索引

あ

アーティスト名から再生
（ミュージックキャッチャー）…… 231
アイコン表示（ETC）…… 134
アルバム情報の更新…… 234
アルバム情報の編集…… 233
アングルの切り替え（DVDビデオ）…… 210
アンテナの種類…… 274
案内時のアッテネート…… 260

い

行き先位置を修正…… 105
行き先追加……99
行き先の削除…… 106
行き先の並べ替え…… 106
一方通行表示……59
緯度・経度検索……79
イルミ色設定…… 271
インターネット検索……75
インターネット連携…… 159

う

迂回路探索…… 102

え

エコロジー機能…… 161
エコロジー機能の設定…… 169
エコロジー地図モード……58
エコロジーデータの送信…… 168

お

オーディオON／OFF …… 177
オーディオ表示画面の切り替え…… 176
オートストア
テレビ…… 193
ラジオ…… 183
オートリルート…… 111
オープニング画面の設定…… 284
お気に入りコースの登録
SDカード …… 136
オンライン…… 136
お気に入りスポットの書き出し…… 138
お気に入りスポットの送信…… 137
お気に入りスポットの登録
SDカード …… 135
オンライン…… 135
お好みアイコンリスト検索……67
お知らせ設定…… 130
音声ガイド（ETC）…… 134
音声言語の切り替え
DVDビデオ …… 210
テレビ…… 198
音声の切り替え（DVD-VR）…… 210
オンライン…… 154
オンライン探索…… 103
オンライン探索の自動ダウンロード設定
…… 267
音量の調整
オーディオ・ビジュアル…… 175
ガイド音量…… 109, 260, 285
ガイド・メッセージ音声… 109, 260, 285
受話音量…… 285
操作音ON／OFF …… 285
送話音量…… 285
着信音量…… 285

か

カーソル表示…… 271
カード入れ忘れ警告（ETC）…… 134
ガイド開始……94
ガイド中止…… 110
拡大図設定…… 261
画質の調整
DVD-VR …… 212
DVDビデオ …… 212
iPodビデオ …… 248
VTR…… 289
テレビ…… 202
ナビゲーション画面…… 283
バックカメラ…… 293
画面ON／OFF ……31
画面サイズの切り替え
DVD-VR …… 211
DVDビデオ …… 211
VTR…… 288
カントリーコード…… 215

き

キーワード入力検索……66
軌跡の間隔…… 259
軌跡の消去…… 259
軌跡の表示…… 259
緊急放送…… 196

く

区間設定…… 106
グラフィックEQ …… 280

け

携帯電話の接続切り替え…… 145
携帯電話の登録削除…… 145
経由地の追加…… 105
系列局サーチ…… 191
系列局自動サーチ…… 199
現在地の修正…… 270
現在地ボタン……44
現在地名称プレートの常時非表示…… 269
現在地メニュー……47
現在のルートを登録…… 109
検索アイコン…… 68, 70
検索アイコンの消去…… 258
検索アイコンの表示…… 258
検索結果画面……82
検索地点の位置修正……95
検索地点の情報……96
検索地点の登録……95
検索地点をルートに追加……95

こ

交差点ガイド設定…… 262
交差点手前の案内表示…… 115
交差点リストモード
一般道路……55
高速道路……56
高速道路の案内表示…… 116
交通事故多発地点表示……60
交通情報…… 127
交通情報・VICSの設定 …… 264
交通情報のダウンロード設定…… 157
コントロールバー自動消し…… 269

さ

細街路案内…… 117
再探索…… 102
サブチャンネル…… 194

し

時間規制道路…… 268
自車位置の精度…… 307
自車位置マーク…… 45, 60
自車周辺検索
TV・雑誌 ……74
周辺検索……67
施設アイコンの表示…… 258
施設情報……83
施設名称入力検索
施設名称……63
ハイウェイ施設名称……71
自宅位置の修正……41
自宅に戻る……66
自宅の消去……41
自宅の登録……40
自宅の編集……40
自動応答保留…… 153
自動で選局
テレビ…… 191
ラジオ…… 180
自動表示メッセージ（テレビ）…… 196
字幕言語の切り替え（DVDビデオ）…… 210
字幕表示の切り替え
DVD-VR …… 210
テレビ…… 198

車速連動ボリューム…… 279
シャッフル再生
Bluetoothオーディオ …… 254
iPod …… 246
車両設定…… 272
ジャンル検索
TV・雑誌 ……73
他の検索方法……65
住所検索……64
周辺駐車場検索
現在地周辺……68
検索地点周辺……96
スクロール先周辺……78
目的地周辺……69
受信バンド
テレビ…… 193
ラジオ…… 182
出荷状態に戻す…… 277
手動で選局…… 180
手動で放送局登録
テレビ…… 194
ラジオ…… 183
条件指定再生
iPod …… 247
iPodビデオ …… 247
ミュージックキャッチャー…… 231
状態表示…… 216
初期設定…… 272

す

スキャン再生
CD …… 223
MP3 …… 223
WMA …… 223
ミュージックキャッチャー…… 230
スクロール位置の微調整……52
スクロール検索……63
スクロール先周辺検索……77
スクロール地点情報表示…… 269
図形情報の割込み…… 264
図形情報の割込み時間…… 264
スピーカー設定…… 282
スマートICを考慮 …… 268
スロー再生…… 207

せ

静止画の切り替え（DVD-VR）…… 209
接続チェック…… 269
設定情報の初期化（テレビ）…… 201
センサーの学習リセット…… 269

そ

走行軌跡の書き出し…… 138
走行軌跡の送信…… 138
操作パネル……26
操作パネルの開閉……30
操作パネルの角度調整……30
ソースの切り替え…… 175

た

探索条件…… 97, 102, 266
短縮ダイヤルの消去…… 152
短縮ダイヤルの登録…… 150
短縮ダイヤルの編集…… 151

ち

遅延補正…… 201
地図上キャラクター表示…… 271
地図上のVICS表示設定 …… 264
地図色……60
地図の拡大／縮小……48
地図のスクロール……51
地図の表示変更……53
地図の向き……50
地図文字サイズ……60
チズルとススム…… 135
地点の登録……87
地名入力検索……64
着信音…… 152
チャンネル番号…… 192

つ

通話音量…… 152

て

データの書き出し
アルバム情報…… 234
登録地点…… 300
データの取り込み
MYツアーデータ …… 137, 302
TV・雑誌 …… 303
アルバム情報…… 234
オープニング画面…… 300
登録地点…… 300
バラエティスクリーン…… 301
バラエティボイス…… 302
データ放送…… 195
デバイス名変更…… 153
デフォルメ図…… 116
テレビ…… 185
テレビの設定…… 197
電源ON ／ OFF ……30
電話受信…… 152
電話帳登録…… 148
電話帳の削除…… 150
電話の設定…… 152
電話発信
施設情報…… 150
短縮ダイヤル…… 151
電話帳…… 149
電話番号…… 147
発着信履歴…… 147
電話番号入力検索……65

と

冬季通行止め…… 268
統計交通情報を考慮…… 268
到着予想時刻の速度設定…… 263
到着予想時刻の表示切替…… 261
盗難防止…… 276
盗難防止イルミ…… 275
盗難防止の暗証番号変更…… 276
登録地点の位置修正……88
登録地点の削除……89
登録地点の並べ替え……87
登録地点の編集……88
登録リスト検索……66
登録ルート検索……80
登録ルートの削除……91
登録ルートの編集……90
道路名検索……71
時計画面表示……31
時計表示設定……31
トラック情報の編集…… 233

に

二重音声の切り替え（テレビ）…… 198

は

ハイウェイ入り口検索……72
ハイウェイ出口検索……72
ハイウェイモード自動表示……60
パケット通信量表示…… 160
パスキー変更…… 153
バックカメラ…… 292
発着信履歴の消去…… 148
バラエティスクリーンの設定…… 283
バラエティボイス…… 262
パレンタルレベル
視聴制限…… 214
パスワードの設定…… 214
番組内容…… 195
番組表…… 192
販売店情報…… 131

ひ

ビーコンVICS情報 …… 125
ピクチャービュー検索……80
ピクチャービューモード……57
標語読み上げ…… 271
昼画面…… 283

ふ

フェリー航路を使う…… 268
プリセットチャンネル
　テレビ…… 193
　ラジオ…… 182
プローブ情報の消去…… 158
プローブ情報の送信…… 158
プロバイダの設定…… 154

へ

ペアリング…… 144

ほ

放送局の自動切り替え（テレビ）…… 199
放送メール…… 200
本体情報…… 129
本体ブザー音（ETC）…… 134

ま

マップコード検索……78
マルチインフォメーションキー……46

み

ミュージックキャッチャー…… 225

め

メインチャンネル…… 194
メディアの出し入れ…… 172
メニューから再生…… 207
メンテナンス情報…… 130

も

目的地解除……81
目的地検索……61
目的地周辺検索
　周辺検索……69
　TV・雑誌 ……74
目的地メニュー画面のカスタマイズ…… 284
文字パネルの操作……32
モニターサイズの設定（DVDビデオ）… 213

ゆ

優先エリアの切り替え（テレビ）…… 199
優先言語の設定（DVDビデオ）…… 213
郵便番号検索……79
有料区間の修正…… 107
有料道路の出入り口選択…… 100

よ

夜画面…… 283

ら

ラジオ…… 179
ラジオの設定…… 184
ランダム再生
　CD …… 223
　MP3 …… 223
　WMA …… 223
　ミュージックキャッチャー…… 230

り

リア席モニター…… 291
リアルタイム交通情報を考慮…… 268
リストから再生
　CD …… 224
　DVD-VR …… 208
　iPod …… 246
　MP3 …… 224
　WMA …… 224
　ミュージックキャッチャー…… 230
リストから選局
　テレビ…… 191
　ラジオ…… 181
リストの操作……35
立体地図の角度調整……55
立体地図表示……54

リピート再生
　Bluetoothオーディオ…… 254
　CD …… 223
　DVD-VR …… 207
　DVDビデオ …… 207
　iPod …… 246
　iPodビデオ …… 246
　MP3 …… 223
　WMA …… 223
　ミュージックキャッチャー…… 230
履歴検索……77

る

ルート案内中の案内表示…… 115
ルート案内中の音声案内…… 118
ルート案内中の地図画面…… 114
ルートガイド音声の詳細設定…… 260
ルートサイド検索……70
ルートシミュレーション…… 108
ルート上の地図スクロール…… 109
ルート情報…… 108
ルートの登録……90
ルートを選ぶ……94

ろ

録音する…… 227
録音の設定…… 232

わ

ワンセグ／12セグの切り替え …… 197

A

AM/FMの切り替え …… 180
AV画面での割り込み …… 261
AVコントロールバー ……46

B

Balance…… 279
B-CASカード …… 187
B-CASカード情報 …… 200
Bluetooth…… 143
Bluetoothオーディオ…… 251
Bluetooth電源ON／OFF …… 153

C

CD …… 217

D

Dolby Volume …… 281
DVD-VR …… 203
DVDビデオ …… 203

E

ETC警告表示…… 132
ETC最新利用履歴の読み上げ…… 133
ETC情報…… 132
ETC設定…… 134
ETC予告案内…… 132
ETC料金案内…… 132
ETC履歴表示…… 133
ETC割り勘…… 133

F

Fader…… 279
FM VICS情報 …… 121
FM多重情報の受信地域選択 …… 264

G

GPS現在地情報…… 128

I

iPod …… 241
iPod接続方法の切り替え …… 249
iPodビデオ …… 241

L

Loudness …… 279

M

MP3 …… 217

O

OPTIONボタン …… 278

Q

QRコード ……84

S

SA・PA図 ……57
SDカード
　オーディオ…… 237
　データ編集…… 298
SDカード地点検索 ……79

T

TV番組・雑誌名検索 ……73

U

USBメモリー …… 237

V

VICS情報画面 …… 122
VICS表示の対象道路 …… 264
VTR機器 …… 288
VTR接続設定 …… 290

W

WMA…… 217

番号

1画面表示 ……54
2画面表示 ……54

Memo

Memo

Memo

Memo